

2018年度  
アジア・アフリカ言語文化研究所言語研修

フィールドメソッド  
メエ語（エカリ語）  
成果報告書

Working paper based on 2018 ILCAA Intensive Language  
Course: field methods course on Mee (Ekari)

塩原朝子・Nawipa Dance (編)

東京外国語大学  
アジア・アフリカ言語文化研究所  
2019年



## 目次

はじめに .....	i
<b>第1章</b>	
青山和輝	
「メエ語動詞の人称標示と自他の体系」 .....	1
<b>第2章</b>	
佐近優太	
「メエ語の動詞連続」 .....	33
<b>第3章</b>	
黒島規史	
「メエ語の従属節」 .....	54
<b>第4章</b>	
遠山登志男	
「メエ語の音声象徴を探る」 .....	69
<b>第5章</b>	
遠山登志男	
「聞き取りによるメエ人の社会と文化の素描」 .....	86
<b>第6章</b>	
遠山登志男	
「メエ語の文例集」 .....	102
<b>第7章</b>	
塩原朝子・Nawipa Dance	
「メエ語テキスト: パンダヌス園にまつわる三つの話」 .....	292

## はじめに

本書は、2018年度東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所言語研修、「フィールドメソッド：メエ語（エカリ語）」の成果報告書である。この研修は上記研究所で2018年9月3日～2018年9月14日の日程で行われた。その後、メエ語調査を継続したいという受講生からの意向を受け、ナウィパ講師を再び招へいし、2019年2月5日～2019年2月8日の日程で「メエ語フォローアップミーティング」を開催した。

メエ語はインドネシアのパプア州（ニューギニア島西部）で話されている非オーストロネシア諸語（いわゆるパプア諸語）の一つである。話者による自称はメエ語だが、対外的にはエカリ語として知られている。

この言語には、数点のスケッチ・グラマーを除けば文法書がなく、ドキュメンテーションもほとんど行われていない。そのため、今回の研修はフィールドメソッド方式、つまり、研修生がネイティブ講師の協力を得て、自分たちでメエ語の音韻・形態・文法を明らかにするという形を取った。アジア・アフリカ言語文化研究所教員の塩原が主任講師としてコーディネーターを務め、インドネシアパプア州から招へいしたナウィパ・ダンチェ（Nawipa Dance）氏がネイティブ講師を務めた。ナウィパ講師はメエ語のネイティブ話者であり、ジャヤプラ第4高校の日本語教員である。日本への留学経験もあるため、日本語での意思の疎通に問題はなく、研修中、受講生はナウィパ講師から直接メエ語について聞くことができた。受講生10名はいずれも非常に熱心に研修に取り組み、最終日にはそれぞれが取り組んでいた課題について発表を行った。

この報告書に収録の論考5本（第1章～第5章）は上記の発表を受講生のうち4名が論考の形でまとめたものである。加えて、受講生の一人がまとめた研修中に得られた例文のリスト（第6章）、および、研修中にナウィパ講師が語った物語にグロス・訳をつけたもの（第7章）を収録した。

この報告書に寄稿した方々をはじめ、メエ語研修生の皆様が、今後も何らかの形でメエ語あるいはインドネシアの少数言語の調査・研究を継続されることを講師として希望する。またこの場を借りて、ナウィパ講師、受講生の皆様、また研修を支えてくださったアジア・アフリカ言語文化研究所 共同研究拠点系の皆様、特に担当してくださった梅山様に心から御礼申し上げる。

2019年8月8日 塩原朝子

## Pengantar dari pemberi kuliah

Puji dan syukur kehadiran Tuhan Yang Maha Esa, karena atas perkenanan-Nya kami dapat membuat buku tentang bahasa Mee dengan judul “Laporan dari ILCAA Kursus Bahasa Intensif 2018: Bahasa Mee (Field Method)”. Buku ini diterbitkan sebagai hasil dari kursus (Pelatihan Bahasa Mee) di Research Institute for Languages and Cultures and Asia and Africa (ILCAA), Tokyo University Of Foreign Studies, Tokyo, Jepang. Harapan kami, buku ini dapat digunakan sebagai referensi dalam meningkatkan bahasa Mee pada khususnya, dan sebagai pengembangan bahasa dan budaya papua dalam Negara Kesatuan Republik Indonesia.

Jayapura, 02 Agustus 2019

Nawipa Dance.

## 第 1 章

### メエ語動詞の人称標示と自他の体系

青山 和輝

キーワード：メエ語，パプア諸語，人称標識，一致，主語標識，目的語標識，間接目的語標識、双数，尊敬，受益，共同行為，随伴使役，結合価，他動詞化，自動詞化，自発，自他交替，アクセント

Keywords: Mee language, Papuan languages, person marking, agreement, subject marking, object marking, intransitive object marking, dual, honorific, benefactive, joint-action, sociative causative, valency, transivization, intransitivization, spontaneity, transitivity alternation, accent

1. 概要
2. 動詞と音韻
  - 2.1 語幹
  - 2.2 派生と母音連続
  - 2.3 -i 語幹動詞
3. 主語標示
  - 3.1 主語接尾辞
  - 3.2 主語双数接頭辞
  - 3.3 主語尊敬接頭辞
  - 3.4 その他主語の数を区別する場合
4. 目的語標示
  - 4.1 目的語接頭辞
  - 4.2 間接目的語 I 接頭辞
  - 4.3 間接目的語 II 接頭辞
5. 項を増やす操作
  - 5.1 他動詞派生
  - 5.2 他動詞の使役化
6. 項を減らす操作
  - 6.1 自動詞派生
  - 6.2 自発形
  - 6.3 不定過去
  - 6.4 相互形
7. 自他交替に関する補足
  - 7.1 両極型：軽動詞の交替
  - 7.2 補充型
8. アクセントに関する補論

#### 1. 概要

ニューギニア島で話される言語のうち、沿岸部や島嶼部で話されるオーストロネシア語族の言語を除いたものが消極的にパプア諸語と定義される。長年にわたる言語変化と接触により、パプア諸語における比較言語学的作業は難航しているが (Wichmann 2013)、パプア諸語を特徴づける類型的特徴が指摘される (Foley 1986)。名詞にくらべて動詞の形態論が複雑であるというのがその一つである。

インドネシア・パプア州のニューギニア島高地最西部で話されるメエ語 (パプア諸語トランスニューギニア系) もその例に漏れず、複雑な動詞形態論を有する言語である。筆者は東京外国語大学アジア・アフリカ研究所主催「2018年度言語研修・メエ語 (エカリ語) (2018年9月3日~14日)」、そのフォローアップミーティング (2018年2月5日~9日) および追加調査 (2018年2月13日) において、メエ語を調査する貴重な機会を得た。インフォーマントは Paniai 方言母語話者の Dance Nawipa 氏である。ゼロから始めたのべ 15 日間の調査にすぎず、筆者

のメエ語運用能力も甚だ低い水準にあるのであるが、本稿ではこの調査の成果報告として、先行研究との比較を通じてメエ語動詞の人称標示システムと結合価についての試論を行う。

2節では議論の基礎となる動詞の分類法、派生の際の音変化について議論する。

3節、4節では人称標示について議論する。人称標示は動詞接辞として実現する。名詞の格標示に乏しく、名詞句の語順も比較的融通の利くメエ語においては、文解釈の負荷を軽減する重要な手段であると考えられる。主語標識は時制接辞に後続する接尾辞として、目的語は動詞語幹につく接頭辞として生起する。このO-V-Sという順序自体はパプア諸語で最もよく見られるパターンであるが(Foley 1986:105)、興味深いのは目的語接頭辞(のようなもの)が3系列に分裂していることである。接辞は(1)に挙げる順序で承接する<sup>1</sup>。また実例(2)を見よ。

(1) 否定=主語双数—尊敬—間接II—間接I—目的語—動詞語幹—時制—主語=小詞  
 NEG DU.S HON.S IOII IOI O S

(2) a. *Teeanadootegai.*

te=aa-na-doo-eteg-ai  
 NEG-DU.S-1SG.O-see-DP1-3PL.S  
 彼ら2人は私を見なかった。

b. *Kii yoka kidi aanaaomewei*  
*kii yoka kidi aa-naa-oo-me-wei,*  
 DEM.SG.M child DEM.SG.M DU.S-1SG.IOI-3.IOI-come-IMP.2PL.S  
 あなたがた2人は、その子をわたしの所に連れてきなさい。

c. *Okaiya mege awii naayamoti!*  
*okai-ya mege#awi-i naa-ya-moti*  
 3SG-GEN money#put\_in-INF SG.HON-3.IOII-take.IMP  
 あいつの財布を盗んできてください。

d. *Dokter ki yoka yaapaine dideewa uwii.*  
*dokter ki yoka ya-e-pai-ne didi-owa uwi-i*  
 doctor DET.SG.M child 3.IOII-3.O-bear-PURP sick-house go-INF  
 この医者、出産を手伝うために病院に行く。

<sup>1</sup> おそらく主語双数と尊敬は共起しない。あるいは *niyaa-* [DU.HON.S] を *niya-aa-* [PL.HON.S-DU.S] と分析する可能性もないではない。それ以外の承接順はおそらくこれで確定だが、全ての組合せを調査できたわけではない。Drabbe (1952:§69c) は間接目的語接辞に共起制限があることを示唆している。

5 節から 7 節では動詞の結合価、とくに自動詞と他動詞の形態論的派生関係について議論する。8 節では動詞派生形とアクセントの関係について、データは不十分ながら可能な範囲で分析を行う。

## 2. 動詞と音韻

### 2.1 語幹

動詞の屈折形を語幹と形態素に分割する方法にはいまだ定説がない。本節では Doble (1987) に依拠した語幹・時制接辞の設定法を簡潔に紹介する。

動詞は語幹末母音により 7 種類に分類される。動詞語幹に接辞 *-i* をつけた形が不定形、辞書形である。*-i* 語幹動詞は最低 2 つの語幹を設定しなければならない<sup>2</sup> が、他の動詞はひとつの語幹でいたい全ての屈折形を説明することができる。本章では必要に応じて *bokai, -a* のように辞書形と語幹を併記して示す。

辞書形はアクセントの対立を保持するが(第 8 節) 語幹末母音の長短を保持しないため、辞書形だけでは屈折形を予測しきれない。第 1 語幹+不定過去形-*ta* [IP]はアクセントの対立を必ずしも保持しないが、語幹末母音の長短が反映されるから、これを一緒に覚えればよい。残念ながら「この形を覚えておけば、動詞の語幹長もアクセント型も一度に記憶できて便利」という形は一般的に存在しない。

表 1. Doble (1987) による分類のまとめ

Class	Citation form	1st stem with IP	2nd stem with HAB-1SG.S	Distribution
<i>-i</i> stem	<i>-ii</i> <i>makii</i> “to put”	<i>-i</i> <i>maki-ta</i>	<i>-e-</i> <i>make-ig-a</i>	disyll.
	<i>-ai</i> <i>dagumai</i> “to make a fire”	<i>-i</i> <i>dagumi-ta</i>	<i>-e-</i> <i>dagume-ig-a</i>	trisyll.
<i>-a</i> stem	<i>-ai</i> <i>bokai</i> “to die” <i>pipikai</i> “to rescue”	<i>-a</i> <i>boka-ta</i> <i>pipika-ta</i>	homophonous with 1st stem	disyll. & trisyll.
<i>-aa</i> stem	<i>-ai</i> <i>gai</i> “to think”	<i>-a</i> <i>gaa-ta</i>		monosyll.
<i>-e</i> stem	<i>-ei</i> <i>mei</i> “to come”	<i>-e</i> <i>me-ta</i>		three verbs attested
<i>-ee</i> stem	<i>-ei</i> <i>epei</i> “to follow”	<i>-ee</i> <i>epee-ta</i>		-
<i>-o</i> stem	<i>-ou</i> <i>anigou</i> “to wake up”	<i>-o</i> <i>anigo-ta</i> <sup>3</sup>		few
<i>-oo</i> stem	<i>-ou</i> <i>dou</i> “to see”	<i>-oo</i> <i>doo-ta</i>		-

<sup>2</sup> Kobepa (2015) は語幹末母音の交替にアスペクトの意味を見出してさらに記憶負荷は少なくなる。

<sup>3</sup> 動詞 *anigou* は Doble (1987) では *-o* stem とされるが、我々のデータでは一部 *-oo* stem と同じふるまいをする。たとえば複合動詞の V1 で *anigoyaaawii* となるのは *-o* stem 的であるが、中過去形では *anigoopi* となり *-oo* stem 的である。もともと *-o* stem は少ないから、*-oo* stem への合流が進みつつあるのかもしれない。ここでは、表 1 はあくまで Doble (1987) のデータに依拠しており、細かいところで我々のデータと異同があると指摘するにとどめる。

よく使う単音節動詞 *tai*, -i 「する」、*kai*, -i 「なる」、*nai*, -o 「食べる」は上の分布から外れる例外であるので、特に覚えておくとよい。

語幹と時制接辞の切り分けは本章の主題ではないが、他の文献にも簡単に触れておく。Drabbe (1952) は5種類もの動詞語幹を設定している。Doble および本章の方式では、母音変化を音韻論的に処理することで語幹の総数を少なくしているが、Drabbe は母音の長短が異なるものを全て語幹の違いに還元しているうえ、時制接辞の区切り方にも違いがあり、語幹の総数が多くなっている。また Drabbe の資料ではそれ以降の文献とは異なり *Caai*, *Ceei*, *Coou* のような超重音節が許容されている。たとえば長母音+短母音でも母音縮約が起こらない(記法は変更済)。

(3)	<u>-o stem</u>		<u>-oo stem</u>		
	INF	3SG.M.HAB	INF	3SG.M.HAB	
	<i>tou</i>	<i>tougi</i>	<i>dou</i>	<i>dougi</i>	[我々のデータ]
	<i>tou</i>	<i>tougi</i>	<i>doou</i>	<i>doougi</i>	[Drabbe (1952:74)]

Paginta (2006) は一致標識についての論考であるが、扱っている方言 (Mapia 方言) は Paniai 方言より母音縮約が進んでいるうえ、使われる人称接辞・時制接辞の形も異なる。Drabbe や Doble を参照しておらず、独自性の高い分析を提示しているが、根拠の記述がなく議論のすり合わせが難しい。Kobepa (2015) は語幹末母音にアスペクト的な対立を見出すモデルを提案しているが、これ自体は至近過去 *-g/-p* についての短い論考であり、著者はこれ以外に時制に関する論考を発表していないため、その全体像は全く明らかでない。*-p* の意味論的考察である Marquardt et al (2018) の方式は基本的に Doble (1987) を踏襲しているようだが、遠未来を *-it* と切るなどマイナーチェンジがある。

## 2.2 派生と母音連続

メエ語には短母音が /i, u, e, o, a/ の5つ、対応する長母音が /ii, uu, ee, oo, aa/ の5つ、および上昇二重母音が /ai, au, ei, eu, ou/ の5つ存在する。派生により母音連続が生じた場合、母音変化が生じる。本節ではこれを簡潔に記述する。

### 2.2.1 短母音+短母音

派生により短母音同士が接合した場合、生じた母音連続がメエ語で許容される長母音ないし二重母音であれば、そのまま残る。許容されない連続であれば、適当に同化して変化することが分かった。

表2. 母音連続と変化 (暫定)

	-i	-u	-e	-o	-a
i-	ii	ii	ee	ee	aa
u-	uu	uu	oo	uu	aa
e-	ei	eu	ee	ee	ee
o-	ou	ou	oo	oo	aa
a-	ai	au	aa	aa	aa



## 2.2.2 それ以外

短母音＋長母音は、短母音が延長して長母音＋長母音となり、保たれる。

長母音＋短母音は、低長母音＋高短母音であれば、基本的に長母音が短縮し短母音＋短母音となる。その後は 2.2.1 と同様にふるまう。

(4)	<i>meidaana</i>	<i>dou</i>	<i>auwii ~ aawii</i>
	mee-ida-ena	doo-i	aa-uwi-i
	person-CF-one	see-INF	DU.S-go-INF
	1 人の人、誰か	見る	2 人が行く

低長母音＋低短母音であればそのまま保持されるか、縮約して長母音となる。前者は、たとえば 3.o の有無が分かるように、あるいは 1SG.o と 1SG.IOI の中和を防ぐため、といった形態音韻論的な事情が絡んでいるかもしれない。

(5)	<i>aaedoota</i>	<i>dootegi</i>
	aa-e-doo-ta	doo-eteg-i
	DU.S-3.O-see-IP	see-FP <sub>1</sub> -3SG.M.S
	2 人が彼を見た	彼は見た

## 2.2.3 変異

ていねいに形態素を強調して発音する場合、母音が縮約せず、むしろ伸びる場合がある。構造上のステータスはよく分からない。

(6)	<i>teedoota ~ teedoota</i>
	te=e-doo-ta
	NEG-3.O-see-IP
	彼を見なかった。

## 2.3 -i 語幹の辞書形

Drabbe (1952:34) によると、先の分類でいう -i 語幹動詞はそれ以外の動詞に比べて圧倒的に数が多いという。実は -i 語幹動詞とそれ以外の動詞は、様々な点で異なる振る舞いを見せる（複数命令形がほかの動詞と異なる (3.5 節) など）。

表に挙げた 3 音節動詞 *dagumai* の語幹が *dagumi-* だとすると辞書形は \**dagumii* が予測されるが、実際には *dagumai* となる。つまり -i 語幹の動詞の辞書形は 2 音節で -*ii*、3 音節で -*ai* となるが、実はこのプロセスは生産的であって、2 音節動

詞に何らかの接頭辞がつき 3 音節以上になると、辞書形が *-ai* に変化する。(7a) は目的語接辞、(7b) は主語双数接辞、(7c) は間接目的語 II 接辞の例である。

- (7) a. *yuwii* (話)を聞く : *eyuwai* (人[の話])を聞く;(人)を助ける  
 b. *wagii* 殺す : *aawagai* [2人]が殺す  
 c. *yakii* つかむ : *nayakai* (私のものを)つかむ  
 ただし:  
 d. *motii* 取る : *namotii* 私を取る  
                   \**namotai*

一方、複合動詞全体の長さは辞書形の違いに関与しない。複合動詞は V1 の第 2 語幹に V2 を付加することで形成されるが、この場合、動詞の活用は V2 単独の場合と同じで、全体の長さは問題とならない。V2 が *-i* 語幹であり、かつ複合動詞全体では 3 音節を越えていても、辞書形は *-ii* のままである。したがって動詞の内部構造を把握しておかないと正しい語形をつくることはできない。

- (8) a. *gou* (取る) + *motii* (取る) → *goomotii* (始める)  
                   \**goomotai*  
 b. *nai* (食べる) + *uwii* (行く) → *nouwii* (食べに行く)  
                   \**nouwai*  
 c. *yoonii* (立つ) + *kumii* [ACCOMP] → *yoonikumii* (立たせる)  
                   \**yoonikumai*

### 3. 主語標示

メエ語の動詞は、主語に関する情報を標示する 3 種類の接辞を有する。すなわち、主語の人称・性・数を示す主語接尾辞 [S] (3.1 節)、主語が双数であるときにだけ出現する主語双数接頭辞 [DU.S] (3.2 節)、尊敬の対象に働きかけるときに出現する主語尊敬接頭辞 [HON.S] (3.3 節) である。

#### 3.1 主語接尾辞

主語接尾辞は時制接辞に後続し、主語の人称、性、数を標示する。単数と複数 (2 人以上)

表 3. 主語一致接辞

		SG	PL
1		<i>-a</i>	<i>-e</i>
2		<i>-e</i>	<i>-aa</i>
3	M	<i>-i</i>	<i>-ai</i>
	F	<i>-a</i>	

が区別され、加えて 3SG で男女が区別される。1SG と 3SG.F、1PL と 2SG は同形である<sup>4</sup>。

ただし全ての動詞屈折形につくわけではなく、*-g-/p-*で終わる時制接辞<sup>5</sup>にのみ後続する。先行研究のあいだで時制形式の認定方法に異同があるが、ここでは Doble (1978) の方式を採用している。

表 4. 主語接尾辞と時制接辞の関係

主語接尾辞をとるものの例			主語接尾辞をとらないものの例		
<i>-ig</i>	現在習慣	HAB	<i>-i</i>	不定形	INF
<i>-eg</i>	近過去	RP	<i>-ete</i>	現在進行	PROG
<i>-p</i>	中過去	MP	<i>-ta</i>	不定過去	IP
<i>-eteg</i>	遠過去I	DP <sub>1</sub>	<i>-make</i>	可能	POSS
<i>-emeg</i>	遠過去II	DP <sub>2</sub>	<i>-doke/-daa</i>	自発	SPN
<i>-pig/-pag</i>	近未来I	NF <sub>1</sub>			
<i>-neeg</i>	近未来II	NF <sub>2</sub>			
<i>-t/-tag</i>	遠未来	DF			

メエ語の人称代名詞は非人間を指すことができないが、主語人称標識は非人間にも一致する。人間は生物学的性に準じて男女に分類され、動物や無生物は、大きなもの・価値の高いもの・文脈上重要なものが女性、逆に小さいものが男性に分類される。動物であってもこの意味的基準が生物学的性に優越し、たとえば大きな豚は（生物学的性がオスであろうと）文法的には女性とされる<sup>6</sup>。

- (9) a. *Okai ki bokapi.*                      b. *Okai ko bokapa.*  
       *okai ki boka-p-i*                              *okai ko boka-p-a*  
       3SG    DET.SG.M   die-MP-3SG.M.S        3SG    DET.SG.F   die-MP-3SG.F.S  
       彼は死んだ。                                      彼女は死んだ。

<sup>4</sup> 1人称と2人称、とくに1人称非単数と2人称単数の標識が同形となる現象は、1人称で包括と除外を区別しないパプア諸語に多く見られる (Foley 1986: 72)。Herce (2018) も参照のこと。

<sup>5</sup> メエ語はパプア諸語の例に漏れず (Foley 1986: §5.5) 時制の区別が煩雑で、特に過去時制と言えそうな形式は、当日の出来事を表す近過去*-eg*、昨日の出来事を表す中過去*-p*、それ以前の出来事を表す遠過去 I *-eteg* および遠過去 II *-emeg*、そして不定過去*-ta* の少なくとも5種類がある。発話時点からの距離で過去時制を三分する構造はニューギニア高地東部のエンガ語にも見られ、紙村はこの動機を次のように考察している。おそらく、エンガ族にとっての重大関心事である互酬性交換のタイプ、すなわち直接交換か、1両日中に返酬せねばならないか、もしくは、もっと後日に返酬してよい遅延交換か、といった人間関係の平和友好維持システムと関係しているのだろう。(紙村 1993: 50)

ニューギニア高地に居住する民族の経済システムには広く互酬性が組み込まれている (see. Brown 1978)。高地最西部のメエ族の伝統社会にも互酬性が見られ (Pospisil 1958)、同様の動機付けが可能かもしれない。

<sup>6</sup> Drabbe (1952: §8) は「人間や、性別の観察しやすい大きな動物は自然性による。物を指す語は代名詞や動詞との一致において適宜男性か女性をとるが、女性の方が選好される。身体部位は保有者の性別による」と述べ、物に適用される男女の基準については詳しく述べていない。Doble (1987) は男性を“masculine and general”、女性を“feminine and large things”と簡潔に記す。

また発話時点で主語の指示対象がはっきりしない場合は、1人である可能性があっても3PLが用いられる（3PL.Sの不定人称用法）。

- (10) a. *Maa manaa ewaa keegaa?*  
 maa mana ewaa ka-eg-a-R?  
 what word existence become-RP-3SG.F.S-Q  
 — *Meino bokapai manaa.*<sup>7</sup>  
 mee-ino boka-p-ai mana  
 person-other die-RP-3PL.S word  
 何があった？—誰か死んだらしい。

- b. *owaa kugu duba mee beu topai.*  
 owaa kugu duba mee beu to-p-ai.  
 house room in person NEG stay-MP-3PL.S  
 部屋に誰もいない。<sup>8</sup>

### 3.2 主語双数接頭辞

前節でみた主語接尾辞では、数は単数（1人）と複数（2人以上）だけが区別されるが、それとは独立に主語双数を標示する接頭辞 *aa-* [DU.S] が存在する。否定接辞より内側、目的語接辞などより外側につく。

DU.S はよく一人称包括最小数（話し手+聞き手）の表現として使われるため、覚えておくと便利である。

- (11) *Ewaa<sup>9</sup> kipa ko telefon daiga aawegai.*  
 ewa ki-p-a ko telefon daiga aa-wega-i  
 existence become-COND-3SG.F DET.SG.F telephone through DU.S-talk-INF  
 電話があるなら話そうよ。

<sup>7</sup> メエ語では末母音の延長がいくつかの機能を担っているらしい。たとえば「疑問文の文末母音が延長する」のもその一つである。この部分は *mana* 「事、言葉」から *manaa* 「～らしい」、*dimi* 「意志、欲望」から *dimii* 「～したい」のようなモダリティ要素をつくり出す操作と言うこともできるが、おそらく「修飾された名詞の語末音節が伸びる」という、より一般的な現象に還元して説明するのが良いであろう。

<sup>8</sup> *tou* “to stay” の（本稿で言うところの）中過去形 *-p* は存在述語「ある」として使われる。Doble (1987:93) などは現在時を指す特殊な用法として扱っているが、Marquardt et al (2018) は *-p* を perfect marker とし、様々な用法を統一的に分析することに成功している。

<sup>9</sup> 名詞的要素が動詞 *kai* “to become” と連合するとき語末母音が規則的に延長する。特に機能はない。

軽動詞をとる構造では、DU.S 接頭辞が(12a)のように名詞的成分につくか(12b)のように軽動詞につくかで揺れが観察される。方言で好まれる位置が異なる場合もあり、Nawipa 講師の方言では必ず(13a)のように言われるが、別の地域では例(13b)<sup>10</sup>が聞かれるとのことである(このような揺れは否定 *te=* にも観察されるが、本稿では詳述しない)。

- (12) a. *Aamei beu tita.*  
 aa-me-i beu ti-ta  
 DU.S-come-INF NEG do-IP  
 2人が来なかった
- b. *Mei beu aatita.*  
 me-i beu aa-ti-ta  
 come-INF NEG DU.S-do-IP
- (13) a. *Aanagainnee gaate.*  
 aa-naga-i-nee gaa-ete  
 DU.S-1SG.O.kill-INF-PURP think-PROG
- b. *Nagainnee aagaate.*  
 naga-i-nee aa-gaa-ete  
 1SG.O.kill-INF-PURP DU.S-think-PROG  
 2人は私を殺そうと思っている

### 3.3 主語尊敬接頭辞

様々な言語で、命令法は直説法と異なる仕方で主語人称・数を標示することが知られているが、メエ語でも 3.3 節、3.4 節で述べるような、命令に類する表現でのみ見られる主語標示の方策がある。主語尊敬接頭辞 [HON.S] は尊敬すべき対象にアドバイスする文でのみ使われる特殊な接辞で、主語の数を標示する。Nawipa 講師によると最近の世代はあまり使わない表現という。

たとえば動詞 *animakai*「座る」を用いて、尊敬すべき相手に対して「どうぞ座ってください」と言いたい場合は、辞書形の命令用法と組合せて次のようになる。

表 5. 主語尊敬接辞

	SG	DU	PL
subject	<i>naa-</i>	<i>niyaa-</i>	<i>nee-</i>

<sup>10</sup> 理屈上は *nagainnee gaate* が予測されるが、講師の母方言ではないので不詳。

- (14) 「どうぞ座ってください」
- |                      |                        |                      |
|----------------------|------------------------|----------------------|
| 相手が 1 人              | 相手が 2 人                | 相手が 3 人以上            |
| <i>náanimakai</i>    | <i>niyáanimakai</i>    | <i>néanimakai</i>    |
| <i>naa-animaka-i</i> | <i>niyaa-animaka-i</i> | <i>nee-animaka-i</i> |
| SG.HON-sit-INF       | DU.HON-sit-INF         | PL.HON-sit-INF       |

一見すると *naa-/nee-* は後述する間接目的語 I 接辞 1SG.IOI/1PL.IOI と同形で、「私と一緒に座ってください」のような受益的意味から尊敬用法が派生したのではないかとも思われる。しかし実際には (14-15) に見るようにアクセントが異なるし、*niyáanimakai* や *néanimakai* は話し手 (1 人称) ではなく聞き手 (2 人称) が 2 人、3 人以上のときに用いられる表現であるので、受益からの意味変化で説明するのは困難である。

- (15) 「私と一緒に/私たちの代わりに/私たちと一緒に座ってください」
- |                      |                       |                      |
|----------------------|-----------------------|----------------------|
| <i>naanimakai</i>    | <i>niyaanimakai</i>   | <i>neeanimakai</i>   |
| <i>naa-animaka-i</i> | <i>niya-animaka-i</i> | <i>nee-animaka-i</i> |
| 1SG.IOI-sit-INF      | 1PL.IOII-sit-INF      | 1PL.IOI-sit-INF      |

この接辞は全ての動詞と共起するわけではないようで、たとえば「どうぞ召し上がってください」と言いたいとき動詞 *nai*, -o 「食べる」に同様の接辞をつけても駄目で、軽動詞 *tai* を囁ませた迂言的な構文を使う必要がある。また (17) を見よ。

- (16) 「どうぞ召し上がってください」
- |                     |                       |                     |
|---------------------|-----------------------|---------------------|
| 相手が 1 人             | 相手が 2 人               | 相手が 3 人以上           |
| <i>náanootai</i>    | <i>niyáanootai</i>    | <i>néanootai</i>    |
| <i>naa-noo-ta-i</i> | <i>niyaa-noo-ta-i</i> | <i>nee-noo-ta-i</i> |
| SG.HON-eat-do-INF   | DU.HON-eat-do-INF     | PL.HON-eat-do-INF   |

cf. *náanai*  
*naa-na-i*  
 1SG.IOI-eat-INF  
 一緒に食べよう。 / \*召し上がってください。

- (17) *Okaiya mege awii oma naayamotii ko enaa.*  
*okai-ya mege#awi-i oma naa-ya-moti-i ko enaa*  
 3SG-GEN money#put\_in-INFstealing 1SG.HON.S-3.IOII-take-INF DET.SG.F good  
 あいつの財布を盗むとよいですよ。

### 3.4 その他主語の数を標示する場合

命令表現の作り方においても、聞き手の数が区別される (cf. Doble1987:94-5)。  
 メエ語は動詞不定形を述語として命令を表すことができるが、命令特有の形も存在し、相手の数により形式が変化する。以下のように、-i 語幹動詞とそれ以外の動詞で異なる形をとる。

- (18) a. -i 語幹動詞：不定形の -ii を -ei に変える

2SG.S.IMP	2PL.S.IMP	
<i>Uwi(i)!</i>	<i>Uwei!</i>	行って!
<i>Wagi(i)!</i>	<i>Wagei!</i>	殺して!
<i>Dagumi!</i>	<i>Dagumei!</i>	火をつけて!

- b. それ以外の動詞：語幹に -wei を付加する

2SG.S.IMP	2PL.S.IMP	
<i>Mei!</i>	<i>Mewei!</i>	来て!
<i>Dou!</i>	<i>Doowei!</i>	見て!

## 4. 目的語標示

メエ語の動詞は、目的語 [o]、間接目的語 I [ioi]、間接目的語 II [ioii]、それに前節でみた主語尊敬 [HON.S] という音形のよく似た 4 系列の接頭辞<sup>11</sup>を持っている。これらの接頭辞は、主語接尾辞とは異なり、3 人称で性・数が区別されない一方、人間と非人間を区別し、指示対象が非人間である場合には使われない。この意味的性質は人称代名詞と同一であり、また音形も並行的であることから、これらの接辞は人称代名詞起源と推測される。

以下の比較から分かる通り、一部全く同じ音形をとり、母音始まりの動詞語幹に接頭したときにはさらに多くが中和するが、実際にはその多くがアクセントで識別されている (8 節)。

<sup>11</sup> Doble (1987) は 3 系列挙げており、尊敬の接頭辞に言及はない。Drabbe (1952:36) は 4 系列の接頭辞に言及しているが、我々の得たデータとは微妙に音形や用法が異なるし、アクセントに関する記述もない。特に尊敬接辞については先行研究に記載がないように思われる。

(19)	PRON <sup>12</sup>	O	IOI	IOII	HON.S
1SG	<i>ani</i>	<i>na-</i>	<i>naa-</i>	<i>na-</i>	<i>naa-</i> [SG]
1PL	<i>inii</i>	<i>ni-</i>	<i>nee-</i>	<i>niya-</i>	<i>niyaa-</i> [DU] <i>/nee-</i> [PL]
2SG	<i>aki</i>	<i>ka-</i>	<i>kaa-</i>	<i>ka-</i>	
2PL	<i>ikii</i>	<i>ki-</i>	<i>kee-</i>	<i>kiya-</i>	
3	<i>okai</i> [SG] <i>/okei</i> [PL]	<i>e-</i>	<i>oo-</i>	<i>ya-</i>	

#### 4.1 目的語接頭辞

##### 4.1.1 一項他動詞

目的語接頭辞 [o] は表 6 のような形で現れる。主語接辞とは異なり接頭辞であるから、時制接辞とは隣接せず、時制接辞がなんであろうと義務的に付けられる。

表 6. 目的語接辞

	SG	PL
1	<i>na-</i>	<i>ne-</i>
2	<i>ka-</i>	<i>ke-</i>
3	<i>e-</i>	
NON-HUMAN	<i>Ø-</i>	

子音始まりの動詞語幹に接続する場合、音変

化は発生しない。母音始まりの動詞語幹に接続する場合は、母音連続が生じ、規則的な母音変化を起こす (2.2 節)。たとえば/aa/は許容されるのでそのまま残るが、/ea/は許容されず、/ee/に変化する。

(20) *anigou* 「起きる」に対して：

<i>naanigou</i>	<i>neenigou</i>
<i>na-anigo-u</i>	<i>ne-anigo-u</i>
1SG.O-wake-INF	1PL.O-wake-INF
私を起こす	私達を起こす

3人称で性・数が区別されない一方、人間と非人間が区別され、目的語の指示対象が人間である場合のみ標示される<sup>13</sup>。たとえば例 (21abc) はいずれも *dou* 「見る」を主動詞とするが、目的語が「イス」「ブタ」の場合は目的語接辞が現れず、「先生」の場合は現れる。

<sup>12</sup> 比較に関係のない双数代名詞は省いてある。

<sup>13</sup> したがって他動詞が必ず他動詞接辞をとるわけではないし、他動詞接辞をとらないからといって他動詞でないわけでもない。



(21) a.	<i>kursi</i>	<i>kou</i>	<i>doota.</i>	そのイスを見た。
	<i>kursi</i>	<i>kou</i>	<i>doo-ta</i>	
	<i>chair</i>	DEM.SG.F	<i>see-IP</i>	
b.	<i>ekina</i>	<i>kou</i>	<i>doota.</i>	そのブタを見た。
	<i>ekina</i>	<i>kou</i>	<i>doo-ta</i>	
	<i>pig</i>	DEM.SG.F	<i>see-IP</i>	
c.	<i>kuduu</i>	<i>ki</i>	<i>edoota.</i>	先生を見た。
	<i>kuduu</i>	<i>ki</i>	<i>e-doo-ta</i>	
	<i>teacher</i>	DEM.SG.M	3.O-see-IP	

動詞によっては *ekina e-epei* 「ブタを追う」など動物に一致を示すものもあり、*yoka (e-)pai* 「子どもを産む」のように人間を対象とするのに接辞が任意となるものもあるようだが、こうした周辺的な事例はデータが乏しく、全体像は見えない。

#### 4.1.2 二項他動詞

*e-topai* 「教える」、*e-muwakai* 「見せる」などの二項他動詞 (ditransitive verb) において、この接辞は動作の対象や主題ではなく受領者 (recipient) に一致する。すなわちメエ語の動詞人称標示のアラインメント<sup>14</sup>は対格型 (accusative; S=A≠P) かつ二次型 (secundative; P=R≠T) ということになる (see also: Siewierska 2004:358)。

(22)	<i>Ani Papua kaa mee kaa Mee mana natopipi.</i>
	<i>ani papua kaa mee kaa mee mana na-topi-p-i</i>
	1SG Papua GEN person GEN Mee language 1SG.O-teach-MP-3SG.M.S
	私はパプア人の男からメエ語を教わった。
	Lit. 私にはパプア人の男がメエ語を教えた。

これらの動詞は語義上、受領者として非人間をとることがなく、常にいずれかの接頭辞がついた形で生起するため、辞書には *e-topai* のような 3.0 接辞のついた形式で載せられる。

#### 4.1.3 不規則動詞

予測できないパラダイムをもつ動詞は以下の 3 動詞である。

<sup>14</sup> 動詞における人称一致標識はこのようになるが、名詞に標示される格は基本的に主格・対格ともゼロで中立型といってよい。ただし他動詞節において属格標識を動作主標識のように用いることがある。

表 7. 不規則動詞のパラダイム

<i>wagii</i>	SG	PL		<i>menii</i>	SG	PL		<i>etii</i>	SG	PL
1	<i>nagii</i>	<i>nigii</i>		1	<i>naimai</i>	<i>niimai</i>		1	<i>natii, enii</i>	<i>nitii</i>
2	<i>kagii</i>	<i>kigii</i>		2	<i>kanii</i>	<i>kinii</i>		2	<i>katii</i>	<i>kitii</i>
3	<i>wagii</i>			3	<i>menii</i>			3	<i>etii</i>	

一項他動詞 *wagii* 「叩く、殺す」は、1, 2 人称では一致標識のようなものが分析できそうだが、3 人称で接辞が分析できない。人間／非人間の区別もされない。

二項他動詞 *menii* 「与える」は1 人称を受領者とするときに全く異なる語幹に交替する<sup>15</sup>。この動詞でも目的語一致標識は受領者の方に一致する。

- (23) *Aniya okaapa aki ki menita. /\* kanita.*  
*ani-ya okai-epa aki ki meni-ta kani-ta*  
 1SG-GEN 3SG-place 2SG DET.SG.M 3.O-give-IP 2SG.O-give-IP  
 私は彼（彼女）にお前を与えた。

発話動詞 *etii* 「言う、伝える」は、発話内容を節でとり、発話の受取手を目的語接辞で標示するが、規則的な形式に加えて 1SG にのみ *enii* という変種がある<sup>16</sup>。

本稿で扱う接辞のなかで、目的語一致接辞は動詞語幹に隣接する唯一の要素であり、不規則を生み出す唯一の要素でもある。主語接辞や間接目的語 I/II 接辞は、(1) の配列から明らかであるように、語の内部構造上動詞語幹に隣接しておらず、実際動詞語幹との組合せで不規則を生むこともない。

#### 4.1.4 再帰

一般にメエ語では (24b) のように s と o を同一指示にすることができず、(25a) のように *akaato* 「自身」を目的語として用いて再帰的な状況を表す。つまり主語が何であっても、形式上は常に 3 人称目的語接辞をとることになる。

- (24) a. *akaato wagiita.*  
*akaato wagi-i-t-a*  
*self 3.O.kill-INF-DF-1SG.S*  
 私は自殺する。
- b. \*(*akaato*) *nagiita.*  
*akaato nagi-i-t-a*  
*self 1SG.O.kill-INF-DF-1SG.S*

<sup>15</sup> Doble (1987:83) には 1SG に *yokai* という形もあがっている。この語は Drabbe (1952:41) にも挙げられているが、こちらでは 1SG も 1PL も *yokai* で行けるとある。

<sup>16</sup> Drabbe (1952:41) には 1PL も *enii* で行けるとある。

## 4.2 間接目的語 I 接頭辞

間接目的語 I 接頭辞 [IOI] は受益態をつくる接辞であり、様々な動詞に自由に付加することができる。全て長母音を持つことが特徴的である。母音始まりの動詞語幹に接続するときも、母音の質が異なる場合は縮約せず残る場合が多い。

表 8. 間接目的語 I 接辞

	SG	PL
1	<i>naa-</i>	<i>nee-</i>
2	<i>kaa-</i>	<i>kee-</i>
3	<i>oo-</i>	

機能的には受益態の一種であり、ある出来事が s+IOI (s の指示対象と IOI の指示対象の和集合) に対して利益をもたらすことを示すが、ある行為自体が s+IOI によって行われることを示すのにも用いられる。

### 4.2.1 受益「sがs+IOIのために～する」

s の行為が s+IOI に対して受益的であることを示す。受益対象が IOI ではなくあくまで s+IOI であることに注意せよ。(25) に見るとおり、1SG.IOI のような単数接辞をとっていても、受益対象は最小で 2 人となる。

- (25) *Naagaayaawege. ~ Nagayawege.*  
*naa-gaa-yaawe-eg-e*  
 1SG.IOI-think-ACCOMP-RP-2SG.S  
 ありがとうございます。  
 Lit. あなたは、あなたと私のために熟慮した。

### 4.2.2 共同「sがIOIとともに～する」

受益の含意は必ずしもなく、s が IOI と共同して行為を行うことを示す。最初から s+IOI を主語とした場合に比べて、s が行為を主導するという含みがある。随伴使役「s が IOI と一緒に～する」のように訳すべき場合も含まれる。

- (26) *Naitai ki inii Paniai neumigoota.*  
*naitai ki inii Paniai nee-umigoo-ta*  
*my\_father DET.SG.M 1PL Paniai 1PL.IOI-accompany-IP*  
 父は私たちとともにパニアイに行ってくれた。

特に話し相手を IOI でとる *oowegai* 「s が IOI と話す」、英語で他動詞となる随伴使役 *ouwii* 「s が IOI を連れていく」、*oomei* 「s が IOI を連れて来る」などは重要。

(27) a. *Oowegapi.*

oo-wega-p-i

3.IOI-speak-MP-3SG.S

彼 *i* は彼 *j* と話した。 [*i* ≠ *j*]

b. *Anii naaweemegai.*

ani naa-uwi-emeg-ai

1SG 1SG.IOI-go-DP<sub>2</sub>-3PL.S

彼らは [動けなくなった] 私を連れて行ってくれた。

共同行為を表す接辞であるから、実際の行為者は *s* ではなく *s+IOI* であり、主語と行為者のあいだにねじれが生じてくる。メエ語は主題が比較的卓越していて、よく後者が主題として生起する。たとえば (28a) は講師の語りに出現した文例であるが、主題として 1PL 代名詞を補ってよい (28b)。

(28) a. *Idibaago naago ko owaapa yoko neemeemegai.*

idibi-ago naago ko owa-epa yoko nee-me-emeg-ai

five-th day DET.SG.F house-place back 1PL.IOI-come-DP<sub>2</sub>-3PL.S

5日目に私たちは家に連れて帰ってきてもらった。

5日目に私たちは [彼らの主導で] 家に帰って来た。

b. *Inii ke [...] yoko neemeemegai.*

inii ke yoko nee-me-emeg-ai

1PL DET.PL.M back 1PL.IOI-come-DP<sub>2</sub>-3PL.S

### 4.3 間接目的語 II 接頭辞

間接目的語 II 接辞 [IOII] は尊敬接頭辞より内側、間接目的語 I 接辞より外側につく。1SG.IOII と 2SG.IOII はそれぞれ目的語接辞 1SG.O、2SG.O と同じ音形を持つが、多くの場合アクセントによって区別される (8.4 節)。

機能的には、主語を含まない集団に利益/被害が及ぶことを示唆する。IOI とは対照的に、s の指示対象の集合と IOII の指示対象の集合の対立が焦点となる。この対立関係が「行為者代替解釈」と「所有者代替解釈」のいずれかに解消される。

表 9. 間接目的語II接辞

	SG	PL
1	<i>na-</i>	<i>niya-</i>
2	<i>ka-</i>	<i>kiya-</i>
3	<i>ya-</i>	

#### 4.3.1 行為者代替「本来IOIIが行うべき行為を、代わりにsが行う」

行為者代替解釈は、意志的な行為を表すのであれば、基本的にどのような動詞とも共起する。行為者代替解釈は受益のニュアンスをもつことが多く、そうすると結局「~のために」と訳せて、間接目的語 I と似通った意味の文になる。以下の例を比較せよ (上行 IOI、下行 IOII)。(29d) は聖書におけるイエスを想起せよ。

- |         |                 |                  |                    |            |
|---------|-----------------|------------------|--------------------|------------|
| (29) a. | <i>edai</i>     | 買う               | <i>naaedai</i>     | 私のために買う    |
|         |                 |                  | <i>naedai</i>      | 私の代わりに買う   |
| b.      | <i>dugi you</i> | 料理する             | <i>dugi naayou</i> | 私のために料理する  |
|         |                 |                  | <i>dugi nayou</i>  | 私の代わりに料理する |
| c.      | <i>kei tai</i>  | 働く <sup>17</sup> | <i>naakei tai</i>  | 私のために働く    |
|         |                 |                  | <i>nakei tai</i>   | 私の代わりに働く   |
| d.      | <i>bokai</i>    | 死ぬ               | <i>naabokai</i>    | 私のために死ぬ    |
|         |                 |                  | <i>nabokai</i>     | 私の代わりに死ぬ   |

動詞の組合せによっては「IOII が~するのを s が助ける」のような随伴使役のように解釈される。

- (30) *Ukame dokterka yoka yaapaine* *dideewa uwii.*  
*ukame dokter-ka yoka ya-e-paa-i-ne* *didi-owa uwi-i*  
 mother doctor-GEN child 3.IOII-3.O-give\_birth-PURP sick-house go-INF  
 母は、医者に子どもを産むのを助けてもらうために病院に行った。<sup>18</sup>  
 Lit. 母は [医者が、母が子どもを産むのを助ける] ために病院に行った。

<sup>17</sup> 付加部+動詞からなる複合動詞では、基本的に動詞のほうに接頭辞が付加するが、*kei tai* は一体化しており、例外的にこの位置に接頭辞がつく。

<sup>18</sup> 不定形は語りの中で過去の出来事を指すのにも用いられる。

#### 4.3.2 所有者代替「本来IOIIに所有権のある物を、代わりにSが操作する」

他動詞、特に目的語に被害を与えるような動作を表す動詞であれば、行為者代替解釈に加えて所有者代替解釈も生まれる。日本語に訳すときは、ちょうど所有者受身、被害の受身に該当することが多い。いわゆる所有者上昇 (possessor-raising) に似た現象であるが、別に属格名詞句で所有者を明示しても良いし、そうすると行為者代替解釈を排除できてよい。

- (31) *Mege awii oma namotita.*  
*mege#awi-i oma na-moti-ta*  
*money#put\_in-INF stealing 1SG.IOII-take-IP*  
 誰かの財布を私の代わりに盗んだ [行為者代替]  
 私の財布を盗んだ [所有者代替]

非意図的な行為や非人間による行為についても同様に標識可能である。

- (32) a. *Okai ki dou beudaiga aniya ekina nawagita.*  
*okai ki doo-i beu-idaiga ani-ya ekina na-wagi-ta*  
*3SG DET.SG.M see-INF NEG-through 1SG-GEN pig 1SG.IOII-3.O.kill-IP*  
 彼が間違って私の豚を殺した。
- b. *Ani ki amaatabinee kaa emo naduwaagai.*  
*ani ki amaatabinee kaa emo na-duwa-eg-ai.*  
*1SG DET.SG.M leech INSTR blood 1SG.IOII-cut-RP-3PL.S*  
 私はヒルに血を吸われた。

例 (33) でこの接辞は「誰のものかは分からないが、少なくとも主語の指示対象の管理下にはないものである」という含みを持たせている。IOII 接辞のこなれた用法という感じがしてよい。

- (33) *Ani yanai!*  
 ani ya-nai  
 1SG 3.IOII-eat.INF  
 [私のものではないが] 食べてしまおう！

## 5. 項を増やす操作

前節までに見たように、メエ語動詞はなかなか複雑な形態論を有しているが、自動詞化・受動化・使役化といったヴォイスに関しては未発達である。言い換えればヴォイスのみに特化した操作が少ないということであり、アスペクト・モダリティなど別の範疇と密接に絡み合っ、複雑な様相を呈している。5節では動詞の結合価を増加させる操作、6節では結合価を減少させる操作について広く検討していく。

### 5.1 他動詞化

自動詞の他動詞化は、メエ語のヴォイス関連では際立ってよく見られる操作である。ここでは「完結補助動詞の付加」と「目的語接辞の付加」に分けて考察していく。

#### 5.1.1 完結補助動詞

メエ語では様々な機能を持つ補助動詞が発達している。その中でも完結[ACCOMP]を表す補助動詞は自動詞を他動詞化するのに用いられる。これは有界化(bounding)の機能と関連があると考えられる。

表 10. -ACCOMP による自他交替の例

自動詞: V		他動詞: V-ACCOMP	
<i>goo tai</i>	落ちる	<i>goo tiyaawii</i>	物を落とす
<i>igai</i>	なくなる	<i>igayaawii</i>	物をなくす
<i>mei</i>	来る	<i>meyaawii</i>	物を持って行く
<i>yoonii</i>	立つ	<i>yooniyaawii</i>	物を立てる

この「他動詞化」に使われる完結補助動詞はひとつではない。最も生産性が高いのは *-yaawii* だが、*-kumii*、*-makii* など他にも同じ機能を持つ補助動詞がいくつかあり、しかも多くの場合交換可能である。(34a) は他動詞に完結補助動詞がついた例、(34b) は自動詞に完結補助動詞がつき、他動詞化した例を挙げてある。

- (34) a. *wei*, -e                    植える                    b. *yoonii*                    立つ  
       *weyaawii*                    植え切る                    *yooniyaawii*                    立てる  
       *wemakii*                    植え切る                    *yoonikumii*                    立てる

ひとつの自動詞に対して複数の他動詞化接辞を想定するのは文法理論によっては好ましくないこともある。その場合、これらはいくまでアスペクト修飾要素であり、項が増えるのはその効果のひとつとするのが穏当かもしれない。

### 5.1.2 目的語接辞

目的語接辞 (4.1 節) はその動詞が目的語をとること、すなわち他動詞であることを示す。メエ語にはこの目的語接辞のみで他動詞であることが示される動詞対がかなりある。もともと、目的語接辞は人間を対象とする場合にしか使われないから、これは人間を対象とする出来事を叙述する動詞対に限られる。

また既に述べたように、間接目的語 I 接辞 (4.2 節) によって他動詞が派生しているとみなしてよいような動詞対がある (随伴使役の例)。目的語接辞だけではダメで、完結補助動詞と共謀して他動詞化するものもある (表 12)。

表 1 1. O-, IOI- による自他交替の例

自動詞: V		他動詞: O-V	
<i>anigou</i>	起きる	<i>eenigou</i>	人を起こす
<i>podomai</i>	出る	<i>epodomai</i>	人を追い出す
<i>topii</i>	学ぶ	<i>etopai</i>	人に教える
自動詞: V		他動詞: IOI-V	
<i>mei</i>	来る	<i>oomei</i>	人を連れて来る
<i>uwii</i>	行く	<i>ouwii</i>	人を連れていく

表 1 2. O-...-ACCOMP による自他交替の例

自動詞: V		他動詞: O-V-ACCOMP	
<i>anigou</i>	起きる	<i>eenigoyaawii</i>	動物を起こす
<i>onii</i>	沈む [意志的]	<i>eeoniyaawii</i>	人を沈める
<i>kiyai tai</i>	笑う	<i>kiyai etiyaawii</i>	人を笑わせる
<i>yege tai</i>	泣く	<i>yege etiyaawii</i>	人を泣かせる
<i>yoonii</i>	立つ	<i>eyooniyaawii</i>	人を立たせる

完結補助動詞は、他動詞化の役割を持つときもアスペクト修飾機能を失っていない。たとえば *eenigou* 「人を起こす」には-ACCOMP がついていないが、必ずしも



動作の完結を含意しない。たとえば次のような会話が（日本語と同じように）問題なく成立する。<sup>19</sup>

- (35) A: *Maagiyoo kaa tenaanigoopee?*  
           *maagiyoo kaa te=na-anigoo-p-e-R*<sup>20</sup>  
           what INSTR NEG=1SG.O-wake-MP-2SG.S-Q
- B: *Kaanigoopa kodeya aki ki teenigoope.*  
       *ka-anigoo-p-a kodeya aki ki te=anigoo-p-e*  
       2SG.O-wake-MP-1SG.S but 2SG DET.SG.M NEG=wake-MP-2SG.S
- A 「なんで起こしてくれなかったの」  
 B 「起こしたけど、起きなかったんだよ」

「動物を起こす」に相当する表現は常に-ACCOMP つきの形 *eenigooyaawii* で現れる。人間は、他人が起こそうとしても、それを拒んで起きない自由意志を持つ。動詞 *eenigou* は「起こそうとする」という働きかけを含意するが、「それを承諾して起きる」という結果状態の実現までは含意しないのだと言える。一方、動物を起こす際にはそのような事態は想定されないから、*eenigou* を用いることはできないということであろう。

いずれにせよ、メエ語においてはヴォイスとアスペクトの境界が明確でなく、適切な記述を行うには、語彙的アスペクトを絡めた包括的な調査が必要となる。

## 5.2 他動詞の使役化

他動詞を使役化する手段は一般に存在しない。4.3 節および 4.4 節で言及したように、間接目的語 I/II 接辞が一種の使役的解釈を生むことはあるが、あくまで二次的である。本節ではそれ以外に際立った手段を挙げる。

不規則動詞 *menii* 「与える」は作成動詞と組合せて「作成物を与える」の意味を示す (36a)。作成動詞以外の動詞とは基本的に共起しないが (36b)、一部の動詞と組合せると使役化のような機能を果たす (36c)。

<sup>19</sup> Marquardt et al (2018:§3.4) によると、*migi* “to build” などの達成動詞の -p 形は動作完結の含意を打ち消すことができるが、*igai* “to lost” のような到達動詞では不可能、すなわち参照時点まで「なくした」という結果状態が残存していなければいけないという。とするとこの議論は動詞の性質というより -p の性質に帰されるべきものかもしれない。

<sup>20</sup> 疑問詞疑問文では文末の母音が長母音化する。ここでは長音を表す符号として R を用いた。

- (36) a. *you, -oo* 料理する *yoomenii* 料理して、それをあげる  
       *wagii* 殺す *wagimenii* 殺して、それをあげる  
       *dou, -oo* 見る、探す *doomenii* 探して、見つかったものを渡す
- b. *tapii* 閉める *\*tapimenii*  
       cf. *yatapii* 閉めてあげる
- c. *yuwii* 聞く *yuwimenii* 聞かせる  
       ex. 鳥が鳴いている場所まで連れていく  
       *nai, -o* 食べる *nomenii* 食べさせる  
       ex. *nonaimai!* 食べさせてくれ!

不規則動詞 *etii*「伝える」を用いて使役事態を疑似的に表現することは可能だが、当然使役動作の完遂も、被使役者の同意も含意しない。

- (37) a. *Aki ki ani okai wagii enita.*  
       *aki ki ani okai wagi-i eni-ta*  
       2SG DET.SG.M 1SG 3SG 3.O.kill-INF 1SG.O.tell-IP  
       君は私に、彼を殺せと言った。
- b. *Aki ki ani bedo mana kou yuwi enita.*  
       *aki ki ani bedo mana kou yuwi eni-ta*  
       2SG DET.SG.M 1SG bird voice DEM.SG.F hear.IMP 1SG.O.tell-IP  
       君は私に、鳥の声を聞けと言った。

## 6. 項を減らす操作

メエ語には動詞の結合価を減らす操作がほとんど見当たらない。自発接辞 *-daa/-doke* を他動詞に付加すると、動作主を表す項が削除され結合価がひとつ減るが、これ以外に目立ったものが存在しない。

また、メエ語は受身をもたない。意味的に受身に相当する手段はいくつかあり、不定人称用法を持つ 3PL.S を用いたり、主語標識を取らない時制接辞（特に不定過去 IP）を用いて主語を非明示化することで、よく動作主の背景化が行われる。受益的受動文「～してもらった」は IOI を（4.3 節）、所有受動文「…を～された」は IOII を利用することで（4.4 節）、意味的に相当する文を作ることが可能であるが、当然これらは項が増えるほうの操作である。

## 6.1 自動詞派生

少数ながら、補助動詞 *-enii* により自動詞を派生するものがある。辞書には *-enii* 派生自動詞は多く掲載されているが、本調査の話者の方言では用いられないものが多かった。

- (38) a. *takimai, -i* 道などをふさぐ、妨げる  
*takimeenii* 木が倒れるなどして、道がふさがる
- b. *tawai* 添わせる、寄りかからせる (ex. 弱い柱を補強する)  
*tawaanii* 頼る、ついていく、横になる

## 6.2 自発形

メエ語の知覚動詞、状態変化動詞の多くは他動詞で、しかも対応する自動詞を欠くが、接尾辞 *-daa/-doke* を付加して自発形を作ることができる。この自発形は出来事の結果状態を表すが、典型的には人間が意志的に行う動作が、意志によらずに発生したという含みがある。たとえば他動詞 *kebai* 「開ける」の自発形 *kebadaa* は、自動ドアのように「人間が力を与えることなく開いた」ことを意味する。

表 1 3. 対応する自動詞がない他動詞の例

自動詞: N/A		他動詞: V		自発形: V-SPN	
—	切れる	<i>duwai</i>	切る	<i>duwadaa</i>	自然に切れた
—	開ける	<i>kebai</i>	開ける	<i>kebadaa</i>	自然に開いた
—	閉める	<i>tapii</i>	閉める	<i>tapidaa</i>	自然に閉まった
—	折れる	<i>tuwai</i>	折る	<i>tuwadaa</i>	自然に折れた
—	破れる	<i>wigou</i>	破る	<i>wigodaa</i>	自然に破れた

*-daa* 単独でイマココにおいて出来事が発生した (=結果状態が眼前に存在する) ことを叙述する。軽動詞 *tai* を用いて時制接辞と組合せることもできる (40)。

- (39) a. 知覚動詞
- |              |    |                      |      |
|--------------|----|----------------------|------|
| <i>dou</i>   | 見る | <i>doodaa (tai)</i>  | 見えた  |
| <i>yuwii</i> | 聞く | <i>yuwidaa (tai)</i> | 聞こえた |
- b. 状態変化動詞
- |               |    |                       |           |
|---------------|----|-----------------------|-----------|
| <i>akagai</i> | 割る | <i>akagidaa (tai)</i> | 割れた (自然に) |
| <i>tuwai</i>  | 折る | <i>tuwadaa (tai)</i>  | 折れた (自然に) |

- (40) *Tekeepoo piyaidamake miyo gootiyake akagidaa tipa.*  
*tekeepoo piya-ida-make miyo goo-ti-yake akagi-daa ti-p-a.*  
*tekeepoo tree-place-from under drop-do-CVB break-SPN do-MP-3SG.F.S*  
 テケーポー<sup>21</sup>が木から落ちて割れた。

自発形は他動詞からも自動詞からも作ることができる。他動詞の自発形では主語に対応する要素が抑制され、必ず結合価がひとつ減る。例えば他動詞 *yuwii* の自発形 *yuwidaa* は刺激を唯一項としてとるのみで、経験者項は生起しない (41bc)。一方、自動詞の自発形は出来事が意図によらず発生したことを示すのみで、結合価は減少しない (42ab)。したがって、自発接辞 *-daa/-doke* の付加によって他動詞の結合価が減るのは、意味構造の変化によって引き起こされる二次的なものと分析したほうが良いだろう<sup>22</sup>。

- (41) a. *ani ki bedo mana yuwita.*  
*ani ki bedo mana yuwi-ta*  
 1SG DET.SG.M bird voice hear-IP  
 私は鳥の声を聞いた。
- b. *bedo mana yuwidaa.*  
*bedo mana yuwi-daa.*  
 bird voice hear-SPN  
 鳥の声が聞こえた。
- c. \**ani ki bedo mana yuwidaa.*  
*ani ki bedo mana yuwi-daa*  
 1SG DET.SG.M bird voice hear-SPN  
 Intended: 私には鳥の声が聞こえた。

- (42) a. *Okei uwidaa.*  
*okei uwi-daa*  
 3PL go-SPN  
 彼らは行ってしまった。(ex. 雷が鳴って驚いて散ってしまった)

<sup>21</sup> テケーポー *Pandanus brosimus* はニューギニア島高地帯に分布するパンダナス属の果物で、高地住民にとって貴重な栄養源となる。低地のパンダナスと同じく繊維質の果肉で、*tekee* はそれを噛んだ時の音を表すオノマトペ、*poo* は「果物」の意。メエ族がテケーポー園（自生地域？）にその実を採集しに行く際、伝統的に秘密語が用いられるが、これは特に高地東部によく見られる慣行である (Franklin 1972)。

<sup>22</sup> 可能形 *-make* や自発形 *-doke* は、話者のなかで同源という意識はないものの、それぞれ動詞 *makii, dokii* の語幹形であると考えられる。こうした複合動詞の発達については未解明の事項が数多くあり、動詞語幹の意味的・統語的機能とともに調査を進めていく必要がある。

- b. *Kiyai tidaa.*  
 kiyai ti-daa  
 laughter do-SPN  
 笑ってしまった。

### 6.3 不定過去

他動詞しかない状態変化動詞に対して、自発形を用いると自発の意味が強く出てしまうと述べた。この間隙を埋めるのが不定過去-*ta* の利用である。不定過去は主語人称を標示しないが、この形式は（特に形容詞的に用いた場合に）動作主を背景化した表現として用いることができる。(43a) では *akagita* が *mogo* を前置修飾<sup>23</sup>している。(43b) は *akagita* が *mogo* を後置修飾している例であるが、述語 *akagita topa* の一部と再分析することも可能かもしれない。主語に 3PL.S の不定用法を用いた (43c)、自発形を用いた (43d) とは解釈の余地が異なる。

- (43) a. *Akagita mogoo topa.*  
 akagi-ta mogo to-p-a  
 break-IP stone stay-MP-3SG.F.S  
 割れた石がある [人為的／自発的]
- b. *Mogo akagita topa.*  
 mogo akagi-ta to-p-a  
 stone break-IP stay-MP-3SG.F.S  
 割れた石がある／石が割れている。[人為的／自発的]
- c. *Mogo akagipai.*  
 mogo akagi-p-ai.  
 stone break-MP-3PL.S  
 石が割ってある。[人為的]
- d. *Mogo akagidaa.*  
 mogo akagi-daa  
 stone break-SPN  
 石が割れた。[自発的]

<sup>23</sup> メエ語では名詞修飾に関して AN/NA いずれの語順も可能であり、さらに動詞の屈折形はすべて連体的に使用可能である。

ただし、この形式が動詞の結合価を減少させているかどうかは不明である。現在得られているデータは、述語として用いる場合は結合価を減らさず、形容詞的に用いる場合は結合価が減るという分析も許容する。

また不定過去は当然ながら過去時制の一種であって、「石が割れるだろう」とか「石は割れるものだ」とか、様々な TAM に適用することができない点には留意しておく必要がある。

## 6.4 相互形

他動詞の第2語幹に相互接頭辞 *aka-* を付けることで、相互動作を表す名詞が作られる。これに形動詞 *tai* 「する」を噛ませることで屈折可能な動詞として用いられる。動詞 *dou* だけは第2語幹 *doo* でなく不定形 *dou* を用いる。

- |                      |       |                     |         |
|----------------------|-------|---------------------|---------|
| (44) a. <i>wagii</i> | 殺す、打つ | <i>akawage tai</i>  | 争う、喧嘩する |
| b. <i>etopai</i>     | 教える   | <i>akaatope tai</i> | 教え合う    |
| c. <i>dou</i>        | 見る    | <i>akadou tai</i>   | 会う      |

## 7. 自他交替に関する補足

本節ではメエ語動詞に見られる自他交替の方向性について述べる。Haspelmath (1993) の枠組みで言うところ、圧倒的に多いのは非派生自動詞から形態的手段によって他動詞を派生する使役型 (causative) である (5 節)。一方、逆使役型 (anticausative) はほとんど見られず、非派生他動詞は対応する自動詞を派生するかわりに自発形を用いて同様の意味を表現することが多い (6 節)。本節ではそれ以外のパターンについて述べる。

両極型 (*labile*) は一般の動詞には見られないが、軽動詞による動詞は軽動詞の交替による両極型を示すものが多い。補充型 (*suppletive*) は重要なものをいくつか挙げる。

### 7.1 両極型：軽動詞の交替

本章では包括的に取り上げなかったが、メエ語には名詞的要素+軽動詞からなる動詞が非常に多く存在する<sup>24</sup>。こうした軽動詞型動詞は、これまで述べた一般的な動詞とは大きく異なる自他交替パターンを示す。

最も生産的で意味が透明な軽動詞 *tai* は、ちょうど日本語の「する」のように、様々な自動詞や他動詞を派生する。*tai* で自動詞を派生するものは *-yaawii* などの完了の補助動詞で規則的に他動詞化する。

<sup>24</sup> Foley (1987:127) によるとパプア諸語の多くは「動詞語根の総数が貧弱である」という特徴を持ち、動詞複合 *verb compounding* / 動詞連続 *verb serializing* の使用、あるいは名詞的付加部+動詞構文 *adjunct nominal-plus-verb construction* の使用によってそれを補っている。前者は *Yimas, Alambalak, Barai* などの言語で、後者は *Hua, Enga, Kewa* などの言語で重度に用いられる。メエ語は後者に類する言語といえよう。

(45)	<i>goo tai</i>	落ちる	<i>goo tiyaawii</i>	落とす	V-ACCOMP
	<i>kiyai tai</i>	笑う	<i>kiyai etiyaawii</i>	笑わせる	O-V-ACCOMP
	<i>yege tai</i>	泣く	<i>yege etiyaawii</i>	泣かせる	O-V-ACCOMP

それ以外では軽動詞の交替により自他を表現し分けるものが多い。特に形容詞を核とした状態変化動詞、方向詞を核とした移動動詞にこのパターンが多い。

(46)	<i>gee kai</i>	乾く	<i>geegee tai</i>	乾かす	
	<i>peu kai</i>	壊れる	<i>peu awii</i>	壊す	
			(peu 「悪い」 kai 「なる」 awii 「する」)		
	<i>miyouwii</i>	下がる	<i>miyoo tai</i>	下げる	
	<i>wadouwii</i>	上がる	<i>wadoo tai</i>	上げる	
			(miyoo 「下」 wadoo 「上」 uwii 「行く」)		

## 7.2 補充型

補充法というのは挙げるときりがないが、基礎語彙を含む、挙げておくべき動詞対は以下の通りである。また例 (48) を見よ。

(47)	<i>bokai</i>	死ぬ	<i>wagii</i>	殺す、打つ <sup>25</sup>
	<i>nai</i> <sup>26</sup>	燃える	<i>you</i>	燃やす
	<i>kobii</i>	倒れる	<i>emai</i>	倒す (木を)
	<i>ganii</i>	光る <sup>27</sup>	<i>ewakai</i>	光らせる

(48) a.	<i>ekina</i>	<i>wagii</i>	<i>beu</i>	<i>kodeya</i>	<i>bokaaga.</i>
	<i>ekina</i>	<i>wagi-i</i>	<i>beu</i>	<i>kodeya</i>	<i>boka-eg-a</i>
	<i>pig</i>	<i>kill-INF</i>	<i>NEG</i>	<i>but</i>	<i>die-RP-3SG.M.S</i>

豚が、殺していないのに死んでいる。

<sup>25</sup> 「殺す」を意味する動詞が相手の死を含意しない用法も有する事例はメエ語だけに見られるものではない。たとえば英語の *kill* に由来するトク・ビシンの動詞 *kilim* は、岩佐 (1975:35) によると「以前は『殺す』意ではなく、武器や器具などで『殴りつける』ことであった。ひどく『殴る』うちに、あるいは死にいたらしめることもあったかもしれないが、当時の『殺す』は *kilim i dai* または *mekim i dai* であった。だが、最近、この語は『殴る、たたく』のほかに『殺す』意にも使用されはじめている」。

<sup>26</sup> *nai* が「食べる (摂取する)」と「燃える」の多義となる。「火を摂取する」と捉えるべきか。

<sup>27</sup> この *ganii* は太陽や明かりなどが自発的に光ることを指す。Doble (1960:49) や Steltenpool (1969:258) には *wakii* “to shine” という *i* 語幹動詞が記載されており、もともと *wakii* – *ewakai* という具合に語幹を共有する自他動詞対を為していたと考えられるが、Nawipa 講師の現在の方言には動詞としての *wakii* はなく、軽動詞を伴う *wakii tai* 「(光が当たって) 光る」が存在するのみである。Takimai (2016:331) にも動詞としての記載はなく同様の事情が読み取れる。この2つの *wakii* の関連は明らかでない。

## 8. アクセントに関する補論

メエ語は単語の弁別に寄与する高低アクセントを持つ。語は下げ核の位置により2種類のアクセント型のいずれかに分類される。下げ核の位置は、単語の左端からモーラで測られる。Doble (1960) や Steltenpool (1969) などの辞書では弁別的アクセントの存在自体は認識されており、名詞のアクセントは一部記載されているが、動詞のアクセントに関しては有用な情報がない。また最近刊行された辞書 Takimai (2016) にはアクセントの記載自体がない。これまでに刊行された辞書、研究を通じて、メエ語のアクセントを音韻論的に扱った唯一の文献は Hyman & Kobepa (2013) であるが、ここでも動詞屈折形のアクセント体系についてはほんのさわりしか触れられていない。本節では、Hyman & Kobepa (2013) を下敷きに我々の調査で得られたデータを整理し、メエ語動詞のアクセント体系について試論を行う。

### 8.1 不定形

メエ語の単純語幹動詞の音節構造は、不定形で(c)vv、(c)vvcvv、(c)vcvv、(c)vcvcvv の4種類に分けられ、それぞれ2種類のアクセント型に分けられる。型の対立は不定形で保存されるため、不定形を覚えれば様々な変化形のアクセントが予測できる。本節では下げ核が左端に近いほうをA型、遠い方をB型とし、必要であれば下げ核の位置を左端からの拍数で示すと、語頭母音が長母音の場合は A[1], B[2]、短母音の場合は A[2], B[3] という分布を示す。

表 14. 不定形の音節構造とアクセント型

	(c)vv	(c)vvcvv	(c)vcvv	(c)vcvcvv
A	<i>dóu</i> “to see”	<i>yóonii</i> “to stand”	<i>motíi</i> “to take”	<i>podómai</i> “to go out”
B	<i>yóu</i> “to burn”	<i>puúmai</i> “to sew”	<i>yuwíi</i> “to hear”	<i>akagáí</i> “to split”
核	A[1], B[2]		A[2], B[3]	

### 8.2 時制接辞

型の区別が保存される時制接辞と、保存されずアクセント型が中和する時制接辞がある。

(c)vv : 不規則が多いため、今回は記述しない。今のところ、Doble (1987) に多くの記述があって参考になる。

(c)vvcvv : まとまったデータが取れていない。

(c)vcvv : 不定形、近過去形、近未来形 II、現在習慣形などで型の区別が保持され、不定過去形、中過去形、進行形、遠未来形などでは型の区別が中和する。



*yuwíineega* のみ [4] だが、これは *yuwí|néega* のように異なる音韻構造を見たほうがよいかもわからない。

(49) a. アクセント型で異なる場所に核が来る接辞

	INF	RP	NF <sub>2</sub>	HAB
A	<i>motíi</i> [2]	<i>motéega</i> [2]	<i>motíineega</i> [2]	<i>motéiga</i> [2]
B	<i>yuwíi</i> [3]	<i>yuweéga</i> [3]	<u><i>yuwíineega</i></u> [4]	<i>yuweíga</i> [3]

b. アクセント型にかかわらず同じ場所に核が来る接辞

	IP	MP	PROG	DF
A	<i>motíta</i> [2]	<i>motípa</i> [2]	<i>moteéte</i> [3]	<i>motiíta</i> [3]
B	<i>yuwíta</i> [2]	<i>yuwípa</i> [2]	<i>yuweéte</i> [3]	<i>yuwíita</i> [3]

ただし Larry Hyman 教授からいただいたデータ<sup>28</sup>によると、同じ A 型(c)vcvv 動詞でも *bokái* など時制接辞との組合せで異なるパターンを示す一群の動詞があるらしい。これは今後の課題である。

(c)vcvcvv : 不定形、中過去形、不定過去形で型の区別が保持され、進行形、遠未来形、近過去形、近未来形 II、現在習慣形では中和する。

(50) a. アクセント型で異なる場所に核が来る接辞

	INF	MP	IP
A	<i>podómai</i> [2]	<i>podómipa</i> [2]	<i>podómíta</i> [2]
B	<i>akagái</i> [3]	<i>akagípa</i> [3]	<i>akagíta</i> [3]

b. アクセント型にかかわらず同じ場所に核が来る接辞

	PROG	DF	RP	NF <sub>2</sub>
A	<i>podoméete</i> [3]	<i>podomáita</i> [3]	<i>podoméega</i> [3]	<i>podomáineega</i> [3]
B	<i>akagéete</i> [3]	<i>akagáita</i> [3]	<i>akagéega</i> [3]	<i>akagáineega</i> [3]
	HAB			
	<i>podoméiga</i> [3]			
	<i>akagéiga</i> [3]			

<sup>28</sup> メールで Hyman & Kobepa (2013) のためのデータと暫定の分析をいただいた。データ自体は、一部我々のデータと異なる部分があるため本稿では使用していない。分析は本文に示したとおり、8.2 節に援用した。8.3 節以降の接頭辞に関する分析は行われていない。

暫定的に表 1 5 のようにまとめられる。データ不足で分かりにくいのが、おそらく時制接辞によって型を保存するか否かが指定されており、そこに「語が 5 拍以上になると [3] に固定される」などの一般的規則が被さるものと考えられる。

表 1 5. 時制と型の保存

	INF -i	RP -ega	NF <sub>2</sub> -neega	HAB -iga	IP -ta	MP -pa	PROG -ete	FF -ta
(c)vCVV	○	○	○	○	×	×	×	×
(c)vCVCVV	○	×	×	×	○	○	×	×

○：型の区別が保存される、×：保存されず中和する

### 8.3 目的語接辞

左側から下げ核の位置を数えるため、接頭辞の付加は核の位置に直接的な影響を与える。現状のデータでは、動詞の型の区別は全て中和する。一方、前述のとおり第一音節の構造がアクセントの振る舞いに影響を与えるため、動詞語幹が母音始まりか子音始まりかが重要なファクターとなる。つまり、長母音からなる接頭辞は、動詞に付加すると常に(c)vvcv...という音節構造を生む<sup>29</sup>。一方、短母音からなる接頭辞だと、子音始まりの語に付けば(c)vcv...、母音始まりの語に付けば(c)vvcv...と異なる音節構造を生成する。これが o, IOI, IOII の区別に関係してくる。

(51) aa- [DU.S] は常に [2] ; ただし元のアクセントが保たれる場合もある

*wagíta* > *aáwagíta*  
*wagíi* > *aáwagái*  
*wageéte* > *aáwageete* ~ *aawageéte*

(52) o, IOI, IOII の比較

a. 子音始まり動詞語幹

	2SG.O=[2]	2SG.IOI=[1]	2SG.IOII=[1]
<i>yuwíi</i>	<i>kayúwita</i>	<i>káyuwita</i>	<i>káyuwita</i>
<i>podómai</i>	<i>kapódomita</i>	<i>káapodomita</i>	<i>kápodomita</i>

b. 母音始まり動詞語幹

	2SG.O=[2]	2SG.IOI=[1]	2SG.IOII=[2]
<i>ubái</i>	<i>kaúbita</i>	<i>káubita</i>	<i>kaúbita</i>
<i>akagái</i>	<i>kaákagita</i>	<i>káakagita</i>	<i>kaákagita</i>

<sup>29</sup> 2.2.2 および 2.2.3 節で述べたような例をどう扱うべきかは、まだよく分からない。

目的語接辞は互いに形がよく似ているが、実は丁寧に発音すれば、多くの場合アクセントにより区別されていること、また母音始まりの動詞語幹で O と IOII が区別できなくなることが分かる。

また (51) に見るとおり、特に長母音からなる接辞では、接辞自体の強勢に加えてももとの語強勢が残ることがある。また、接辞はあえて強勢を置いて発音する場合と、とりたてて強勢を置かずに発音する場合にはピッチの実現が異なってくる。今回は調査手法の貧困によりこれ以上の分析は不可能である。

## 略 語 一 覧

ACCOMP	accomplishment	IP	indefinite past
CF	classifier	LOC	locative
COND	conditional	M	mascular
CVB	converb	MP	middle past
DEM	demonstrative	NEG	negation
DET	determiner	NF <sub>1</sub>	near future I
DF	distant future	NF <sub>2</sub>	near future II
DP <sub>1</sub>	distant past I	O	object
DP <sub>2</sub>	distant past II	OPT	optative
DU	dual	PL	plural
F	feminine	PROG	progressive
FP	far past	PURP	purposive
GEN	genitive	RP	recent past
HAB	habitual	S	subject
HON	honorific	SG	singular
INSTR	instrumental	SPN	spontaneous
IOI	indirect object I		
IOII	indirect object II		
INF	infinitive		

## 参 考 文 献

- Brown, Paula. 1978. *Highland Peoples of New Guinea*. Cambridge; New York: Cambridge University Press.
- Doble, Marion. 1960. *Kapauku-Malayan-Dutch-English Dictionary*. (Publication commissioned and financed by the Government of Netherlands New Guinea.) The Hague: Martinus Nijhoff. [vii+156 pp.]
- Doble, Marion. 1987. A Description of Some Features of Ekari Language Structure. *Oceanic Linguistics*, 26(1/2), 55–113.
- Drabbe, Petrus. 1952. *Spraakkunst van het Ekagi: Wisselmeren Ned. N. Guinea*. The Hague: Martinus Nijhoff.
- Foley, William A. 1986. *The Papuan Languages of New Guinea*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Franklin, Karl J. 1972. A Ritual Pandanus Language of New Guinea. *Oceania* 43(1). 66–76.

- Haspelmath, Martin. 1993. More on the typology of inchoative/causative verb alternations. *Causatives and Transitivity*, 23, 87–121.
- Herce, Borja. 2018. 2SG/1PL morpheme? in Papuan languages. Powerpoint file at APLL10.
- Hyman, Larry M. & Kobepa, Niko. 2013. On the analysis of tone in Mee (Ekagi, Ekari, Kapauku). *Oceanic Linguistics* 52, 307–317.
- Kobepa, Niko. 2015. Kala Lampau Terdekat Dalam Bahasa Mee. *Paramasastra* 2(1).
- Marquardt, Christine, Marie-Luise Schwarzer, and Sören Eggert Tebay. 2018. The Perfect in Mee: New evidence for a result state approach. *Proceedings of TripleA5*.
- Paginta, Lisa. 2006. Verb Agreement in Ekagi Language. (BA Undergraduate Thesis), Universitas Negeri Papua, Manokwari.
- Pospisil, Leopold J. 1963. *Kapauku Papuans economy* [Yale University publications in anthropology, no. 67], The Department of anthropology Yale University.
- Siewierska, Anna. 2004. *Person* (Cambridge Textbooks in Linguistics). Cambridge: Cambridge University Press.
- Steltenpool, J. 1969. *Ekagi-Dutch-English-Indonesian Dictionary* (Verhandelingen van het KITLV 56). The Hague: Martinus Nijhoff. [269 pp.]
- Takimai, Hubertus. 2016. *Kamus Praktis Bahasa Mee - Indonesia*. Edisi Kedua. Mimika Baru: Penerbit Aseni.
- Wichmann, Søren. 2013. A classification of Papuan languages. Harald Hammarström & Wilco van den Heuvel (eds) *History, Contact and Classification of Papuan Languages* [Language and Linguistics in Melanesia, Special Issue 2012], 313–386. Port Moresby: Linguistic Society of Papua New Guinea.
- 岩佐嘉親. 1975. 『新ニューギニア語入門 The Neo-Melanesian Language』東京：大陸書房.
- 紙村徹. 1993. 「エンガ語」『言語学大辞典』第5巻. 三省堂.
- コムリー、Bほか編（片田房訳）. 1999. 『世界言語文化図鑑－世界の言語の起源と伝播』東洋書林.

## 第2章 メエ語の動詞連続

佐近 優太

キーワード：メエ語，動詞連続構文，従属節，アスペクト  
Keywords: Mee language, serial verb construction, subordinate clause, aspect

1. はじめに
2. 動詞連続の特徴
3. 先行研究
4. 調査結果
5. 今後の課題

### 1. はじめに

本稿ではメエ語における動詞連続について考察を行う。以下で扱うデータは2018年9月3日から14日にかけて東京外国語大学アジア・アフリカ研究所主催の言語研修及び、2019年2月5日から8日にかけて行われたメエ語フォローアップミーティングにおける調査に基づいている。

これまでのメエ語の研究では、動詞連続を独立した文法的項目として扱われることはなかった。そのため本稿はメエ語に動詞連続という文法項目を認め、その形態統語的特徴と意味の記述を行うことを目的とする。

まず2節では動詞連続の特徴を類型論的観点から概観する。その後3節で先行研究において動詞連続的に扱われた項目を確認する。そして4節で今回の調査で得られた用例を用いて、統語的・意味的特徴を観察する。この際、アスペクト的意味を持つものに焦点を当てる。最後に今後の課題を述べる。

### 2. 動詞連続の特徴

#### 2.1. 類型論的動詞連続

動詞連続は Aikhenvald (2006) や Haspelmath (2016) などによっていくつかの特徴が定められている。ただし、これらの特徴すべてがあらゆる言語の動詞連続のタイプを必要十分に説明するわけではなく、一種のプロトタイプ的なものである。類型論的に動詞連続は以下の特徴を持つとされる (Aikhenvald 2006: 3-21)。

- ・ 単一述語を形成する
- ・ 単一節である
- ・ pause によって節境界が示されない
- ・ 少なくとも一つの項を共有する
- ・ 単事象を表す

以上の類型論的特徴をもとに、4.1 ではメエ語における動詞連続の特徴を考察する。

## 2.2. パプア諸語の動詞連続の特徴

Foley (1986) の記述を踏まえると、パプア諸語において動詞連続が使用されている目的には大きく二種類があるといえる。第一には連続的動作を表現する場合に用いられる。パプア諸語の中には、英語などの言語では一語であらわされる動作を細分化し動詞の連続で表すものがある。第二には、接辞などと似た振る舞いをし、アスペクトやモダリティといった文法範疇を表すものがある。Foley (1986: 143)では以下のように述べられている。

*Inner operators in Papuan languages tend to be indicated by lexically, most commonly by specialized uses of verb-stem in serial construction. (Foley1986: 143)*

この inner operators は Aspect, Directional, Modality の3つに分類できる。Aspect には進行相・完了相・反復相・習慣相などが代表的なものとしてあげられる。Directional に関しては方向を表す語が動詞として扱われ「方向動詞+直示動詞」の形が説明されている。Modality では志向・使役(他動詞化)・願望といった機能を持つ語が紹介されている

## 3. 先行研究

### 3.1. Doble (1987) の記述

メエ語についての先行研究のうち、動詞連続に言及しているものに Doble (1987) と Drabbe (1952) がある。このうち Doble (1987) は動詞連続を動詞間の形態的な結びつきの強さから二種類に分けている。一つ目の形式は close juncture verb sequence と呼ばれ、V1<sup>1</sup>が第二語幹<sup>2</sup>であるという形態的な特徴を持つ。ここでは

<sup>1</sup> 以降、動詞連続に参加する動詞を前から順番に V1, V2 と呼ぶ。

<sup>2</sup> Doble(1987: 87)による語幹分類は以下の通り。

Infinitive	dou	duwai	Boonai	Yuwii	mei
First stem	doo-	duwa-	booni-	yuwi-	me-
Second stem	doo-	duwa-	boone-	yuwe-	me-

V1 が語幹のまま存在し V2 に従属しているという考えから、動詞間の結びつきが強いと考えられる。

Doble (1987: 95-100) は、その意味や特徴から *close juncture verb sequence* を以下のように分類している。

- (1) a. *Okai udi muguuwii.*  
 okai udi muga-uwii  
 3SG shrimp catch-go.INF  
 ‘He goes to catch shrimp.’
- b. *Okai agiya nadokemeipagi*  
 okai agiya na-doke-mei-pagi  
 3SG net.bag 1SG.BEN<sub>1</sub>-take-come-NF<sub>1</sub>.3SG.S  
 ‘He will bring me a bag.’

(1a) は V2 に直示動詞がおかれるタイプである。一般的に V1 が V2 で表される移動の目的を表している。形式的には V2 に主語及び時制の接辞が後接することが確認できる。また (1b) からわかるように V1 に目的語接頭辞をつけることもできる。こうした形態論的特徴は以下に述べる *close juncture verb sequence* にもみられる。

一方 *dou* 「見る」が V1 の位置を占める場合は不定形を用いる。尚、この場合の詳しい説明はなされていない。

- (2) *Meido utoma Yahya edou uwii*  
 Meido utoma Yahya e-dou uwii.  
 people all PN 3.O-see.INF go.INF  
 ‘They came to see Jesus’

二つ目は *coordinate construction* と呼ばれるタイプである。直示動詞の動詞連続とは違い V1 が第二語幹をとる。

- (3) *Topii manaa ko goomotita*  
 topii#manaa ko goo-moti-ta  
 class DET.SG.F drag-grasp-IP  
 ‘The class started’

このタイプの特徴として、語彙化が進み構成する動詞の意味が希薄化していることがある。(3) では「引く」「つかむ」という意味を持つ動詞が動詞連続を構成しているが、「始める/始まる」にはそれらの意味はほとんど表れていない。

3つ目は *tou* 「存在する/留まる」が V2 に置かれるタイプである。

(4) a. *Koyaa uwitou.*

*koyaa uwi-tou*  
*selamat go-be.INF*

‘Good-bye (I won’t be there later to see you off.)’

b. *Yagumo kodo tabagaida bokatooga no!*  
*yagamo kodo tabaga-ida boka-to-eg-a no*  
*woman DEM.SG.F flat.rock-to die-be-RP-3SG.M.S EMP*  
‘That woman was lying dead on a flat rock’

c. *Okai nota menitouta.*

*okai nota meni-tou-ta*  
*3SG potato 3.O.give-be-DF*

‘She will feed (the ducks) in your absence.’

(4a) のようにテンス・アスペクトの表示がない場合は「話者の不在」を含意する。過去・未来の場合は (4b) (4c) になるが詳しい意味の説明はされていない。一方以下のような文は V1 が第二語幹の形をとらず、接辞などが付随する。

(5) a. *Okai uwiyake eepeedoke uwii.*  
*okai uwi-yake e-ep-ee-doke uwii*  
*3SG go-CVM 3SG.O-follow-SPN go.INF*  
‘He followed her’

b. *Okai piya ubaine uwii.*  
*okai piya ubai-ne uwii*  
*3SG wood seek-OPT go.INF*

‘He went to get wood’

c. *Okai boke mainiya gaa mainai goomotii beu gaa*  
*okai boke maini-ya gaa, mainai goomotii beu gaa*  
*3SG snare set-PERF time set begin.INF NEG time*

‘When he sets snares, before he begins to set snares...’

(5) のような動詞の連続を Doble (1987:103) は単純に Verb Serialization と呼ぶ。上記の例において (5a) では *-doke*、(5b) では *-nee* という接続接辞がついた動詞、(5c) ではいわゆる原型の動詞が V1 に置かれることで動詞連続を形成している。こうした形態的な差はあるが、上記の 3 つの例は動詞間の結びつきの弱さという点か



ら一つのカテゴリーにまとめられるとされる。ただし、この二つの動詞連続の形式を厳密に区別しているわけではない。

一方-yawii, -makai<sup>3</sup>, -kumii, -dokii, -migii, -gou, -dou という形式を第一語幹につく接尾辞として挙げている。

- (6) a. me-yawii  
       ‘to cause to come, bring’  
 b. yaki-makai  
       ‘to hold on to’  
 c. witogi-kumii  
       ‘to clean thoroughly’  
 d. eti-dokii  
       ‘to tell him and go’  
 e. doo-migii  
       ‘to look up and around’  
 f. *Okai piya wagigou.*  
    *okai piya wagi-gou.*  
    3SG wood cut-drag.INF  
    ‘He goes to cut wood. (He’ll be back)’  
 g. yaki-dou  
       ‘to touch’

これらの接尾辞は、(6a)「使役・他動詞化」、(6b), (6c), (6e)「強調」、(6d)「場から離れる」、(6f)「行って戻ってくる」、(6g)「試行」のような意味を付与するとされる。

またその他こうしたアスペクト標示ではなく、契機的動作連続のようなものを表している例もみられる。これらは Aikhenvald (2006) の分類の中での *symmetrical serial verb* に属する。これらの生産性については定かではない。

- |              |           |
|--------------|-----------|
| (7) moti nai | 取って食べる    |
| witoki motii | 選んで取る     |
| moti dokii   | 取って運ぶ     |
| umi tou      | 住む(寝る+いる) |
| moo motii    | ?         |

<sup>3</sup> メエ語パニアイ方言話者であるインフォーマントによれば、-makai は主に Tigi で用いられる形式であり、Paniai では-makii を用いることが多い。

goo motii	始める (とる+とる)
oda menii	白状する
gaa tou	覚えている
gaa menii	思い出させる
toni you	包んで料理する
ebuki motii	育てる(助ける+とる)
eti menii	言ってあげる

### 3.2. Drabbe (1952) の記述

Drabbe (1952) は動詞形態論について不定形語幹および4つの接続語幹<sup>4</sup>を規定し、それぞれの語幹ごとに接続する形式を説明する形をとる。

これらのうち Doble (1987) で接辞として扱われていた makai などの形式は第一語幹につく hulpwerkwoorden 「補助動詞」(Drabbe 1952: 59) とされ、makai, kumii, tou, goou<sup>5</sup>, doou, (yawii) が挙げられている。これらはそれぞれ単独で動詞として用いることができる。以下それぞれについて Drabbe (1952) の記述を確認する。なおそれぞれの形式において、不足している部分、記述に不備がある部分は適宜調査によって得られた例文から補足を行っている。また未調査の項目は空欄としてある。

最初に-makai についてみていく。-makai が単独の動詞として使われた場合は「置く」「入れる」などの意味を表す。そして動詞の第一語幹に接続した場合には、は完了の意味を付加する形式とされ、以下のような例が挙げられている。

-makiiの形式と意味

ai-1	ugamakai	書き終える
ai-2	keitimakai	し終える
ii	migimakii	作り終える
ei	wemakai	植え終える
ou	doomakai	見つける
nai	nomakai	食べ終わる

<sup>4</sup> Drabbe (1952:35) の語幹分類は以下の通り。

infinitive	Ai	aai	ai	ii	ei	eei	ou	oou
1 <sup>st</sup> stem	A	aa	I	i	e	ee	o	oo
2 <sup>nd</sup> stem	A	aa	E	e	e	ee	o	oo
3 <sup>rd</sup> stem	Aa	aa	ee	ee	ee	ee	oo	oo
4 <sup>th</sup> stem	Ai	aai	ei	ei	eei	eei	ou	oou

<sup>5</sup> Drabbe (1952: 35) では母音の長短及び語幹の変化から動詞の不定形を8個に分類している。語幹変化による5つの分類は Doble (1987: 87) と同じであり、研修での調査結果とも重なる。

また makai が make の形をとった場合、以下のように「可能」の意味が伴う。(8)のように tai を伴うこともある。

(8) *Okai waado timake teete*  
 okai waado ti-make te-ete  
 3SG up do-put do.PROG  
 「彼は持ち上げることができる」

これに対し単独で「結びつく」という意味を持つ-kumii も完結の意味を含意するが特に「離れる」という意味を付与するとされる。

#### -kumiiiの形式と意味

ai-1	wunakumii	消し去る
ai-2	emigikumii	捨て去る
li	motikumii	奪い去る
Ei	peekumii	追い払う
Ou	?	?
nai	nokumii	?

次に-tou は単独で「留まる」「存在する」という意味を持ち、第一語幹に接続して「状態の継続」を表す。

#### -touの形式と意味

ai-1	kebatou	開けておく
ai-2	animakitou	座っている
ii	dokitou	持っておく
ei	wetou	植えておく
ou	anigootou	起きている
nai	notou	食べておく

なお「見続ける」という意味を持つ”edooutou-”という表現もあるが、なぜ第三語幹であるかの記述はない。

-gou は単独で「引く」という意味を持つ。第一語幹に接続した場合は「行ったり来たり」という意味を持つ。

#### -gouの形式と意味

ai-1	kebagou	閉めて(戻って)くる
ai-2	naimigou	(私に)持ってくる
ii	etiigou	来て言う
ei	megou	来て帰る
ou	doogou	見て戻る
nai	nogou	食べて戻る

dou は「してみる」という試行の意味をあらわす。

**-douの形式と意味**

ai-1	egaadou	質問してみる
ai-2	gadimidou	結んでみる
ii	yuwidou	聞いてみる
ei	wedou	植えておく
ou	doodou	見てみる
nai	nodou	食べてみる

また以上の補助動詞のほかに、少数ではあるが次のような例も挙げられている。

(9) a. tuumi-migii-

spill-throw.away

「(液体などを)捨てる」

b. piya akagi-yo tai-

wood split-burn do

「火の中に置く？」

c. nota kega-yaawi-dokii-

potato dig-ACCOMP-take

「サツマイモを集めて持っていく？」

d. doki-uwii- / doki-mei-

take-go / take-come

「持っていく/持ってくる」

加えて、-menii に関しても言及がある。これは第一語幹に接続して「～させる」といった使役の意味を付与される役割をもつ。

**-meniiの形式と意味**

ai-1	?	?
ai-2	okomimenii	彼のためにはがす
ii	etimenii	彼に言う
ei	?	?
ou	yoomenii	彼のために焼く
nai	nonaimai	私に食べさせる

以上第一語幹に動詞が接続する形式を見たが、第三語幹に接続する動詞も存在する。一つ目は「考える」の意味を持つ gaa である。Drabbe (1952: 131) によれば通

常は *no* を伴って *dokii teege no gaage* 「私たちはそこにいると思った？」とあらわすところを、*dou* と *yuwii* に限り *no* を省略して接続可能であることを述べている。

- (10) a. *Ani ki kadoogaaga.*  
           *ani ki ka-doo-ga-eg-a*  
           1SG DET.SG.M 2SG.O-see-think-RP-1SG.S  
           「私はあなたに会ったと思った」
- b. *Ani ki eyuweegaaga.*  
           *ani ki e-yuwee-ga-eg-a*  
           1SG DET.SG.M 2SG.O-hear-think-RP-1SG.S  
           「私は彼のことを聞いたと思った」

二つ目は直示動詞である。前で第一語幹に接続して「持っていく/持ってくる」のような意味をあらわすことに触れたが、第三語幹に接続した場合「～するために行く/来る」という意味をあらわす。ただし *dokii* が V1 に用いられて *dokee uwii* などとなった場合、前述の *dokii uwii* と同様の意味をあらわす。

- (11) a. *Ani yakeewiipiga*  
           *ani yakee-uwii-piga.*  
           1SG take-go-NF<sub>1</sub>.1SG.S
- b. *Ani eteeuweega*  
           *Ani etee-uwi-eg-a*  
           1SG 3.O.tell-go-RP-1SG.S

### 3.3. まとめと課題

以上メエ語の動詞連続に関する先行研究を概観した。先行研究では動詞連続という独立した文法的項目としては扱われていない。しかし彼らが分析を行った中で、動詞連続と考えられる現象が3種類あり、(a)「第二語幹<sup>6</sup>+動詞」、(b)「第一語幹+動詞」、(c)「補部+動詞」である。どのタイプもV2の動詞が閉じたクラスに属する。またV2に関して、(a)ではV2の動詞の意味を残しつつもかなり希薄化が進み、アスペクトの意味への移行が伺える。(b)のタイプではV2に置かれるのは直示動詞のみであった。一方(c)は上記の(a)と(b)に当てはまらないものの総称である。ここには「～と言う」や「～を始める」などの意味を持つ、不定形や接続接辞の形式をとるものが含まれる。先行研究ではこのような区別を行ったもの

<sup>6</sup> Doble (1987) と Drabbe (1952) では動詞語幹の分類方法が違うため、本節以降語幹を述べる際には Doble (1987) の分類に従う。

の、振る舞いの差などに関する詳しい考察は行っていない。また意味の記述という点では、それぞれの形式に対しておおよそ一つの意味が割りてられていた。しかし詳細に観察を行うと、人称や叙述形式の違いによって意味の変化が見られ、先行研究の記述では不足していると考えられるものが多く存在する。また先行研究によって異なる意味の記述が行われている形式もあり、そうした違いについても検討しなければならない。

#### 4.事例観察

前節での問題点を受け、本節では以下の二つのことを扱う。第一に動詞連続メエ語における動詞連続の性質を考察する。ここでは先行研究での「第二語幹+動詞」の形が動詞連続の特徴を多く有するということから、この形式をメエ語における動詞連続であると主張する。さらに Doble (1987: 103) において Verb Serialization と定義された中で、V1 に接続接辞が付いた形および補文節をとるものと動詞連続とが統語的に異なるカテゴリーに属することを確認する。第二に、個々の動詞連続が持つ意味について検討を加える。

以下 4.1 ではメエ語の動詞連続の形態統語的性質を定め、4.2 で意味に関する記述を行う。

##### 4.1. メエ語の動詞連続

まずメエ語の動詞連続が類型論的観点からどのような性質を持つかを確認する。類型論的特徴と照らし合わせると、メエ語の動詞連続は以下の特徴を持つと言える。

- ・単一述語を形成する
- ・単一節である
- ・少なくとも一つの項を共有する
- ・単事象を表す

今回の調査では韻律に関わる分析まで及ばなかったため、以上の 4 項目を考察の対象とする。4.1.1 からはそれぞれの項目について、従属節などの他表現との対照を交えながら詳しく考えていく。

##### 4.1.1. 単一述語性

本稿ではこの単一述語性について、テンス・アスペクトおよび否定という文法的標識を用いて考える。Aikhenvald (2006: 7–10) が述べるように、動詞連続が単一述語としてみなされるならば、これらの文法的標識は V1 と V2 に対等に用いられるはずである。例えば否定であれば、V1 と V2 の両方に否定の標識がつく場合と、どちらか一方につくが V1 と V2 をともに否定の範囲内に置く場合とが考えられ

る。(12)に表れているように、メエ語の動詞連続では否定接辞 *te-*が V1 の前に前接するか、否定辞 *beu* が V2 の後ろに置かれる。

- (12) a. *Ani ki tekagimakita.*  
 ani ki te-kagi-maki-ta  
 1SG DET.SG.M NEG-2SG.O.kill-put-IP  
 「私はあなたを殺さなかった」
- b. *Ani ki dokeuwii beu tita.*  
 ani ki doke-uwii beu ti-ta  
 1SG DET.SG.M take-go.INF NEG do-IP  
 「私は持っていかなかった」<sup>7</sup>

(12a) の例では、否定接辞 *te-*は *kagi* のみではなく、*kagi-maki-*すべてを否定しているとみることができる。同様に (12b) の場合も否定辞 *beu* が否定しているのは *doke-uwii* である。またこの形式においては V1 のみを否定することができない。

- (13) a. \**Ani ki kagii temakita.*  
 ani ki kagii te-maki-ta  
 1SG DET.SG.M 2SG.O.kill.INF NEG-put-IP  
 「私はあなたを殺さなかった」

こうした単一述語性はテンス・アスペクトの共有によっても確認できる。一方接続接辞-*yake* を用いた例ではこのようなテンス・アスペクト、否定標識の共有は確認されない。

- (14) *Okai ki itaagapi Tokiyo uwiyake aweetaa Osaka*  
 okai ki itaagapi Tokiyo uwi-yake aweetaa Osaka  
 3SG DET.SG.M today Tokyo go-CVM tomorrow Osaka  
 uwiitagii  
 uwii-tagii.  
 go-DF.3SG.S  
 「彼は今日東京に行って、明日大阪に行く」

(14) では-*yake* が時制接辞と共起しないために、*itaagapi*「今日」という語によって「東京へ行く」という文のテンスが示されている。しかし-*yake* に続く動詞に接続

<sup>7</sup> *beu* が「第一語幹+動詞」を否定する用例が未調査であるため、ここでは第二語幹の例を使用している。後述するように統語的な差は現在のところ見られないため (12b) のような形式も動詞連続と広くとらえる立場をとるが、語幹の違いによる差の考察は今後の課題である。

している遠過去の接尾辞である *-tag-*、及び *aweeta* 「明日」という語によって接続接辞前後でテンスが異なることがわかる。

また補文節もテンスを共有しないため、動詞連続とは異なるカテゴリーに属すると言える。メエ語には日本語における「〜と」「〜を」に当たるような明示される補文標識はない。メエ語において補文節を取る動詞には、*gai/dimi gai* 「考える」、*etii* 「言う」といったものがある。

- (15) a. *Ani ki kadooga gaaga.*  
*ani ki ka-do-eg-a ga-g-a*  
 1SG DET.SG.M 2SG.O-see-RP-1SG.S think-RP-1SG.S  
 「私はあなたに会ったと思った」
- b. *Ani ki okai ikane ko dou etita.*  
*ani ki okai ikane ko dou eti-ta*  
 1SG DET.SG.M 3SG fish DET.SG.F see.INF 3.O.say-IP  
 「私は彼に魚を見ろと言った」

(15b) では V1 に動詞の不定形が現れているが、これは一種の命令文が補文節を形成していると考えられ、(15a) のように時制標識を伴うこともできる。また (16) のように否定辞が補文節内に含まれる場合もある。

- (16) a. *Ani ki okai tedou etita.*  
*ani ki okai te-dou eti-ta*  
 1SG DET.SG.M 3SG NEG-see.INF 3.O.say-IP  
 「私は彼に見るなと言った」
- b. *Ani ki okai ikane ko dou beu etita.*  
*ani ki okai ikane ko dou beu eti-ta*  
 1SG DET.SG.M 3SG fish DET.SG.F see.INF NEG 3.O.say-IP  
 「私は彼に魚を見ていないと言った」

(16) における否定辞 *te-* および *beu* が否定している範囲は補文節内に留まり、*etita* は否定されていない。これは (12) に見られるように、動詞連続において否定辞が V1 と V2 両方にかかる現象と対照的である。(17) は否定が *etita* にかかるように置かれた例であるが、この場合 *dou* は否定される範囲に含まれていない。

- (17) *Ani ki okai ikane ko dou etii beu tita.*  
*ani ki okai ikane ko dou etii beu ti-ta*  
 1SG DET.SG.M 3SG fish DET.SG.F see.INF 3.O.say.INF NEG do-IP  
 「私は彼に魚を見たとは言っていない/言い忘れた」



#### 4.1.2. 項の共有

メエ語の動詞連続は主語が一致する場合と、V1の目的語とV2の主語が一致している場合の二通りが観察される。

- (18) a. *Ani ki Jakarta todokita.*  
ani ki Jakarta to-doki-ta  
1SG DET.SG.M Jakarta be-take-IP  
「私はジャカルタを經由した」
- b. *Ani ki ugai piyauto doomenita.*  
ani ki ugai#piyauto doo-meni-ta  
1SG DET.SG.M pen see-3.O.give-IP  
「私は彼にペンを見せた」

(18a) では to-と doki-の主語はどちらも文全体の主語である Ani と解釈できる。一方 (18b) では、doo「見る」の主語は menii「与える」の目的語と一致している。対照的に接続接辞を用いた場合、項の共有は必ずしもされるわけではない。

#### 4.1.3. 単一節と単事象性

本稿で焦点となっているのは、詳しくは後述するようにアスペクト的な意味を付与する動詞連続である。そのため単一節・単事象性については必然的に認められると言える。この項目に関して問題となるのは「第二語幹+動詞」の形である。詳しくは今後の課題の節で述べる。

#### 4.1.4. まとめ

以上4項目について調査を行った結果、動詞連続として認められる形式は (a)「第二語幹+動詞」、(b)「第一語幹+動詞」の2形式であることが分かった。次節では特に (a)「第二語幹+動詞」の意味に関して分析を行う。

### 4.2. メエ語の動詞連続の意味

先行研究では動詞連続を形成する V2 の意味から形式と意味を一対一で対応させて記述が行われた。しかし時制や人称による細かな意味の揺れは扱われなかった。そのため本節では動詞連続の意味に注目して観察を進める。

#### 4.2.1 -tou

-tou は先行研究によって解釈の違いが見られる形式である。Drabbe (1952) では「状態の継続」、Doble (1987) では「話者の不在」を表すとされている。これら二つの意味は今回の調査でも確認された。さらに、ここでは一見無関係の様に見えるこの二つの意味は、「状態焦点化」という観点から見ると統一的に説明できることを示す。

まず動作の結果状態の継続は以下のように表現される。

- (19) a. *Okai ki uwitoogi.*  
okai ki uwi-to-eg-i  
3SG DET.SG.M go-be-RP-3SG.M.S  
「彼は行ってしまった」
- b. *Okai ki damo kebatoomegi.*  
okai ki damo keba-to-emeg-i  
3SG DET.SG.M door open-be- DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
「彼はドアを開けておいた」

一方以下 (20) は先行研究の分析に当てはめれば、「話者の不在」に属する用法である。命令形で-tou が用いられた例であり、この場合-tou は「あとで (私のいないときに) ~してください」という意味を持つ。

- (20) a. *Youtou.*  
you-tou  
cook-be.INF  
「あとで調理してください」
- b. *Kebatou.*  
keba-tou  
open-be.INF  
「あとで開けておいてください」
- c. *Notou.*  
no-tou  
eat-be.INF  
「あとで食べてください」

また以下に示す (21) では V1 に *menii* 「与える」を取っている。この場合、実際に与えるという動作を行うのは主語に示された人以外という解釈が生まれる。つまり主語の代わりに別の誰かが与えるという動作を行ったことになる。

- (21) a. *Ani ki dugi kanitouta.*  
ani ki dugi kani-tou-ta  
1SG DET.SG.M taro 2.O.give-be-DF  
「私は彼にタロイモをあげた」

- b. *Okai ki dugi naimitoutagi.*  
*okai ki dugi naimi-tou-tag*  
 3SG DET.SG.M taro 1.O.give-be-DF.3SG.S  
 「彼は私にタロイモをくれるだろう」

(21a) において日本語訳には現れていないが、実際に与えるという動作をするのは私以外の誰かであり、私の働きかけによって彼がタロイモを所有するという結果が生じていればよい。同じく (21b) では私がタロイモを受け取るのは彼ではない他の誰かということになる。前述の様にこのような「menii+tou」の形は Doble (1987) でも触れているところであり、*tou* の意味を「話者の不在」と捉えて説明を行っている。しかしこれらの実例を踏まえると、*tou* が持つ機能は「状態焦点化」であると考えられる。(19) の例では「話者の不在」のニュアンスは存在せず、反対に (20) と (21) では状態の継続は確認されない。しかしそれぞれのニュアンスが状態焦点化という機能から派生されたものと考え、(19) はある動作が続くという状態を表していることになり、(20) 及び (21) では結果状態に至る過程は問わないという説明が出来る。

#### 4.2.2 -menii

先行研究では使役として扱われていたが、調査では供益的用法が確認された。

- (22) a. *Okai ki ani bedo mana kou yuwinaimita.*  
*okai ki ani bedo mana kou yuwi-naimi-ta*  
 3SG DET.SG.M 1SG bird voice DEM.SG.F hear-1SG.O.give-IP  
 「彼は私に鳥の声を聞かせた」
- b. *Ani piya duwayake dookaninee.*  
*ani piya duwa-yake doo-kani-nee*  
 1SG wood cut-CVM see-2SG.O.give-OPT  
 「今から木を切るから見てて」
- c. *Ani ki okai ugai piyauto doomenita.*  
*ani ki okai ugai#piyauto doo-meni-ta*  
 1SG DET.SG.M 3SG pen see-3.O.give-IP  
 「私は彼にペンを見せた」
- d. *Nonaimai.*  
*no-naimai*  
 eat-1SG.O.give-INF  
 「おごってくれ」

- (23) a. *Aki ki ani ekina kou waginaimita.*  
 aki ki ani ekina kou wagi-naimi-ta  
 2SG DET.SG.M 1SG pig DEM.SG.F kill-1SG.O.give-IP  
 「あなたは豚を殺して、私にくれた」
- b. *Okai ki yonaimita.*  
 okai ki yo-naimi-t  
 3SG DET.SG.M cook-1SG.O.give-IP  
 「彼は私に料理を作ってくれた」
- c. *Ani ki etimenita.*  
 ani ki eti-meni-ta  
 1SG DET.SG.M 3.O.say-3.O.give-IP  
 「私は話をつたえてあげた」

(22) は使役の例、(23) は供益の例である。このように *menii* を伴う動詞連続に二つの機能を認めるのは、V1 の動作主についての解釈が両者で異なるためである。使役での V1 の動作主はそれぞれ、(22a) と (22d) の *yuwi, no* は一人称、(22b) の *doo* は二人称、(22c) の *doo* は三人称であり、V2 の動作主ではなく目的語と一致している。一方供益の場合、(23a) では二人称、(23b) では三人称、(23c) では一人称と V2 の動作主と一致している。インフォーマントによれば両方の解釈が生まれることはあまりなく、解釈の違いは文脈というよりも V1 の動詞の種類に依存していると考えられる。

また *dou* 「見る」と *menii* の組み合わせに関しては表す意味にバリエーションが見られる。

- (24) a. *Ani ki ugai piyauto doomenita.*  
 ani ki ugai#piyauto doo-meni-ta  
 1SG DET.SG.M pen see-3.O.give-IP  
 「私は彼にペンを見つけてあげた」
- b. *Dugi akeepa dookanii.*  
 dugi aki-epa doo-kanii  
 taro 2SG-ALL see-2SG.O.give  
 「あなたに芋を採ってあげよう」

(24a) は (18b) と同じ文であるが、日本語訳のように「～を見つけてあげる」という解釈も可能である。これは *doo* が「見つける」という意味を持っているためと考えられるが、詳しい分析には追加調査が必要である。また同様の形式は「インターネットで(サイトなどを)見つけてあげる」という文脈でも用いることが出来

る。一方 (24b) は慣用化した例であり、構成的ではない「(畑で)採って、与える」という意味が現れている。

また特に (24a) が上述の使役または供益のどちらに分類されるかの判断が問題となる。日本語から判断すれば *doo* の動作主は *menii* の主語でもある一人称であるが、インフォーマントによれば、最終的に「受益者がペンを見る」という事象が起こらなければこの表現は使えないという。これも *dou* に「見つける」という意味を認めるかどうかに関わる問題と考えられる。

#### 4.2.3. -dou

-*dou* は先行研究において「試行」の意味を表すとされているが、用例による詳しい説明は行われていない。調査によって得られた用例においても「試行」の意味が観察されたが、その完結性には注意が必要である。

- (25) a. *Ani ki*                    *nodoopa.*  
           *ani ki*                        *no-doo-p-a*  
           1SG DET.SG.M        eat-see-MP-1SG.S  
           「私は食べてみた」
- b. *Ani ki*                    *wedooa.*  
           *ani ki*                        *we-doo-p-a*  
           1SG DET.SG.M        plant-see-MP-1SG.S  
           「私は植えてみた」

(25a) と (25b) は便宜上「～してみた」という訳語を当てているが、正確には「少しだけ～した」という訳語が正しく、実際に V1 が表す動作は行われている。そのため V1 の動作を否定するような節を後続させることはできない。telic/atelic の問題に関しては以下の例も参考にしたい。

- (26) a. *Ani ki*                    *iyoo wepa.*  
           *ani ki*                        *iyoo we-p-a*  
           1SG DET.SG.M        seed plant-MP-1SG.S  
           「私は種を植えた」
- b. *Ani ki*                    *iyoo wemakipa.*  
           *ani ki*                        *iyoo we-maki-p-a*  
           1SG DET.SG.M        seed plant-put-MP-1SG.S  
           「私は種を植え終えた」

(26a) は植えたという事実はあるものの、どの程度植えたのか、植えることを完了したのかについては問わない表現である。一方 (26b) は植えるべき種をすべて植えるという行為の完了を含意する。

#### 4.2.4. -dokii

-dokii は先行研究では周辺の動詞連続として扱われ、詳しい考察は行われなかったが、今回の調査で一定の生産性が確認された。

- (27) a. *Ani ki nodokiyake uwita.*  
 ani ki no-doki-yake uwi-ta  
 1SG DET.SG.M eat-take-CVM go-IP  
 「私は(途中で)食べてから、行った」
- b. *Okai ki Jakarta todokiyake uwita.*  
 okai ki Jakarta to-doki-yake uwi-ta  
 3SG DET.SG.M Jakarta be-take-CVM go-IP  
 「彼はジャカルタに滞在してから行った」
- c. *Ani ki dugi wadidokii.*  
 ani ki dugi wadi-dokii  
 1SG DET.SG.M taro dig-take-INF  
 「私は芋を掘っていく」

(27) の例はすべて、「V1 をし終えてから、出発する」という意味を持つ。調査では (27a) や (27b) のように -yake uwii と共起した例が多くみられたが、(27c) のように wadi-dokii のみでも同様の意味を表す。また「V1 を終える」という意味を含意することから -yawii を用いての言い換えも可能である。-yawii の有無による細かな意味の差については調査中である。

- (28) a. *Ani ki dugi kegayawidokita.*  
 ani ki dugi kega-yawi-doki-ta  
 1SG DET.SG.M taro dig-ACCOMP-take-IP  
 「私は芋を掘り終えて行った」
- b. *Ani ki Jakarta toyawiyake uwii.*  
 ani ki Jakarta to-yawi-yake uwii  
 1SG DET.SG.M Jakarta be-ACCOMP-CVM go-INF  
 「私はジャカルタに滞在してから行く」

また以下の二つの文の差について考えたい。

- (29) a. *Okai ki owaa migidokita.*  
 okai ki owaa migi-doki-ta  
 3SG DET.SG.M house build-take-IP  
 「彼は家を作った」
- b. *Okai ki owaa migimakidokita.*  
 okai ki owaa migi-maki-doki-ta  
 3SG DET.SG.M house build-put-take-IP  
 「彼は家を作った」

インフォーマントによれば、(29a) は家を作ったという事実はあるが、今はその家がないことを含意する。一方、(29b) では発話時点でまだ家が残存しており、持ち主がまた家に戻ってくる可能性がある。両文を比較すれば、*-makai* の存在が「戻ってくる可能性」の意味を左右しているように見えるが、実際以下の (30) は日本語の「置いておいた」に相当し、また取りに戻ってくる可能性を示唆している。

- (30) *Agiya makidokita.*  
 agiya maki-doki-ta  
 net.bag put-take-IP  
 「カバンが置いてある」

#### 4.2.4. 完了を表す諸形式

完了を表す形式には、*-yawii*, *-kumii*, *-makai* がある。先行研究ではこれらの細かい意味の差は触れられておらず、今回の調査でもインフォーマントによればそれぞれ互換性があるとされ、大きさ意味の差の分析までには至らなかった。

- (31) a. *Ani ki iyoo wemakita.*  
 ani ki iyoo we-maki-ta  
 1SG DET.SG.M seed plant-put-IP  
 「私は種を植えた」
- b. *Ani ki iyoo weyaawita.*  
 ani ki iyoo we-yaawi-ta.  
 1SG DET.SG.M seed plant-ACCOMP-IP  
 「私は種を植えた」

## 5. 今後の課題

今回焦点を当てたものは「第二語幹+動詞」の形式であった。この形式は類型論的な動詞連続の特徴を多く有するため、メエ語における動詞連続と定義すること

が出来ると考える。この動詞連続は接続接辞や従属節といった形式とは統語的に区別されるものである。今回は特にアスペクト的意味を表すものを中心に扱ったが、他にも先行研究でも触れられているように第一語幹が直示動詞と共起して「～しに行く/来る」の意を表すことがある。

- (32) a. *no uwita*                   「食べに行く」  
       b. *doo uwita*               「見に行く」

ここで問題となるのは、この直示動詞が第二語幹と共起する可能性があることである。

- (33) a. *Okai ki dugi dokeuwita.*  
       *okai ki dugi doke-uwi-ta*  
       3SG DET.SG.M taro take-go-IP  
       「彼はイモを持って行った」  
       b. *Okai ki dugi dokemeta.*  
       *okai ki dugi doke-me-ta*  
       3SG DET.SG.M taro take-come-IP  
       「彼はイモを持って来た」  
       c. *Okai ki dugi kadokeyawita.*  
       *okai ki dugi ka-doke-yawi-ta*  
       3SG DET.SG.M taro 2SG.O-take-go-IP  
       「彼はあなたにイモを持って行った」

これらの例はどちらも動詞連続の特徴を有する。しかしなぜこのような語幹の使い分けが行われるのかは現時点では明らかではない。

加えて、メエ語は契機的事象を表すのに動詞連続ではなく接続接辞を用いることが一般的であるが、一部契機的動作を表す動詞連続が確認されている。ただし、これらの生産性及び、接続接辞を用いた場合との意味の差は今後の課題である。



## 略 語 一 覽

1	first person	IP	indefinite past
2	second person	M	masculine
3	third person	MP	middle past
ACCOMP	accomplishment	NF <sub>1</sub>	near future1
ALL	allative	O	object
BEN	beneficiary	OPT	optative
CVM	converb marker	PROG	progressive
DP <sub>2</sub>	distant past2	RP	recent past
DET	determiner	S	subject
EMP	emphasis	SG	singular
F	female	SPN	spontaneous
INF	infinite		

## 参 考 文 献

- Aikhenvald, Alexandra Y. 2006. "Serial verb constructions in typological perspective". In Alexandra Y. Aikhenvald & R. M. W. Dixon. (eds.) pp. 1–68. Oxford & New York: Oxford University Press.
- Aikhenvald, Alexandra Y., & R. M. W. Dixon. (eds.) 2006. *Serial Verb Constructions: A Cross-Linguistic Typology*. Oxford & New York: Oxford University Press.
- Doble, Marison. 1987. "A Description of Some Features of Ekari Language Structure". *Oceanic Linguistic*. 26 (1/2). pp. 55–113.
- Drabbe, Peter. 1952. *Spraakkunst van het Ekagi: Wisselmeren Ned. N. Guinea*. The Hague: Martinus Nijhoff.
- Haspelmath, Martin. 2016. "The Serial Verb Construction: Comparative Concept and Cross-linguistic Generalizations". *Language and Linguistics*. 17(3). pp. 291–319.
- Steltenpool, J. 1969. *Ekagi-Dutch-English- Indonesian Dictionary*. The Hague: Martinus Nijhoff.

## 第3章 メエ語の従属節

黒島規史

キーワード: メエ語, 従属節, 関係節, 補文節, 副詞節, 定形性

Keywords: Mee language, Subordinate Clause, Complement Clause, Relative Clause, Adverbial Clause, Finiteness

1. はじめに
2. 考察の前提: メエ語の特徴
3. 補文節
4. 関係節
5. 副詞節
6. メエ語における従属節と主節の連続性
7. おわりに

### 1. はじめに

他の節に埋め込まれ、独立性を持たない従属節には、他の節の述語の目的語項になる補文節、他の名詞句を修飾する関係節、他の述語を副詞的に修飾する副詞節がある。メエ語の補文節、関係節述語は主節述語と形態的に同一であり、補文節に関しては補文マーカーも存在しない。さらに、副詞節として機能する節の述語も、主節述語と形態的に同一のものが見いだされる。このことは Doble (1987) においても記述されているが、副詞節が補文節として機能する例や、主節として機能する、いわゆる *insubordination* の例についての記述は見られない。本稿ではメエ語における副詞節の多様な機能について明らかにし、改めてメエ語の従属節と主節の連続性について整理する。

本稿は 2018 年 9 月 3 日から 14 日にかけて東京外国語大学アジア・アフリカ研究所にて行われたメエ語研修、2019 年 2 月 5 日から 9 日にかけて同場所で行われたメエ語フォローアップミーティングおよび、2019 年 2 月 13 日に個人的に行った追加調査で得られたデータに基づいている。<sup>1</sup>メエ語のインフォーマントは Dance Nawipa 氏で、メエ語パニアイ方言を母語とする。よって、基本的にここで扱うのはメエ語パニアイ方言だが、以下、単にメエ語と称する。

---

<sup>1</sup> 講師の塩原朝子先生には研修中に多大な指導を賜った。また、データは筆者一人で得たものではなく、インフォーマントの方の協力のもと、他の研修参加者との共同調査によって得られたものである。しかし、言うまでもなく本稿におけるいかなる誤りも筆者の責任である。

## 2. 考察の前提：メエ語の特徴

メエ語の類型論的特徴について述べると、膠着型言語、基本語順は SOV で、修飾語と被修飾語は NA/AN どちらもありうる。

関係節について、基本的には被修飾語に先行するが、形容詞等の修飾語が被修飾語の前後に現れるように、関係節が被修飾語に後続する場合もあるようである。

メエ語の述語構造は、おおよそ (1) のような順で動詞語幹の前後に接辞が連なる。

### (1) Negative-Dual subject-Benefactive-Object-Verb stem-Tense-Subject

メエ語には主語一致接辞があるが、時制形によってはこの接辞は現れない。benefactive マーカーには substitutive や所有物被影響などの解釈がある接辞と benefactive や goal, comitative などの解釈のある接辞の 2 系列ある（本稿のグロスではそれぞれ BEN<sub>1</sub> と BEN<sub>2</sub> と表記する）。<sup>2</sup>その他、動詞語幹に先立つ要素として、尊敬を表す接辞がある。

メエ語の副詞は述語に先行し、位置は比較的自由なようである。同様に副詞節も上位節（主節）に先行する。副詞節述語は、動詞語幹に接尾辞が接続する場合と、主語一致接辞 + 限定詞から形成される接続詞のようなものが後続する場合とがある。後者の場合は主節相当の節を接続するわけなので等位節といってもよいが、6 節で述べるように、メエ語においては従属節と主節は連続しているため、等位節を設定する必要はないかもしれない。

## 3. 補文節

補文節をここでは、主節動詞の目的語項になり、それ自体は命題や叙述を表す節という意味で用いる (cf. Noonan 2007)<sup>3</sup>。日本語では「と」が補文節を導くマーカーとなるが、メエ語にはそのような明らかな補文節マーカーは観察されず、補文節内の述語も主節に現れるときと同様の形で現れる。Noonan (2007: 121-145) では補文節を導く述語タイプを、utterance predicates (‘say’, ‘tell’, etc.), propositional attitude predicates (‘believe’, ‘think’, etc.) を含め 14 つ挙げている。

次のメエ語の例 (2) では、etii 「言う」が、(3) では gai 「考える」がそれぞれ補文節を取っている。

<sup>2</sup> Dixon (2012) によれば、applicative の意味としては benefactive を基本として、goal や comitative などがあると述べている。また、Polinsky (2013) によれば substitutive は comitative と並んで intransitive の applicative によく見られる意味であるという。さらに、Kulick & Stroud (1992: 213) は、Taiap (Gapun) 語において、benefactive の接辞によって、ある行為による所有者への影響、結果が前面化されることを報告している。この 2 系列の接辞は意味的な観点から applicative マーカーと分析することも可能であると考えられる。しかし、項の変化を起こさず、必須の要素でもないため、ここでは benefactive マーカーとラベル付けをしておく。

<sup>3</sup> By complementation, we mean the syntactic situation that arises when a notional sentence or predication is an argument of a predicate. (Noonan2007: 52)

- (2) *mee inooma ko teeoowegai eneemegi*  
 [mee ino-ma ko te-oo-wegai]<sub>COMP</sub> eni-emeg-i  
 person another-COM DET.SG.F NEG-3.BEN<sub>2</sub>-speak.INF 1SG.O.say-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 「他の人とは話してはいけないと言っていた」

- (3) *ani ki kadooga gaaga*  
*ani ki [ka-do-eg-a]<sub>COMP</sub> ga-eg-a*  
 1SG DET.SG.M 2SG.O-see-RP-1SG.S think-RP-1SG.S  
 「わたしはあなたに会ったと思った」

補文節述語には、(8)のように日本語の「よ」のような小詞 *nu* を付けることもできる。

- (4) *ani ki okai ikane kou dou nu etita*  
*ani ki okai [ikane kou dou nu]<sub>COMP</sub> eti-ta*  
 1SG DET.SG.M 3SG fish DEM.SG.F see.INF PTCL 3.O.say-IP  
 「わたしは彼／彼女に魚を {見たよ／見てね} と言った」

#### 4. 関係節

関係節とは、他の名詞句の内容を規定する節である (cf. Andrews 2007)<sup>4</sup>。形容詞節などとも呼ばれる。メエ語は現代日本語と同様に、関係節に制限があまりなく、多様な修飾関係を見せる。メエ語は被修飾名詞句と格関係がある内の関係と、格関係がない外の関係の2種類の関係節を持つ。そして、主要部内在型の関係節も可能である。

まず語順について、基本的に関係節は被修飾名詞に先行する。ただし、形容詞が被修飾名詞に先行することも後続することもあるように、関係節も被修飾名詞に後続することがあるようである。形容詞は例えば *mee woya* (person high) も *woya mee* (high person) のどちらの語順もありうる (ただしこの場合は前者の被修飾名詞—修飾語の語順が好まれる)。 (5) の場合、関係節が被修飾名詞に先行する場合は、誰かが割った石であることが含意され、関係節が後続する場合は特に誰が割ったということなく、割れた石であることが含意される。

- (5) {*akagita mogo / mogo akagita*} *topa*  
 {[*akagi-ta*]<sub>REL</sub> *mogo / mogo [akagi-ta]*<sub>REL</sub>} *to-p-a*  
 split-IP stone / stone split-IP be.present-MP-3SG.F.S  
 「{割った石／割れた石} がある」

<sup>4</sup> A relative clause (rc) is a subordinate clause which delimits the reference of an NP by specifying the role of the referent of that NP in the situation described by the rc (Andrews 2007: 206)

関係節述語の形態について、メエ語も現代日本語と同様に、基本的に主節と同様の形態が用いられる (6).

- (6) *didi yakita dodi*  
 [*didi yaki-ta*]<sub>REL</sub> *dodi*  
 sick catch-IP dog  
 「病気になった犬」

(6) は関係節の述語に人称接辞が付かない形であり、調査中に得られた例は、不定形（非過去形）か不定過去の例が多かったが、(7) のように人称接辞が付いた例も見られた。Doble (1987: 69-70) によると、すべての時制形で関係節が形成できるようである。

- (7) *geto mepi mee*  
 [*geto me-p-i*]<sub>REL</sub> *mee*  
 yesterday come-MP-3SG.M.S person  
 「昨日来た人」

次の (8), (9) が、いわゆる外の関係の例である。(8) は関係節が名詞 *dimi* 「考え」を修飾している。直訳すると「[魚を買おう] (という) 考えを考えて…」のようになるだろう。

- (8) *ikane edainee dimi gaayake eda uwita*  
 [*ikane edai-nee*]<sub>REL</sub> *dimi gaa-yake eda uwi-ta*  
 fish buy.INF-OPT thought think-CVM.SEQ buy go-IP  
 「魚を買おうと思って買いに行った」

(9) は関係節が *mana* 「話」を修飾し、「[人魚は泡になる] 運命だ」のような人魚構文となっている。

- (9) *johnya yoosuwaa wagipi manaa*  
 [*john-ya yoosuwa wagi-p-i*]<sub>REL</sub> *mana*  
 PN-GEN PN kill-MP-3SG.M.S speech  
 「ジョンがヨシュアを殺したという話だ」

次の (10a) は主要部外在型関係節の例で、主要部である *yame* 「男」が関係節によって修飾されている。一方、(10b) は主要部内在型関係節の例で、主要部 *yame* が関係節内に入っている。

- (10) a. *geto meta yamee kidi wagita*  
 [*geto me-ta*]<sub>REL</sub> *yame kidi wagita*  
 yesterday come-IP man DEM.SG.M 3.o.hit-IP  
 「昨日来た男を殴った」

b. *geto yame meta kidi wagita*  
 [*geto yame me-ta*]<sub>REL</sub> *kidi wagi-ta*  
 yesterday man come-IP DEM.SG.M 3.o.hit-IP  
 「昨日男が来たのを殴った」

どのような名詞句が関係節化されやすいかということを表した含意的階層として知られるのが、(11)の名詞句接近可能性階層である。この含意的階層では、主語が最も関係節化されやすいということを示しており、ある言語において間接目的語が関係節化されるならば、その左の直接目的語、主語も関係節となることが可能であることを示唆する。

(11) 名詞句接近可能性階層 (Noun Phrase Accessibility Hierarchy)

主語 > 直接目的語 > 間接目的語 > 斜格名詞句 > 属格名詞句 > 比較対象名詞句

(Keenan & Comrie 1977)

さきに挙げた (6), (7) は主語名詞句が関係節によって修飾されている例であった。他にも調査で得られた例には、直接目的語 (12), 二次目的語 (secondary object) (13), 斜格名詞句 (与格名詞句) (14), 属格名詞句 (15) まで関係節化している例があった。

(12) *edooga medooga uwita gaa kodo doota bagumee ko ena*  
 [*edooga medooga uwi-ta gaa kodo doo-ta*]<sub>REL</sub> *bagume ko ena*  
 for.the.first.time go-IP time DEM.SG.F see-IP dream DET.SG.F one  
*topa*  
*to-p-a*  
 be.present-MP-3SG.F.S  
 「初めて行ったときに見た夢が一つある」

メエ語は三項動詞文において *secundative* 型のアラインメントを示す。 *menii* 「あげる」のような三項動詞をもつ文においては、*theme* (もの) にも *recipient* (友達) にも特に表示はない。動詞の接頭辞は二項動詞文における *pacient* と同じものが付き、*recipient* に一致している。よって (13) では、*agiyo* 「もの」が一次目的語、*noogei* 「友達」が二次目的語である。

(13) *aniya agiyoo menita noogei kidiki ideide tita*  
 [*ani-ya agiyo meni-ta*]<sub>REL</sub> *noogei kidiki ide~ide ti-ta*  
 1SG-GEN thing 3.o.give-IP friend himself like~RDP do-IP  
 「わたしがものをあげた友達は喜んだ」

- (14) *tekeepoo awii agiyaa*  
 [tekeepoo awii]<sub>REL</sub> agiya  
 tekeepoo put.in.INF net.bag  
 「tekeepooを入れる袋」
- (15) *nakameeya yepaani mana etopeete noogei ena*  
 [nakame-ya yepaani mana etopa-ete]<sub>REL</sub> noogei ena  
 his/her.father-GEN Japanese language 3.o.teach-PROG friend one  
*topi*  
*to-p-i*  
 be.present-MP-3SG.M.S  
 「父親が日本語を教えている友人が一人いる」

これまでの調査によると、メエ語は特に比較構文を持たないようなので、関係節が比較対象名詞句を修飾する例はないことが予想される。

この他、関係節述語と名詞が一語になっている *ugatame* (*uga-ta me: make-IP person*) 「創造主」のような例もある。

## 5. 副詞節

副詞節は、その名のとおり他の節を副詞的に修飾する節である。メエ語の副詞節は、アスペクト、テンス的対立が存在しない形と、主節と同様にアスペクト、テンスの対立を持つ形が存在する。これまでの調査では、前者にあたる形としては *-yake* 「～て」があり、おそらく仮定条件を表す *-piki/-pako*, 反事実条件の *-pa naako*, 条件の *-touyogo* もアスペクト、テンスの対立がないと考えられる。後者には *koyoka* 「～から」や *kodeya* 「～けど」などがある。以下では、この調査で得られた副詞節を見ていく。

5.1 から 5.4 までは動詞の語幹形に接続する副動詞語尾であり、5.5 から 5.10 までは定形の述語に接続する形である。5.7 は *gaa* 「時」を用いた副詞節で、5.8 から 5.10 までは限定詞に由来する接続詞から成る副詞節である。

### 5.1. 継起 *-yake*

*-yake* は動詞の語幹形に接続する。(16)のように日本語の「～て」と同様動作の先行を基本として、様々な意味を表す。先行動作による状態(18)や原因(19)などとも解釈される場合がある。主語は同主語の場合も異主語の場合もありうる。(17a)のように言うと、上位節と同時に行われる事態と解釈されることもあるため、先行性を明示するには(17b)のように動作の完了を表す *-yaawii* を付ければよい。

- (16) *okai ki uta duwayake nota*  
*okai ki uta duwa-yake no-ta*  
 3SG DET.SG.M fruit cut-CVM.SEQ eat-IP  
 「彼は実を取って食べた」
- (17) a. *noyakee buuku ebatai*  
*no-yake buuku ebatai*  
 eat-CVM.SEQ book read.INF  
 「食べているとき本を読む」  
 b. *noyaawiyake buuku ebatai*  
*no-yaawi-yake buuku ebatai*  
 eat-ACCOMP-CVM.SEQ book read.INF  
 「食べてから本を読む」
- (18) *animakiyake buuku ebateete*  
*animaki-yake buuku ebati-ete*  
 sit-CVM.SEQ book read-PROG  
 「座って（座りながら）本を読んでいる」
- (19) *dodi kii ke / kou ko didi yakiyake bokata*  
*dodi kii ke / kou ko didi yaki-yake boka-ta*  
 dog DEM.SG.M DET.SG.M / DEM.SG.F DET.SG.F sick catch-CVM.SEQ die-IP  
 「犬が病気になって死んだ」
- (20) に見るように、動詞に否定の *te-* が付いている場合でも、*-yake* は結合することができる。
- (20) *tewagiyake menii*  
*te-wagi-yake menii*  
 NEG-kill-CVM.SEQ 3.o.give.INF  
 「殺さずに（彼、彼女に）あげる」
- また、*tai* 「する」に *-yake* が接続した *tiyake* は、これで原因を表す助詞のように用いられる (21)。
- (21) *makipigii tiyake yaikai*  
*maki#pigii ti-yake yaikai*  
 earth#shake.INF do-CVM.SEQ stop.INF  
 「地震で中止になる」
- (22) では、「～ではなくて」というときにも *-yake* の形が用いられている。



- (22) *john ki beu tiyake josua wagita*  
*john ki beu ti-yake josua wagi-ta*  
 PN DET.SG.M be.not do-CVM.SEQ PN hit-IP  
 「ジョンではなくてヨシュアが叩いた」

さらに、本来主節を伴う *-yake* 節が疑問の焦点として単独で現れる場合がある。これは、本来従属節であった節が主節化する *insubordination* (従属節の主節化) (cf. Evans2007) の例だと言うことできる。(23a) の質問に対する答えとして、(23b) のように答えることが可能である。原因、理由を表す ‘ka’ は付いても付かなくてもよい。

- (23) a. *maagiyoo kaa tekoodaapa mei beu?*  
*maagiyoo ka tekooda-epa mei beu?*  
 why because school-PLACE come.INF not.be  
 「どうして学校に来なかったの？」  
 b. *dagi didi tiyakee (kaa)*  
*dagi didi ti-yake (ka)*  
 head sick do-CVM.SEQ because  
 「頭が痛くて」

## 5.2. 同時 *-etigo*

*-etigo* は上位節との同時的事態を表す。

- (24) *okai ugaatigoo edoota*  
*okai uga-etigo e-doo-ta*  
 3SG write-CVM.SIM 3.o-see-IP  
 「彼は書いている最中に (彼／彼女を) 見た」

## 5.3. 条件 *-p-*

### 5.3.1. 仮定 *-pi ki/-pa ko*, 譲歩 *-pi maiya/-pa maiya*

中過去の *-p-* は条件節にも用いられる。(25a) のように *-p-* + 主語人称接尾辞 + 限定詞の *ki/ko* が付いたと考えられる *-pi ki/-pa ko* は仮定条件を表す。*ki/ko* が *topic* のように働くことがあることを考慮すると、様々な言語で *topic* を表す形式と条件を表す形式の形態的な同一性が認められることとも関連があると考えられる。日本語の「～ば」も *topic* の「～は」であったと考えられている。また、限定詞の *ki/ko* の代わりに *maiya* 「～も」を付けると、譲歩を表すことができる。逆条件を表す場合、英語の *even if* や、日本語の「～ても」に見られるように、*even*, *also* といった意味を表す語が付加されることが多い。(25b) も同様の現象だと考えられる。

- (25) a. *aweta edi tipa ko noogeiya owaa ko*  
*aweta edi ti-p-a ko nooge-i-ya owaa ko*  
 tomorrow rain do-CVM.COND-3SG.F.S DET.SG.F friend-GEN house DET.SG.F  
*teuwiita*  
*te-uwii-ta*  
 NEG-go-DF  
 「明日雨が降ったら友達の家には行かない」
- b. *aweta ko edi tipa maiya noogeiya owaa*  
*aweta ko edi ti-p-a maiya nooge-i-ya owaa*  
 tomorrow DET.SG.F rain do-CVM.COND-3SG.F.S also friend-GEN house  
*ko teuwiita*  
*ko te-uwii-ta*  
 DET.SG.F NEG-go-DF  
 「明日雨が降っても友達の家には行かない」

### 5.3.2. 反事実条件 -pa naako

実現しなかった事態を仮定する反事実条件は -pa naako で表される。仮定条件の -pa ko とも形態的に類似しているが、naa については分析できていない。<sup>5</sup>

- (26) *ani egaa anigoopa naako koma wadouwe {kiya*  
*ani egaa anigoo-p-a naako koma wadouwe {ki-ya*  
 1SG quickly wake.up-CVM.COND-3SG.F.S SUBJ vehicle up become-SUBJ  
 / *kitoya / kitoya kodeya*  
 / *ki-toya / ki-toya kodeya*  
 / *become-SUBJ / become-SUBJ but*  
 「(わたしは)もっと早く起きていればバスに乗れたのに」

なお、'kodeya' 「～けど」は本来的に副詞節である節が主節として現れているため insubordination の例だといえる。

### 5.4. 条件 -touyogo

-touyogo も 5.3 で見た -p- のように、限定詞や maiya 「～も」が後続して仮定条件や譲歩を表す。(27) が仮定条件、(28) が譲歩の例である。

<sup>5</sup> Steltenpool (1969: 178) では 'naako' について次のように記述している: "conjunction placed at the end of the subordinate clause, when there is question of conditional subjunctive clauses with the suffix -ja or -toja, which are added to the verb of the head-clause"

- (27) *kei titouyogoo ko mege edou*  
*kei ti-touyogo ko mege e-dou*  
 work do-CVM.COND DET.SG.F money 3.O-see.INF  
 「働いていたら、お金がもうかる (lit. お金を見る)」
- (28) *kou pidini kouko gootiyawitouyogoo maiya peu teekimake*  
*kou pidini kouko gooti-yawi-touyogo maiya peu te-ki-make*  
 DEM.SG.F dish DEM.SG.F drop-TRZ-CVM.COND also bad NEG-become-POSS  
 「たとえこのお皿は落としても割れない」

ちなみに、インフォーマントの方によると (25b) の ‘*edi tipa maiya*’ 「雨が降っても」を ‘*edi titouyogoo maiya*’ に言い替えると、より仮定の意味がはっきり出るようである。両者の意味的差異についてはさらに調査が必要である。

### 5.5. 時／条件 -(i)daiga

-(i)daiga は調査で得られた例においては、時や条件を表す文に現れていた。(29) は *beu* 「ない」とともに「～しないうちに」という意味を表し、(30) は条件を表しているようである。Doble (1987: 62-63) は -idaiga について、場所や位置を表す接尾辞 -ida に動作や方向を表す接尾辞 -iga が付いて形成されたものと述べ、Doble (1987: 108) では *manner* を表す -idaiga の例を挙げている。この記述を見ると、-idaiga は接尾辞のようだが、(29), (30) を見ると動詞の不定形に後続しているため、接続詞のようでもある。あるいは動詞語幹に -idaiga が接続することにより -i が不定詞を形成する語尾のように再解釈されたのかもしれない。形態についてはさらに調査が必要である。

- (29) *okai nadou beu daiga ani okaiya mege awii*  
*okai na-dou beu daiga ani okai-ya mege#awii*  
 3SG 1SG.O-see.INF not.be while 1SG 3SG-GEN money#put.in.INF  
*yamotipa*  
*ya-moti-p-a*  
 3.BEN<sub>1</sub>-take-MP-1SG.s  
 「彼／彼女がわたしを見ていないうちに、わたしは彼／彼女の財布を盗んだ」
- (30) *topii daiga epii kimake*  
*topii daiga epii ki-make*  
 study.INF if know.INF become-POSS  
 「勉強したらできる」

### 5.6. 目的 -ne

-ne は「～ように」という目的を表す.

- (31) *ibuuda<sup>6</sup> kou epi dootainee jendera kou kebata*  
*ibuuda kou epi doo-tai-ne jendera kou keba-ta*  
 outside DEM.SG.F clearly see-do.INF-OPT window DEM.SG.F open-IP  
 「外がよく見えるように窓を開けた」

### 5.7. 時 gaa ko

時を表す場合, *gaa ko* を用いる (32). また, 「～する前に」は *beu* 「ない」に *gaa ko* を付けることで表すことができる (33).

- (32) *dugi noote gaa ko mana tewegai*  
*dugi no-ete gaa ko mana te-wegai*  
 potato eat-PROG time DET.SG.F speech NEG-speak.INF  
 「ご飯を食べているときは話してはいけない」
- (33) *tekeepooa uwii beu gaa ko epeepi tai agiyoo wiyadani*  
*tekeepoo-epa uwii beu gaa ko epeepi tai agiyo wiya-dani*  
 tekeepoo-PLACE go.INF not.be time DET.SG.F neat do.INF thing two-like  
*epeepi neeteemegai*  
*epeepi nee-ti-emeg-ai*  
 neat 1PL.BEN<sub>2</sub>-DO-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 「tekeepoo 畑に行く前に準備しなければならないものを, いくつか準備していた」

### 5.8. 様態 kodo

指示詞の *kodo* が動詞の *beu* 否定形に続き, 「～しないまま」という意味を表す.

- (34) *dugi nai beu kodo uwita*  
*dugi nai beu kodo uwi-ta*  
 potato eat.INF be.not DEM.SG.F go-IP  
 「ご飯を食べないまま行った」

### 5.9. 原因/理由 koyoka

*koyoka* は日本語の「～から」のように理由を表す. *koyoka* の場合は, (35) のように, 副詞節内にテンスの対立を持つ. 例 (35) では, 副詞節, 主節ともに過去を

<sup>6</sup> Doble (1960: 23) では 'jibuuda' (ここでの表記法だと *yibuuda*) となっていた.

表す接辞が結合しているものの、同じ過去接辞ではない。従属節と主節の時制の組み合わせについても調査が必要である。

- (35) a. *edi weete koyokaa egaa uwiinee*  
*edi we-ete koyoka egaa uwii-ne*  
 rain fall-PROG because quickly go-OPT  
 「雨が降っているから、すぐ行きますね」
- b. *edi weetega koyokaa egaa uweetega*  
*edi we-eteg-a koyoka egaa uwi-eteg-a*  
 rain fall-DP<sub>1</sub>-3SG.F.S because quickly go-DP<sub>1</sub>-1SG.S  
 「雨が降ったから、すぐ行った」

#### 5.10. 逆接 *kodeya/kodoya*

*kodeya* あるいは *kodoya* は日本語の「～けど」のように逆接を表す。*kodeya/kodoya* に関しても、*koyoka* 「～から」と同様にテンスの対立がある。

- (36) *kou ikane kouko adekaa ko ibo kodeya igi peu*  
*kou ikane kouko adekaa ko ibo kodeya igi peu*  
 DEM.SG.F fish DEM.SG.F price DET.SG.F big but taste bad  
 「この魚は高いのにおいしくない」
- (37) *naitai ki kota uweegi kodeya noukai ko taida*  
*naitai ki kota uwe-eg-i kodeya noukai ko taida*  
 my.father DET.SG.M TOWN GO-RP-3SG.M.S but my.mother DET.SG.F field  
*uweega*  
*uwe-eg-a*  
 GO-RP-3SG.F.S  
 「父は町に行ったが、母は畑に行った」

#### 6. メエ語における従属節と主節の連続性

すでに4節で見たように、メエ語においては、関係節述語と主節述語は形態的に区別されない。さらに、(31)で例を挙げた *-ne* は、副詞節として目的を表すが、一方で主節では例(35)の *uwii-ne* (go-opt) 「行きますね」のように願望や意図を表す。このようにメエ語では主節述語と同様の形が副詞節述語としても用いられるという事実がある。(27), (28)で例を挙げた *-tuyogo* 「～ても」は Doble (1987: 99)によると、(38)のように過去進行を表す接辞として主節述語にも用いられるという。

(38) *Okai animakiyake ediimi-touyogo.*

he sat-having begging was-there

‘He was sitting begging.’ (Doble 1987: 99, 下線はボードに改めた)

ただ、インフォーマントの方によるとこの (38) は不自然な例であり、聖書の中では (39) のような言い方が見られるという。

(39) *iyeeooti ki agapee widaagoo anigootouyogoo*

*iyeeooti ki agape widaagoo anigo-touyogo.*

Jesus DET.SG.M day third rise.up-TOUYOGO

「イエスさま 3 日目によみがえった」

-*touyogo* が主節述語に接続したときの意味についてはまだ調査の余地があるが、いずれにしろ主節にも現れることができるということはたしからしい。

本来副詞節であると考えられる *kodeya* 「～けど」が主節として現れていることについては (26) で指摘した。これらの例とは逆に、(18) で見た、調査の限りでは主節用法が主である進行アスペクトの -*ete* は (40) のように補文節としても用いられる。

(40) *ani ki okai ki ugaate edoota*

*ani ki [okai ki uga-ete]<sub>COMP</sub> e-doo-ta*

1SG DET.SG.M 3SG DET.SG.M write-PROG 3.O-see-IP

「わたしは彼が書いているのを見た」

(24) に例を挙げた同時を表す -*etigo* も、(40) と同様、(41) のように補文節としても機能するようである。

(41) {*wegaatigoo / uweetigoo*} *edoota*

{*[wega-etigo]<sub>COMP</sub> / [uwi-etigo]<sub>COMP</sub>*} *e-doo-ta*

speak-CVM.SIM / go-CVM.SIM 3.O-see-IP

「{話しているのを / 行っているのを} 見た」

ここまで述べてきたことを表 1 にまとめる。

表 1 メエ語における主節，副詞節，補文節の連続性

	主節	副詞節	補文節
-ne [OPTATIVE]	✓	✓	
-touyogo [CONDITIONAL]	✓	✓	
kodeya/kodoya [ADVERSATIVE]	✓	✓	
-ete [PROGRESSIVE]	✓		✓
-etigo [SIMULTANEOUS]		✓	✓

メエ語においては、このように、同一形態の節が多様な機能を持っている。すでに述べたように、メエ語の時制形には主語人称接辞が付くものと付かないものがある。表 1 にも挙げた -ne, -ete などは人称接辞の付かない形であり、これらは人称接辞が付く形に比べて、定形性が低いと考えることができるかもしれない。Bisang (2007: 124) は類型論的な観点から、finiteness (定形性) と関わりのあるカテゴリとして (42) のように四つを示している。

- (42) tense (時制)  
 illocutionary force (発語内効力)  
**person (人称)**  
 politeness (丁寧さ)  
 (Bisang2007: 124, ボールドは引用者による)

(42) に示したように、類型論的な観点からは、人称が定形性を持つものと考えられる。メエ語に関してもこの基準が当てはまると考えられるが、今後さらに調査が必要である。

## 7. おわりに

本稿では、メエ語の従属節（補文節，関係節，副詞節）について調査から得られたデータをもとに記述，整理した。特に副詞節については逆接を表す kodeya/kodoya 節が主節としても用いられること，進行アスペクト -ete と同時を表す -etigo 節が補文節としても機能することを新たに指摘し，メエ語における従属節の主節の連続性について述べた。

### 略号一覧

BEN: benefactive (受益), COM: comitative (共同格), COMP: complement clause (補文節), COND: conditional (条件), CVM: converb maker (副動詞語尾), DEM: demonstrative (指示詞), DET: determinar (限定詞), DF: distant future (遠未来), DP: distant past (遠過去), F: feminine (女性), GEN: genitive (属格), IP: indefinite past (不定過去), INF: infinitive (不定詞), M: masculine (男性), MP: middle past (中過去), NEG: negative (否定), OPT: optative (希求法), PN: proper noun (固有

名詞), POSS: possibility (可能), PROG: progressive (進行アスペクト), PTCL: particle (小詞), RDP: reduplication (重複), REL: relative clause (関係節), RP: recent past (近過去), SEQ: sequential (継起), SG: singular (単数), SIM: simultaneous (同時), SUBJ: subjunctive (仮定法), TRZ: transitivizer (他動詞化)  
-: 接辞境界, #: 語境界 (接語に関しては本稿では分析していない)

## 参 考 文 献

- Andrews, Avery D. 2007. "Relative clauses". In Timothy Shopen (ed.) *Language Typology and Syntactic Description. Volume II: Complex Constructions*. Cambridge: Cambridge University Press. pp.206–236.
- Bisang, Walter. 2007. "Categories that make finiteness: discreteness from a functional perspective and some of its repercussions". In Irina Nikolaeva (ed.) *Finiteness*. Oxford: Oxford University Press. pp.115–137.
- Dixon, R.M.W. 2012. *Basic Linguistic Theory. Volume 3. Further Grammatical Topics*. Oxford: Oxford University Press.
- Doble, Marion. 1960. *Kapauku-Malayan-Dutch-English Dictionary*. The Hague: Martinus Nijhoff.
- Doble, Marion. 1987. "A description of some features of Ekari language structure". *Oceanic Linguistics* 26(1/2). pp.55–113.
- Evans, Nicholas. 2007. "Insubordination and its uses". In Irina Nikolaeva (ed.) *Finiteness*. Oxford: Oxford University Press. pp.366–431.
- Keenan, Edward, and Bernard Comrie. 1977. "Noun Phrase Accessibility Hierarchy and Universal Grammar". *Linguistic Inquiry* 8. pp.63–99.
- Kulick, Donald and Christopher Stroud. 1992. "The structure of the Taiap (Gapun) language". Tom Dutton, Malcolm Ross, and Darrell Tryon (eds.) *The Language Game: Papers in Memory of Donald C. Laycock*. Canberra: Pacific Linguistics. pp.203–226.
- Noonan, Michael. 2007. "Complementation". In Timothy Shopen (ed.) *Language Typology and Syntactic Description. Volume II: Complex Constructions*. Cambridge: Cambridge University Press. pp.52–150.
- Polinsky, Maria. 2013. "Applicative Constructions". In Matthew S. Dryer and Martin Haspelmath (eds.) *The World Atlas of Language Structures Online*. Leipzig: Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology. (Available online at <http://wals.info/chapter/109>, Accessed on 2019-01-29.)
- Steltenpool, J. 1969. *Ekagi-Dutch-English-Indonesian Dictionary*. The Hague: Martinus Nijhoff.



## 第4章 メエ語の音声象徴を探る

遠山登志男

2018年9月の研修および2019年2月の追加調査で確認できたいくつかの語彙について、音と意味との有契性を確認し、それに根差す意味の転移の過程を推測する。

キーワード：オノマトペ、共感覚、音声象徴、音感素、2項的音声象徴、意味の型枠、メンタル・スペース、写像

Keywords: onomatopoeia, synaesthesia, sound symbolism, phonaestheme, binary sound symbolism, semplate, mental space, mapping

1. オノマトペと音声象徴
2. 音感素 (phonaestheme)
3. 音の対立と意味の対立の対応 — 2項対立的な音声象徴
4. 意味の型枠 (semplate) とメンタル・スペース写像

### 1. オノマトペと音声象徴

メエ語にはかなりの程度において共感覚に基づく擬態語や擬音語のような音声象徴が多く見られる。本節では語や形態素以下のレベルでの音声象徴を考察する。メエ語ではかなりの語彙においてたとえば以下のような音と意味との有契的対応が見られる。

表1. メエ語の音と意味との有契的対応

狭い母音	小さい現象
広い母音	大きい現象
前舌母音	軽い現象
後舌母音	重い現象
無声両唇破裂音	瞬間的始まり
両唇鼻音、歯茎鼻音	親密な現象

まず単音節のオノマトペについていくつか例をあげる。

表2. 単音節オノマトペの音声象徴

オノマトペ		音声象徴	
aa	拡がり	-aa	拡がり、弛緩
語彙	gloss	意味	
ebe aa tai	mouth aa do.INF	口を開ける	
ebe aa mai	mouth aa turn.INF	死んだ人の口が開く	
オノマトペ		音声象徴	
ee	溜息	Ee	弛緩
語彙	gloss	意味	
ee tai	sigh do.INF	苦勞する	
ee puu tai	sigh blow do.INF	溜息をつく	
オノマトペ		音声象徴	
paa	瞬間的始まりと拡がり 明るさの拡がり	p- -aa	瞬間的始まり 拡がり
語彙	gloss	意味	
awii paapaa tai	daylight shine do.INF	日の光が照る	
papaadou	mirror ( <i>papaa-see</i> )	鏡	
paiyawakii	thunderbolt.lighten.INF	稲光がする	
オノマトペ		音声象徴	
pi	瞬間的始まりと軽い動き	p- -i	瞬間的始まり 軽い動き
語彙	gloss	意味	
edi pipigi	rain drip	ポツポツ雨	
uwo pipigi	water drip	水がポツポツ零れる	
piipii tai	urination do.INF	排尿する	
pitumai	stab.INF	ナイフなどを刺す	
オノマトペ		音声象徴	
pu	瞬間的始まりと狭い動き 気流	p- -uu	瞬間的始まり 狭い動き
語彙	gloss	意味	
oo-puu	3BEN <sub>1</sub> -blow	風が吹く	
ebe puu tai	mouth blow do.INF	口で吹く	
baa puu tai	feces blow do.INF	放屁する	

puko	lip	唇	
オノマトペ		音声象徴	
po	瞬間的なまとまり	p-	瞬間的始まり
	粒・球	-o	重さ、まとまり
語彙	gloss	意味	
napo	egg	卵	
ipo	gourd	ひょうたん	
yugiyu po	mist drop	霧の水滴	
obaipoo	oak.nut	どんぐり	
オノマトペ		音声象徴	
ma	親密な大いさ	m-	接触、親密さ
		-a	大いさ
語彙	gloss	意味	
ama	breast	乳房	
mama	mother	母	
ma	with / COM	共格- (〜と)	
オノマトペ		音声象徴	
wuu	持続的な狭い動き	w-	持続
		-uu	狭い動き、気流
語彙	gloss	意味	
wuukomaa	wuu-vehicle	飛行機	

次いで音節の反復や組合せによるオノマトペについていくつか例をみる。

表3. 音節の反復や組合せによるオノマトペの音声象徴

オノマトペ		音声象徴	
taataa	瞬間的に始まる緩慢な動き	t-	瞬間的始まり
taa~taa	の反復	-aa	緩慢な動き
		音節の反復	動きの反復
語彙	gloss	意味	
uwo taataa tai	water float~RDP do.INF	泳ぐ	
オノマトペ		音声象徴	
daadaa	重く緩慢な動きの反復	d-	重い始まり

daa~daa		-aa	緩やかな動き
		音節の反復	動きの反復
語彙	gloss	意味	
(koti) daadaa	(penis) sway	ブラブラ	
オノマトペ		音声象徴	
totopipi	軽重ある滴下の反復	t-	瞬間的始まり
to~to-pi~pi		-o	重い動き
		p-	瞬間的始まり
		-i	軽い動き
		音節の反復	動きの反復
語彙	gloss	意味	
edi totopipi	rain drip.INF	雨が天井からポトポト落ちる	
オノマトペ		音声象徴	
dikidiki	小さい動きの反復	d-	緩い瞬間的始まり
diki~diki		-i	小さい動き
		k-	瞬間的始まり
		音節の反復	動きの反復
語彙	gloss	意味	
dikidiki tai	stroke do.INF	(豚の脚などを) 擦る	
オノマトペ		音声象徴	
tibigi	小さい動きの積み重ね	t-	軽い瞬間的始まり
		-i	小さい動き
		b-	重い瞬間的始まり
		g-	重い瞬間的始まり
		音節の3反復	動きの積み重なり
語彙	gloss	意味	
tibigii uwii	run go.INF	(人間が) 走る <sup>1</sup>	
オノマトペ		音声象徴	
tibiitobaa	大小の現象の繰り返し	t-	軽い瞬間的始まり
tibii~tobaa		-i	小さい様子
		b-	重い瞬間的始まり
		-o	やや大きい様子

<sup>1</sup> 豚のばあいは egaa uwii [quick go.INF] と別の語彙を使う。

		-a	大きい様子
		音節の反復	現象の反復
語彙	gloss	意味	
tibiitobaa ekina	spotted pig	斑の豚 (縞の意味もある)	
オノマトペ		音声象徴	
geegee	やや重い弛緩した気流の	g-	重い瞬間的始まり
gee~gee	動き	-ee	弛緩した動き
		音節の反復	動きの反復
語彙	gloss	意味	
geegee tai	dry do.INF	乾かす、干す	

## 2. 音感素 (phonaestheme) <sup>2</sup>

音感素 (phonaestheme) とは形態素以下の形式で音と意味が強く結びついた対であり、必ずしも対立的なものではなく、共感覚からはやや離れて規約性がやや高いものについて言われている。Bergen (2004:290)では以下のように規定されている。

Phonaesthemes (Firth 1930) are frequently recurring sound-meaning pairings that are not clearly contrastive morphemes. An example is the English onset *gl-* (Wallis 1969, Bloomfield 1933), which, like other phonaesthemes, is relatively infrequent in English, except among words with meanings related to ‘vision’ and ‘light’. Some of these are exemplified in 1a. Another well-documented phonaesthemes (Wallis 1699[sic], Bloomfield 1933) is the English onset *sn-*, which occurs in a large number of words relating to ‘mouth’ and ‘nose’ (1b).

a. *gl-* ‘light, vision’ glimmer, glisten, glitter, gleam, glow, glint, etc.

b. *sn-* ‘nose, mouth’ snore, snack, snout, snarl, snort, sniff, sneeze, etc.

メエ語の音感素については、はっきりと断言はできないものの、以下のような候補があげられる。

### 2.1. p- 明るさ、視覚、知識、現実相

日本語の「ピカリ」とも通じる例で、なんらかの共感覚に根差す音声象徴と考えた方がよいかもしいない。

<sup>2</sup> phonaestheme の定訳が見当たらないので仮に音感素としておく。

表4. 音感素の候補 p-

語例	意味	文例	gloss	意味
paa-paa	光る	awii paapaa	daylight shine	日の光が照る
agapi	日中	itaagapi	now-daytime	今日
pito	松明	tani pito	sun torch	懐中電灯
peka	目	pekapeka tai	eye~RDP do.INF	見張る

知識に関連する述語的名詞の *epii* [knowing, understanding], 動詞の *topii* [study] の -p- とも関連がありそうに見える。また、直接経験による証拠性の現実相を標識する -p-<sup>3</sup>や、話者の確実な想定 of 証拠性を標識する確実近未来の時制標識 *pig-* / *pag-* の頭子音 p-<sup>4</sup>との関連も考慮する価値がありそうに見える。

- (1) *topii daiga epiikimake*  
*topii daiga epii-ki-make*  
 study.INF CNJ knowing-become-able  
 勉強したらできる

- (2) *ani yumaapa ko uwo topa*  
*ani yuma-epa ko uwo to-p-a*  
 1SG nose-ALL DET.SG.F water be-MP-3SG.F.S

MP = REALIS.DIRECT.EXPERIENCE.PAST ∪ PRESENT

私の目の前に (Lit. 鼻の方に) 水がある

- (3) *mei piga*  
*mei piga*  
 come- NF<sub>1</sub>.1SG.S NF<sub>1</sub> = REALIS.NEAR.FUTURE  
 行ってきます (Lit. 私は確かに帰ってきます)

<sup>3</sup> 『メエ語の文例集 7.6.2. 中過去 -p- の証拠性』を参照。

<sup>4</sup> 『メエ語の文例集 7.6.3. 確実近未来 -pig- / pag- の証拠性』を参照。この時制は現実相近未来と捉えられるものと思われる。Elliott (2000: 70–71) はオーストラリアの多くの言語で現実相未来の現象がみられることを指摘している。

...in a number of Australian languages it is only future events which are thought of as possible – but not certain – that are marked with the irrealis suffix. Future events which are thought of as certain to occur tend to attract realis marking, while event about which there is some element of doubt are perceived as potential and are marked irrealis. A distinction must therefore be drawn between “future” and “potential” events.

...This can be so because the occurrence of some as yet uninitiated event is anticipated with such a high level of absolute certainty that it is regarded as far more “real” than being merely something which potentially may occur. The realis future is therefore removed from the realm of the hypothetical or possible of even likely, and instead is perceptually located in the real world.

## 2.2. bu- 暗さ、闇

上記の p- とは逆の意味であり、両者は 2 項対立のようでもある。

表5. 音感素の候補 bu-

例	意味	文例	gloss	意味
buna	黒	iyoo buna	hair black	黒い髪
buguu	瞬き	peka buguu tai	eye wink do	目配せする
bugumai	目を閉じる	bugumeega	shut.eyes-DP <sub>1</sub> -1SG.S	私は目を閉じた
buguwa	森	buguwa yokaa	forest child	森棲みの人たち

## 2.3. be-, ba 否定的意味

上記の bu- もこの否定的意味のクラスと関係があるように思われる。

表6. 音感素の候補 be-, ba

語例	意味	文例	gloss	意味
be	嫌い	ani okai be to	1SG 3SG hate be	私は彼が嫌いだ
beebu	違反	diyo beebu manaa	rule deviation fact	規則違反
beu	無い	mee beu tai	come NEG do.INF	来ない
ba	糞	ba enaa	feces nice	気前がいい

## 2.4. m- 接触、近さ、親密さ

前節でも語例を挙げて述べたが、鼻音にともなう親近さの意味合いは音感素というよりも共感的な基盤により近い音声象徴と考えるべきとも思われる。

表7. 音感素の候補 m-

語例	意味	文例	gloss	意味
mei	来る	méimee meegi	who come-RP-3SG.M.S	誰が来たの？
ma	～と	mee inoo ma ko	person other COM DET.PL.F	他の人たちとは
máagiyo	何 (=体+物)	máagiyo ti-ta	what do-IP	何をしましたか？

## 2.5. n- 内、1人称、主観性、非現実相

メエ語の二つの鼻音 m- と n- のうちで、とくに n- は 1 人称代名詞、話者専有の新情報の標識、事実性を保留する標識に現れ、メエ語において話者や主観性を標識する構造的な役割を演じている。

また、非現実相・希求モードの標識 *nee*<sup>5</sup>や、話者の確実な想定 of 証拠性を標識する不確実近未来の時制標識 *neeg-* の頭子音 *n-*<sup>6</sup>との関連も考慮する価値がありそうに見える。

表8. 音感素の候補 *n-*

語例	意味	文例	Gloss	意味
<i>ani</i>	私	<i>ani ya agiyoo</i>	1SG GEN.DEF thing	私のもの
<i>na / ni</i>	話者専有の新情報標識 <sup>7</sup>	<i>muuma na ki</i>	grandfather NI.SG DET.SG.M	私の祖父 (聴き手知らない)
<i>naa</i>	事実性を保留する標識 <sup>8</sup>	<i>ani ki yagumo naa ko</i>	1SG DET.SG.M woman HYP COMP	私が女ならば
<i>naama</i>	母方オジ	<i>naamama</i>	mother's.brother.PL	母方オジたち
<i>nai</i>	食べる	<i>dugi nai nu</i>	potato eat.IMP PL NI.VOC	ご飯だよ

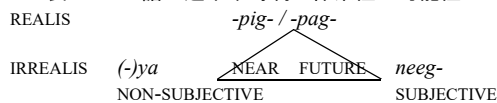
- (4) *ito ko inii egaa goomotii nee*  
*ito ko inii egaa goo-motii nee*  
*now DET.SG.F 1PL quick start.INF OPT*  
 さあ早く始めよう

- (5) *mei page mee beu*  
*mei page mee beu*  
*come NF1.2SG.S Q NEG*  
 来ますか?  
*mei beu tai neega*  
*mei beu tai neeg-a*  
*come NEG do.INF NF2-1SG.S*

<sup>5</sup> 『メエ語の文例集 3.4.2. *nee* が後続 — 非現実相・希求モード』を参照。

<sup>6</sup> 確実近未来 *-pig- / -pag-* を現実相・近未来ととらえられるとすれば、不確実近未来 *-neeg-* は非現実相・主観的・近未来ととらえることができそうである。そして *V<sub>stem</sub>-ya / V<sub>inf</sub> ya* は非現実相・非主観的・近未来ととらえられる可能性がありそうにおもわれる (『メエ語文例集 3.1.1. *-ya* が後続 — 非現実相』及び『同 3.4.1. *ya* が後続 — 許可』を参照)。もしそうであればメエ語の近未来時制は表A.の体系性を示すことになる。文例に限られ未解明な点の多い *(-)ya* の用法と意味について詳細な調査が望まれる次第である。また語頭子音の面からみると、*yuwii* [hear], *yuwa* [probably] などの *y-* について、*n-* との対比において、非主観性との関連を考えることもできそうであるが、さらに他の語例が求められる。

表A. メエ語の近未来時制の体系性の可能性



<sup>7</sup> 『メエ語の文例集 7.3.8. 名詞句に係る話者専有の新情報の標識 *na / ni*』を参照。

<sup>8</sup> 『メエ語の文例集 7.4.5. 事実性を保留する標識 *(-p) naa*』を参照。



NF<sub>2</sub> = IRREALIS.SUBJECTIVE.NEAR.FUTURE

来ないでしょう

cf. *mei beu tai piga*  
*mei beu tai piga*  
 come NEG do.INF NF<sub>1</sub>.1SG.S  
 来ません

(6) *okai ki waka nai di*  
 3SG DET.SG.M spouse eat.INF OPT  
 彼は結婚したい

### 3. 音の対立と意味の対立の対応 - 2項的音声象徴

これまでみたように、音の対立と意味の対立とのあいだにある対応によって語彙体系が形成されている例がある。このような音の2項対立と意味の2項対立とのあいだの対応は、音と意味の組の2組のどちらか一方あるいは双方が音声象徴あるいは音感素であるような、2項対立的な対ともとらえられる。組の一方が音声象徴あるいは音感素であるばあい、もう一方の組にはそれとはかなり離れた音がえられるようである。そしてそれぞれの生産性はまちまちである。音声象徴という語を広義にとってそれを2項的音声象徴と仮に呼んでおく。

また、音の対に対応する意味の対には複数あることが多い。これら複数の意味の対どうしの間には、かならずしも直接的な関係があるとは限らないものの、対応する音の対を媒介として、関係がつけやすいものと考えられる。

以下では、隔たりの大きい2音を対比させて意味の対立に対応させる例をみる。

#### 3.1. 母音の対立

##### 3.1.1. [前舌母音：後舌母音] と対応する意味の対立

以下のような対応が見られる。

表9. [前舌母音：後舌母音] の2項的音声象徴

		音の対立		意味の対立	
		前舌母音	後舌母音		
		i	o	小	大
		:	:	男	女
語類	語例				
指示詞	kii	:	kou	小さい事象	大きい事象
限定詞	ki	:	ko	男性の名詞	女性の名詞

### 3.1.2. [狭母音：広母音] と対応する意味の対立

以下のような意味の対立との対応が見られる。

表10. [狭母音：広母音] の2項的音声象徴

		音の対立		意味の対立	
		狭母音		広母音	
		i	:	a	
					小さい事象 : 大きい事象
					男性形 : 女性形
					下 : 上
					複数 : 単数
語類	語例				
動作述語	edi pigi	:	edi pagi	小雨が降る	; 雨が降る
	rain sizzle		rain fall		
人称接尾辞	-i	:	-a	3人称単数	: 3人称単数
	3SG.M.S		3SG.F.S	男性形	: 女性形
方向詞	miyoo	:	wadoo	下の方向	: 上の方向
	downward		upward		
人称代名詞	inii	:	ani	1人称複数	: 1人称単数
	1PL		1SG		
話者専有の 新情報標識	ni	:	na	複数	: 単数
	NI.PL		NI.SG		

人称代名詞・人称接辞・新情報標識の [複数：単数] と [小さい現象：大きい現象] という対応は一見すると不整合な対応であるが、人称詞などの数のカテゴリーを有生性の階層から眺めて、[複数：単数] と [低位の有生性：高位の有生性] との対応と考えると整合する。

[前舌母音：後舌母音] の対立と [狭母音：広母音] の対立の両方を比べられる2文例をみる。

- (7) *kapoge ki yoopi*  
*kapoge ki yoo-p-i*  
*paper DET.SG.M burn-MP-3SG.M.S*  
 小さい紙を燃やした < 小さい紙が燃えた

- (8) *kapoge ko yoopa*  
*kapoge ko yoo-p-a*  
*paper DET.SG.F burn- MP-3SG.F.S*  
 紙を燃やした < 紙が燃えた

### 3.2. 子音の対立

#### 3.2.1. [無声：有聲] と対応する意味の対立

以下のような対応が1例見られる。

表11. [無声：有聲] の2項的音声象徴

		音の対立		意味の対立	
		無声破裂音		有聲破裂音	
		t	:	d	小さい事象 : 大きい事象
語類	語例				
他動詞	tuwai	:		duwai	鉛筆を切る : 豚脚を切る
	cut.INF			cut.INF	
	(a pencil)			(pig's leg)	

先述の [ p:b ] と [ 明るさ：暗さ ] との対応や、peu (悪い、ダメ) と beu (無い、ちがう) との [ 無声：有聲 ] の最小対も、この [ 小さい事象：大きい事象 ] の対立と関係づけられうるように思われる。

#### 3.2.2. [両唇鼻音：両唇接近音] の同器官的な対立と対応する意味の対立

以下のような対応が見られる。

表12. [両唇鼻音：両唇接近音] の同器官的な2項的音声象徴

		音の対立		意味の対立	
		両唇鼻音		両唇接近音	
		m	:	w	接触 : 離開
語類	語例				
自動詞	mei				来る
	come.INF	:		uwii	: 行く
	umii			go.INF	住む
	live.INF				
他動詞	magii	:		wagii	交接する <sup>9</sup> : 打つ、殺す
	copulate.INF			hit.INF, kill.INF	
	yumii	:		yuwii	嗅ぐ : 聞く
	smell.INF			hear.INF	
方向詞	miyoo	:		wadoo	下 ; 上
	downward			upward	

<sup>9</sup> 人に使う (aka-mage [RECP-copulate])。豚や鳥などでは体位が異なるので dokii を使う (aka-doke [RECP-carry])。

### 3.2.3. [鼻音：無声破裂音] と対応する意味の対立

以下のような対応が見られる。

表13. [鼻音：無声破裂音] の2項的音声象徴

		音の対立		意味の対立	
		鼻音	無声破裂音		
		n	k	内・自己	外・他者
語類	語例				
人称	ani / inii	:	aki / ikii	1人称	: 2人称
代名詞	1SG / 1PL		2SG / 2PL		

### 3.2.4. [歯茎音：軟口蓋音] と対応する意味の対立

以下のような対応が見られる。

表14. [歯茎音：軟口蓋音] の2項的音声象徴

		音の対立		意味の対立	
		歯茎破裂音	軟口蓋破裂音		
		t	k	父	母
語類	語例				
親族	naitai	:	noukai	私の父	: 私の母
名称	1SG.father		1SG.mother		
語根	-aita- <sup>10</sup>	:	-uka-	父	; 母

### 3.2.5. なぜ母は内にいないのか？

「私の母」を表す一般的な語は noukai であり、その語根は -uka- である一方、「私の父」を表す一般的な語は naitai であり、その語根は -aita- である。この [naitai : noukai] の対立に加えて、[naa : ukaa] という [内 : 外] に対応する対立もある。

- (9) *naa ka bagee* : *ukaa ka bagee*  
*naa ka bagee* : *ukaa ka bagee*  
 father GEN.INDF people : mother GEN.INDF people  
 父とその子供たち : 母とその子供たち

<sup>10</sup> メエ語と近縁のモニ語の *aita* “father” について Larson (1958:417-418) では *ai* と *ta* の2つの形態素に分析されている。” (5) *-ta* ‘pertaining to the father’ ... (5) *aita* ‘father’ (< *ai-* ‘superior’ + *-ta*),”

Jakobson (1962) では、世界の諸言語で父母を表意する語に *mama/papa* 型の音を用いる語が多く見られる現象について、その要因が嬰兒の言語音獲得の過程に照らして説明されている。しかし *ukaa* はその範型からは逸脱した語形である。

メエ人の親族組織に照らしてみると、婚姻は夫方居住／父方居住であり、女性は夫とその父系親族と一緒に暮らす集団に嫁入りする「部外者」である。Kamu 溪谷方言に基づいて Kapauku 語（メエ語）の親族名称を分析した Pospisil (1960) によれば、「母」*niikai*（Paniai 方言の「我々の母」に対応する語。「私の母」は Paniai 方言では *noukai*）を含む *niika*（同じく Paniai 方言では *nouka*）という親族名称では、「私の母の『姉妹』」すなわち「私の母の血縁親族で、母と同世代の女性」というカテゴリーの人々が指示される。これらの女性親族は結婚によりそれぞれの夫の父系親族集団に嫁入りすることになり、いずれの集団においても「部外者」となる。〔父：母〕と〔内：外〕との対応は、それがこのような親族組織に動機付けられているとまでは言い切れないものの、少なくともそれと整合的である。

#### 4. 意味の型枠 (semplate) とメンタル・スペース写像

Levinson et al. (2009) は、比較的単純な伝統社会の言語によくみられる現象として、生活の中心領域に根差し、複数の意味分野にまたがる共通の語彙や形態素などの存在があることを指摘し、それを“semplate”<sup>11</sup>という新造述語で名付けている。

… unremarked type of patterning in the lexicon ... , which we dub a SEMPLATE (a blend of semantic template)

(Levinson et al. 2009: 153)

…Nevertheless, it may not be a coincidence that the semplates we have found all come from languages spoken in small, traditional societies without elaborate divisions of labor, in domains that are central to their way of life. It could be that it is only in such small-scale societies that one can find the close match in individual lexicons upon which semplates depend. Consider again the Kuniñjku example from the introduction (§1) of this short report, with special verbs of motion for the male and female members of a specific wallaby species, presupposing the shared discrimination in both the verbal and nominal lexicon. This kind of expertise is presumably shared knowledge in societies with a low division of labor. It is in the same kind of society, of course, that the structuralist anthropologist has a field day, finding homologies between, for example, cosmological ideas, house design, myth, and ritual (see Lévi-Strauss 1963). It could perhaps be that the kind of information compression found in semplates has a similar source. ...

(ibid.: 172)

<sup>11</sup> 定訳は無いので仮に「意味の型枠」とする。

今回の調査では先祖と子孫について下と上に対応する以下の語彙が確認された。

表15. [先祖：子孫] と [下：上] の対応				
<i>miyo ekebata bagee</i>	:	<i>wo ekebaiekebai</i>		
<i>miyo e-keba-ta bagee</i>	:	<i>wo e-kebai~e-kebai</i>	先祖	: 子孫
down/past 3SG.O-open-IP people		over.there 3SG.O-open~RDP		
ancestors		descendants		
<i>miyooto</i>	:	<i>wadaato</i>		
<i>miyooto</i>	:	<i>wadaato</i>	過去	: 将来
past		future		
<i>miyoo</i>	:	<i>wadoo</i>		
<i>miyoo</i>	:	<i>wadoo</i>	下	: 上
downward		upward		

これらの表現では空間と時間との写像：

$$\mu_2: [下：上]_{空間} \rightleftharpoons [過去：将来]_{時間}$$

が見られる。また以下の文例でもそれが確認できる。

- (10) *tauwani wiyawiya kee miyoo too*  
*tauwani wiya~wiya kee miyoo too*  
 year two~RDP become past be  
 2年ほど前

- (11) *tauwani wiyawiya kee wadoo too*  
*tauwani wiya~wiya kee wadoo too*  
 year two~RDP become future be  
 2年ほど後

この写像の基底には成長する樹木のイメージがあるものと推測される。先ず樹木のイメージから空間的な上下への双方向の写像が想定できる。

$$\mu_0: [根本：枝先]_{樹木} \rightleftharpoons [下方：上方]_{空間}$$

他方で樹木のイメージから時間的な先後への双方向の写像を想定できる。

$$\mu_1: [根本：枝先]_{樹木} \rightleftharpoons [以前：以後]_{時間}$$

そうして樹木のイメージを媒介として空間と時間との双方向の写像が成り立っているように見える ( $\mu_2 = \mu_1 * \mu_0$ )。

$\mu_2$ : [下:上] 空間  $\rightleftharpoons$  [過去:将来] 時間

そしてまたこの成長する樹木のイメージは血縁親族の集合というメンタル・スペースに投射されているようである。そのことは、父系親族集団の継続性を担う男性の名前の構成部分に樹木を意味する *piya* という語がよく使われること、子供の無い者を *utó* (切り株、刈られ途切れた樹木) という語 (侮蔑語) で表すこと、からも窺われるように思われる。

$\mu_3$ : [根本:枝先] 樹木  $\rightarrow$  [先祖:子孫] 親族

上下方向と時間の先後と親子関係の継起とを重ね合わせるこの樹木のイメージは、メエ語における意味の型枠の一つの候補ではないかと思われる。そこにおいては 2 項的音声象徴をベースとして意味の型枠が成り立っている様子を垣間見ることができるように思われる。音声象徴にそのように根差す意味の現象にはかなりの安定性があるのではないかと考えられる。

また一方で、メエ語には以下の文例にみられるように、それとは逆の写像:

$v_4$ : [下:上] 空間  $\rightarrow$  [現在:過去] 時間

がみられる。

(12) *miyo*            *wegaiwegaitee*            *tai*            *manaa*  
*miyo*            *wegai~wegai-tee*            *tai*            *manaa*  
downward    *speak.INF~RDP-do*    *do.INF*    *story*  
先祖から子孫へと語り語り下されてきた先祖たちの系譜の話し

(13) *miyo*            *makiimakii*            *manaa*  
*miyo*            *makii~makii*            *manaa*  
downward    *set.INF~RDP*            *story*  
先祖から子孫へと伝え下されている伝承

こちらの写像は、その構成を以下のように分解できるのではないかと思われる。先ず空間的な上下から位階の優劣への写像がある。

$v_0$ : [下:上] 空間  $\rightarrow$  [劣位:優位] 位階

それと合わせて血縁親族へ位階の優劣を付値する写像がある。

$$v_1: \quad [劣位:優位]_{\text{位階}} \rightarrow [子孫:先祖]_{\text{親族}}$$

それによって、空間的な上下から血縁親族への写像がなりたつ ( $v_2 = v_1 * v_0$ )。

$$v_2: \quad [下:上]_{\text{空間}} \rightarrow [子孫:先祖]_{\text{親族}}$$

それが血縁親族の集合に含意される時間的な先後の写像：

$$v_3: \quad [子孫:先祖]_{\text{親族}} \rightleftharpoons [現在:過去]_{\text{時間}}$$

と組み合わせさせて空間から時間への写像がなりたつ ( $v_4 = v_3 * v_2$ )。

$$v_4: \quad [下:上]_{\text{空間}} \rightarrow [現在:過去]_{\text{時間}}$$

この写像においては、樹木のイメージを投影する写像 ( $\mu_0, \mu_1, \mu_2, \mu_3$ ) が場面から退き、それにともなって *miyo* という語の多義性をなす、下方から過去への転義が抑制されている。そして [子孫:先祖] という対立に含意される [現在:過去] という対立がやや顕在化し、空間から時間への先のととは逆の写像がなりたっているものと推測される。

同じ文化においても、メンタル・スペース間において焦点や向きの異なる複数の安定的な写像があり、場面によってどちらかが顕在化するものと考えられる。そしてそれが新規の事象に対する文化の適応力の基礎となっているものと想像される。



## 略 語 一 覧

1: first person (1人称)	INF: infinitive (動詞不定形)
2: second person (2人称)	IP: indefinite past (不定過去)
3: third person (3人称)	M: masculine (男性)
BEN: benefactive case (受益者格)	NEG: negation particle (否定詞)
COM: comitative case (共格)	NF <sub>1</sub> : near future I (確實近未来)
COMP: complementizer (補文標識)	NI: new-information (新情報)
DEF: definite (定)	O: object (目的語)
DET: determiner (限定詞)	PL: plural (複数)
DP <sub>1</sub> : distant past I (遠過去I)	RDP: reduplication (反復)
F: feminine (女性)	RECP: reciprocal prefix (相互形動詞接頭辞)
GEN: genitive case (属格)	RP: recent past (近過去)
HYP: hypothesis (仮想)	S: subject (主語)
INDF: indefinite (不定)	SG: singular (単数)

## 参 考 文 献

- Benjamin, Geoffrey. 2014. "Aesthetic elements in Temiar grammar". In Jeffrey P. Williams (ed.) *The Aesthetics of Grammar—Sound and Meaning in the Languages of Mainland Southeast Asia*. Cambridge: Cambridge University Press. pp.36-60.
- Bergen, Benjamin K. 2004. "The psychological reality of phonaestemes". *Language* 80(2). pp.290-311.
- Cytowic, Richard E. 1989. *Synesthesia: a union of the senses*. New York: Springer-Verlag.
- Doble, Marion. 1987. "A description of some features of Ekari language structure" *Oceanic Linguistics* 26(1/2). pp.55-113
- . 1962. "Essays in Kapauku grammar" *Nieuw-Guinea Studien* 6. pp.152-5, 211-8, 279-98.
- . 1960. *Kapauku-Malayan-Dutch-English Dictionary*. The Hague: Martinus Nijhoff.
- Elliott, Jennifer R. 2000. "Realis and irrealis: forms and concepts of the grammaticalization of reality" *Linguistic Typology* 4. pp. 55-90.
- Fauconnier, Gilles. 1997. *Mappings in thought and language*. Cambridge: Cambridge University Press. ジル・フォコニエ (著) 坂原茂・他 (訳) 2000. 『思考と言語におけるマッピング：メンタル・スペース理論の意味構築モデル』. 東京: 岩波書店.
- Firth, John. 1930. "Chapter 6. Phonetic habits" in *Speech*. London: Ernest Benn.
- Gell, Alfred. 1979. "The Umeda language-poem" *Camberra Anthropology* 2. pp. 44-62.
- Jakobson, Roman. 1962. "Why "mama" and "papa"?" In R. Jakobson. *Selected Writings, Vol. I: Phonological Studies*. The Hague: Mouton. pp.538-545.
- Larson, Mildred O. & G F. Larson. 1958. "Preliminary studies in the Moni language" *Bijdragen tot de Taal-, Land-en Volkenkunde*, 114(4). pp. 406-431.
- Levinson, Stephen C. and Niclas Burenhult. 2009. "Semplates: A New Concept in Lexical Semantics?" *Language*, 85(1). pp. 153-174.
- Lévi-Strauss, Claude. 1962. *La Pensée Sauvage*. Paris: Plon. レヴィ＝ストロース (著) 大橋保夫 (訳) 1976年 『野生の思考』. 東京: みすず書房.
- Pospisil, Leopold. 1960. "The Kapauku Papuans and their kinship organization," *Oceania*, 30(3). pp.188-205.
- Steltenpool, J. 1969. *Ekagi-Dutch-English-Indonesian Dictionary*. The Hague: Martinus Nijhoff.

## 第5章 聞き取りによるメエ人の社会と文化の素描

遠山登志男

2018年9月の言語研修および2019年2月の追加調査において、またそれぞれの合間に、Nawipa 講師より聞き取りしたメエ人の社会と文化の一端について、言語生活の背景を理解する手掛かりとして、素描する。

キーワード：メエ人、モニ人、塩の交易、農耕、親族組織、氏族、リネージ、家族、婚姻、外婚、婚資、男の家、女の家、キリスト教、トーテミズム、アニミズム、精霊、分身霊、夢、パンドナス言葉、豚、祭宴、金持ち、人生儀礼、葬制、亡霊、説話、色彩語彙

Keywords: Mee, Moni, salt trade, agriculture, kinship, clan, lineage, family, marriage, exogamy, bride-price, men's house, woman's house, christianity, totemism, animism, spirit, alter-ego spirit, dream, pandanus language, pig, feast, rich man, life-cycle rituals, mortuary custom, ghost, narratives, color terms

1. メエ人の居住地、周囲の環境、生業、行政区分
2. メエ人の親族組織と婚姻
3. メエ社会における男女の位置づけ
4. 伝統的な超自然の観念
5. 豚の大量賭殺祭宴 (yuwo)
6. 人生儀礼
7. 説話のジャンル
8. 色彩語彙と味覚語彙

### 1. メエ人の居住地、周囲の環境、生業、行政区分

メエ人が住む地は、ニューギニア島西部、インドネシア共和国パプア州の中高地にあるパニアイ (Paniai) 湖、タゲ (Tage) 湖、ティギ (Tigi) 湖という三つの湖を取り囲む領域とその近辺である。季節には、1月から5月にかけての乾季 (awiiwa [shine-season]) と、6月から12月にかけての雨季 (ediiwa [rain-season]) がある。雨季の終わりには南風 (woogee bou [over.there-dry wind]) が吹く。この南風が吹くと雨がすぐ止むと言われている。またメエ人にとって花の代表はワガデイである。

- (1)    *wagadei*    *pii*            *ewaa*    *kipa*  
         *wagadei*    *pii*            *ewaa*    *ki-p-a*  
         *Wagadei*    *flower*    *being*    *become-MP-3SG.F.S*  
         ワガデイの花が咲いた

一般にメエ人は平地の農耕民であり、パニアイなど湖のある地域ではエビ (udi) などの漁労も大事な生業である。クスクス (woda) やツパイ (tubai) や野ネズミ (kedei) などの猟獣の狩猟も行う。パニアイ地域では定まった畑地で農耕しているが、西のカム (Kamu) 地域やマピヤ (Mapiya) 地域などでは移動耕作をしているところが多い。主な作物はサツマイモ (dugi)、タロイモ (nomo)、サトウキビ (etó)、バナナ (mapi)、葛根 (idee) などであるが、サツマイモ栽培と豚 (ekina) 飼養が基本的な生業である。また商品作物としてコーヒー (アラビカ種) を栽培する。オランダ人が導入したものだが、パプア州では有名である。

畑・耕地の単位には表 1. の語彙がある。

表 1. 耕地の単位

語彙	意味
pegoona	1m x 2m くらいの広さの畑
owaana	一列に並んだ数単位の pegoona のまとまり
pagaana	横に並んだ数単位のowaanaのまとまり 40-50m x 40-50mくらいで柵 (eda) で囲まれている

豚について、他人の豚が自分の畑に入って荒らしたら、畑の持ち主はその豚を殺してもいい。トラブルを回避するために殺した豚は元の持ち主と折半することも多い。豚の持ち主は、自分の豚が禁止されている場所<sup>1</sup>に入ったり崖などから落ちたりしたら、それを殺さないと、自分の子供が病気になると考えられている。

東隣のモニ人 (Mou) は山腹に居住している。モニ人の地には塩が堆積した河川があり、伝統的に近隣の他民族と塩を交易している。この地域一帯ではモニ語が共通語となっている。パニアイ地域などにモニ人が交易に来ると、メエ人もモニ語で話す。基本的にメエ人はモニ人とは結婚してはいけない関係にある。モニ人にはメエ人のと同じ名前をもつ氏族があり、おそらく同じ先祖に遡るのだろうと言われている。

パニアイ地域を含む行政区は表 2 の 6 つの下位区分からなる。

<sup>1</sup> dáá-ida [prohibited-place] = dáá-dáá-tee tai-da [prohibited~RDP-do do.INF-place] — とくに儀礼的な意味合いに限らず、何かの行動が禁止されていることを dá または dáá と言い、自由にできることを piyo という。

表 2. メエ人の居住地域を含む行政区分

Paniai	
Deiyai	ティギ (Tigi) の町がある区分
Dogiyai	
Intan Jaya	モニ人の住む区分
Timika	アメリカの鉱山会社 Freeport-McMoRan <sup>2</sup> の鉱山町がある区分
Nabire	北岸の港町

メエ人が元来住んでいるのは Paniai、Deiyai、Dogiyai の 3 地区である。パニアイの町の人口は 20,000 人くらいだが、減少気味である。公立の小中高校があり、カトリック系私立大学（社会科学、政治学、行政学の学科がある）もある。

さらに外の世界では、Timika に 5,000 人くらい、Nabire に 5,000 人くらい、Jayapura に 2,000 人くらいが暮らしている。Nabire にも 2002 年にできた大学があり、Jayapura には国立の Universitas Cenderawasih がある。

メエ人はキリスト教徒だが、おおよそ半分がカトリック教徒、半分がプロテスタント系のアライアンス教会 (The Christian and Missionary Alliance) の教徒である。カトリック系教会では欧米人の司祭がいるが、プロテスタント系教会では今では現地の人が司祭をつとめ、欧米人はほとんどいない。

## 2. メエ人の親族組織と婚姻

メエ人の社会では tuma と呼ばれる父系氏族組織が重要な機能を果たしている。tuma には起源の伝承やそれに関連するタブーなどがある。パニアイ地域には全部で 3 つの tuma があり、それぞれの tuma には表 3. のような下位集団（以下「リネージ」）がある

講師の姓の Navipa というリネージは、Maki tuma（土の男たち、土から生まれた氏族）という氏族に属している。。-pa という語は、maki と同じように、「土」という意味合いがある。このような下位集団（リネージ）のことをメエ語では uguwoo というが、同じ語でさらに下位の単位の家族も指す。Maki tuma の先祖は東から来た、土の中へ入ってパニアイに出て来た、と伝えられている。Maki tuma の人たちには食べ物のタブーはとくにない。しかし思い通りにならないことなどで地面を踏みつけ踏みつけしてはいけない（地団駄を踏んではいけない）。

パニアイ地域には Maki tuma の他に、Eguwai tuma と Mogopiya tuma という氏族がある。Maki tuma はある川の下流域に、Eguwai tuma は隣の川の上流域に、Mogopiya tuma はさらに向こうの川の下流域に主に暮らしている。

<sup>2</sup> 同社はグラスベルグ Grasberg 鉱山（パプア最高峰 Puncak Jaya 山麓に位置する金鉱・銅鉱）を運営。

Eguwai tuma 氏族は、大蛇 (eguwai) を始祖とする氏族で、先祖はあるところから今のところへ大蛇の姿で来た。その人たちは蛇やそれに似た形の魚などは食べない。

Mogopiya tuma は、Mogopiya (mogo-piya [stone-tree]、木=男なので「石の男たち」) であり、その氏族の先祖は、石から石へと跳んでパニアイ地域にやってきたクスクス (woda)<sup>3</sup>である。Mogopiya tuma の人たちには食べ物のタブーはとくにない。Mogopiya tuma 氏族には3つのリネージがあるが、そのうちで Gobai が元々の氏族である。

表3. パニアイ地域の3つの父系氏族のリネージ

Maki tuma のリネージ	Eguwai tuma のリネージ	Mogopiya tumaのリネージ
Nawipa	Edowai	Gobai
Yuma	Mote	Ogobai
Kayame	Pekei	Epagobai
Kadepa	Degei	
Kedepa		

メエ語で友達にあたる語に表4の語彙がある。友達は同じ氏族の者同士で、他の氏族の者とは友達関係にならない。

表4. メエ語での友達の語彙

語彙	意味	呼び手		呼ばれ手
noogei	男の友達	男/女	⇒	男
ogeuwau ~ ogeuwou	女同士の友達	女	⇒	女
ani paneka	異性の友達	男	⇒	女
		女	⇒	男

氏族の下位区分の各リネージにはそれぞれ領地があり、他のリネージの領地では狩猟はできない。リネージの領地のなかに、各家族の領地がある。Jayapura など都会に出た人の農地は休耕地 (mude) として兄弟などの近親の人たちが面倒を見る。パニアイのような町では公立の組織に土地を売るなどの土地の売買ができるが、他の地域や山の方ではできない。

リネージのなかでその下位グループを指す語に表5の語彙がある。

<sup>3</sup> 獲物となる樹上に棲息する有袋類 (phalanger)。

表 5. リネージ内の下位グループの語彙

語彙	意味
ibopaa	長男の系列の者たち
ipouwapaa	次男の系列の者たち
mabiiipaa	三男の系列の者たち
amoyepaa	四男の系列の者たち

何代も前の先祖からその **ibopaa**、その長男の **ibopaa**、またその長男の **ibopaa** と、長男の系列が続く。**ibopaa** は、他のグループとの争いのときにアドバイス役をとめる。

それぞれの氏族、それぞれのリネージには先祖からの系譜を伝える話し (**miyo makiimakii manaa [downward-set.INF~RDP story]**) がある。始祖は動物などに辿ることが多い。娘たちは結婚で出てしまうので、基本的に父から息子たちへと男だけに話すものだが、女たちも脇の方で聞いているものである。

家族の中で子供の生まれ順を指すのに表 6 の語彙がある。

表 6. 子供の生まれ順の語彙

息子		娘	
語彙	意味	語彙	意味
ibouto	長男	oumau	長女
ipouwa	次男	maga	次女
mabii	三男	mabii	三女
amoye	四男	amadi	四女

後継者となる男の子供のない人、女の子だけの人（男とその妻も）を、**utó [stump]**（切り株—上に伸びる幹と枝がない）と呼ぶ。蔑称であり、その人の前では使わない。中立的な **yoka beu [child-less]**（子供無し）という言い方をする。また父母を亡くした孤児を **dobiyaa yokaa [orphan child]**あるいは **dobiyo [orphan]**という。

再婚などによる一夫多妻家族ではその子供を指す表 7 の語彙がある。

表 7. 一夫多妻家族の子供の語彙

2人妻の場合	意味	3人妻の場合	意味
epakopaa	第1妻の子供たち	epakopaa	第1妻の子供たち
		yupikaapaa <sup>4</sup>	第2妻の子供たち
imudapaa	第2妻の子供たち	imudapaa	第3妻の子供たち

また、両親それぞれとの親子関係を指す表 8.の語彙がある。

表 8. 父母と子供の関係の語彙

語彙	意味	語彙	意味
naa ka bagee	父とその子供たち	ukaa ka bagee	母とその子供たち

メエ社会では同じ氏族の者同士は結婚できない。ましてや同じリネージの者同士は絶対結婚できない。結婚が禁止されている氏族・リネージのことを *wiye* とい、例えば次のような表現をつかう。

- (2) *ani ya wiye kou ko pooge*  
*ani ya wiye kou ko pooge*  
 1SG GEN.DEF prohibited.lineage DEM.SG.F DET.SG.F Pooge  
 私の結婚禁止リネージはポーゲ家だ

結婚相手 (*waka*) を探すとき、縁戚関係のつながりで自分と世代が違わないか良く調べ、めぼしい嫁の候補について父の母がよく働く娘かどうか方々に話しを聞いて回る。

父方親族も母方親族も含む人たちを指す *uguupuguu* という語がある<sup>5</sup>。*naama*(母の兄弟)、*naamaama* (母のリネージの男性親族で母と同世代の者たち) は、よく母を訪ねてくる。*noone* (*naama*、*naamaama* のこども、交叉いところ) は *aniiyoka* (母の姉妹のこども、平行いところ) と同じような関係にある。

他の氏族の女性を妻に娶るとき、昔は貝貨で婚資を払った。嫁を貰う側の家族の中で年寄りの貢献が多かった。今の時代は、嫁にもらう女性がどこの大学を出たのか、教育にいくら支払ったのかを考えて婚資を払う。離婚したばあい、その原因の責任が女の側にあれば婚資を返す。男の側にあれば返さない。離婚した夫婦に子供がいなかったばあいに、男は、婚資が自分の周りの親族からもらったお

<sup>4</sup> *yupi-kaa-pa* [in.between-APS-stock/side]

<sup>5</sup> 日本語の親戚、英語の *kindred* にほぼ相当する語と思われる。

金だったら、自分で金策して返済する。パニアイの町だけが、最近はキリスト教（アメリカ系ミッシヨナリー）の影響で婚資がない結婚もある。

### 3. メエ社会における男女の位置づけ

人の名前では、男の名前には *piya*（木＝男）、*bago*（山）などの語を入れて作ることが多く、女の名前には *yebaa*（山崩れ）、*uwo*（湖＜水）、*tai*（畑）などの語を入れて作ることが多い。

表 9. メエ語の人名の例

男性の名前の例	<i>magago-piya</i>	<i>tani-tuma</i>	
	<i>waterfall-man</i>	<i>sun-clan</i>	
	滝の男	太陽の一族	
女性の名前の例	<i>tou-to-yebaa</i>	<i>abata-yebaa</i>	<i>adama-yebaa</i>
	<i>stay-CONT-landslide</i>	<i>morning-landslide</i>	<i>old-landslide</i>
	残る山崩れ	朝の山崩れ	老いた山崩れ

女で狩をするようなタイプを *yamee kita yagumo* [man become-IP woman], *yamee dani yagumo* [man like woman]（「男になった女」「男のような女」）といい、男はそういうタイプと結婚してはいけないと言われる。

話し方でも男女の違いがあることがある。たとえば「さあ食べよう」というとき、男女で違う言い方をつかうことがある。

- (3) *mewei inii dugi nai nu*  
*mewei inii dugi na-i nu*  
 come.IMP.PL 1PL potato eat-INF NI.VOC  
 さあ食べよう [男女ともつかう中立的な言い方]

- (4) *inii dugi nai kodo mee naa ka bagee*  
*inii dugi na-i kodo mee naa ka bagee*  
 1PL potato eat-INF COMP Q father GEN.INDF people  
 さあ食べましょう、あなたたち  
 [母親から夫と子供たちに言うときの言い方]

- (5) *inii dugi nai kodo mee ukaa ka bagee*  
*inii dugi na-i kodo mee ukaa ka bagee*  
 1PL potato eat-INF COMP Q mother GEN.INDF people  
 さあ食べましょう、お前たち



[母親から自分の子供たちに言うときの言い方]

すぐ後で見る精霊 (eniya) の住まう高地のパンダヌス園に赴いて果実の収穫と精霊への祈祷をするのは基本的に男子だけである。初潮前の女兒は行くことができるが、それ以上の年代の女性には行けない。パンダヌスの精霊 (tekeepooniya) がこころよく思わず、パンダヌスの実の成りが悪くなると信じられている。また豚の大量賭殺祭宴 (yuwo) では、精霊を夢に見て梁渡りをするのは男性であり、村の精霊 (makeeniya) に供犠するのも男性長老である。このように、男女の間では聖性を帯びた領域へのアクセスに違いがある。

居住形態でも男女で違いがある。今でも山奥の方の村では男の家 (yameewaa [man-house]) がある。男の家は村の中の金持ちの村長 (tonawii mee [rich.man person]) の家の隣に作る。男たちは夜には男の家で寝泊まりする。女の家 (yagumoowaa [woman-house]) は休耕地に作る。村の中とは限らず、遠くにあることもある。子供たちは女の家で暮らす。女の家で寝泊まりする男もいるが、女みただ (yagumo dani [woman like]) とされる。

#### 4. 伝統的な超自然の観念

eniya という精霊に当たる存在の考え方がある。例えば以下のような精霊がいるようだと考えられている。<sup>6</sup>

表 10. さまざまな精霊たち

語彙	gloss	役割
uwooniya	water-spirit	子孫と農作物の豊穰を司る水流の精霊
wodaaniya	phalanger-spirit	獲物のクスクスを司る主の精霊
ikaneeniya	fish-spirit	魚を司る主の精霊
piyaaniya	tree-spirit	樹木を司る主の精霊
tekeepooniya	pandanus-spirit	パンダヌスの実りを司る精霊
ekinaaniya	pig-spirit	豚を司る主の精霊
mogooniya	stone-spirit	顕著な特徴のある石を司る精霊

これらの精霊は、担当する分野（水流、獲物、魚、森の木、パンダヌス、豚、石）を司る存在であり、人は夢で精霊に会ってその指示を受けると、幸運に恵まれる。獲物の精霊に「あの森へ行け」と言われて森に行くと、そこそこに獲物がいて捕まえられる。木の精霊に指示を受けると材木にするのにいい木が得られる。自分の父親が木の精霊を持っていると信じている人もいる。水流の精霊は、サツマイモなどの作物のでき具合や、子供の生まれ具合を司る。水流が良いと作物もよくできる。

<sup>6</sup> ugeeniya [fallow.field-spirit] は語彙化して蛇の意味である。

そのような精霊に祈ることを、「石／木／土地にお辞儀して祈る」(mogo/piya / maki migaakobee (tai) [stone / tree / land bowing,praying (do.INF)]) という。夢を見て精霊に祈るとき、豚や野ネズミ (kedei) を捧げる。野ネズミは胸や臍や内臓を土や水の中に入れて捧げる。小川に泥が詰まって水が流れないときには、豚を1～2頭殺して水に沈めたり、石焼きにしてみんなで食べたりする。川の源流に行って、子供が増えるよう、病気が良くなるよう、食べ物の精霊 (nai ya agiyo eniya [eat PMS thing spirit]) に祈ったりする。

頭のおかしくなったことを eniya aniya といい、「あの人の中に精霊が入ったから」と言う。

- (6) *okai duba eniya awidoke tiyake*  
*okai duba eniya awi-doke ti-yake*  
 3SG inside spirit put.in-RES do-CVM  
 精霊があの人の中に入ったから

精霊は人間と同じような人格的存在であり、以下の文例のように動詞の人称接頭辞が人間と同じように用いられる。

- (7) *ani ki eniya ke tee edoota*  
*ani ki eniya ke tee e-doo-ta*  
 1SG DET.SG.M spirit DET.PL.M NEG 3O-see-IP  
 (精霊たちがいたけれど) 私は精霊たちを見なかった

また言い伝えで触ってはいけない石などを精霊と考えると人に使う語を用いるばあいもある。

- (8) *mogo ko onipa*  
*mogo ko oni-p-a*  
 stone DET.SG.F bathe-MP-3SG.F.S  
 石が水に浸かった (石を精霊と考えると onii [bathe.INF] を使う)

テケーポー (tekeepoo) というパンダヌス属の喬木果樹が儀礼的に顕著な位置にある。poo は果実の意味であり、年寄りがその実を噛むと tekee tekee という音がすることからその名前がある。海辺の地方のココナツツ (makai kaa tekeepoo [coast APS pandanus.nut]) と同じ味がする。万年雪 (toutou es [staying~RDP ice]) に近いような冷涼な高地に育つ。テケーポーは果実のプロトタイプであり、豆を maki tekeepoo [earth pandanus.nut] と呼ぶように外来作物の果実の名称の語基に転用される。

各地の高地にある名高いパンダヌス園 (tekeepoopa) には精霊がいると考えられ、そこへ一日がかりで赴いて数日間滞在し、果実を収穫し、罾で捕らえた野ネズミを犠牲に捧げて祈る。パンダヌス園が聖なる場所であることは、精霊が嫌うので経血のある女性は行ってはいけないこと、やはり精霊が嫌うので外来の物を持って行ってはいけないこと、そこでは村に残してきた人たちを「糞を食べてしまった人たち」(ba daganota bagee [feces seek-eat-IP people]) と呼ぶこと、などからわかる。また、村で悪い事を犯した年少者はパンダヌス園に滞在する間に同行する年長者たちにそのことを告白しなければならず、そうしないと災難に会うと信じられている。

そのようなパンダヌス園では普段の言葉を話してはいけない。別の言葉(語彙)を使う。

表 11. パンダヌス言葉の語例

事象	村での普段の言葉	パンダヌス園での言葉		gloss
雨	edi	mogoodiyo	mogo-odiyo	rock-drip
水	uwo	dubauga	duba-uga	stream-LOC
サツマイモ	dugi	upeiyee gekee	upe-iyee gekee	grass-mat noise
オベ <sup>7</sup>	obe	ena kigikigi	ena kigi-kigi	one exchange~RDP

単純語を複合語で言い換えることから、精霊が聞いても解らないようにするためかと推測されるが、よくわからないとのことだった。

人間には誰にも分身霊がいると信じられている。自分が何か間違いをしでかしそうなときに諭してくれる、良い存在である。そのような関係を以下のように表現する。

- (9) *ani ya natawata ewaa*  
*ani ya na-tawa-ta ewaa*  
 1SG GEN.DEF 1SG.O-join-IP exist  
 私には分身霊がいる

各人称に対応する表現は以下の通り。

- (10) *natawata katawata etawata*  
*na-tawa-ta ka-tawa-ta e-tawa-ta*  
 1SG.O-join-IP 2SG.O-join-IP 3O-join-IP  
 私の分身霊 君の分身霊 あの人の分身霊

<sup>7</sup> 火の中から芋を挟み取る道具。

獲物がよく捕れたりすると、「私の分身霊は獲物のクスクスの精霊だ」という言い方をする。

- (11) *ani ya natawata ko wodaaniya*  
*ani ya na-tawa-ta ko woda-eniya*  
 1SG GEN.DEF 1SG.O-join-IP DET.SG.F phalanger-spirit  
 私の分身霊は獲物のクスクスの精霊だ

夢、夢見 (*bagume*) は、精霊からの指示を受けたり、将来の暗示を得たりする場であり、重要視されている。豚の大量賭殺祭宴 (*yuwo*) では、精霊を夢に見た男が梁渡りをする。良い夢は実現するまで他人には漏らさないようにする。悪い夢はすぐに他人に話してしまう。とくにパンダヌス園に初めて赴いて見た夢はかならず実現すると言われている。

- (12) *tekeepoopa edoogamedooga uwiyake kouda make*  
*tekeepo-epa edooga~medooga uwi-yake ko-ida make*  
 pandanus-place first.time~RDP go-CVM there LOC  
*doota bagume kou umiitou duba ewa*  
*doo-ta bagume kou umii-tou duba ewa*  
 see-IP dream DEM.SG.F living-staying inside existence  
*te duwai ko dáá*  
*te duwa-i ko dáá*  
 NEG cut-INF COMP must.not  
 パンダヌス園に初めて行き、そこで見た夢は生きてゆく中で必ず叶う

## 5. 豚の大量賭殺祭宴 (*yuwo*)

地域の村々の持ち回りで、1週間くらいかけて豚を100~150頭くらい賭殺して連日石焼きにして食べる *yuwo* 祭宴が開かれる。この祭宴は主催者側が参加者に豚肉などの食べ物をタダで配る祭宴であり、豚肉の売買は絶対にしてはいけない。しかし誰が誰に何をどれだけ贈与したかということは記憶されていて、貰い手は自分のところで祭宴が開かれるときには贈り手にその借りを返さなくてはならない。

昔は毎年くらいの頻度で *yuwo* 祭宴が開催されていたが、最近では作物がよくできた年に開くようになり、2~3年に1度くらいの頻度になっている。

*yuwo* 祭宴を開催するには、豚を多く持っている金持ちの人 (*tonawii mee* [rich.man person]) が言い出し、開催の2~3年前から主催する村の家々に通知して、

休耕地で作物をよく作って豚を増やして準備するように知らせる。祭宴のときには村の各家族は豚を5~10頭供出することになる。

yuwo 祭宴には近隣の村々から人々があつまるが、主催者側では近隣で有名な人たちをとくに招く。準備として、他所からくる客人たちが開催期間中に寝起きする祭宴の家 (yuwoowaa [pig.feast-house]) を、迎える側の家々の近くに全部で10棟くらい建てる。祭宴のスケジュールは金持ちの人が決める。

とくに村の中心にある男の家 (yamoowaa [man-house]) の傍らに建てる祭宴の家では、儀式が執り行われる。家に屋根を置く前に、両端の梁と梁とのあいだに owaa wai [house lath] という滑りやすい棒をわたす。この棒は uwó という木で作る。村人が否かを問わず、精霊の夢を見た男一人がその棒の上を端から端まで渡って歩く。精霊の夢を見た男は必ずいる。もしも滑り落ちるとその男は次の日か、次の年か、きっと死ぬと言われている。もしうまく渡り切れれば、その男は運がよい (umiitou duba enaa [life inside good]) とされ、yuwo 祭宴もうまくゆくとされている。

yuwo 祭宴の初日は豚やバナナなどの食材を集める日。金持ちの人が参加者を前にして演説する (emeeme tai [oratory do.INF])。畑の作物がよくできて豚が多く育ったことを村の精霊 (maki ipuwee [land belonging.to] または makeeniya [land-spirit]) に感謝する挨拶をする。そして川の流れの中や山のふもとで犠牲を捧げる。切った豚の足と内臓を川の中に沈めたり土の中に埋めたりして捧げて感謝する。

二日目以降は食べ物を配る日。金持ちの人の指示で豚の供出を担当する家々を毎日変えて豚を屠り、切って肉にして石焼きにして、参加者に配分する。

石焼きの日の翌日は歌と踊りの日となり、表 12. の演目が演じられる。

表 12. yuwo 祭宴での演目

ugaa 歌	参加者の男たちのうち若者たちが昼夜と、年寄りたちが時々、歌を歌う (ugaa keitai [song work-do.INF])。男性たちが女性たちのために歌う歌や、故郷に感謝する歌を歌う。主催者のグループ、客人のグループと、順々に歌う。
waitaa 隊列周回	みんなが大声でワーワーと言いながら、隊列を作ってグルグル回る (waitaa tai [circling.in.ranks do.INF])。
wiyaane 反復唱和	2人の人が話した言葉を、グループの者たちが立ったまま繰り返し唱える (wiyaane [two-ne])。

yuwo 祭宴の衣装として、男はヒクイドリ (iyopiyaa [feather-man = cassowary]) の羽毛をあしらったヘッドギア (waiya [head.dress])、ゴクラクチョウの尾羽 (wiiyai puga [bird.of.paradise tail])、腕輪 (ebá [arm.ring]) を身に着け、弓 (uka [bow]) を手に持つ。顔に色を塗ったりはしない。女は網袋 (agiya [net.bag]) を持つ。こうして石焼きと歌の日々を繰り返す。

yuwo 祭宴はまた若い男女の出会いの場でもあり、娘たちは若者たちの豚を育てる技量を見極める。長身で鼻が縦に長くて長面の男性に人気がある。

最後の日は感謝の日となる。パニアイ地域の金持ちの人たちの代表が参加者を前にして感謝と終了の言葉 (muumai yagoo mana [end with speech]) を述べると、次の祭宴主催者が手を挙げる。最後の隊列周回をして yuwo 祭宴は終わる。後片付けは主催者側の村人が行う。

## 6. 人生儀礼

出生から死去にいたるまで執り行われる主な儀礼を順にみる。

まず妻が不妊のばあい、その原因について超自然的な説明がなされる。男は婚資を貰った人にそれを返済しないと子供ができないと言われる。また、男が結婚以前に女の精霊 (yagumo kou eniya [woman DEM.SG.F spirit]) / 女の分身霊 (yagumo kaa etawata [woman APS 3O-join-IP]) と気付かずに結婚していると子供ができないと言われる。

妊娠期間中に妻や夫がやってはいけない事や食べてはいけない物はとくにない。出産は女の家 (yagumoowaa [woman-house]) で、床に葉を敷いたうえに産み落とす。赤ん坊に臍の緒が巻き付いていたら有名人や金持ちになると言われる。

男児が 4~5 歳くらいになると先祖の誰かに似ているというような話しもする。子供にはその時の出来事にちなんだ名前をつける。男の子の名前にいれる語には piya (樹)、mogo (石)、bago (山) などがあり、女の子の名前にいれる語には yebaa (山崩れ)、wadii (川)、pekuu (湖) などがある。子供の親は「~の父」などと呼ばれる (テクノニミー)。

- (13) *debidaayebaa*            *nakame*  
*debi-daa-yebaa*           *nakame*  
*wet-SPN-land.slide*    3.father  
デビダーイエバー (女性名) のお父さん

母親か子供は自分の子供が精霊を持っている人 (eniyaawaa mee [spirit-exist person]) かどうかを夢で見る。成人の儀礼などはとくにない。

結婚にあたって、婚約すると新郎側から新婦側へ貝貨の婚資 (mege) を贈る。結婚式は男の家で執り行う。女の親と友達が出席する。豚を屠って会食する。式では村の金持ちの人が祝宴の言葉を述べる。

人が死んだときには、葬式は死者の家族と友人で執り行う。遺骸は家の中に 2 日間安置する。現在の一般的な葬法では、普通の人々の遺骸は棺に入れて地面に穴を掘って埋める。墓は山のふもとにあり、埋葬して上に十字架を立てる。しかし金持ちの人の遺骸はその遺言にしたがって葬る。精霊を持っている人の遺骸は特

別の森に持って行って立った姿にして (yooniyaawii [stand-CAUS.INF])、そうして葬る。生前に本人が自分は精霊を持っている (eniya ewaa [spirit exist]) と話すので皆が知っている。

昔の葬法では、普通は遺骸を特別の森に持って行って立った姿にしてそうして葬ったり、樹の枝の上に置いて葬ったりした。伝染病人は居住地から遠く離れたところに住ませ置き、家族が食べ物を運んだ。亡くなるとそこで埋葬した。

不幸な死に方をした死者の網袋や財布を自分の物にして寝ると、死者が来てその死因を話すと言われる。

人の死後3日目と7日目に「亡霊が来た (tené meta [ghost come-IP])」と言ってみんな集まり、豚を屠って宴をもつ。父親の亡霊 (tené) が悪い亡霊だと、残された母子を殺すと言われる。良い亡霊だと、残された妻が良い新しい夫に巡り会うようはからうと言われる。死者を基準にした子孫の呼び方 (ペンソニミー) は無い。

## 7. 説話のジャンル

メエ人の説話のジャンとしてはまず、前述の先祖からの系譜を伝える話し (miyo makiimakii manaa [downward set~RDP story]) がある。また、昔話に相当するジャンルの説話で「昔あった話し」 (totá manaa [be-IP story]) という、子供に対して寝る前に話してやる楽しむためのウソの話しがあり、そこでは人や動物が主人公となる。またことわざもある。

## 8. 色彩語彙と味覚語彙

基本的な色彩語彙は、wakiyo、dege、buna の3語と思われる。講師に簡易な色彩表を示して、それぞれの語で焦点となる色を指さしてもらったところ、wakiyo は日本語の「白」、dege は「薄茶色」、buna は「黒」に当たる色が指さされた。日本人や白人は dege bagee [light.beige people] とされ、パプア人などは buna bagee [dark.color people] とされる。

この3色以外の多くの色は、wakiyo と組み合わせた複合語や、dani を用いた語句で表される。wakiyo という語は wakii [shine, glitter] から派生して、「明るさ」から「色」へと意味が拡張されているものと思われる。調査で挙げられた wakii の文例をみる。

- (14) wakii teete  
wakii te-ete  
shine do-PROG

(目が) 光っている、光が当たってピカピカしている

色彩を表す複合語として調査では表 13.の語例が挙げられた。

表 13. メエ語の色彩語彙（複合語）の例

語彙	gloss	相当する日本語の色彩語彙
emo wakiyo	blood color	赤
wawato wakiyo	fine color	黄色
piyaiye wakiyo	tree-leaf color	緑
epege tipuwo	soot black-LOC	黒
tokodaati dani	knock-SPN-do like	茶色

インドネシア語の語彙も、たとえば meda（赤）、meda dani [red like]（濃いピンク）、kunini（黄色）、beiru（青）、itama（黒）、puti（白）などが、用いられ始めている。

- (15) *kou*      *pii*      *kou*      *maiya*   *emo*   *dani*   *meda*  
*kou*      *pii*      *kou*      *maiya*   *emo*   *dani*   *meda*  
 DEM.SG.F   flower   DEM.SG.F   also   blood   like   red  
 この花も真っ赤だ

味覚については表 14.の語例が挙げられた。

表 14. メエ語の味覚語彙の例

語彙	gloss	相当する日本語の味覚語彙
igi	taste	味
iginaa	tasty	うまい
igi enaa	taste good = sweet	甘い
igi peu	taste bad = sour	酸っぱい
enege	hot, pungent	辛い
umina enaa	much good = rich-tasting	コクがある



## 略 語 一 覧

1: first person (1人称)	IP: indefinite past (不定過去)
2: second person (2人称)	LOC: locative case (所格)
3: third person (3人称)	M: masculine (男性)
APS: appositive case (同格)	NEG: negation particle (否定詞)
CAUS: causative (使役化)	NI: new-information (新情報)
COMP: complementizer (補文標識)	O: object (目的語)
CONT: continuous aspect (持続アスペクト)	PL: plural (複数)
CVM: converb marker (副動詞標識)	PMS: permissive mood (許可モード)
DEF: definite (定)	PROG: present progressive (現在進行)
DEM: demonstrative (指示詞)	Q: question particle (疑問助詞)
DET: determiner (限定詞)	RDP: reduplication (反復)
F: feminine (女性)	RES: resultative aspect (結果アスペクト)
GEN: genitive case (属格)	SG: singular (単数)
IMP: imperative mood (命令モード)	SPN: spontaneity (自発)
INDF: indefinite (不定)	VOC: vocative suffix (呼びかけ)
INF: infinitive (動詞不定形)	

## 第6章 メエ語の文例集

遠山登志男

本文例集では、2018年9月の言語研修および2019年2月の追加調査において書き取りできたメエ語の文例を主な文法事項ごとに整理して呈示する。本文例集の構成は、1) 語句の構成、2) 指示詞・限定詞・人称代名詞・人称接辞、3) 動詞のアスペクトとモダリティ、4) 文型と語順、5) 格の標識と後置詞、6) 従属節と接続詞文、7) 情報構造、の7部からなる。キーワードは各部ごとに示す。なお文法事項の間で文例の重複がある。

1. 語句の構成
  2. 指示詞・限定詞・人称代名詞・人称接辞
  3. 動詞のアスペクトとモダリティ
  4. 文型と語順
  5. 格の標識と後置詞
  6. 従属節と接続詞文
  7. 情報構造
- 略語表

## メエ語の文例集1. 語句の構成

キーワード：, 動詞, 動詞語幹, 軽動詞, 総称動詞, 不定形, 複合動詞, 反復, 名詞, 複数接辞, 数詞, 修飾語と名詞の語順

Keywords: verb, verb stem, light verb, generic verb, infinitive, composite verb, reduplication, noun, plural suffix, numeral, word order of modifier and noun

- 1.1. 動詞の語幹・不定形・複合動詞
- 1.2. 語の反復
- 1.3. 名詞の複数接尾辞
- 1.4. 数詞
- 1.5. 修飾語と名詞の語順

### 1.1. 動詞の語幹・不定形・複合動詞

メエ語の動詞について語幹と不定形の形をみたあと、一部の複合動詞についてその構成を確認する。

#### 1.1.1. 動詞の語幹と不定形

動詞の語幹には、不定過去 **-ta**、中過去 **-p-**、副動詞 **-yake** などの接辞に先行する形式（第一語幹）と、軽動詞 **tai** などに先行する形式（第二語幹）との2形式が基本的にある。

第二語幹には限定詞 **ko** が後続することがあるなど、名詞的な性格が比較的強いものの、目的語や補語をとることもあり、結合価を維持している。

動詞の第一語幹に **-i** または **-u** だが付いて終わるものを不定形と措定する。先行する動詞語幹の末母音が **-o** または **-u** のばあいには不定形語尾が **-u** となることから、**-i** が円唇化によって **-u** へと同化されると考えることも可能と思われる。また **doo, yoo** などのように、第一語幹の末母音が2モーラの長音節のばあい、**-i** または **-u** が付くと不定形の末母音は3モーラとはならず **dou, you** と2モーラとなるようであり、この現象を含めて母音の長短や交替についてその文法的機能と音韻論的な解明が今後必要と思われる。また **kai, tai, podomai, nai** などでは不定形と第一語幹とで母音が交替する。

表1 いくつかの動詞の不定形・第一語幹・第二語幹

不定形	語幹1	語幹2	gloss	意味
mei	me	mee	come	来る
uwii	uwi	uwee	go	行く
umii	umi	umee	live	暮らす
wagii	wagi	wage	3O.hit, kill	打つ、殺す
awii	awi	awee	put in	取り込む
dokii	doki	doke	carry	持って行く
motii	moti	mote	take	取る
yuwii	yuwi	yuwee	hear	聞く
bokai	boka	#	die	死ぬ
edai	eda	edaa	buy	買う
gai	#	gaa	think	思う
tawai	tawa	#	join	合わさる
ugai	uga	ugaa	create, write	創る、書く
wegai	wega	wegaa	speak	話す
kai	ki	kee	become	なる
tai	ti	tee	do	する
e-topai	e-topi-	e-topee	3O-teach	教える
podomai	podomi	#	go.out	出掛ける
nai	no	noo	eat	食べる
dou	doo	doo~dou	see	見る
gou	go	goo	draw	引く
tou	to	too~tou	stay/be	居る、ある
you	yoo	yoo	cook	火で調理する

# 欄は対応する形式が未確認であることを示す。

### 1.1.2. 名詞（述語的名詞を含む）と軽動詞・総称動詞からなる複合動詞

出来事や状態を表す名詞（述語的名詞）に、tai [do], kai [become] といった軽動詞や、gai [feel, think], uwii [go], motii [take], tou [stay, be] などの本来の意味からやや抽象された意味をになう総称動詞をつけて複合動詞を形成する語構成法はかなり生産的であるように見える。いくつかの例をあげる。

表2 名詞（述語的名詞を含む）と軽動詞・総称動詞からなる複合動詞の例

複合動詞	gloss	意味
dabaa tai	small do	小さくする、赤ん坊をなだめる
dakii tai	arrive do	到着する
otii tai	jump do	ジャンプする
wigi tai	smear do	塗布する
dáá tai	prohibition do	禁止する
didi tai	sick/pain do	病気になる、痛む
dimii tai	think do	欲しい、気がする
ee e-tai	wheeze 3O-do	誰かのために苦勞する
kiyai~kiyai tai	laugh~RDP do	笑う
epeepi tai	preparation do	準備する
muumai tai	end do	終わりにする
taa~taa tai	float~RDP do	泳ぐ
wuduu tai	pushing.forward do	押し出す
enaai kai	good become	良くなる、合格する
epii kai	knowing become	理解する
ewaa kai	existence become	物事が起こる、花が咲く
gee kai	dry become	(衣服が) 乾く
gei-gei kai	cold~RDP become	寒くなる
gemoo kai	chilly become	凍る
iboo kai	big become	大きくなる、育つ
iyaa kai	new become	新しくなる
wouyo kai	therein become	入る
pagi atii	fall do	落ちる
geiyoo gai	cold feel	寒く感じる
dimi gai	feel think	思う、恋しい
tibigi uwii	run go	(人間が) 走る
egaa uwii	quick go	(豚などが) 走る
ewaa tou	existence stay/be	ある、持っている
gaaboo tou	quiet stay/be	黙っている
ewaa e-awii	existence 3O-put.in	誰かを産む
yoko mei	back come	戻って来る

(1) a. aki ki enaa kai tage  
 2SG DET.SG.M good become DF.2SG.S  
 あなたはきっと合格します

b. pii ko wedabaa ewaa ki-daa ti-p-ai  
 flower DET.PL.F plenty existence become-SPN do-MP-3PL.S  
 花が沢山咲くようになった

- c. yoka ki iboo kai  
 child DET.SG.M big become.INF  
 男の子が大きくなる
- d. okai kotoo ewaa ki-p-a  
 3SG cough existence become-MP-3SG.F.S  
 彼女は風邪をひいた
- e. getó ko ewaa to-og-a  
 yesterday DET.SG.F existence be-RP-3SG.F.S  
 昨日はあった
- f. waka dimii te-ete  
 spouse think do-PROG  
 結婚したいと考えている
- g. tekooda dimii ti-ta  
 school think do-IP  
 教育を受けたいと思っていた
- h. koma wuduu ti-yake  
 boat pushing.forward do-CVM  
 舟を押し出して
- i. iyaa ki-ta  
 new become-IP  
 新しくなった
- j. uwo gemoo ki-ta  
 water chilly become-IP  
 水が凍った
- k. uwo gei~gei ki-ta  
 water cold~RDP become-IP  
 水が冷たくて凍りそうだ

- cf. k'. uwo gei~gei  
 water cold~RDP  
 魚が出てこない
- l. ito kou geiyoo diitii tai  
 now DEM.SG.F cold feel do.INF  
 今日は寒い感じがする
- m. mogo ko ibo to-p-a  
 stone DET.SG.F big be-MP-3SG.F.S  
 (割った) 石がまだ大きい
- n. muumai ti-yaawi-ta  
 end do-PFV-IP  
 (自分のせいで) 空になった
- o. muumai ti-yaawi-p-ai  
 end do-PFV-MP-3PL.S  
 (誰かのせいで) 空になった
- p. gapa tabee ti-yake wagii  
 ear beat do-CVM 3O.kill.INF  
 (蚊が) うるさいので殺す
- q. ganaadamuu ti-yake wagii  
 strike.with.fist do-CVM 3O.kill.INF  
 拳を握って殺す
- r. tani paa te-ete  
 sun light do-PROG  
 日の光が射している
- s. taa~taa te tee tai-da  
 float~RDP NEG do do.INF-place  
 泳いではいけない場所

- t. ekina ko wouyoo tee kee tai-da  
 pig DET.SG.F therein NEG become do.INF-place  
 豚が入ってはいけない場所
- u. inii yoko nee-me-eg-e  
 1PL back 1PL.BEN<sub>1</sub>-come-RP-1PL.S  
 私たちは戻ってきた
- v. gekamugu pagi atii  
 thunder fall do.INF  
 雷が落ちる

### 1.1.3. 動詞の語幹と軽動詞・総称動詞からなる複合動詞

動詞の語幹に軽動詞や総称動詞をつけて複合動詞を形成する語構成法もかなり生産的であるようにみえる。

表3 動詞語幹と軽動詞・総称動詞からなる複合動詞の例

複合動詞	gloss	意味
mee~mee tai	come~RDP do	何度も来る
uwee tai	go do	行く
e-topee tai	3O-teach do	教える
dáá tee tai	prohibition do do	禁止する
teba yamo tee tai	palm near.low do do	祈る
edaa tai	buy do	買い物する
egaadoo tai	inquire do	窺う
wegaa tai	speak do	話す
wagi-doo tai	3O.hit-see do	つつく
uno umee~umee tai	night-live~RDP do	眠る
eku mugoo tai	runny.nose catch do	鼻風邪を引く
yuwee~yuwee tai	hear~RDP do	だんだん聞こえてくる
eda-uwii	buy-go	買い物に行く
ebake-uwii	chase.away-go	追い払うに行く
e-do-uwii	3O-see-go	会いに行く
e-epe-uwii	3O-drive.away-go	追い払うに行く
no-uwii	eat-go	食べに行く
wega-uwii	speak-go	話しに行く
yoone-uwii	stand-go	立たせに行く
epee-motii	knowing-take	研修に参加する
no-motii	eat/drink-take	(川で水を) 飲むため取ってくる
wagi-motii	3O.kill-take	(鳥を) 殺して取る
koga-awii-dokii	pick-put.in-carry.away	(イモを) 取って行く
wadi-dokii	dig-carry.away	(イモを) 掘って持って行く



- (2) a. okai eku mugoo te-ete  
 3SG runny.nose catch do-PROG  
 彼女は鼻風邪をひいた
- b. goo ti-ta  
 fall do-IP  
 沈めた
- c. ekina wage uwi-ta  
 pig 3O.kill go-IP  
 豚を殺しに行った
- d. ekina no uwi-ta  
 pig eat go-IP  
 豚を食べに行った
- e. epi-no tai  
 knowing-eat do.INF  
 気を付けて食べる
- f. epi-yuwe tai  
 knowing-hear do.INF  
 はっきり聞こえるように聞く
- g. oma mote tai mee  
 stealth take do.INF person  
 泥棒
- h. ekina ko te noo tai-da  
 pig DET.SG.F NEG eat do.INF-place  
 豚を食べてはいけない場所

動詞の語幹に総称動詞 *mei* [come] がつけられて複合動詞が形成されるばあいには直示の文脈での用法となる。

表4 動词语幹に総称動詞 mei がつけられた複合動詞命令形

複合動詞命令形	gloss	意味
ebaki-mei	chase.away-come.IMP.SG	追い払ってこい
e-epe-mei	3O-drive.away-come.IMP.SG	追い払ってこい
no-mei	eat-come.IMP.SG	食べに來い

しかし動詞の語幹に総称動詞 mei [come] が付けられず、不定形に付ける文例がある。

- (3) a. okai nai me-ta  
 3SG eat.INF come-IP  
 彼は食べに來た

- cf. a'. \*okai no me-ta  
 3SG eat come-IP  
 [非文]

- b. ekina wagii me-ta  
 pig 3O.kill.INF come-IP  
 豚を殺しに來た

- cf. b'. \*ekina wage me-ta  
 pig 3O.kill come-IP  
 [非文]

#### 1.1.4. 動詞自発形と軽動詞からなる複合動詞

動詞の語幹に自発の標識 -daa が付いた形式は軽動詞 tai をとることができる。

表5 動词语幹・自発標識 -daa・軽動詞 tai からなる複合動詞

複合動詞	gloss	意味
keba-daa tai	opem-SPN do	ひとりでに開く
kapu wa-daa tai	flap draw-SPN do	ひとりでに羽ばたく
geiyoo gaa-daa tai	cold feel-SPN do	寒気がする

#### 1.1.5. 動詞結果アスペクト形と軽動詞からなる複合動詞

動詞の語幹に結果の標識 -doke が付いた形式は軽動詞 tai をとることができ、自発の意味をもつ。

表6 動词语幹・結果アスペクト標識 -doke・軽動詞 tai からなる複合動詞

複合動詞	gloss	意味
keba-doke tai	open-RES do	誰かによって開けられている
we-doke tai	plant-RES do	誰かによって植えられている

### 1.1.6. 動詞不定形と軽動詞からなる複合動詞

動詞不定形に、軽動詞などが付いて複合動詞を構成する。

表7 動詞不定形と軽動詞からなる複合動詞の例

複合動詞	gloss	意味
mei beu tai	come.INF NEG do	来ない
oo-tou tai	3BEN <sub>1</sub> -stay do	他の人を守る
miyo wegai~wegai tee tai	speak.INF~RDP do do	下世代に次々と話し伝える

## 1.2. 語の反復

メエ語では語の反復が重要な造語法になっているようであり、調査で確認できた反復の形式と語類ごとの例をみる。

### 1.2.1. 反復の形式

語の反復を音形についてみると、1) 単純な反復、2) ee-A~tee-A の形式による反復、3) 頭子音が交替する CV~C'V の形式による反復（母音交替のある例もみられる）、4) 語頭2音節の子音が交替する C<sub>1</sub>V<sub>1</sub>C<sub>2</sub>V<sub>2</sub>~C<sub>1</sub>'V<sub>1</sub>C<sub>2</sub>'V<sub>2</sub> の形式による反復、5) A~A-B~B の形式による反復、がみられた。

#### 1.2.1.1. 単純な反復

- (4) a. dáá-dáá                    tee    tai-da  
 prohibition~RDP    do    do.INF-place  
 禁止されている場所

#### 1.2.1.2. ee-A~tee-A の形式による反復

- b. e-bedoo~te-bedoo  
 e-bird~te-RDP  
 色々な鳥
- c. e-gapu~te-gapu    duba  
 e-bush~te-RDP    inside  
 木が繁って立ち入れないところ

- d. ee-agiyoo~tee-agiyoo  
ee-thing~tee-RDP  
あれこれ
- e. ee-ibo~tee-ibo  
ee-big~tee-RDP  
ものすごく大きい神様
- f. e-ugai~te-ugai ugatame  
e-create~te-RDP Creator  
良いことも悪いことも創った神様

### 1.2.1.3. 頭子音が交替する CV~C'V の形式による反復

- g. edooga~medooga uwi-ta gaa kodo  
first.time~RDP go-IP time DEM.SG.F  
初めて行ったとき
- h. kitigi~mutigi tai  
whisper~RDP do-INF  
裏でブツブツ言う
- i. ege-yagaa~mogo-yagaa bago  
cliff-steep~rock-steep mountain  
険しい山
- j. mege takaa~bakaa ti-yake awii  
money mix~RDP do-CVM put.in.IMP.SG  
お金を色々取り入れてしまえ
- k. uguu~puguu  
kin~RDP  
親戚

1.2.1.4. 語頭2音節の子音が交替する  $C_1V_1C_2V_2 \sim C_1'V_1C_2'V_2$  の形式による反復

- l. tonawii~pokawii kei okei widoo bokai  
rich.man~RDP DEM.PL.M 3PL three die.INF  
金持ちたちが3人死ぬぞ

1.2.1.5. 語頭2音節の母音が交替する  $C_1V_1C_2V_2 \sim C_1V_1'C_2V_2'$  の形式による反復

- m. ukaa beka yiigi~yaaga  
mother Beka.flower brilliant~RDP  
母親がベカの花で身を飾る
- n. tibiitobaa ekina  
spotted pig  
斑の豚 (tibiitobaa には縞の意味もある)

1.2.1.6. A~A-B~B の形式による反復

- o. abata make meuka di~di-bu~bu too  
morning DEL sun setting TER  
朝から日が沈むまで

1.2.2. 語類ごとの反復の例

次いで語類ごとに反復の例をみる。

1.2.2.1. 名詞の反復

- (5) a. abuya~abuya tai  
everybody's~RDP do.INF  
取って自分たちの物にする
- b. beko~beko ti-makai  
rattan.vine~RDP do-PFV  
クルクル絡みつく
- c. boko~boko tai  
chest~RDP do.INF  
(柵などを) しっかり太くする

- c'. manaa      boko~boko      tai  
 fact      chest~RDP      do.INF  
 データを集める
- d.    ebe~ebe      tai  
 mouth~RDP    do.INF  
 半々にする
- e.    peka~peka    tai  
 eye~RDP      do.INF  
 1) 見る、2) 見張る、監視する
- f.    maki    enakaato~enakaato  
 land    one.side~RDP  
 こちら半分あちら半分の村々
- g.    tauwani    wiya~wiya    kee      miyo      too  
 year      two~RDP      become    past      be  
 2年ほど前
- g'.    tauwani    wiya~wiya    kee      wadoo    too  
 year      two~RDP      become    future    be  
 2年ほど後
- h.    ani      aki      mee~mee      ka-ti-ta  
 1SG    2SG    person~RDP    2SG.O-do-IP  
 私はお前を一人前に育てた

#### 1.2.2.2. 述語的名詞の反復

- (6) a.    peka    bugu~bugu    tai  
 eye    wink~RDP    do.INF  
 (眠くなって) しばたたく

- b.    diki~diki      tai  
 stroke~RDP    do.INF  
 (豚の脚などを) さする

- c. egaa~egaa      ti-p-a  
 quick~RDP      do-MP-1SG.S  
 早くやった～時間が経って思い出した
- d. uwo      gei~gei      ki-ta  
 water    cold~RDP      become-IP  
 水が凍りそうだ
- e. kapee~kapee      tai  
 flutter~RDP      do-INF  
 羽根をバタバタさせる
- f. okai      kiyai~kiyai      na-ti-ta  
 3SG    smile~RDP      1SG.O-do-IP  
 彼は私に向かって笑っていた
- g. une~unee      uwo  
 sleep~RDP      water  
 アルコール
- h. wedaa~wedaa      ko              yokaa      ke-eg-e  
 fear~RDP      COMP              child      become-RP-2SG.S  
 ビクビクするな、子供じゃないんだから  
 (Lit. ビクビクしてお前は子供になった)
- i. eniya      ko              beu      wedaa~wedaa  
 spirit    DET.SG.F      NEG      fear~RDP  
 お化けなんていないよ、怖がるなんて
- j. bida~bida      tai  
 hard~RDP      do-INF  
 強くする
- k. iyaa~iyaa      ti-ta  
 new~RDP      do-IP  
 新しくした

- l. wadoo~wadoo tai  
upward~RDP do.INF  
持ち上げる
- m. gaabo~gaabo nai  
quiet~RDP eat.INF  
盗み食いする、こっそり食べる
- n. gaabo~gaabo uwii  
quiet~RDP go.INF  
(他人に見られないように) こっそり行く
- o. ani ya agiyoo meni-ta noogeide ide~ide ti-ta  
1SG GEN.DEF thing 3O.give-IP 1SG.friend like~RDP do-IP  
私がモノをあげた友達は喜んだ
- p. mee takaa~bakaa ti-yakee uwii  
person mix~RDP do-CVM go.INF  
人たちが男も女もませこぜで行く
- q. ukaa beka yiigi~yaaga  
mother *Beka*.flower brilliant~RDP  
母親がベカの花で身を飾る

### 1.2.2.3. 動詞語幹の反復

- (7) a. yuwee~yuwee te-ig-a  
hear~RDP do-HAB-3SG.F.S  
聞こえ聞こえしていた
- b. koto betoke~betoke  
bridge turn~RDP  
橋がユラユラ揺れる
- c. biki~biki tai  
extract~RDP do.INF  
ガサガサよく探し出す



- d. bobee~bobee tai  
go.round~RDP do.INF  
何回も回る
- e. damee~damee tai  
die.out~RDP do.INF  
人がだんだん亡くなっていく (村の人が少なくなる)
- f. doo~doo tai  
see~RDP do.INF  
1) モノを真っ直ぐにする、2) 何度も見る
- f'. doo~doo uwii  
see~RDP go.INF  
真っ直ぐに行く
- g. ebiya~ebiya tai  
write~RDP do.INF  
何度も書く
- h. ekina gaa~gaa te-ete  
pig think~RDP do-PROG  
豚が欲しい
- h'. gaa~gaa ti-ta  
think~RDP do-IP  
やっと思い出した
- i. kou kodo ani gaa-to~gaa-to ti-yake nama  
DEM.SG.F DEM.SG.F 1SG think-CONT~RDP do-CVM CNJ  
それを私は考え考えして、
- j. ginaa~ginaa tai  
scratch~RDP do.INF  
何度も引っ掻く

- k. mee~mee tai  
 come~RDP do.INF  
 何度も繰り返し来る
- l. me-goo~me-goo tai  
 come-draw~RDP do.INF  
 いつもやって来る
- m. noo~noo te-ete  
 eat~RDP do-PROG  
 何度も食べている~いつも食べている
- n. uгаа~uгаа tai  
 write~RDP do.INF  
 何度も書く
- o. uwe~uwee tai  
 go~RDP do.INF  
 行ってしまふ
- p. wegaa~wegaa-tou ti-ta  
 speak~RDP -CONT.INF do-IP  
 何度も繰り返し話した
- q. wegaa~wegaa tee tai  
 speak~RDP do do.INF  
 いつもいつも話しする

#### 1.2.2.4. 動詞不定形の反復

- (8) a. tou~tou es  
 stay.INF~RDP ice  
 万年雪
- b. miyo makii~makii manaa  
 downward set.INF~RDP story  
 (下の世代に) 伝え伝える伝承

- c. miyo           wegai~wegai       tee   tai       manaa  
 downward speak.INF~RDP   do   do.INF   story  
 (下の世代に) 話し話しして伝える伝承
- d. dodi   ki                   kumii~kumii       tai  
 dog    DET.SG.M       sniff.INF~RDP   do.INF  
 犬がクンクンする

### 1.3. 名詞の複数接尾辞

調査で確認された名詞の複数接尾辞の例を挙げる。体系的な調査は今後の課題である。

#### 1.3.1. 一般の複数接尾辞 -ido

一般的な名詞には複数を表す接尾辞として -ido が付される。集合名詞でも -ido が付される。同じものの集まりを述べるのに使う。

- (9) a. eniya-ido  
 spirit-PL  
 精霊たち (すべてが精霊)
- b. me-ido       /       ekina-ido       /       agiyo-udo  
 person-PL   /       pig-PL         /       thing-PL  
 人たち       豚たち         物ども
- c. yagumo-udo   maa  
 woman-PL    COM  
 女たちと
- d. nawipa-ido  
 Nawipa-PL  
 ナウィパ氏族の人たち
- e. tokiyo    bage-idoo  
 Tokyo    people-PL  
 東京の人たち

- f.   kou                   agiyo-udo   kou  
       DEM.PL.F        thing-PL    DEM.PL.F  
       それらの物
- g.   ino-ukaa-yame-idoo           ma  
       other-mother-man-PL       COM  
       他の人たちと

### 1.3.2. 親しい人間の複数接尾辞 -maa

親族などの親しい人間の名詞には複数を表す接尾辞として -maa が付される。集合名詞では難しいとのことだった(d)。-maa が付された形式にさらに -ido が付されることもある(e)~(h)。

- (10) a.   nauwai-maa                   ma  
           1SG.elder.brother-PL    COM  
           兄たちと
- b.   naamaa-ma  
           1SG.mother's.brother-PL  
           母の兄弟たち
- c.   noukai            weneka-ma  
           1SG.mother    younger.sibling-PL  
           母の姉妹たち
- d.   ??? nawipa-maa  
           Nawipa-PL  
           (ナウヰパ氏族の人たち)   —   あまり使わない
- e.   noogei-ma-ido  
           1SG.friend-PL-PL  
           私の友達たち
- f.   nauwai-ma-ido  
           1SG.elder.brothren-PL-PL  
           兄たち

g. nauwa-ma-ido  
elder.brothren-PL-PL  
兄・従兄たち

h. ogeuwou-ma-ido                    ogeuwau の聞き違いの可能性もあり要確認  
F.female.friend-PL-PL  
(女同士の) 友達たち

### 1.3.3. 「他の」からの転義による複数接尾辞 -ino

「他の人」から意味が拡張して「どこかの人たち」と複数の意味を帯びる。

(11) a. me-ino                    boka-p-ai  
         person-other       die-MP-3PL.S  
         (複数の) 人が死んだ

動詞の主語接尾辞によっても複数の意味が表される。

cf. b. me                    boka-p-ai  
         person               die-MP-3PL.S  
         (誰か) 人が死んだ

### 1.3.4. 双数接尾辞 -iya

2 を意味する *wiya* が弱化した形式。文例が限られ、生産性についてさらに調査が必要である。

(12) a. ita-*iya*       akaa-tigee       tai  
         road-DU       RECP-gather       do.INF  
         道ですれ違って通り過ぎる (Lit. 道ふたつに集い合う)

b. mepi-*iya*  
         twenty-DU  
         40 (=20 x 2) (20 = mepina はおそらく mepi-ena の弱化形式)

### 1.3.5. 空間的拡がりの接尾辞 -yoo

一定の場所の周囲を含む空間を指すときに、場所名に -yoo が付けられる。

- (13) a. paniai maki-yoo  
Paniai town-area  
パニアイ地域
- b. fuchuu maki-yoo  
Fuchu town-area  
府中地域

## 1.4. 数詞

調査で確認された数詞をみる。

### 1.4.1. 基数詞

表8. 基数詞

基数	語彙	基数	語彙	基数	語彙
1	ena	31	ena ma yoka-gaati	61	bado-wado-ena
2	wiya	32	wiya ma yoka-gaati	62	bado-wado-wiya
3	wido	33	wido ma yoka-gaati	66	bado-wado-wido
4	wii	34	wii ma yoka-gaati	64	bado-wado-wii
5	idibi	35	idibi ma yoka-gaati	65	bado-wado-idibi
6	benumi	36	benumi ma yoka-gaati	66	bado-wado-benumi
7	pituwo	37	pituwo ma yoka-gaati	67	bado-wado-pituwo
8	waguwo	38	waguwo ma yoka-gaati	68	bado-wado-waguwo
9	iyee	39	iyee ma yoka-gaati	69	bado-wado-iyee
10	gaati	40	mepiia	70	mec-kaa-bado-wado-ko gaati
11	ena ma gaati	41	ena ma mepiia		
12	wiya ma gaati	42	wiya ma mepiia	100	okai-kaa-bado*
13	wido ma gaati	43	wido ma mepiia		(インドネシア人の足)
14	wii ma gaati	44	wii ma mepiia	500	idibi
15	idibi ma gaati	45	idibi ma mepiia	1,000	gaati-beu
16	benumi ma gaati	46	benumi ma mepiia	2,000	muto-ena
17	pituwo ma gaati	47	pituwo ma mepiia	5,000	wiya-ma-gaati-beu
18	waguwo ma gaati	48	waguwo ma mepiia	10,000	muto-idibi
19	iyee ma gaati	49	iyee ma mepiia	20,000	mepiina
20	mepina	50	gaati-beu	25,000	idibi ma mepiina
21	ena ma mepina	51	ena ma gaati-beu	100,000	one ena
22	wiya ma mepina	52	wiya ma gaati-beu		
23	wido ma mepina	53	wido ma gaati-beu		
24	wii ma mepina	54	wii ma gaati-beu		
25	idibi ma mepina	55	idibi ma gaati-beu		
26	benumi ma mepina	56	benumi ma gaati-beu		
27	pituwo ma mepina	57	pituwo ma gaati-beu		
28	waguwo ma mepina	58	waguwo ma gaati-beu		
29	iyee ma mepina	59	iyee ma gaati-beu		
30	yoka-gaati	60	mec-kaa-bado		

\* 調査では okai-kaa-bado の語義に 100 と 120 の揺れがあった。伝統的な 60 進法の影響と思われる。

## 1.4.2. 序数詞

表9 序数詞

序数	語彙
1 <sup>st</sup>	ediga ~ edooga
2 <sup>nd</sup>	wiyaago
3 <sup>rd</sup>	widaago
4 <sup>th</sup>	wiiyago
5 <sup>th</sup>	idibaago
6 <sup>th</sup>	benumaago
7 <sup>th</sup>	pituwaago
8 <sup>th</sup>	waguyaago
9 <sup>th</sup>	iyeyaago
10 <sup>th</sup>	gaatiyaago
11 <sup>th</sup>	ena-ma-gaati-yaago
12 <sup>th</sup>	wiya-ma-gaati-yaago

## 1.5. 修飾語と名詞の語順

メエ語の名詞句を構成する要素は、指示詞、修飾語（一部の述語的名詞～形容詞、同格句、属格句、関係節）、被修飾名詞、修飾語（一部の述語的名詞～形容詞）、指示詞、限定詞の順で並ぶ。述語的名詞～形容詞には名詞に先行するもの、後続するもの、どちらかで意味が変わるものがある。

- (14) a. enaa mee / mee enaa  
           good person / person good  
           (悪人ではない) 良い人 良い性格の人
- b. peu mee / mee peu  
       bad person / person bad  
       悪い人 悪い性格の人
- c. ibo mogoo / mogoo ibo  
      big stone / stone big  
      (その石だけが) 大きい石 大きい石<sup>1</sup>
- d. ibo mogoo wadoo ti-ta  
      big stone upward do-IP  
      大きい石を持ち上げた

<sup>1</sup> おそらく「石が大きい」の意味と思われるが、確認が必要である。



e. \*mogoo ibo wadoo ti-ta  
 stone big upward do-IP  
 [非文]

f. ugeeniya ibo to-p-a  
 snake big be-MP-3SG.F.S  
 大蛇がいる

g. ibo ugeeniya doo-ta  
 big snake see-IP  
 大きい蛇を見た

限定詞は名詞句に付される標識がとくになければそれに後続することもあるが、名詞句に主語標識などが付されたときにはその後が続く。

h. akaitai ya ki menooka ka-paa-p-i  
 2SG.father GEN.DEF DET.SG.M when 2SG.O-bear-MP-3SG.M.S  
 お父さんはあなたをいつ産みましたか？

[指示詞 - 被修飾名詞 - 指示詞 - 限定詞] の語順の文例をみる。

i. kou ekina kodo ko  
 DEM.SG.F pig DEM.SG.F DET.SG.F  
 その豚

j. kou keite-ig-ai manaa kodo ko  
 DEM.SG.F work-HAB-3PL.S affair DEM.SG.F DET.SG.F  
 為すことになっていること

### 1.5.1. 修飾語が名詞に先行する文例

[修飾語 - 被修飾名詞] の語順の文例をみる。

(15) a. mee mana  
 Mee language  
 メエ語

- b. yimu puugee  
dirt dust  
ゴミ (汚い塵)
- c. iya tauwani ke-eg-a  
new year become-RP-3SG.F.S  
新年になりました
- d. kouda kaa ekina  
there APS pig  
あそこの豚
- e. iginaa dugi / iginaa ikane  
tasty potato / tasty fish  
うまい芋 うまい魚
- f. miyo wegaa ti-ta  
past speak do-IP  
昔の話をした
- g. iboo kipoo / togaa kipoo / onouto-uda  
big finger / index finger / stock-place  
weneka<sup>2</sup> kipoo / teedekegee  
younger.sibling finger / little finger  
親指／人差し指／中指  
薬指／小指
- h. edi poo / edii poo / tipa poo / otii poo  
rain drop / rain drop / tipa.tree nut / jump drop  
雨粒 / 草の水滴 / 独楽 / 跳ね返り玉

### 1.5.2. 修飾語が名詞に後続する文例

[被修飾名詞 - 修飾語] の語順の文例をみる。

<sup>2</sup> 薬指について講師よりは togaa kipoo という語彙が示されたが、人差し指と同じ語彙であることから、辞書より補った。

- (16) a. piya daba / piya pini  
 tree little / tree little  
 小さい木
- b. mee daba / mee pini / mee miyoo  
 person little / person little / person low  
 背の低い人
- c. mee ibo / mee ibo beu  
 person big / person big NEG  
 太った人 中くらいの人
- d. piya woya / mee piya  
 tree high / person tree  
 高い木 / 背の高い人
- e. gapa daba / gapa beu  
 ear small / ear NEG  
 他人の言うことを聞かない人
- f. me-ibo ke-eg-e aki  
 adult become-RP-2SG.S 2SG  
 大人じゃないよ、お前は (Lit. 大人になったんだ、お前は)

### 1.5.3. [指示詞 - 関係節 - 被修飾詞] の語順の文例

[指示詞 - 関係節 - 補文標識の限定詞] の語順の文例をみる。

- (17) a. kou ani ya wegai nee koo  
 DEM.SG.F 1SG GEN.DEF speak.INF IRR COMP  
 私が話すこと

[指示詞 - 関係節 - 被修飾名詞] の語順の文例をみる。

- b. okai kou tekeepo-opa make wegai yaa manaa  
 3SG DEM.SG.F pananus-place LOC speak.INF PMS language  
 それ、パンダヌス園で話すのが認められる言葉のこと

#### 1.5.4. 二重の補文により構成される名詞句の文例

補文節（関係節を含む）のなかに補文節が組み込まれている、再帰的な補文の関係節により修飾される名詞からなる名詞句 [ [ [補文節] 補文節] - 被修飾名詞] の語順の文例をみる。

- (18) a. egaadoo tai ko dáá manaa  
 inquire do.INF COMP prohibition affair  
 尋ねてはいけないこと
- b. keida kaa to-ta yokaaga-ido ke owaa migi-ta  
 there.PL FOC stay-IP youth-PL DET.PL.M house build-IP  
 kapaa watiya koda  
 near side DEM.SG.F  
 それらの場所で留まっている若者たちが小屋を建てた隣脇

#### 1.5.5. 数量詞を含む名詞句の文例

数量詞は被修飾名詞に後続する。

- (19) a. diyo beebuu mana ena koda  
 rule deviation fact one CNJ  
 規則からの逸脱の一つということになりますから
- b. koda goo koto ena dee-doke ti-to-omeg-a  
 DEM.SG.F rattan bridge one build-RE do-CONT-DP2-3SG.F.S  
 そこに籐蔓の橋が一つ架け渡されていた
- c. mogo wido wadoo ti-ta  
 stone three upward do-IP  
 石を三つ持ち上げた
- d. akagi-ta mogo wido to-p-ai  
 break-IP stone three be-MP-3PL.S  
 割れた石が三つある
- e. yape uwa yepaani bagee mee wedabaa boka-ta  
 war era Japanese people person plenty die-IP  
 戦争中、沢山の日本人が死んだ

- f. ani dugi utoma no-yaawi-ta  
 1SG potato all eat-PFV-IP  
 私はご飯を全部食べた
- g. kipo ona / kipo wiya /...  
 finger one / finger two /...  
 (親指から小指までの) 1スパン/2スパン/...
- h. bado ona / bado wiya /...  
 finger one / finger two /...  
 (踵から爪先までの) 1足長/2足長/...
- i. gane ena naimi  
 hand one approximate  
 (掌に載る分量) 1載せくらい

類別詞についての体系的な調査は今後の課題であるが、以下の文例がある。

- (20) a. papua kaa mee ida-wiyaa  
 Papua APS person CLF-two  
 パプアの人が二人
- b. okai ya yame woda ida-ana yaki-ta  
 3SG GEN.DEF male phalanger CLF-one catch-IP  
 あの人が雄のクスクスを捕まえた
- c. tekeepoo agiya-ana ko naimai  
 pandanus net.bag-one DET.SG.F 1SG.O.give.IMP.SG  
 パンダヌスの果実を網袋1杯分ください
- cf. c'. \*agiya-ana tekeepoo ko naimai  
 net.bag-one pandanus DET.SG.F 1SG.O.give.IMP.SG  
 [非文]
- d. tekeepoo utii ena  
 pandanus tree.plant one  
 パンダヌスの木1本

## メエ語の文例集2. 指示詞・限定詞・人称代名詞・人称接辞

キーワード：, 指示詞, 限定詞, 人称代名詞, 再帰形、相互形, 動詞接辞, 双数主語接頭辞, 主語人称接尾辞, 謙讓表現, 目的語人称接頭辞, 受益者人称接頭辞

Keywords: demonstrative, determiner, personal pronoun, reflexive, reciprocal, verbal affix, dual-subject prefix, subject-person-suffix, expression of modesty, object-person-prefix, benefactive person-prefix

- 2.1. 指示詞と限定詞
- 2.2. 自立形の人称代名詞
- 2.3. 再帰形と相互形
- 2.4. 動詞の双数主語接頭辞
- 2.5. 動詞の主語人称接尾辞
- 2.6. 動詞の目的語と受益者の人称接頭辞

### 2.1. 指示詞と限定詞

#### 2.1.1. 指示詞

指示詞には名詞に先行するものと、名詞・人称代名詞に後続するものがある。名詞に先行する指示詞は 1 系列だが、名詞・人称代名詞に後続する指示詞には 3 系列がある。いずれも性・数でことなる 4 形式がある。男性形と女性形はそれぞれ小さい事象と大きい事象という意味合いをもつ。<sup>3</sup>

##### 2.1.1.1. 名詞に先行する指示詞

表10 名詞に先行する指示詞

	単数	複数
男性	kíí	kéi
女性	kóú	kóù

##### 2.1.1.2. 名詞・人称代名詞に後続する指示詞

名詞・代名詞に後続する指示詞には、短い系列と長い系列の 2 系列がある。短い系列は名詞に先行する指示詞と同じである。<sup>4</sup> 長い系列は指示代名詞と思われる。

<sup>3</sup> たとえば自分の豚（複数）を指すばあいに謙遜表現として kei が使われる。

<sup>4</sup> アクセントによる違いについては今後の確認が必要である。

表11 名詞に後続する指示詞—短い系列

	単数	複数
男性	kii	kei
女性	kou	kou

表12 名詞に後続する指示詞—長い系列

	単数	複数
男性	kidi	kede
女性	kodo	kodo

### 2.1.1.3. 空間名詞・時間名詞に後続する指示詞

空間名詞・時間名詞には以下の系列の指示詞が後続する。

表13 空間名詞・時間名詞に後続する指示詞

	単数	複数
男性	kidaa	kedaa
女性	kodaa	kodaa

### 2.1.1.4. 主語の人称代名詞に後続する指示詞

主語および属格の人称代名詞に後続する指示詞は空間名詞・時間名詞に後続する系列の指示詞と同形である。主語の定／不定との関係やアクセントについてはさらに今後の確認が必要である。

表14 主語の人称代名詞に後続する指示詞

	単数	複数
男性	kidaa	kedaa
女性	kodaa	kodaa

## 2.1.2. 限定詞

限定詞は名詞・代名詞に直接後続するか、あるいは名詞に後続する指示詞に後続する。やはり性・数でことなる4形式があり、男性形と女性形はそれぞれ小さい事象と大きい事象という意味合いをもつ。男性形 ki が有標、女性形 ko が無標と考えられる。<sup>5</sup> 男性単数形には指示詞 kii に後続する ke という異形態がある。

<sup>5</sup> 自立形の代名詞1人称双数では、男性2人のばあい inai ke、男女2人のばあい inai ko、女性2人のばあい inai ko が使われる。

表15 名詞・代名詞に後続する限定詞

	単数	複数
男性	ki	ke
女性	ko	ko

表16 限定詞の用例

	単数	意味
男性	iyapu ki	星
女性	meuka ko	太陽
	agoo ko	月

表17 名詞に後続する指示詞と限定詞の連続

	単数	複数
男性	kii ke kidi ki	kei ke kede ke
女性	kou ko kodo ko	kou ko kodo ko

表18 「その石は私のだ」の文例

	単数	複数
男性	kíi mogoo kii ke ani ya	kéi mogoo kei ke ani ya
女性	kóu mogoo kou ko ani ya	kóu mogoo kou ko ani ya

## 2.2. 自立形の人称代名詞

人称代名詞には1人称、2人称、3人称があり、単数、双数、複数が区別される。男性、女性の区別は後続する限定詞によって表される。双数には wiyaa [two] をつけることが多い。<sup>6</sup>

表19 人称代名詞の自立形

	単数	双数	複数
1人称	ani	inai	inii
2人称	aki	ikai	ikii
3人称	okai	okeyai	okei

表20 人称代名詞の自立形 - 限定詞による男性/女性の区別

	単数	双数	複数
1人称	男性	ani ki	inai wiyaa ke
	女性	ani ko	inai wiyaa ko
2人称	男性	aki ki	ikai wiyaa ke
	女性	aki ko	ikai wiyaa ko
3人称	男性	okai ki	okeyai wiyaa ke
	女性	okai ko	okeyai wiyaa ko

<sup>6</sup> 直接経験の証拠性と関連があるようである（[7.6 証拠性]を参照）。



ただし以下の例文にみるように *okai* は人間以外の事物も指しうる。

- (1) a. *okai kou yato*  
 3SG DEM.SG.F LOC  
 お話はここまで
- b. *ito kou ani ya wegai nee koo*  
 now DEM.SG.F 1SG GEN.DEF speak.INF IRR COMP  
*okai kou tekeepo-opa make wegai yaa*  
 3SG DEM.SG.F pananus-place LOC speak.INF PMS  
*manaa too wegai nee*  
 language FOC speak.INF IRR  
 いま私が話すのは、それ、そのパンダヌス園で話すことのできる言葉  
 のことを話しましょう

## 2.3. 再帰形と相互形

再帰形の代名詞は *akaato* であり、相互形の動詞接頭辞は *aka-* である。

### 2.3.1. 再帰形 *akaato* の文例

文例では、再帰形の代名詞 *akaato* は、前方照応する先行詞に人称代名詞をもつ。普通名詞が先行詞となりうるのか、文例(e)のように人称代名詞で再提示される必要があるのか、未確認である。なお *akaato* には左側という意味もある。

- (2) a. *ani akaato pekaa kaa dou*  
 1SG REFL eye INS see.INF  
 私は自分の眼で見る
- b. *inai akaato aa-wagi-ta*  
 1DU REFL DU-3O.hit-IP  
 私たち二人はそれぞれ自分を叩いた

- c.   ani    kidi           akaato   maiya   edooga~medooga   uwi-ta  
 1SG   DEM.SG.M   REFL   also    first.time~RDP   go-IP  
 gaa    kodo           doo-ta   bagume   ko       ena  
 time   DEM.SG.G   see-IP   dream    DET.SG.F   one  
 to-p-a  
 be-MP-3SG.F.S  
 私自身も初めて行ったときに見た夢が一つある
- d.   ani    me-ena           wagi-yake   akaato   wagi-ta  
 1SG   person-one   3O.kill-CVM   REFL    3O.kill-IP  
 私は一人殺して自殺した
- e.   okeyai   ke           okeyai   akaato   aka-wage   aa-ti-ta  
 3DU   DET.PL.M   3DU   REFL   RECP-3O.hit   DU-do-IP  
 彼ら（二人）は、自分たち自身をお互いに殴った

### 2.3.2. 相互形 aka- の文例

相互形の動詞接頭辞 aka- は動作が相互に行われることを示す副詞的な意味をもつ。e-dou（他人を見る）と aka-dou（会う）のように aka- は人称接頭辞に準ずる形式のようである。文例 (d) で見られるように、aka- は双数接頭辞 aa- に先行する。

- (3) a.   ani    ki           tokiyo   ki-touyogo   maiya   tee  
 1SG   DET.SG.M   Tokyo   become-CVM   even   NEG  
 aka-dou           ti-yaawi-ta  
 RECP-see.INF   do-PFV-IP  
 私が東京にいても（私たちは）多分会わないだろう
- b.   ibo   me-epa           aka-dou  
 big   person-DAT   RECP-see.INF  
 （約束して）王様に会う
- c.   koyaa   aka-dou  
 peaceful   RECP-see.INF  
 お久しぶり

- d. inai wiyaa aka-a-tope tai  
 1DU two RECP-DU-teach do.INF  
 私たち二人は教え合う
- e. okeyai mee mana aka-tope aa-tai  
 3DU Mee language RECP-teach DU-do.INF  
 彼ら（二人）はお互いにメエ語を教え合う
- f. okeyai aka-dou ti-yake aka-wage aa-ti-p-ai  
 3DU RECP-see.INF do-CVM RECP-3O.hit DU-do-MP-3PL.S  
 彼ら（二人）はお互いを見て、お互いに殴った
- g. misionaris kaa ko mee aka-paka  
 missionary GEN.INDF DET.PL.F person RECP-change  
 ti-yaawi-ta  
 do-CAUS-IP  
 宣教師が人を交代させた
- h. ita-iyaa akaa-tigee tai  
 road-DU RECP-gather do.INF  
 道ですれ違って通り過ぎる（Lit. 道ふたつに集い合う）

語根としては akagii も aka と wagii に分解できる。

- i. ita-awe ida mogo akagi-ta to-p-a  
 road-at LOC stone break [RECP-hit]-IP be-IP  
 道に割れた石がある

## 2.4. 動詞の双数主語接頭辞

### 2.4.1. 動詞の双数主語接頭辞 aa- の文例

双数主語の文では、動詞に双数主語接頭辞 aa- が義務的につけられる。複合動詞のばあいには、双数接頭辞 aa- が動詞語幹につく文例(b)と軽動詞につく文例(c)、(d)がみられる。使い分けについては各方言の違いなどを含め今後の調査が必要である。

- (4) a. okeyai wiyaa ke te aa-wega-ig-ai  
 3DU two DET.PL.M NEG DU-speak-HAB-3PL.S  
 あの二人は話しをしない
- b. inai wiyaa aka-a-tope tai  
 1DU two RECP-DU-teach do.INF  
 私たち二人は教え合う
- c. okeyai mee mana aka-tope aa-tai  
 3DU Mee language RECP-teach DU-do.INF  
 彼ら（二人）はお互いにメエ語を教え合う
- d. okeyai aka-wega aa-ti-p-ai  
 3DU RECP-speak DU-do-MP-3PL.S  
 彼ら（二人）はお互いに陰口を言い合った
- e. inai aa-bokai  
 1DU DU-die.INF  
 我々二人は死ぬのだ～死んでも一緒

## 2.5. 動詞の主語人称接尾辞

### 2.5.1. 動詞の主語人称接尾辞の文例

動詞語幹や不定形に後続する時制接辞には、文の主語と人称・数・性が一致する接尾辞がつく。双数は複数と区別されない。時制接辞それ自体が文の主語と一致する異形態をもつばあいもある。

表21 動詞接尾辞による主語の人称・数・性の標示

	単数	複数
1人称	-a	-e
2人称	-e	-aa
3人称 男性	-i	-ai
3人称 女性	-a	

以下の時制接辞では上記の接尾辞がつく。

表 22 現在習慣 (HAB) の接辞 -ig-

	単数	複数
1人称	-ig-a	-ig-e
2人称	-ig-e	-ig-aa
3人称 男性	-ig-i	-ig-ai
女性	-ig-a	

表 23 近過去 (-RP) の接辞 -eg-

	単数	複数
1人称	-eg-a	-eg-e
2人称	-eg-e	-eg-aa
3人称 男性	-eg-i	-eg-ai
女性	-eg-a	

表 24 中過去 (MP) の接辞 -p-

	単数	複数
1人称	-p-a	-p-e
2人称	-p-e	-p-aa
3人称 男性	-p-i	-p-ai
女性	-p-a	

表 25 遠過去 I (DP<sub>1</sub>) の接辞 -eteg-

	単数	複数
1人称	-eteg-a	-eteg-e
2人称	-eteg-e	-eteg-aa
3人称 男性	-eteg-i	-eteg-ai
女性	-eteg-a	

表 26 遠過去 II (DP<sub>2</sub>) の接辞 -emeg-

	単数	複数
1人称	-emeg-a	-emeg-e
2人称	-emeg-e	-emeg-aa
3人称 男性	-emeg-i	-emeg-ai
女性	-emeg-a	

表 27 不確定近未来 (NF<sub>2</sub>) の接辞 neeg-

	単数	複数
1人称	neeg-a	neeg-e
2人称	neeg-e	neeg-aa
3人称 男性	neeg-i	neeg-ai
女性	neeg-a	

動詞不定形に後続する以下の時制辞では、文の主語と一致する形式をもつ。

表 28 確実近未来 (NF<sub>1</sub>) の時制辞 pig- / pag-

	単数	複数
1人称	piga	page
2人称	page	pigaa
3人称 男性 女性	pagi piga	pigai

表 29 遠未来 (DF) の時制辞 t- / tag-

	単数	複数
1人称	ta	tage
2人称	tage	taa
3人称 男性 女性	tagi ta	tai

動詞の主語人称接尾辞は自動詞文の主語とも他動詞文の主語とも一致する。それぞれ例をあげる。

### 2.5.2. 自動詞文の主語人称接尾辞の文例

(5) a. okai ki bokai pagi  
 3SG DET.SG.M die.INF NF<sub>1</sub>.3SG.M.S  
 彼は死ぬだろう

a'. okai ko bokai piga  
 3SG DET.SG.F die.INF NF<sub>1</sub>.3SG.F.S  
 彼女は死ぬだろう

b. okai ki egaa bokai neeg-i yuwa  
 3SG DET.SG.M soon die.INF NF<sub>2</sub>-3SG.M.S probable  
 彼はもうすぐ死にそうだ

b'. okai ko egaa bokai neeg-a yuwa  
 3SG DET.SG.F soon die.INF NF<sub>2</sub>-3SG.F.S probable  
 彼女はもうすぐ死にそうだ

c. ito ko inii egaa goomotii page  
 now DET.SG.F 1PL quick start.INF NF<sub>1</sub>.1PL.S  
 さあ早く始めるぞ

- d. okai ki yukuma abata anigo-og-i  
 3SG DET.SG.M just.now morning wake.up-RP-3SG.M.S  
 かれは今朝起きたばかりだ
- e. debi-pai koyokaa edi we-eg-a ko yuwa  
 wet-bear CNJ rain fall-RP-3SG.F.S COMP probable  
 濡れているからたぶん雨が降ったのだろう
- f. okai ki itaagapi tokiyo uwi-yake ko  
 3SG DET.SG.M today Tokyo go-CVM COMP  
 aweetaa oosaka uwii tagi  
 tomorrow Osaka go.INF DF.3SG.M.S  
 彼は今日東京に行って、明日大阪に行く
- g. noogei ki tani benumi me-ig-i  
 1SG.friend DET.SG.M o'clock six come-HAB-3SG.M.S  
 私の友達は（いつも～時々）6時に来る
- h. kou mou kaa ekagi wega-ig-ai kou  
 DEM.S Moni GEN.INDF Ekagi speak-HAB-3PL.S DEM.SG.F  
 G.F  
 ko  
 DET.SG.F  
 そのモニ人たちがエカギと言っているそのことで

### 2.5.3. 他動詞文の主語人称接尾辞の文例

- (6) a. ani ko ikane yaki-p-a  
 1SG DET.SG.F fish catch-MP-1SG.S  
 私（女）は魚を捕まえた
- b. aki ki topii manaa muumai ti-p-e  
 2SG DET.SG.M study.INF affair end do-MP-2SG.S  
 君は授業を終えた
- c. jon ya dugi nee-yo-omeg-i  
 John GEN.DEF potato 1PL.BEN<sub>1</sub>-cook-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 ジョンが私達にご飯をつくってくれたんです

- d. okai ki ikane wudi-ike-eg-i  
 3SG DET.SG.M fish distribute-pick-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 彼はサカナを配っていた

#### 2.5.4. 主語人称接尾辞による謙譲表現の文例

以下の文例では、語り手である私が子供であるために、謙譲表現として「私たち」の行為を3人称複数接尾辞によって述べている。

- (7) a. epeepi tai agiyo wiya dani epeepi  
 preparation do.INF thing two like preparation  
 nee-te-emeg-ai  
 1PL.BEN<sub>1</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S

(私たちは) 準備する物を二三準備しようとしたのです

- b. tekeepo-opa ko uwaataa tani idibi gaa  
 pandanus-place DET.SG.F evening o'clock five time  
 kou dakii nee-te-emeg-ai  
 DEM.SG.F arrive.INF 1PL.BEN<sub>1</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S

(私たちは) パンダヌス園には夕方5時に着いたのでした

- c. tekeepo-opa ko uno wii nee-umi-yake  
 pandanus-place DET.SG.F sleep four 1PL.BEN<sub>1</sub>-live-CVM  
 idibaago ko owa-apa yoko nee-me-emeg-ai  
 fifth DET.SG.F house-place back 1PL.BEN<sub>1</sub>-come-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 パンダヌス園では四泊して五日目には家に戻ってきたのです

「私たちは来た」を参加者それぞれの立場で表現するばあいの言い方は以下のようになる。

- 1) リーダーが他の人に言う言い方：

- d. inii nee-me-emeg-e  
 1PL 1PL.BEN<sub>1</sub>-come-DP<sub>2</sub>-1PL.S  
 私たちは来た



2) 参加者である聴き手に言う言い方：

- e. inii nee-me-eteg-aa  
 1PL 1PL.BEN<sub>1</sub>-come-DP<sub>1</sub>-2PL.S  
 私たちは来た

3) 参加者の子供が参加者でない他の人に言う謙譲表現の言い方：

- f. inii nee-me-emeg-ai  
 1PL 1PL.BEN<sub>1</sub>-come-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 私たちは来ました

## 2.6. 動詞の目的語と受益者の人称接頭辞

動詞に前接する人称接頭辞には、1) 直接目的語や間接目的語に相当する目的語人称接辞の系列、2) 受益者や被害者に相当する系列（受益者系列 I）、3) 動作を代行される者や動作の対象の所有者に相当する系列（受益者系列 II）、4) 敬語表現で用いられる敬語人称系列、の 4 系列がある。

### 2.6.1. 動詞の目的語人称接辞とその文例

動詞の目的語人称接辞は人称・数によって目的語と一致する下表の形式がある。基本的に人間（人格的存在）について用いられ、豚や物などには用いられない。動詞 wa-gii [3O.hit, kill]、me-nii [3O.give] では 3 人称の目的語人称接辞が不規則形となる。e-tii [3O.tell] の 1 人称目的語形 na-tii [1SG.O.tell] と同義の enii [1SG.O.tell] も不規則形である。

表 30 目的語人称接辞

	単数	複数
1人称	na-	ni-
2人称	ka-	ki-
3人称	e-	
人間以外	∅-	

目的語人称接辞それぞれの文例を挙げる。

- (8) a. aki ki ani na-boka-yaawi-ta  
 2SG DET.SG.M 1SG 1SG.O-die-CAUS-IP  
 あなたは私を殺した

- b. na-adi-ta ageyaa mege menii  
 1SG.O-ferry-IP reward money 3O.give.INF  
 私を船で渡してくれた報酬のお金を払う

- c. aki ki inai wiyaa ekina niimi-ta  
 2SG DET.SG.M 1DU two pig 1PL.O.give-IP  
 あなたは私たち2人に豚をくれた
- d. aki ki káiya make ka-paa-p-a  
 2SG DET.SG.M where LOC 2SG.O-bear-MP-3SG.F.S  
 あなたはどこで生まれましたか
- e. okai ki ikii ekina kiini-ta  
 3SG DET.SG.M 2PL pig 2PL.O.give-IP  
 彼はあなたたちに豚をあげた
- f. okai edi e-no-ta  
 3SG rain 3O-eat-IP  
 彼は雨に降られた
- g. okai tauwani idibi e-paa-yake umi-ta  
 3SG year five 3O-bear-CVM live-IP  
 彼は5歳になった
- h. okai ki ibo-udaa e-yaiki-ta  
 3SG DET.SG.M big-place 3O-release-IP  
 彼はリーダーに選ばれた
- i. e-wegai  
 3O-speak.INF  
 他人のことを話す

目的語人称接辞は人格的存在（人間、精霊など）に対して使うが豚のような非人格的存在に対しては使わない、と母語話者には意識されている。しかし以下のように豚に使われる例もある。

- (9) a. ekina kou e-ebakai  
 pig DEM.SG.F 3O-chase.away.INF  
 豚を追い払う

- b. ekina ko e-pee-ta  
 pig DET.SG.F 3O-drive.away  
 豚を追い払った
- c. ekina kou e-pee-ta  
 pig DEM.SG.F 3O-drive.away  
 そこにいる豚を追い払った

## 2.6.2. 受益者系列Iの文例

受益者系列Iで表されるのは、受益者や被害者に相当する動作関係者である。

表 31 受益者系列Iの人称接辞

	単数	複数
1人称	naa-	nee-
2人称	kaa-	kee-
3人称	oo-	
人間以外	∅-	

主語を含むばあいも含まないばあい（文例(b), (c), (d)）もある。文例を挙げる。

- (10) a. naa-yoo-kogai  
 1SG.BEN<sub>1</sub>-cook-lay.IMP.SG  
 火に掛けておこう
- b. naa-gaa-yaawe-eg-e  
 1SG.BEN<sub>1</sub>-think-PFV-RP-2SG.S  
 ありがとうございます (Lit. 私のためにあなたは配慮してくれた)
- c. okai ki dou beu daiga ani ya  
 3SG DET.SG.M see.INF NEG CNJ 1SG GEN.DEF  
 mege awii oma naa-moti-ta  
 money pouch stealth 1SG.BEN<sub>1</sub>-take  
 彼が見ていなかったので私の財布が盗まれた (被害者は私と彼)
- d. naa-dadi-ta ageyaa mege meni-ta  
 1SG.BEN<sub>1</sub>-help-IP compensation money 3O.give-IP  
 助力の対価にお金をあげた

- e. nee-boka-yaawe-eg-e  
 1PL.BEN<sub>1</sub>-die-PFV-RP-2SG.S  
 感激します (Lit. 私たちのためにあなたは死ぬほど感激させてくれた)
- f. naitai ki inii uguwoo maidamake  
 1SG.father DET.SG.M 1PL family on.behalf  
 tekeepo-opa nee-wi-ta  
 pandanus-place 1PL.BEN<sub>1</sub>-go-IP  
 私の父は家族のためにパンダヌス園へ行った
- g. jon ya dugi nee-yo-omeg-i  
 John GEN.DEF potato 1PL.BEN<sub>1</sub>-cook-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 ご飯を作ってくれたのはジョンです

以下の文例では、2人称双数の主語に一致する2人称複数接辞ではなく、2人称単数接辞が用いられている。

- h. ikai wiyaa maida kaa mege awii oma  
 2DU two LOC LOC money pouch stealth  
 kaa-moti-ta  
 2SG.BEN<sub>1</sub>-take-IP  
 あなたたち2人が財布を盗まれた
- i. akaitai ki ikii uguwoo maidamake  
 2SG.father DET.SG.M 2PL family on.behalf  
 tekeepo-opa kee-wi-ta  
 pandanus-place 2PL.BEN<sub>1</sub>-gov  
 あなたの父は家族のためにパンダヌス園へ行った
- j. oo-gaa-yaawe-eg-e  
 3BEN<sub>1</sub>-think-PFV-RP-2SG.S  
 ありがとうございます (Lit. 彼のためにあなたは配慮してくれた)
- k. aa-oo-boka-yaawe-eg-aa  
 DU-3BEN<sub>1</sub>-die-PFV-RP-2DU.S  
 感激します (Lit. あなたたち2人は彼のために死ぬほど感激させてくれた)

l. nakame ki okei uguwoo maidamake  
 3.father DET.SG.M 3PL family on.behalf  
 tekeepo-opa oo-wi-ta  
 pandanus-place 3BEN<sub>1</sub>-go-IP  
 彼の父は家族のためにパンダヌス園へ行った

m. naitai ma oo-wega-yake  
 1SG.father COM 3BEN<sub>1</sub>-speak-CVM  
 私の父と話したところ

n. mee ino-opa ko oo-wegaa~wegaa ko  
 person other-DAT DET.PL.F 3BEN<sub>1</sub>-speak~RDP DET.SG.F  
 te tai  
 NEG do.IMP.SG  
 他の人たちにはペラペラ話してはいけない

以下の文例から、受益者系列 I は目的語人称接辞の外側に置かれることが確認される。

o. tee oo-e-muwakai  
 NEG 3BEN<sub>1</sub>-3O-show.IMP.SG  
 他の人にはそれを見せてはいけない

以下の文例では、動詞に受益者系列 I が付いて語彙化していることが確認される。

p. okai ya kei bage-ido oo-tou ti-ta  
 3SG GEN.DEF DEM.PL.M people-PL 3BEN<sub>1</sub>-stay.INF do-IP  
 彼はその人たちを守った

q. oo-kogai  
 3BEN<sub>1</sub>-lay.INF  
 人を避けて逃げる

### 2.6.3. 受益者系列IIの文例

表 32. 受益者系列 II の人称接辞

	単数	複数
1人称	na-	niya-
2人称	ka-	kiya-
3人称	ya-	
人間以外	∅-	

受益者系列 II で表されるのは、動作を代行してもらうこと～代行されることによる受益者や被害者に相当する関係者と、受益や被害の対象物の所有者である。基本的に受益者や被害者には主語を含まない。

まず両方の意味を持つ文例をみる。

- (11) a. okai ki na-wagi-ta  
 3SG DET.SG.M 1SG.BEN<sub>2</sub>-3O.shoot/kill-IP  
 1) 彼は私の代わりに弓を射た  
 2) 彼は私の豚を殺した

両方の意味を兼ねる文例もある。

- b. aki ki maidamake aki ya peka kaa  
 2SG DET.SG.M on.behalf 2SG GEN.DEF eye LOC  
 yimu ka-motii  
 dirt 2SG.BEN<sub>2</sub>-take.INF  
 あなたのために目のゴミを取ってあげる

次いで受益や被害の対象物の所有者の文例をみる。

- (12) a. ani ya-nai  
 1SG 3BEN<sub>2</sub>-eat.INF  
 私が他の人の物を食べてしまう
- b. ani ya ekina na-gi-ta  
 1SG GEN.DEF pig 1SG.BEN<sub>2</sub>-kill-IP  
 (誰かが) 私の豚を殺した

- c. okai ki ani ya ugai-piyauto  
 3SG DET.SG.M 1SG GEN.DEF write-stick  
 na-doki-to-p-i  
 1SG.BEN<sub>2</sub>-carry-CONT-MP-3SG.M.S  
 彼は私のペンを持って行った
- d. ani ki amaatabinee kaa emo  
 1SG DET.SG.M leech GEN.INDF blood  
 na-duwa-ag-ai  
 1SG.BEN<sub>2</sub>-cut-RP-3PL.S  
 私はヒルに血を吸われた (Lit. 私はヒルが血を吸った)
- e. okai ki dou beu daiga ani ya  
 3SG DET.SG.M see.INF NEG CNJ 1SG GEN.DEF  
 mege awii oma naa-moti-ta  
 money pouch stealth 1SG.BEN<sub>1</sub>-take-IP  
 彼が見ていなかったなので私の財布が盗まれた (被害者は私と彼)
- f. inii ya mege awii oma niya-moti-ta  
 1PL GEN.DEF money pouch stealth 1PL.BEN<sub>2</sub>-take-IP  
 私たちの財布が盗まれた
- g. amaatabinee kaa emo niya-go-ote  
 leech GEN.INDF blood 1PL.BEN<sub>2</sub>-draw-PROG  
 ヒルが私たちの血を吸っている
- h. kioos kaa agiyoo oma ya-motii  
 kiosk LOC goods stealth 3BEN<sub>2</sub>-take.INF  
 売店から物を盗む

今度は被代行者の文例をみる。

- (13) a. ya-wegai  
 3BEN<sub>2</sub>-speak.INF  
 私が中に入って話しをつける

- b. naitai ki inii weneka bagee maidamake  
 1SG.father DET.SG.M 1PL younger.siblings on.behalf  
 tekeepo-opa niya-wi-ta  
 pandanus-place 1PL.BEN<sub>2</sub>-go-IP  
 私の父は私の弟妹たちのためにパンダヌス園へ行った
- c. akaitai ki ikii weneka bagee maidamake  
 2SG.father DET.SG.M 2PL younger.siblings on.behalf  
 tekeepo-opa kiya-wi-ta  
 pandanus-place 2PL.BEN<sub>2</sub>-go-IP  
 あなたの父はあなたの弟妹たちのためにパンダヌス園へ行った
- d. nakame ki okei weneka bagee maidamake  
 3.father DET.SG.M 3PL younger.siblings on.behalf  
 tekeepo-opa ya-wi-ta  
 pandanus-place 3BEN<sub>2</sub>-go-IP  
 彼の父は彼の弟妹たちのためにパンダヌス園へ行った
- e. ani yamada-san ya agiyo ya-moti-p-a  
 1SG Mr.Yamada GEN.DEF thing 3BEN<sub>2</sub>-go-MP-1SG.S  
 私は山田さんの荷物を持って行った

以下の文例から、受益者系列 II は目的語人称接辞の外側に置かれることが確認される。

- (14) a. ukame yoka ya-a-pai nee dideewaa uwii  
 mother child 3BEN<sub>2</sub>-3O-bear.INF OPT hospital go.INF  
 母親が子供を産ませてくれるよう病院へ行く
- b. ani dideewaa make yoka ya-pa-ameg-a  
 1SG hospital LOC child 3BEN<sub>2</sub>-bear-DP<sub>2</sub>-1SG.S  
 (医者)が 私は病院で (その母親に) 子供を産ませた

以下の 2 文例を比べると被代行者の標識としての働きが見て取れる。

- c. ani maidamake na-keiti-p-e  
 1SG on.behalf 1SG.BEN<sub>2</sub>-work-MP-2SG.S  
 (私の依頼で) あなたがやっていたのは私のためだ



cf. c'. ani maidamake keiti-p-e  
 1SG on.behalf work-MP-2SG.S  
 あなたがやっていたのは私のためだ

以下の文例から、受益者系列 I は受益者系列 II の外側に置かれることが確認される。

d. oo-ya-animakai  
 3BEN<sub>1</sub>-3BEN<sub>2</sub>-sit.IMP.SG  
 他の人のために代わりに座ってください

#### 2.6.4. 敬語人称系列の文例

相手を立てる敬語表現として、Paniai 方言では以下の 1 人称接辞が使われる。2 人称、3 人称の接辞は使われない。

表 33 敬語人称系列の人称接辞 (Paniai 方言)

	単数	双数	複数
1人称	naa-	niyaa-*	nec-*

Tigi 方言では以下の 1 人称接辞が使われる。

表 34 敬語人称系列の人称接辞 (Tigi 方言)

	単数	双数/複数
1人称	naa-	nii-

以下の文例で Tigi 方言では(c), (e)は nii-animakai に、(d), (f)は nii-noo tai となる。

(15) a. naa-animakai  
 HON.SG-sit.IMP.SG  
 (1人に向かって) お座りください

b. naa-noo tai  
 HON.SG-eat do.IMP.SG  
 (1人に向かって) 召し上がってください

- c. niya-animakai  
HON.DU-sit.IMP.DU  
(2人に向かって) お座りください (Paniai方言)
- d. niyaa-noo tai  
HON.DU-eat do.IMP.DU  
(2人に向かって) 召し上がってください (Paniai方言)
- e. nee-animakai  
HON.PL-sit.IMP.PL  
(3人以上に向かって) お座りください (Paniai方言)
- f. nee-noo tai  
HON.PL-eat do.IMP.PL  
(3人以上に向かって) 召し上がってください (Paniai方言)

以下の文例から、敬語人称系列は受益者系列 II の外側に置かれることが確認される。

- g. okai ya mege awii ani maida make  
3SG GEN.DEF money pouch 1SG LOC DEL  
naa-ya-motii (\*ya-naa-motii)  
HON.SG-3BEN<sub>2</sub>-take.IMP.SG  
彼の財布を私のために持って来られてください (私はアドバイスする者)
- h. okai ya mege awii oma naa-ya-motii  
3SG GEN.DEF money pouch stealth HON.SG-3BEN<sub>2</sub>-take.INF  
ko enaa  
COMP good  
彼の財布をお盗みなさるのはいいことです

以下の文例から、敬語人称系列は受益者系列 I の外側に置かれることが確認される。

- i. kii            yoka    ki            ane-epa  
DEM.SG.M    child    DET.SG.M    1SG-ALL  
naa-oo-mewei  
HON.SG-3BEN<sub>1</sub>-come.IMP.PL  
その子どもをどうぞ私のところへお連れなさってください

## メエ語の文例集3. 動詞のアスペクトとモダリティに係る文例

キーワード：アスペクト，モダリティ，非現実相，完了アスペクト，現在進行，過去進行，習慣アスペクト，結果アスペクト，持続アスペクト，使役，供益，自発，可能，軽易化，試行，許可，希求モード，願望・必要，義務モード，始動アスペクト

Keywords: aspect, modality, irrealis mood, perfective aspect, present progressive, past progressive, habitual aspect, resultative aspect, continuous aspect, causative, benefactory, spontaneity, ability, diminution, trial, permissive, optative mood, disire & necessity, deontic mood, inchoative aspect

- 3.1. 動詞語幹に後続するアスペクト形式
- 3.2. 動詞語幹に後続するアスペクト補助動詞
- 3.3. 動詞語幹に後続するその他の形式
- 3.4. 動詞不定形に後続するモダリティ形式

### 3.1. 動詞語幹に後続するアスペクト形式

動詞語幹に後続してアスペクトを表示する形式、ならびにアスペクトと時制を合わせて表す形式をみる。

#### 3.1.1. -ya が後続 — 非現実相

-ya は動詞語幹に後続するばあいと、動詞不定形に後続するばあいがある。意味の違いは未解明である。動詞語幹に後続するばあいも多様な意味があるようであり、併せて今後の解明が必要である。以下の文例では未然、可能、許可などの非現実相を表している。

- (1) a. aki egaa anigoo-p-e naa ko koma ena ida  
2SG early wake.up-MP-2SG.S HYP COMP vehicle one LOC  
naa ko ki-to-yaa kodeya  
NI.SG DET.SG.F become-CONT-IRR CNJ  
お前が早く起きていたならば、バスに間に合ったのに

- b. tiyake kou tekeepo-opa make wega-yaa gaa  
 CNJ DEM.SG.F pandanus-place LOC speak-IRR time  
 kodo wega-yaa ko uwo kou ko  
 DEM.SG.F speak-IRR COMP water DEM.SG.F DET.SG.F  
 doba-uga te-ig-ai  
 valley-place do-HAB-3PL.S  
 だからパンダヌス園で話す時に話すのは、「水」は「谷の水場のところ」とされる
- c. tekeepo-opa make doo-ya bagume ko  
 pandanus-place LOC see-IRR dream DET.SG.F  
 パンダヌス園で見る夢
- d. ani ki tokiyo ki-touyogo maiya tee  
 1SG DET.SG.M Tokyo become-CVM also NEG  
 aka-dou ti-ya yuwa  
 RECP-see-INF do-IRR probable  
 私が東京にいても多分会えないのだろう
- e. te duwa-doke ti-yaa  
 NEG cut-RES do-IRR  
 (このナイフでは) 絶対に切れない
- f. te uwi-ya ida  
 NEG go-PMS place  
 行ってはダメな場所
- g. uwii beu ti-yaa makii  
 go-INF NEG do-PMS land  
 行ってはいけない場所
- h. te egaadoo ti-yaa manaa  
 NEG inquire do-PMS affair  
 訊ねてはいけない話し

### 3.1.2. -ya が後続 — 完了アスペクト<sup>7</sup>

-ya が動詞語幹に後続するばあい、完了を表すことがある。

- (2) a. edi duwaa-ya  
rain cut-PFV  
雨がもう止んだ

### 3.1.3. -ete が後続 — 現在進行

-ete は動詞語幹に後続して現在進行を表す。

- (3) a. animaki-yake buku ebate-ete  
sit-CVM book read-PROG  
座って本を読んでいる

- b. bodiya no-ote  
fire burn-PROG  
火が燃えている

- c. yugiyo yaawe-ete  
mist pass-PROG  
霧が出ている

### 3.1.4. -etigoo が後続 — 過去進行

-etigoo は動詞語幹に後続して過去進行を表す。-etigoo には副動詞としての機能もある。

- (4) a. okai dugi no-etigoo gaa kodo oti ti-ta  
3SG potato eat-PPROG time DEM.SG.F jump do-IP  
彼はご飯を食べながらジャンプした

- b. okai uwe-etigoo e-doo-p-a  
3SG go-PPROG 3O-see-MP-1SG.S  
彼が歩いているのを見た

<sup>7</sup> アスペクト体系の組織的調査は今後の課題であり、本文例集では完了と完結の違いは保留とする。

- c. okai uga-atigoo e-doo-ta  
 3SG write-PPROG 3O-see-IP  
 彼が書いている最中に見た
- d. ekina tai-da no-otigoo gaa wagii  
 pig fileld-LOC eat-PPROG time 3O.hit-INF  
 豚が畑で食べていたときに打ち殺した

過去とは限らない進行の文例もある。

- e. okai uwi-yake oma mote-etigoo e-dou  
 3SG go-CVM stealth take-PROG 3O-see-INF  
 彼は行って、泥棒している人を見る

### 3.1.5 -naa tai が後続 — 習慣アスペクト

-naa tai が後続して、「いつもあちこちで～する」という空間的分散の意味合いと習慣アスペクトを表す。

- (5) a. okai ki ekina duwaa-naa te-ig-i  
 3SG DET.SG.M pig cut-HAB do-HAB-3SG.M.S  
 彼はいつもあちこちで豚肉を切っている
- b. ekina wagi-naa tee tai mee  
 pig 3O.kill-HAB do do-INF person  
 豚の賭殺人
- c. manaa ti-naa tai  
 story do-HAB do-INF  
 あちこちで話をする
- d. okeyai ke aa-kaa-wega-naa te-ete  
 3DU DET.SG.M DU-2SG.BEN<sub>1</sub>-speak-HAB do-PROG  
 あの二人は君のことをいつもあちこちで悪口言っている

以下の文例では動詞語幹ではなく動作名詞に -naa tai が付いている。okai ki ba-puu-ti-naa te-ig-i の聞き取り違いの可能性もあり、確認が必要である。

- e. okai ki baa-puu-naa te-ig-i  
 3SG DET.SG.M feces-blow-HAB do-HAB-3SG.M.S  
 彼はいつもあちこちで放屁している

### 3.2. 動詞語幹に後続するアスペクト補助動詞

動詞語幹に基本的な動作を表す補助動詞が後続して、先行する動詞のアスペクトを表示する。後続するアスペクト補助動詞には元来の様態的な意味がある程度伴うものもある。

#### 3.2.1. -ti が後続 — 完了アスペクト

動詞の第二語幹に tai (する)の語幹の ti が後続して、完了アスペクトを表す。

- (6) a. noo ti  
 eat do.PFV  
 もう結構です (もう食べた)

- b. uwee ti  
 go do.PFV  
 もう行った

#### 3.2.2. -teig- が後続 — 完了アスペクト

基本的に -ig- は現在習慣の時制アスペクトであるが -teig- となると現在完了の時制アスペクトとなるらしい。文例が限られており、多くの動詞語幹に後続して使われる一般的な時制アスペクトの標識なのか、さらに調査が必要である。

- (7) a. ikii ke noo-teig-aa mee beu  
 2PL DET.PL.M eat-PFV-2PL.S Q NEG  
 inii ke noo-teig-e  
 1PL DET.PL.M eat-PFV-1PL.S  
 もう食べましたか?  
 もう食べました

- cf. b. yuwee~yuwee te-ig-a  
 hear~RDP do-HAB-3SG.F.S  
 (鳥の声が) 聞こえ聞こえしていたものだった



- cf. b'. yuwee-ig-a  
 hear-HAB-3SG.F.S  
 (鳥の音が) 聞こえたものだった

### 3.2.3. -yaawii が後続 — 完了アスペクト

動詞の第一語幹に -yaawii が後続して、完結の意味合いの完了アスペクトを表す。また動詞語幹に後続する -yaawii には使役化の機能もある。

- (8) a. ibu                    goo-yaawi-ta  
 trench.mouth    draw-PFV-IP  
 畑の水を流し払う
- b. no-yaawii  
 eat-PFV.IMP.SG  
 (薬を) 飲んでしまいなさい
- c. dugi    no-yaawi-ta  
 potato    eat-PFV-IP  
 ご飯を食べ終わった
- d. dugi    no-yaawi-yake    okai    me-ta  
 potato    eat-PFV-CVM    3SG    come-IP  
 ご飯を食べ終わると彼が来た
- e. dugi    no-yaawi-yake-touyogo    okai    me-ta  
 potato    eat-PFV-CVM-CVM    3SG    come-IP  
 ご飯を食べ終わると、彼が来た
- f. dugi    no-yaawi-yake    ko            buku    ebatai    kouda  
 potato    eat-PFV-CVM    DET.SG.F    book    read.INF    there  
 make    uno            umi-ta  
 LOC    sleep        live-IP  
 ご飯を食べた後、本を読んで、寝た

- g. kou                    piyauto-udo    yaki-yaawi-yake  
 DEM.SG.F            stick-PL            grasp-PFV-CVM  
 その棒をつかんで
- h. owaa   kapauto    kaa    okei    ya            kaa    togi-yaawi-ta  
 house   near            APS    3PL            GEN.DEF    FOC    destine-PFV-IP  
 ida    kodaa            make    muumai    ti-yaawi-make  
 place   DEM.SG.F            LOC    end            do-PFV-able  
 家の近くの、彼らがはっきり決めた場所で、そこで、食べてしまいます
- i. no-yaawi-touyogo    dou  
 eat-PFV-CVM            see.INF  
 食べた後で見た
- j. ka-gaa-yaawi-ta  
 2SG.O-think-PFV-IP  
 彼はあなたのことをよく考えた
- k. e-gaa-yaawi-p-e  
 3O-think-PFV-MP-2SG.S  
 あなたは彼のことをよく考えた
- l. ya-gaa-yaawe-eg-e  
 3BEN<sub>2</sub>-think-PFV-RP-2SG.S  
 あなたは彼に代わってよく考えた～あなたは彼の豚をよく考えた

### 3.2.4. -aawii が後続 — 完了アスペクト

動詞の第一語幹に -aawii が後続して、完結の意味合いの完了アスペクトを表す。1 文例だけであり、-yaawii が弱化した形式である可能性もある。今後の確認が必要である。

- (9) a. nee-yoo-koga-awii  
 1PL.BEN<sub>1</sub>-cook-lay-PFV.IMP.SG  
 火の上に置いておこう

### 3.2.5. -kumii が後続 — 完了アスペクト

動詞の第一語幹に -kumii が後続して、完結の意味合いの完了アスペクトを表す。kumii の元来の意味は、ukaa kumi-ta [bow join-IP] 「弓（に弦）を結わえた」というように、「結ぶ」という意味である。

- (10) a. emigi-kumii  
discard-PFV  
捨ててしまう
- b. ani dugi noo-kumii  
1SG potato eat-PFV  
私は食事をし終わった

### 3.2.6. -makai が後続 — 完了アスペクト

-makai が後続して、完了アスペクトを表す。文例(a)では補助動詞に目的語の人称接辞が付されている。

- (11) a. ani ki mee wage e-maki-ta  
1SG DET.SG.M person 3O.kill 3O-PFV-IP  
私はもう人を殺した
- b. beko~beko ti-makai  
rattan.vine~RDP do-PFV  
クルクル絡みつく
- c. epii ki-make  
knowing become-PFV  
もう知っている
- d. uno wiya umi-maki-yake  
sleep two live-PFV-CVM  
2晩泊まって

### 3.2.7. -gou が後続 — 完了アスペクト

-gou が後続して、元の動作に反対方向の動作が続くことを表すことにより、完了アスペクトが表される。「引く」という gou の元来の意味に由来し、語感がかなり残っている。

- (12) a. tokiyo me-gou  
Tokyo come-PFV  
(去る予定を前提にして) 東京に来る
- b. edooga uwi-goo-ta ko miyo kaa tauwani  
first.time go-PFV-IP DET.SG.F past FOC year  
最初に行ってきたのは去年です
- c. ani ki tokiyo tawaa to-p-a ida  
1SG DET.SG.M Tokyo Tower be-MP-3SG.F.S place  
uwi-goo-ta  
go-PFV-IP  
私は東京タワーのある場所に行ってきた
- d. itaagapi ko beu kodeya getó ko  
today DET.SG.F NEG CNJ yesterday DET.SG.F  
uwi-goo-p-a  
go-PFV-MP-1SG.S  
今日じゃなく昨日行ってきたんだ

### 3.2.8. -dokii が後続 — 移動の結果としての完了アスペクト

-dokii が後続して、移動の結果としての完了アスペクトを表す。「持って行く」という dokii 元来の意味に由来し、語感が残っている。

- (13) a. no-doki-yake uwii  
eat-PFV-CVM go.INF  
(目的地へ行く途中で) 食べてから行く
- b. jakarta to-doki-yake uwii  
Jakarta stay-PFV-CVM go.INF  
ジャカルタでトランジットして行く

- c. jakarta to-doki-ta  
 Jakarta stay-PFV-IP  
 ジャカルタを経由した（ジャカルタに一時的にいた）
- d. okei owaa migi-doki-ta  
 3PL house build-PFV-IP  
 1) あの人は家を建てて（使わずに）行った  
 2) （言い伝えなどで）家を作った（今はもうない）
- e. okei owaa migi-maki-doki-ta  
 3PL house build-set-PFV-IP  
 1) あの人は家を建てて（後で誰かが使うよう）行った  
 2) （言い伝えなどで）家を作った（今もまだある）
- f. tokiyo maki-doki-ta  
 Tokyo set-PFV-IP  
 （鞆を）東京に置いておいた
- g. no-doki-ta  
 eat-PFV-IP  
 食べていった
- h. keiti-doki-ta  
 work-PFV-IP  
 働いてきた

### 3.2.9. -doke (tai) が後続 — 結果アスペクト

-doke (tai) が後続すると結果アスペクトを表し、自発の意味を持つ。

- (14) a. damo keba-doke ti-ta  
 door open-RES do-IP  
 1) （鍵を見つけて）ドアを開いた  
 2) （見た時は開いていなかったが）手で開けた
- b. damo ki keba-doke ti-p-a  
 door DET.SG.M open-RES do-MP-3SG.F.S  
 ドアが開いている（誰かが開けた）

- c. piyauto ena we-doke ti-to-omeg-a  
stick one plant-RES do-CONT-DP<sub>2</sub>-3SG.F.S  
棒が一本、地面に刺されていたのです
- d. bedo kapu wa-doke  
bird flap pluck-RES  
鳥が吹き飛ばされて
- e. wadaato mee ino buku uga-touyogo maiya  
in.future person other book write-CVM also  
mee mana kou towoo-dokee  
Mee language DEM.SG.F whistle-RES  
将来誰かが本を書いたならばまた、メエ語は笛が鳴る
- f. kii pute-wee kii ke ekina te  
DEM.SG.M iron-knife DEM.SG.M DET.SG.M pig NEG  
duwa-doke  
cut-RES  
このナイフは豚は切れない

以下の文例では *duwa-doke tai* で他動詞を形成し、道具主語の文となっている可能性がある。あるいはナイフが主題で手が主語の文の可能性もある。

- cf. g. pute-wee kaa ani ya gane duwa-doke  
iron-knife GEN.INDF 1SG GEN.DEF hand cut-RES  
ti-p-a  
do-MP-3SG.F.S  
ナイフで私の手を切った／ナイフで私の手が切れた

### 3.2.10. -tou が後続 — 持続アスペクト

-tou が後続して、持続アスペクトを表す。「いる、留まる」という *tou* の元来の意味に由来し、語感が残っている。

- (15) a. okai uwi-to-og-i  
3SG go-CONT-RP-3SG.M.S  
彼は出掛けてしまった

- b. damo tapi-to-omeg-i  
 door close-CONT-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 彼はドアを閉めておいた
- c. okai ki damo keba-to-omeg-i  
 3SG DET.SG.M door open-CONT-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 彼はドアを開けておいた
- d. ito kou maiya gaa-to-p-a  
 now DEM.SG.F also think-CONT-MP-1SG.S  
 今でも考えているのです
- e. ani ki weneka ko kawé dani  
 1SG DET.SG.M younger.sibling DET.SG.F how like  
 ti-tou pagi gaa-yake  
 do-CONT NF<sub>1</sub>.3SG.M.S think-CVM  
 私は弟がどうしているだろうかと考えていますが
- f. yatu bago uda make wege bago uda  
 Yatu mountain LOC DEL Wege mountain LOC  
 goo koto dee-to-omeg-ai  
 rattan bridge build-CONT-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 ヤトゥ山のところからウェゲ山のところへ籐蔓の橋が架け渡してありました

### 3.3. 動詞語幹に後続するその他の形式

#### 3.3.1. -yaawii が後続 — 使役

-yaawii が後続して、先行する動詞を使役化する。

- (16) a. okai ki pito gani-yaawi-ta  
 3SG DET.SG.M torch shine-CAUS-IP  
 彼は電気を点けておいた
- b. misionaris kaa ko mee akapaka ti-yaawi-ta  
 missionary GEN.INDF DET.SG.F people exchange do-CAUS-IP  
 宣教師団体が人事を交代させた

- c. ka-podomi-yaawi-ta  
2SG.O-go.out-CAUS-IP  
お前を追い出した
- d. aki ki mogo ko oni-yaawi-ta  
2SG DET.SG.M stone DET.SG.F bathe-CAUS-IP  
君は石を沈めた（石を精霊と考えて onii [bathe] を使う）
- e. aki ki ani na-boka-yaawi-ta  
2SG DET.SG.M 1SG 1SG.O-die-CAUS-IP  
君は私を殺した（死なせた）
- f. aki ki ani kiyai na-ti-yaawi-ta  
2SG DET.SG.M 1SG laugh 1SG.O-do-CAUS-IP  
君は私を笑わせた
- g. wado e-yooni-yaawii  
upward 3O-stand-CAUS-INF  
人を立ち上がらせる

### 3.3.2. -menii が後続 — 供益

-menii が後続して、先行する 1 項他動詞を供益の意味をもつ 2 項他動詞に変える。構成された複他動詞が多義となることもある。

- (17) a. doo-menii  
see-3O.give.INF  
1. 見せてあげる  
2. 見つけてあげる  
3. （インターネットで）代わりに見てあげる

より慣用句化した文例もある。

- b. dugi doo-menii  
potato see-3O.give.INF  
（母親が家族のために畑で）芋を採ってあげる



- c. dugi ake-epa doo-kanii  
 potato 2SG-DAT see-2SG.O.give-INF  
 (近所の人たちに向かって) あなたに芋をタダであげよう
- d. aki ki doo-naimi-ta  
 2SG DET.SG.M see-1SG.O.give-IP  
 君は私に見せた
- e. aki ki ani ekina kou wagi-naimi-ta  
 2SG DET.SG.M 1SG pig DEM.SG.F 3O.kill-1SG.O.give-IP  
 君は私に豚を殺してくれた
- f. aki ki ani bedo mana kou  
 2SG DET.SG.M 1SG bird voice DEM.SG.F  
 yuwi-naimi-ta  
 hear-1SG.O.give-IP  
 君は私に鳥の声を聞かせてくれた

### 3.3.3. -etii が後続 — 使役

-etii が動詞語幹に後続して使役化する

- (18) a. ani ki bedo mana yuwi-kati-ta  
 1SG DET.SG.M bird voice hear-2SG.O.tell-IP  
 私は君に鳥の声を聞かせた
- cf. b. aki ki bedo mana kou yuwii  
 2SG DET.SG.M bird voice DEM.SG.F hear.IMP.SG  
 nati-ta  
 1SG.O.tell-IP  
 あなたは「鳥の声を聞け」と私に言った

### 3.3.4. -daa (tai) が後続 — 自発

-daa (tai) が動詞語幹に後続すると、自発的な動作を表す。

- (19) a. goo ti-daa  
 fall do-SPN  
 自然に落ちる
- b. damo keba-daa  
 door open-SPN  
 ドアが自然に開く
- c. damo ki keba-daa ti-ta  
 door DET.SG.M open-SPN do-IP  
 ドアが自然に開いた
- d. agapi gani-daa  
 daytime shine-SPN  
 昼間は晴れた
- e. bedo kapu wa-daa  
 bird flap draw-SPN  
 鳥が（自然と）羽ばたく
- f. ukiya kaa bedo kapu wa-daa tai  
 wind INS bird flap draw-SPN do.INF  
 風で鳥が（吹き飛ばされそうになって自然と）羽ばたきをする
- g. kapoge ki wigoo-daa  
 paper DET.SG.M tear-SPN  
 紙が自然に破れる
- h. ani ki geiyoo ki-daa  
 I SG DET.SG.M cold become-SPN  
 私は寒い
- i. ani ki geiyoo ti-daa  
 I SG DET.SG.M cold do-SPN  
 （冷房の効いた部屋に入って）私は寒い

- j.    ani     ki                   geiyoo   gaa-daa   ti-ta  
       1SG   DET.SG.M       cold      feel-SPN   do-IP  
       私は寒けがする
- k.    paniai   dimi       gaa-daa  
       Paniai   feel      think-SPN  
       パニアイが恋しい
- l.    ani     ki                   bedo   manaa   yuwi-daa  
       1SG   DET.SG.M       bird   voice   hear-SPN  
       鳥の音が聞こえてきた／鳥の音が（ふと）聞こえた
- m.    pii     ko                   wedabaa   ewaa   ki-daa           ti-p-ai  
       flower   DET.SG.F       plenty   florish   become-SPN      do-MP-3PL.S  
       花が沢山咲くようになった
- n.    kou       manaa       uba-daa       ti-ta  
       DEM.SG.F   language   search-SPN   do-IP  
       その言葉を忘れた
- o.    bodiya   no-daa       te-ete  
       fire     burn-SPN   do-PROG  
       火が燃え終わりそうになっている
- cf. p.   bodiya   no-doke       te-ete  
       fire     burn-RES   do-PROG  
       火が燃え終わりそうになっている
- q.    miyo-goo   ti-yake       akagi-daa           ti-ta  
       down-fall   do-CVM   break-SPN           do-IP  
       下に落ちて割れた
- r.    pidini   peto       go-ti-daa       ti-p-a  
       dish     crack   draw-do-SPN   do-MP-3SG.F.S  
       皿にひびが入った

- s. koto tuwa-daa ti-p-a  
 bridge draw-SPN do-MP-3SG.F.S  
 橋が壊れた
- t. buda duwa-daa ti-p-a  
 rope cut-do-SPN do-MP-3SG.F.S  
 綱が切れた
- u. mogo akagi-daa ti-p-a  
 stone break-SPN do-MP-3SG.F.S  
 石が割れそうになっている

### 3.3.5. -make が後続 — 可能

-make が動詞語幹に後続すると、能力や可能を表す。

- (20) a. te uwi-make  
 NEG go-able  
 行けない
- b. peka te doo-make  
 eye NEG see-able  
 目が見えない
- c. ani ki mee mana ko te  
 1SG DET.SG.M Mee language DET.SG.F NEG  
 wegaa-make  
 speak-able  
 私はメエ語が話せない
- d. ani okai ki ake-epa ko te  
 1SG 3SG DET.SG.M 2SG-DAT DET.SG.F NEG  
 kani-make  
 2SG.O.give-able  
 私は彼をあなたにはあげない

e. mee utoma okai tekeepo-opa make wega-yaa  
 person every 3SG pandanus-place LOC speak-IRR  
 manaa kodo too wega-make  
 language DEM.SG.F FOC speak-able  
 人は皆誰も、パンダヌス園で話される言葉だけを話すことができる

f. owaa kapauto kaa okei ya kaa togi-yaawi-ta  
 house near APS 3PL GEN.DEF FOC destine-PFV-IP  
 ida kodaa make muumai ti-yaawi-make  
 place DEM.SG.F LOC end do-PFV-able  
 家の近くの、彼らのはっきり決めた場所で、そこで、食べてしまいます

### 3.3.6. -doo tai が後続 — 軽易化

-doo tai が後続して、軽易な動作を表す。「見る」という dou の元来の意味に由来し、語感が残っている。

(21) a. kopa kaa wagi-doo tai  
 stick INS 3O.hit-see do.INF  
 棒でつつく

### 3.3.7. -dou, -doodou が後続 — 試行

動詞語幹に付した -dou により、または dou の語幹にさらに -dou が付いた -doodou という形式により、試行が表される。「見る」という dou の元来の意味に由来し、語感が残っている。

(22) a. aki ya na maiya kou mana kou  
 2SG GEN.DEF also also DEM.SG.F story DEM.SG.F  
 ká dani kou goda-dou  
 how like DEM.SG.F clean-try.IMP.SG  
 君もそのことをどうにか話してみなさい

b. kou pii kou unu yumi-dou  
 DEM.SG.F flower DEM.SG.F scent smell-try.IMP.SG  
 その花の香りを嗅いでみなさい

- c. kou            pii            kou            unu            yumi-doodou  
 DEM.SG.F      flower      DEM.SG.F      scent          smell-try.IMP.SG  
 その花の香りを嗅いでみなさい
- d. wagi-doodou  
 3O.kill-try.INF  
 殺そうとする
- e. ebati-doodou  
 read-try.INF  
 読んでみる
- f. na-yaki-doodou  
 1SG.O-hold-try.IMP.SG  
 私をつかんでみろ

### 3.4. 動詞不定形に後続するモダリティ形式<sup>8</sup>

動詞不定形に後続する形式によりいくつかのモダリティが表される。ya が後続する許可、nee が後続する非現実相あるいは希求モード、di ~ dimi が後続する願望あるいは必要、gai peu あるいは beu kai peu が後続する義務モード、をそれぞれ代表する文例が確認された。

#### 3.4.1. ya が後続 — 許可

ya が動詞不定形に後続するばあい、文例からみて許可を表すものと思われる。

- (23) a. te            uwii            ya            ida  
 NEG      go.INF      PMS          place  
 行ってはいけないところ
- b. te            duwai            ya            piya  
 NEG      cut            PMS          tree  
 切ってはいけない木

<sup>8</sup> 文末詞による文のモダリティ表現については「情報構造に係る文例 — 4. 文節に係る対比・新情報・モダリティの標識の文例」を参照。

c. kou wanee kaa nai ya agiyo koyoka  
 DEM.SG.F evening FOC eat PMS thing CNJ  
 agaapi ko te nai  
 daytime DET.SG.F NEG eat.IMP.SG  
 それは夜に食べる物だから、昼間は食べるな

d. ito kou ani ya wegai nee koo  
 now DEM.SG.F 1SG GEN.DEF speak.INF IRR COMP  
 okai kou tekeepo-opa make wegai yaa  
 3SG DEM.SG.F pananus-place LOC speak.INF PMS  
 manaa too wegai nee  
 language FOC speak.INF IRR  
 いま私が話すのは、それ、そのパンダヌス園で話すことのできる言葉  
 のことを話しましょう

### 3.4.2. nee が後続 — 非現実相・希求モード

nee が動詞不定形に後続するばあい、非現実相を表すが、未然および希求として用いられることが多いようである。

先ず未然の文例を見てみる。

(24) a. bokai nee dani  
 die.INF IRR like  
 死にそうだ

b. ekina wagii nee me-ta  
 pig 3O.kill.INF IRR come-IP  
 豚を殺しに来た

c. ito ko inii egaa goo-motii nee yuwa  
 now DET.SG.F 1PL quick start.INF IRR probable  
 たぶんもうすぐ始めるだろう

次いで希求モードの文例を挙げる。

d. ani ekina wagii ne  
 1SG pig 3O.kill.INF OPT  
 豚を殺したい

- e. ito ko inii egaa goo-motii nee  
 now DET.SG.F 1PL quick start.INF OPT  
 さあ早く始めよう

nee dimi (gai) と続くと願望を表す。

- (25) a. ani ebatai nee dimi  
 1SG read.INF OPT feel  
 私は読みたい
- b. okai ki ani te na-gii nee dimii  
 3SG DET.SG.M 1SG NEG 1SG.O-kill OPT feel  
 彼は私を殺したくない
- c. okai ki ani na-gii nee dimi te-ete  
 3SG DET.SG.M 1SG 1SG.O-kill.INF OPT think do-PROG  
 彼は私を殺したいと考えている
- d. ikane edai nee dimi gaa-yake eda uwi-ta  
 fish buy.INF OPT feel think-CVM buy go-IP  
 魚を買いたくて買いに行った
- e. ikane nai nee dimi mee beu  
 fish buy.INF OPT feel Q NEG  
 あなたは食べたいですか
- f. yuwii nee dimii gai  
 listen OPT feel think  
 聞きたいと思う

nee gai と続くとやはり願望を表す。-nee で終わる補文を gai が受ける構文と  
 考えられる。

- (26) a. ikane nai nee ga-ate mee beu  
 fish buy.INF OPT think-PROG Q NEG  
 あなたは食べたいですか



- b. ani ki ebatai ne gaa-p-a  
 1SG DET.SG.M read.INF OPT think-MP-1SG.S  
 私は読みたかった
- c. eminoo ebatai nee gai ta yuwa ewo  
 later.on read.INF OPT think.INF DF.1SG.S probable ignorant  
 いつか読みたくなるかもしれない
- d. ani ki tokiyo tawaa ko dou nee  
 1SG DET.SG.M Tokyo Tower DET.SG.F see.INF OPT  
 ga-ate  
 think-PROG  
 私は東京タワーを見たく思っている

nee naidi / nee didii が動詞不定形に後続するばあいも、願望や必要を表す。

- (27) a. paniai uwii nee naidi  
 Paniai go.INF OPT hungry  
 パニアイへ行きたい
- b. paniai uwii nee didii  
 Paniai go.INF OPT sick  
 パニアイへ行きたい

非現実相の nee で導かれる文に中過去の ki-p- が付され、さらに gaa が付された [nee ki-p-V gaa] 文により、話者の想像を表す。

- (28) a. okai ki bokai nee ki-p-i gaa  
 3SG DET.SG.M die.INF IRR become-MP-3SG.M.S imagine  
 あの人は死ぬかもしれないなあ
- b. inai wiyaa ke tee aa-bokai nee ki-p-e  
 1DU two DET.PL.M NEG DU-die.INF IRR become-MP-1PL.S  
 gaa  
 imagine  
 僕ら二人は死なないかもしれないなあ

### 3.4.3. di / dimi が後続 — 願望・必要

di / dimi が動詞不定形に後続するばあい、願望や必要を表す。生産性はかなり限られているようである。naidi [hungry] はこれが語彙化した形式と考えられる。

- (29) a. okai ki waka nai di  
 3SG DET.SG.M spouse eat.INF OPT  
 彼は結婚したい
- b. ani ki dugi nai di  
 1SG DET.SG.M potato eat.INF OPT  
 私はお腹が空いた (食べなきゃ)
- c. ani ki paniai uwii di  
 1SG DET.SG.M Paniai go.INF OPT  
 私はパニアイへ行きたい
- d. ekina egi nai dimi  
 pig meat eat.INF OPT  
 豚肉が食べたい

### 3.4.4. gai peu あるいは beu kai peu が後続 — 義務モード

gai peu あるいは beu kai peu が動詞不定形に後続するばあい、義務を表す。

- (30) a. aki ki paniai uwii gai beu  
 2SG DET.SG.M Paniai go.INF think.INF NEG  
 お前はパニアイに行かなければいけない
- b. aki ki paniai uwii beu kai peu  
 2SG DET.SG.M Paniai go.INF NEG become.INF bad  
 お前はパニアイに行かなければいけない

### 3.4.5. goomotii が後続 — 始動アスペクト

goomotii が後続して、始動アスペクトを表す。語根として goomotii は gou (引く) と motii (持って行く) に分かれるが、元来の意味は消えている。

- (31) a.   topii                   goomotii  
          study.INF       INC  
          勉強し始める

### 3.4.6. muumai tai が後続 — 終結アスペクト

muumai tai が動詞不定形に後続して、終結アスペクトを表す。muumai（終わり）の元来の意味による。

- (32) a.   okai    ki                   topii       muumai   tai  
          3SG   DET.SG.M   study.INF   TRM       do.INF  
          彼は勉強し終える

## メエ語の文例集4. 文型と語順

キーワード：平叙文，コピュラ文，述語的名詞，分裂文，存在文，否定文，疑問文，疑問詞，命令文，挨拶文，補文標識，名詞句，副詞節，話法

Keywords: declarative sentence, copular sentence, predicative noun, cleft sentence, existential sentence, negative sentence, interrogative sentence, question word, imperative sentence, greetings, complementizer, noun-phrase, adverbial clause, quoted speech

- 4.1. 平叙文
- 4.2. 否定文
- 4.3. 疑問文
- 4.4. 命令文
- 4.5. 挨拶文
- 4.6. 受動を表す構文
- 4.7. 補文標識
- 4.8. 話法

### 4.1. 平叙文

#### 4.1.1. 基本的な平叙文

基本的な語順は自動詞文では S-V、他動詞文では S-O-V、複他動詞文では S-IO-DO-V である。与格後置詞を付されたばあい S-DO-IO-V となることも多い。語順はかなり自由である。

自動詞文の文例をみる。

- (1) a.   ani       tokiyo   to-p-a  
          1SG   Tokyo   stay-MP-1SG.S  
          私は東京にいる
- b.   inii       goomotii   page  
          1PL   start.INF   NF<sub>1</sub>.1PL.S  
          始めよう
- c.   maki   ena   ida   mee   ida-ana   umitou   ti-ta  
          land   one   LOC   person   CLF-one   living   do-IP  
          あるところに一人の人が暮らしていた

d. tonawii~pokawii kei okei widoo bokai  
 rich.man~RDP DEM.PL.M 3PL three die.INF  
 金持ちたち3人が死ぬ

e. aki getó edi kepuu ti-ta  
 2SG yesterday rain getting.wet do-IP  
 あなたは昨日雨に降られた

f. aki getó edi kepuu ti-p-e mee beu  
 2SG yesterday rain getting.wet do-MP-2SG.S Q NEG  
 あなたは昨日雨に降られましたか？

この文例(f)では中過去の時制標識 *-p-* の語尾 *-e* [2SG.S]が主語 *aki* [-2SG]と一致することから、*edi kepuu tai* が複合自動詞となっているものと考えられる。

他動詞文の文例をみる。文例(e), (f), (g)のように指示詞や限定詞を付して主題化された目的語は語頭におかれることもある。

(2) a. aki okai e-yuwai  
 2SG 3SG 3O-help  
 君が彼を助ける

b. ani ki kou dodi kou wagi-ta  
 1SG DET.SG.M DEM.SG.F dog DEM.SG.F 3O.kill-IP  
 私はその犬を殺した

c. okai ki pito paa ti-ta  
 3SG DET.SG.M torch bright do-IP  
 彼は明かりをつけた

d. ani ki tokiyo tawaa ko doo-ta  
 1SG DET.SG.M Tokyo Tower DET.SG.F see-IP  
 私は東京タワーを見たことがある

e. kou dodi kou ani wagi-ta  
 DEM.SG.F dog DEM.SG.F 1SG 3O.kill-IP  
 その犬は私が殺した

- f. kou ekina kodo ko jon no-p-i  
 DEM.SG.F pig DEM.SG.F DET.SG.F John eat-MP-3SG.M.S  
 その豚はジョンが食べちゃったよ
- g. aki ki ani ya ki ka-doo-ta  
 2SG DET.SG.M 1SG GEN.DEF DET.SG.M 2SG.O-see-IP  
 私があなたを見た（あなたを見たのは私だ）

複他動詞文の文例をみると、与格の後置詞を付された間接目的語は動詞の前におかれることが多いようである。

- (3) a. ani ekina dugi meni-ta  
 1SG pig potato 3O.give-IP  
 私は豚にイモをくれた
- b. ani ki aki ekina kani-ta  
 1SG DET.SG.M 2SG pig 2SG.O.give-IP  
 私はお前に豚をあげた
- c. ani ya aki kou ekina kou kani-ta  
 1SG GEN.DEF 2SG DEM.SG.F pig DEM.SG.F 2SG.O.give-IP  
 私はお前に（自分の）その豚をあげた
- d. ani ya aki ani ya ekina kani-ta  
 1SG GEN.DEF 2SG 1SG GEN.DEF pig 2SG.O.give-IP  
 私はお前に私の豚をあげた
- e. yame kii ya ekina naimi-ta  
 man DEM.SG.M GEN.DEF pig 1SG.O.give-IP  
 男が私に豚をくれた
- f. kedei boke maine-ig-ai imoo  
 rat snare install-HAB-3PL.S trail  
 ネズミに罠を仕掛けるのです、通り道に
- g. ani ya aki ko oka-apa meni-ta  
 1SG GEN.DEF 2SG DET.SG.F 3SG-DAT 3O.give-IP  
 私はお前を彼にあげた

- h. okai ya            ani ki            ake-epa    kani-ta  
 3SG GEN.DEF 1SG DET.SG.M    2SG-DAT    2SG.O.give-IP  
 彼が私をあなたにあげた
- i. ani ki            okai ya            ake-epa    kani-ta  
 1SG DET.SG.M    3SG GEN.DEF    2SG-DAT    2SG.O.give-IP  
 私を彼があなたにあげた
- j. okeyai mee mana    oka-apa    aa-e-tope-ete  
 3DU Mee language 3SG-DAT    DU-3O-teach-PROG  
 あの二人はメエ語を彼に教えている

与格を付されない代名詞を複他動詞の直前に置くことはできない。

- k. ani ya            okai aki ki            meni-ta  
 1SG GEN.DEF 3SG 2SG DET.SG.M    3O.give-IP  
 [非文] (意図：私は彼女をお前にあげた)

#### 4.1.2. 平叙文 — コピュラ文

メエ語ではコピュラは用いられない。先行する旧情報項には、基本的に限定詞が付される。

- (4) a. inai wiyaa ke            kудuu  
 1DU two DET.PL.M    teacher  
 我々二人は先生です
- b. inai wiyaa ke            mee aa-e-topee tai wiyaa  
 1DU two DET.PL.M person DU-3O-teach do.INF two  
 我々二人は先生です
- c. okai ibo mee  
 3SG big person  
 彼(女)は年上の方だ
- d. okai ki            weneka            mee  
 3SG DET.SG.M    younger-sibling person  
 彼は若い方だ

- e. kii ke igi enaa mapi  
 DEM.SG.M DET.SG.M taste good banana  
 これはおいしいバナナだ
- f. okai ena ko yagumo  
 3SG one DET.SG.F woman  
 その一人は女だった
- g. kou owaa kou ani ya  
 DEM.SG.F house DEM.SG.F 1SG GEN.DEF  
 その家は私のだ
- h. kii ke ani ya mogo  
 DEM.SG.M DET.SG.M 1SG GEN.DEF stone  
 これは私の石だ
- i. getó maiya ani kidi ito maiya ani  
 yesterday also 1SG DEM.SG.M present also 1SG  
 kidi ani ena kidi  
 DEM.SG.M 1SG one DEM.SG.M  
 昨日も私、今日も私、私は同じだ
- j. ito kou ani wegai nee ko  
 present DEM.SG.F 1SG speak.INF IRR COMP  
 paniai make keite-ig-ai manaa  
 Paniai LOC work-HAB-3PL.S affair  
 今から私が話すのは、パニアイでよく為されていることだ
- k. okai ki peka~peka  
 3SG DET.SG.M eye~RDP  
 彼は平服監視員だ

#### 4.1.3. 平叙文 — 述語的名詞による平叙文

メエ語では述語的名詞、後置詞を付した述語的名詞により状態が叙述される。



- (5) a. getó ko ewaa  
 yesterday DET.SG.F existence  
 昨日は持っていた
- b. ani aki ide  
 1SG 2SG like  
 私はあなたが好きだ
- c. ani aki weda  
 1SG 2SG fear  
 私はあなたが怖い～私はあなたが嫌だ
- d. ani aki uu  
 1SG 2SG brave  
 君は気が置けない
- e. ani ki mee mana ko ewo  
 1SG DET.SG.M Mee language DET.SG.F ignorant  
 私はメエ語が話せない
- f. ani ki mee mana ko wegai ko  
 1SG DET.SG.M Mee language DET.SG.F speak.INF COMP  
 . ebe udo  
 mouth heavy  
 私はメエ語が話せない
- g. okai ki dimi yago  
 3SG DET.SG.M thought with  
 彼は頭がいい
- h. ani ki noukai ma ena dani  
 1SG DET.SG.M 1SG.mother COM one like  
 私は母に似ている

- i. yepaani ko maki pigii ko ewaa  
 Japan DET.SG.F land quake DET.SG.F existence  
 maki-yoo  
 land-area  
 日本は地震が多い国だ
- j. tokiyo ko kapa  
 Tokyo DET.SG.F near  
 東京は近い
- k. paniai make tokiyo kou ko poto  
 Paniai DEL Tokyo DEM.SG.F DET.SG.F far  
 パニアイから東京は遠い
- l. uwo wuduu  
 water pushing.forward  
 泳ぐ
- m. igi peu  
 taste bad  
 (怒って) 味が悪い
- n. kou ikane kou ko iginaa  
 DEM.SG.F fish DEM.SG.F DET.SG.F tasty  
 この魚はうまい
- o. okai ki mee mana ko epi koyoka  
 3SG DET.SG.M Mee language DET.SG.F knowing CNJ  
 mee mana ida wega-ig-i  
 Mee language LOC speak-HAB-3SG.M.S  
 彼はメエ語を知っているのでメエ語で話す
- p. utugu ibo / utugu miyo / utugu beu  
 head bit / head small / head NEG  
 話しやすい 寡黙だ 失礼だ

q. meuka wado-yoo ke-ete didibubu  
 sun upward-burn become-PROG set  
 太陽が上の方で照りながら沈む

方向詞の体系はまだよく解明されていないが、以下のように述語的にも使われる。

r. yepaani ko tokiyo kou ko aikaato  
 Japan DET.SG.F Tokyo DEM.SG.F DET.SG.F east  
 日本では東京は東の方

s. yepaani ko oosaka kou ko amukaato  
 Japan DET.SG.F Osaka DEM.SG.F DET.SG.F west  
 日本では大阪は西の方

t. yepaani ko sapporo kou ko waikaato  
 Japan DET.SG.F Sapporo DEM.SG.F DET.SG.F north  
 日本では札幌は北の方

u. yepaani ko okinawa kou ko wakaato  
 Japan DET.SG.F Okinawa DEM.SG.F DET.SG.F south  
 日本では沖縄は南の方

述語的名詞の否定文では beu が使われる。

v. miyoo beu  
 small NEG  
 すごい！

#### 4.1.4. 平叙文 — 分裂文

分裂文の前提節には限定詞が付く。

文例(a)は主語が焦点として後置された他動性の高い他動詞文であるが、後置された主語に付されている標識は、主語標識ではなく対比標識のようにも見える。さらに確認が必要である。

- (6) a. emo na-duwai kou ko amaatabinee kaa  
 blood 1SG.BEN<sub>2</sub>-cut DEM.SG.F DET.SG.F leech GEN.DEF  
 私から血を吸うのはヒルだ

後置詞句などを焦点として後置する分裂文も可能である。

- b. wanee dugi no-ta kodo ko ekina ma  
 evening potato eat-IP DEM.SG.F DET.SG.F pork COM  
 夕飯に食べたのは豚肉です (夕食を食べたのは豚肉とです)

多重焦点化の文例 [主語+与格目的語]。

- c. dugi meni-ta kou ko ani ya  
 potato 3O.give-IP DEM.SG.F DET.SG.F 1SG GEN.DEF  
 oka-apa  
 3SG-DAT  
 イモをあげたのは私が彼(女)にだ

自動詞詞文では主語標識はない。多重焦点化の文例 [主語+述語的名詞]。

- d. kou goo koto kuduga wo-uwee ki-ta  
 DEM.SG.F rattan bridge along up-ward become-IP  
 kou ko ani tibigi  
 DEM.SG.F DET.SG.F 1SG run  
 その籐蔓の橋をつたって上がって行ったのは、私が走ってだ

#### 4.1.5. 平叙文 — 存在文

所有することや恒常的に存在するを言うときには述語的名詞の ewaa が使われ、一時的に存在するを言うときには自動詞の tou が使われる。

まず ewaa が使われる文例をみる。

- (7) a. utugu tapa pagaataapii ewaa  
 head on birthmark existence  
 額にアザがある

b. oka-apa ko mege ewaa  
 3SG-DAT DET.SG.F money existence  
 あの人は金持ちだ

c. yepaani ko maki pigii ko ewaa  
 Japan DET.SG.F land quake DET.SG.F existence  
 maki-yoo  
 land-area  
 日本は地震が多い国だ

d. ani ki hape ewaa  
 1SG DET.SG.M handy.phone existence  
 私は携帯を持っている

ついで *tou* が使われる文例をみる。

e. ita-awe ida mogo akagi-ta to-p-a  
 road-at LOC stone break-IP be-MP-3SG.F.S  
 道に割れた石がある

存在を否定するばあいには *beu* または *beu tou* を使う。

cf. f. gaidai uwe-etigoo mee beu  
 TUFS go-CVM person NEG  
 外大に行ったが誰もいなかった

cf. g. kouda kaa ekina beu to-p-a nu  
 there GEN.INDF pig NEG be-MP-3SG.F.S NI.VOC  
 máagiyoo kaa  
 what INS  
 あそこの豚いないね、どうしたの

存在するものごとの数量を言うばあいには *tou* が使われる。

h. kou dani wiya dani to-p-ai  
 DEM.SG.F like two like be-MP-3PL.S  
 そのようなのが二三あります

i. kou keite-ig-ai manaa kodo ko  
 DEM.SG.F work-HAB-3PL.S affair DEM.SG.F DET.SG.F  
 wedabaa to-p-ai  
 many be-MP-3PL.S  
 為すことになっていることは沢山ある

j. paniai ko tika kooda make miyo wegai~wegai tee  
 Paniai DET.SG.F past DEM.SG.F DEL down speak.INF~RDP do  
 tai manaa ena to-p-a  
 do.INF story one be-MP-3SG.F.S  
 パニアイでは昔から言い伝えられている話しが一つある

k. ani kidi akaato maiya edooga~medooga uwi-ta  
 1SG DEM.SG.M REFL also first.time~RDP go-IP  
 gaa kodo doo-ta bagume ko ena  
 time DEM.SG.F see-IP dream DET.SG.F one  
 to-p-a  
 be-MP-3SG.F.S  
 私自身も初めて行ったときに見た夢が一つある

## 4.2. 否定文

### 4.2.1. 二つの否定詞

否定詞には動詞（複合動詞を含む）に先行する *te* と、動詞不定形や述語的名詞などに後続する *beu* との二つがある。

*te* による否定文 (a), (d), (f), (h), (j) では動作が否定され、*beu* による否定文(b), (e), (g), (i), (k)では事態や存在が否定されている。

(8) a. ani te me-ta  
 1SG NEG come-IP  
 私は来なかった

b. ani mei beu ti-ta  
 1SG come.INF NEG do-IP  
 私は来なかった

- c. \*ani me-ta beu  
 1SG come-IP NEG  
 [非文]
- d. okeyai wiyaa ke te aa-wega-ig-ai  
 3DU two DET.PL.M NEG DU-speak-HAB-3PL.S  
 彼ら（男二人）は話さない
- e. inai wiyaa ko aa-wegai beu te-ete  
 1DU two DET.PL.F DU-speak-INF NEG do-PROG  
 私たち（女二人）は話をしないている
- f. te uwi-ya ida  
 NEG go-IRR place  
 行ってはいけなところ
- g. uwii beu ti-ya ida makii  
 go-INF NEG do-IRR place land  
 行ってはいけな場所
- h. ani ki eniya ke te e-doo-ta  
 1SG DET.SG.M spirit DET.PL.M NEG 3O-see-IP  
 私は精霊たちを見なかった（精霊たちがいたけれども見なかった）
- i. ani ki eniya ke e-dou beu  
 1SG DET.SG.M spirit DET.PL.M 3O-see-INF NEG  
 私は精霊たちを見なかった（見るできなかった）
- j. kuuu ki te me-ete  
 teacher DET.SG.M NEG come-PROG  
 先生は来ない（来るのを取り止めた）
- k. kuuu ki mei beu te-ete  
 teacher DET.SG.M come-INF NEG do-PROG  
 先生はまだ来ていない

下記の文例では、動詞 *tou* を否定するのではなく、補語の *paniai* を否定する構文となっている。

- l. okai ki paniai beu to-p-i yuwa  
 3SG DET.SG.M Paniai NEG stay-MP-SG.M probable  
 彼はパニアイにいないかもしれない (現在)

動詞語幹・動詞不定形や述語的名詞などと軽動詞が組み合わさる複合動詞のばあい、動詞不定形や述語的名詞などを beu で否定する否定の文型と、動詞語幹や述語的名詞などに限定詞を付して軽動詞を te で否定する文型とがみられる。

- m. mei beu tai  
 come.INF NEG do.INF  
 来ない

- n. aki ki paniai uwii beu kai peu  
 2SG DET.SG.M Paniai go.INF NEG become.INF no.good  
 お前はパニアイに行かなければいけない

- o. adaku ko te tai  
 forget DET.SG.F NEG do.IMP.SG  
 忘れてはいけない

#### 4.2.2. te をつけた否定文の文例

否定辞 te の母音の長短により意味の違いが表される文例(d), (e)がある。

- (9) a. jon ya owaa too ko bado kaa  
 John GEN.DEF house TER DET.SG.F foot INS  
 ko te uwi-make  
 DET.PL.F NEG go-able  
 ジョンの家までは足では歩いていけません
- b. aki ki paniai te uwi-p-e naa maiya  
 2SG DET.SG.M Paniai NEG go-MP-2SG.S HYP also  
 enaa  
 good  
 お前はパニアイに行かなくてもよい



- c. ani okai ki ake-epa ko  
 1SG 3SG DET.SG.M you-DAT DET.SG.F  
 te kani-make  
 NEG 2SG.O.give-able  
 私はあなたには彼をあげない～あげられない
- d. okai ekina tee naimi-ta  
 3SG pig NEG 1SG.O.give-IP  
 彼は豚を（他の人にはあげたけれど）私にはくれなかった
- e. okai ekina te naimi-ta  
 3SG pig NEG 1SG.O.give-IP  
 （私の方にもらう気がないので）彼は豚を私にはくれなかった
- f. aweetaa ko inai ke tee aa-me i tage  
 tomorrow DET.SG.F 1DU DET.PL.M NEG DU-come DF.1PL.S  
 明日は私たち二人は来ません

#### 4.2.3. beu をつけた否定文の文例

- (10) a. ani aki weda beu  
 1SG 2SG fear NEG  
 私はあなたが怖くない
- b. kouda kaa ekina beu to-p-a nuu  
 there APS pig NEG be-MP-3SG.F.S NI.VOC  
 あの豚いないね
- c. jon kidi ki beu ti-yake  
 John DEM.SG.M DET.SG.M NEG do-CV  
 yosua me-eg-i  
 Joshua come-RP-3SG.M.S  
 ジョンじゃなくてヨシュアが来た

- d. ani gai beu manaa kodeya yuwi-ta bagee  
 1SG think.INF NEG story though hear-IP people  
 kede ke  
 DEM.PL.M DET.SG.M  
 私のする分からない話しをそれでも聞いた人たち
- e. adekaa ibo ko kii kaa kii ke  
 price big DET.SG.F DEM.SG.M INS DEM.SG.M DET.SG.M  
 beu ti-yake kou kaa kou  
 NEG do-CVM DEM.SG.F INS DEM.SG.F  
 値段が高いのはこれじゃなくてそれ
- f. okai ki dou beu udaiga ani ya  
 3SG DET.SG.M see.INF NEG CNJ 1SG GEN.DEF  
 mege awii oma naa-moti-ta  
 money pouch stealth 1SG.BEN<sub>1</sub>-take-IP  
 彼が見ていなかったなので私の財布が盗まれた
- g. ikai aa-mei beu ti-p-aa  
 2DU DU-come.INF NEG do-MP-2PL.S  
 あなたたち二人は来なかった
- h. kii dani ki beu  
 DEM.SG.M like DET.SG.M NEG  
 そうじゃない
- h'. kou dani ko beu  
 DEM.SG.F like DET.SG.F NEG  
 そうじゃない
- i. mei beu to-p-a  
 come.INF NEG be-MP-3SG.F.S  
 (彼女は) まだ来ていない

### 4.3. 疑問文

#### 4.3.1. 単純な疑問文

単純な疑問文では文末に *mee* あるいは択一疑問文的な *mee beu* が付される。

- (11) a.    *kou*            *ko*            *jon*    *ya*            *ekina*    *mee*  
         DEM.SG.F    DET.SG.F    John    GEN.DEF    pig    Q  
         あれはジョンの豚ですか？
- b.    *jon*    *kidi*            *ki*            *me-eg-i*            *mee*  
         John    DEM.SG.M    DET.SG.M    come-RP-3SG.M.S    Q  
         ジョンが来たの？
- c.    *m...*    *kou*            *iginaa*    *mee*    *beu*  
         *m...*    DEM.SG.F    tasty    Q    NEG  
         じゃあそれはおいしいですか？
- d.    *okai*    *ki*            *jon*    *wagi-ta*    *mee*            *beu*  
         3SG    DET.SG.M    John    3O.hit-IP    Q            NEG  
         あの人はジョンを叩いたの？
- e.    *mei*            *page*            *mee*            *beu*  
         come-INF    NF1.2SG.S    Q            NEG  
         来ますか？
- f.    *aweetaa*    *ko*            *mei*            *tage*            *mee*    *beu*  
         tomorrow    DET.SG.F    come-INF    DF.2SG.S    Q    NEG  
         *beu*            *te*    *mei*    *ta*  
         NEG            NEG    come    DF.1SG.S  
         *ii*            *mei*    *ta*  
         yes            come    DF.1SG.S  
         明日来ますか？  
         いいえ、来ません  
         はい、来ます
- g.    *aki*            *getó*            *edi*    *kepuu*            *mee*    *beu*  
         2SG    yesterday    rain    getting.wet    Q    NEG  
         昨日雨に降られましたか

- h. kii            dani    mee    beu  
 DEM.SG.M    like    Q      NEG  
 こうじゃないか？
- i. kou            dani    mee    beu  
 DEM.SG.F    like    Q      NEG  
 そうじゃないか？
- j. mei    page            mee    beu  
 come    NF1.2SG.S    Q      NEG  
 mei            beu    tai      neeg-a  
 come.INF    NEG    do.INF    NF2-1SG.S  
 mei            beu    tai      pigá  
 come.INF    NEG    do.INF    NF1.1SG.S  
 来ますか？  
 来ないでしょう  
 来ません
- k. enaa            mee            beu  
 good            Q            NEG  
 OKか？

#### 4.3.2. 択一疑問文

択一疑問文では焦点となる部分(句)が対比され、前半の句末に *mee* が付され、後半の句末には付されない。

- (12) a. enaa            mee            peu  
 good            Q            bad  
 良いか悪いか？
- b. kii            dani    mee    ká    dani  
 DEM.SG.M    like    Q      how   like  
 こうかどうか？
- c. kou            dani    mee    ká    dani  
 DEM.SG.F    like    Q      how   like  
 そうかどうか？

- d. kou ko jon ya mee yosua ya  
 DEM.SG.F DET.SG.F John GEN.DEF Q Joshua GEN.DEF  
 あれはジョンのかヨシュアのか？
- e. okai ya ko jon wagi-ta mee  
 3SG GEN.DEF DET.SG.F John 3O.hit-IP Q  
 yosua wagi-ta  
 Joshua 3O.hit-IP  
 あの女の人はジョンとヨシュアのどっちを叩いたの？

#### 4.3.3. 疑問詞疑問文

疑問詞疑問文では疑問詞は本来の位置に置かれる。

- (13) a. máá manaa ewaa ke-eg-a  
 what affair existence become-RP-3SG.F.S  
 何が起きたの？
- b. máá manaa yuwe-eg-e  
 what affair hear-RP-2SG.S  
 何を聞いたの？
- c. máagiyoo ewaa ke-eg-a  
 what existence become-RP-3SG.F.S  
 何があったの？
- d. okai ki edaa tai-da uwi-ta kodeya  
 3SG DET.SG.M buy do.INF-place go-IP CNJ  
 aki ki itaagapi ko máagiyoo ti-ta  
 2SG DET.SG.M today DET.SG.F what do-IP  
 彼は（市場に）買い物に行ったけれどあなたは今日何しましたか？
- e. mee mana idaa ko máagiyoo  
 Mee language LOC DET.SG.F what  
 メエ語では何ですか？
- f. jon ya owa-apa ko máagiyoo keiti-ta  
 John GEN.DEF house-place DET.SG.F what work-IP  
 ジョンは家で何をしたの？

- g. kouda kaa ekina beu to-p-a nu  
 there APS pig NEG be-MP-3SG.F.S NI.VOC  
 máagiyoo kaa  
 what INS  
 あの豚いないね、どうしたの（どうして）？
- h. máagiyoo kaa tekooda-apa mei beu  
 what INS school-ALL come-INF NEG  
 dagi didi kaa  
 head pain INS  
 どうして学校に来ないんだ  
 頭が痛いからです
- h'. ká dani kaa tekooda-apa mei beu  
 how like INS school-ALL come-INF NEG  
 どうして学校に来ないんだ
- h''. ká dani ti-yake tekooda-apa mei beu  
 how like do-CVM school-ALL come-INF NEG  
 dagi didi ti-yake kaa  
 head pain do-CVM INS  
 どうして学校に来ないんだ  
 頭が痛いからです
- i. mee mana idaa ko kawé dani  
 Mee language LOC DET.SG.F how like  
 メエ語では何ですか？
- j. tani mágoo  
 hour how.many  
 何時ですか
- k. méimee me-eg-i  
 who come-RP-3SG.M.S  
 誰が来たの？
- l. okai ki méimee wagi-ta  
 3SG DET.SG.M who 3O.hit-IP  
 あの人は誰を叩いたの？

- m. dugi no-ote mee ki méimee  
 potato eat-PROG person DET.SG.M who  
 ご飯を食べているのは誰ですか？
- n. uwi-ta gaa kodo ko méimee ma uwi-ta  
 go-IP time DEM.SG.F DET.SG.M who COM go-IP  
 行ったときは誰と行ったのですか？
- o. kii ke méiyaa  
 DEM.SG.M DET.SG.M whose  
 これは誰の？
- p. méiya agiyoo  
 whose thing  
 okei ya agiyoo  
 3PL GEN.DEF thing  
 誰のものですか？  
 あの人のものです
- q. menooka aa-meí taa  
 when DU-come.INF DF.2PL.S  
 (あなたたち二人は) いつ来ますか？
- r. mee mana idaa ko kawé dani  
 Mee language LOC DET.SG.F how like  
 メエ語ではどんなですか？
- s. jon owa-apa ká dani ti-yakee uwi-ta  
 John house-place how like do-CVM go-IP  
 ジョンは家へどうやって行ったの？
- t. kouda kaa ani ya ekina kodo beu  
 there ASP 1SG GEN.DEF pig DEM.SG.F NEG  
 to-p-a nu káiyaa  
 be-MP-3SG.F.S NI.VOC where  
 あそこの私の豚がないぞ どこだ

- u. kouda kaa mee kidi beu to-p-i  
 there ASP person DEM.SG.M NEG be-MP-3SG.M.S  
 kii ke káiyaa  
 DEM.SG.M DET.SG.M where  
 あそこの男の人がいないぞ どこだ
- v. aki ki káiyá make akoukai ya ko  
 2SG DET.SG.M where LOC 2SG.mother GEN.DEF DET.SG.F  
 ka-paa-ta  
 2SG.O-bear-IP  
 baguwo make na-paa-ta  
 Baguwo LOC 1SG.O-bear-IP  
 あなたはどこで生まれたのですか  
 (Lit. あなたをどこでお母さんは産んだのですか)  
 バグウォで産まれました (Lit. バグウォで産みました)
- w. boka-ta kaa ki kawi kaa kii  
 die-IP APS DET.SG.M which.M APS DEM.SG.M  
 (横になった人が並んでいる状況で) 死んだ人 (男) はどの人か?
- x. boka-ta kaa ko kawo kaa kou  
 die-IP APS DET.SG.F which.F APS DEM.SG.F  
 (横になった人が並んでいる状況で) 死んだ人 (女) はどの人か?

以下の文例では動詞の双数形あるいは命令形が使われているらしい。さらに調査が必要である。

- y. káiyá uwei nee  
 where go.DU/IMP.PL OPT  
 どこへ行くの?

#### 4.4. 命令文

##### 4.4.1. 動詞の命令形

動詞を使う命令文では、動詞によっては語幹が変化して単数と複数（双数を含む）の命令形が区別される。tou, yaikai では意味の異なる2形の命令形が確認された。



表35. 動詞の命令形

不定形	gloss	意味	命令形		
			単数	双数	複数
mei	come	来る	mei	aa-mei	mewei
uwii	go	行く	uwii	aa-uwei	uwei
motii	take	取る	motii	aa-motei	motei
dou	see	見る	dou	aa-doowei	doowei
dagumi	set alight	点火する	dagumii	aa-dagumei	dagumei
wagii	3O.hit, kill	打つ、殺す	wagii	aa-wagei	wagei
tou	stay/be	居る	tou	aa-towei <sup>1</sup> aa-tou <sup>2</sup>	towei
				<sup>1</sup> (私も居るから) お前たち2人もここに居ろ	
				<sup>2</sup> (私は行くから) お前たち2人はここに居ろ	
yaikai	throw away	捨てる	yaikai <sup>3</sup> yaikii <sup>4</sup>	aa-yaikai <sup>3</sup> aa-yaikai <sup>4</sup>	yaikai <sup>3</sup> yaikai <sup>4</sup>
				<sup>3</sup> (明日以降に) 捨てろ	
				<sup>4</sup> すぐに捨てろ	

#### 4.4.1.1. 動詞命令形による命令文の文例

(14) a. yuwii

listen.IMP.SG

聞け！～聞きなさい

b. aki ki tani benumi mei

2SG DET.SG.M o'clock six come.IMP.SG

君は6時に来い

c. unu yumii

odor smell.IMP.SG

匂いを嗅げ

d. mege takaa~bakaa ti-yake awii

money mix~RDP do-CVM put.in.IMP.SG

お金を色々取り入れてしまえ

e. aa-dou

DU-look.IMP.PL

(二人の人に対して) 見ろ

e'. aa-doowei

DU-look.IMP.PL

(二人の人に対して) 見ろ

- f. ikai okai aa-wagei  
 2SL 3SG DU-3O.hit.IMP.PL  
 二人で彼を叩きなさい
- g. mewei dugi nai nu  
 come.IMP.PL potato eat.IMP.PL NI.VOC  
 おいで、ご飯だよ
- h. ekina wagei  
 pig 3O.kill.IMP.PL  
 (複数の人に) 豚を殺しなさい
- i. ipa na-yaikai  
 pity 1SG.BEN<sub>2</sub>-release.IMP.SG  
 ごめんなさい
- j. uwii dogo ubo~ubo ti-yake  
 go.IMP.SG thorn avoid~RDP do-CVM  
 (藪の中で) 頭に気を付けて座り歩きしろ! (Lit. 棘を避けて行け!)

否定命令文では *te* が動詞に先行する。複合動詞では *te* が軽動詞に先行する。

- (15) a. te dou  
 NEG look.IMP.SG  
 (物を) 見るな
- b. tee e-dou  
 NEG look.IMP.SG  
 (人を) 見るな
- c. te e-dou  
 NEG look.IMP.SG  
 [早口で] (人を) 見るな
- d. ito ko te nai  
 now DET.SG.F NEG eat.IMP.SG  
 今からは食べるな

- e. adaku ko te tai  
forget DET.SG.F NEG do.IMP.SG  
忘れてはいけない
- f. wanee~wanee te mei  
night~RDP NEG come.IMP.SG  
夜遅く帰って来るな
- g. dugi no-ote gaa ko te wegai  
potato eat-PROG time DET.SG.F NEG speak.IMP.SG  
食べている時は話をするな
- h. ani ki tope-ete gaa ko  
1SG DET.SG.M study-PROG time DET.SG.F  
aki ki mana te wegai  
2SG DET.SG.M story NEG speak.IMP.SG  
私が勉強している間は話をするな
- i. kou wane kaa nai ya agiyo koyoka  
DEM.SG.F evening FOC eat.INF PMS thing CNJ  
agaapi ko te nai  
daytime DET.SG.F NEG eat.IMP.SG  
それは夜に食べる物だから、昼間は食べるな

丁寧な命令では koyaa (= please < peaceful)が先行し、動詞は不定形と同形となる。

- (16) a. koyaa yuwii  
please listen.IMP.SG  
お聞きなさい~聞きましょう
- b. koyaa nai  
please eat.IMP.SG  
お食べなさい
- c. koyaa mei  
please come.IMP.SG  
ようこそ~いらっしやい

- d. koyaa uwii  
 please go.IMP.SG  
 さようなら～お行きなさい
- e. koyaa keitai  
 please work.IMP.SG  
 ゆっくりなさってください
- f. koyaa animakai  
 please sit down.IMP.SG  
 お座りください～ごゆっくり
- g. koyaa aka-dou  
 please RECP-see.IMP.PL  
 お久しぶり

#### 4.4.1.2. 動詞語幹による命令文の文例

動詞語幹それ自体も命令形となる。下降アクセントを伴うと強い命令となる。

- (17) a. yuwéé  
 listen.IMP  
 (大勢に) 聞け！～聞きなさい
- b. aki ekina wagi  
 2SG pig 3O.kill.IMP  
 豚を殺せ
- c. aki gane wadoo ti  
 2SG hand upward do.IMP  
 手を挙げろ
- d. te uwi  
 NEG go.IMP  
 いけない
- e. kii owa-ana kii naimai  
 DEM.SG.M garden.unit-one DEM.SG.M 1SG.O.give.IMP  
 この畑地1単位を私にくれ

- f. ee            wadoo-miyoo    ti  
 breath    up-down        do.IMP  
 深呼吸をしろ

#### 4.4.2. 述語的名詞ないし副詞による命令文の文例

述語的名詞ないし副詞も命令に使われる。

- (18) a. egaa~egaa  
 quick~RDP.IMP  
 早く
- b. mee        gaaboo  
 person    quiet.IMP  
 皆さん静かに（黙ってください）

#### 4.5. 挨拶文

いくつかの挨拶文を挙げる。

- (19) a. koyaa        abata  
 peaceful    morning  
 おはようございます
- b. koyaa        aka-dou  
 peaceful    RECP-see.INF  
 お久しぶり
- c. koyaa        mei  
 please      come.IMP.SG  
 ようこそ~いらっしゃい
- d. koyaa        uwii  
 please      go.IMP.SG  
 さようなら~お行きなさい
- e. na-gaa-yaawe-eg-e  
 1SG.O-think-PFV-RP-2SG.S  
 （相手一人に向かって）ありがとうございます

- f. na-gaa-yaawe-eg-aa  
1SG.O-think-PFV-RP-2PL.S  
(相手二人以上に向かって) ありがとうございます
- g. ipa na-yaikai  
pity 1SG. BEN<sub>2</sub>-release.IMP.SG  
すみません、ごめんなさい
- h. me-eg-a  
come-RP-1SG.S  
ただいま
- i. mei piga  
come- NF<sub>1</sub>.1SG.S  
行ってきます (Lit. 私は確かに帰ってきます)
- j. boka-yaawe-eg-e  
die-PFV-RP-1PL.S  
頑張りましたね (自分たちが1日で畑仕事を終わったときに)
- k. boka-yaawe-eg-aa  
die-PFV-RP-2PL.S  
すごい! 頑張りましたね ((相手たちが1日で畑仕事を終わったときに)
- l. boka-yaawe-eg-ai  
die-PFV-RP-3PL.S  
すごい! (人々が1日で畑仕事を終わったときに)

クシャミ (kotoo tai [sneeze do]) した人に向かっての文例。

- m. aki umii-tou woya  
2SG live-be.INF over.there  
お大事に
- n. muumai~muumai  
finish~RDP  
大丈夫です

- o. epa     beu  
       root    NEG  
       大丈夫です

相手が溝の向こう側などすこし離れた場所にいるばあい文末に呼びかけ詞-o を伴う。

- p. na-gaa-yaawe-eg-a-o  
    1SG.O-think-PFV-RP-2SG.PL-VOC  
    (相手二人以上に向かって) ありがとうございます

- q. gaa-yaawe-eg-a-o  
    think-PFV-RP-2SG.PL-VOC  
    (相手二人以上に向かって) お疲れ様

- r. boka-yaawe-eg-a-o  
    die-PFV-RP-2SG.PL-VOC  
    (相手二人以上に向かって) すごいですね

- s. koyaa     abata-o  
    peacefull morning-VOC  
    おはようございます

感嘆文もみておく。

- (20) a. noukai       kagi  
        1SG.mother   rectum  
        感動した
- b. naitai       kagi  
        1SG.father    rectum  
        感動した
- c. naitai       ugatame  
        1SG.father    Creator  
        感動した

#### 4.6. 受動を表す構文

メエ語では動詞の受動形はない。受動の意味を表すには、以下のようないくつかの構文がある。

動作主を省略する構文をみる

- (21) a. damo keba-ta  
 door open-IP  
 ドアが開けられた (誰かがドアを開けた)

動作主を省略して、主語が人であればそれに一致する目的格の人称代名詞を動詞に前接させる構文をみる

- b. aki ki káiya make ka-paa-p-a  
 2SG DET.SG.M where LOC 2SG.O-bear-MP-3SG.F.S  
 baguwo make na-paa-p-a  
 Baguwo LOC 1SG.O-bear-MP-3SG.F.S  
 あなたはどこで生まれましたか  
 バグウォで生まれました
- c. menooka ka-paa-p-a  
 when 2SG.O-bear-MP-3SG.F.S  
 ani ki tauwani 1980 agoo ko  
 1SG DET.SG.M year 1980(N/A) month DET.SG.F  
 wiya ma gaati pituwo ma gaati  
 two COM ten seven COM ten  
 いつ生まれましたか  
 私は1980年12月17日です

以下は主題に関する2重主語の文と思われる。

- d. okai ki tauwani idibi e-paa-yake umi-ta  
 3SG DET.SG.M year five 3O-bear-CVM live-IP  
 彼は5歳です (Lit. 彼は5年前に (親が) 産んで (彼は) 生きて来た)

動作主を省略して、主題が人であればそれに一致する受益者格の人称代名詞を動詞に前接させる構文をみる。



- (22) a. ani ya mege awii oma naa-moti-ta  
 1SG GEN.DEF money pouch stealth 1SG.BEN<sub>1</sub>-take-IP  
 私の財布が盗まれた

動作主を明示するが、与格目的語を主題としてそれに一致する与格の人称代名詞を動詞に前接させる構文をみる。

- (23) a. ani edi na-no-ta  
 1SG rain 1SG.O-eat-IP  
 私は雨に降られた

- b. ani papua kaa mee kaa mee mana  
 1SG Papua APS person INS Mee language  
 na-topi-p-i  
 1SG.O-teach-MP-3SG.M.S  
 私はパプアの人にメエ語を習った

動作主を明示するが、受益者を主題としてそれに一致する受益者格の人称代名詞を動詞に前接させる構文をみる（以下の文例のばあいは受益者系列 II の人称接辞）。

- (24) a. ani ki amaatabinee kaa emo  
 1SG DET.SG.M leech GEN.INDF blood  
 na-duwa-ag-ai  
 1SG.BEN<sub>2</sub>-cut-RP-3PL.S  
 私はヒルどもに血を吸われた

#### 4.7. 補文標識

限定詞 ki/ko が補文標識として文に付されると補文化されて、名詞句や副詞節を構成する。

##### 4.7.1. 補文標識が付されて名詞句を構成する文例

- (25) a. dugi nee-yoo-ta ko jon  
 potato 1PL.BEN<sub>1</sub>-cook-IP COMP John  
 ごはんを作ってくれたのはジョンでした

- b. aki ki paniai uwii ko peu  
 2SG DET.SG.M Paniai go.INF COMP bad  
 お前はパニアイに行くのはダメだ
- c. debi pai koyokaa edi we-eg-a ko yuwa  
 wet bear.INF CNJ rain fall-RP-3SG.F.S COMP probable  
 濡れているので多分雨が降ったのだろう
- d. kouda make doo-ta bagume kou ko umii-tou  
 there LOC see-IP dream DEM.SG.F DET.SG.F live-be.INF  
 duba ewa te duwai ko dáá koyokaa  
 inside being NEG cut COMP must.not CNJ  
 そこで見た夢は生きてゆく中で必ず叶うから
- e. ito kou ani ya wegai nee koo  
 now DEM.SG.F 1SG GEN.DEF speak.INF IRR COMP  
 いま私が話すのは
- f. egaadoo tai ko dáá manaa  
 inquire do.INF COMP prohibition affair  
 尋ねてはいけない事
- g. tokiyo tawaa uwii ko edooga mee beu  
 Tokyo Tower go.INF COMP first.time Q NEG  
 beu tokiyo tawaa uwii ko wiyaago  
 NEG Tokyo Tower go.INF COMP second  
 東京タワーは初めてですか？  
 いや、東京タワーには二回行ったことがあります
- h. yosua ya ekina ko egaa uwee-teig-a  
 Joshua GEN.DEF pig DET.SG.F run go-PFV-3SG.F.S  
 na ko weda dani  
 HYP DET.SG.F fear like  
 ヨシュアの豚が走っているのは変だね

- i. ani ki mee mana ko wegai  
 1SG DET.SG.M Mee language DET.SG.F speak.INF  
 ko ebe udo  
 COMP mouth heavy  
 私はメエ語を話すことができない

#### 4.7.2. 補文標識が付されて副詞節を構成する文例

- (26) a. aweeta ki-p-a ko epi  
 tomorrow become-MP-3SG.F.S COMP knowing  
 明日になれば分かる
- b. yoka tauwani ena ki-p-i ki epi  
 child year one become-MP-3SG.M.S COMP knowing  
 子供（男の）は1歳になると物が分かる
- b'. yoka tauwani ena ki-p-a ko epi  
 child year one become-MP-3SG.F.S COMP knowing  
 子供（女の）は1歳になると物が分かる
- c. okai kou gaa kou mee maiya ito  
 3SG DEM.SG.F time DEM.SG.F person also now  
 ko gaa maki-yake ko  
 DET.SG.F time place-CVM COMP  
 かの時代の人たちも、今は時代が変わって
- d. kou tekeepo-opa kooda dakii ti-touyogo ko  
 DEM.SG.F pandanus-place DEM.SG.F arrive.INF do-CVM COMP  
 パンダヌス園に到着したならば
- e. karel gobai ya peu awi-yake ko  
 Karel Gobai GEN.DEF no.good get-CVM COMP  
 カレル・ゴバイがダメにして
- f. mee wado too wado ti-yake ko  
 person upward FOC upward do-CVM COMP  
 人口がどんどん増えて

g. ani ya gai ko paniai uwi-p-aa  
 1SG GEN.DEF think.INF COMP Paniai go-MP-2PL.S  
 naa enaa  
 HYP good  
 私の思うに（君たちは）パニアイに行った方がいい

#### 4.8. 話法

メエ語では日本語の「と」にあたる引用符（補文標識）はない。

##### 4.8.1. 直接話法の文例

発言を引用するばあい、直接話法が一般的に用いられる。

- (27) a. okai ki kii mee kii  
 3SG DET.SG.M DEM.SG.M person DEM.SG.M  
 wagei wega-ta  
 3O.kill.IMP.PL speak-IP  
 彼はその人を殺せと言った
- b. mee ino ma ko tee oo-wegai  
 person other COM DET.PL.F NEG 3BEN<sub>1</sub>-speak.IMP.SG  
 ene-emeg-i  
 1SG.O.tell-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 他の人と話してはいけない、と言ってくれた
- c. ani ki okai ikane kou dou nu  
 1SG DET.SG.M 3SG fish DEM.SG.F see.INF/IMP NI.VOC  
 eti-ta  
 3O.tell-IP  
 1) 私は彼にサカナを見たよと言った  
 2) 私は彼にサカナを見せてくださいと言った

##### 4.8.2. 間接話法の文例

動詞 *wegai* では間接話法の文が確認されていない。動詞 *enii* では 1 件だけ以下の文例があるが、さらに確認が必要である。

- (28) a. aki ki ani okai wagii eni-ta  
2SG DET.SG.M 1SG 3SG 3O.kill.IMP/INF 1SG.O.tell-IP  
あなたは私に彼を殺させた

## メエ語の文例集5. 格の標識と後置詞

キーワード：格，具格，属格，同格，主語の標識，分裂他動詞性，関係節の属格主語，自動詞文，他動詞文，道具主語，与格，向格，後置詞，所格，離格，到格，共格

Keywords: case, instrumental, genitive, appositive, subject marker, split-transitivity, genitive subject of relative clause, intransitive sentence, transitive sentence, subject of instrument, dative, allative, postposition, locative, delative, terminative, comitative

- 5.1. 具格の標識
- 5.2. 属格の標識
- 5.3. 同格の標識
- 5.4. 主語の標識
- 5.5. 向格／所格と与格の標識
- 5.6. 後置詞

### 5.1. 具格の標識

具格標識 *kaa* にはそれ以外にいくつかの機能がある。場所の格の標識 (5.1.2.)、対比の標識 (5.1.3.)、属格の標識 (5.2.2.)、同格の標識 (5.3.)、他動詞文の不定主語の標識 (5.4.2.2.)、理由の従属節を導く接続詞 (6.4.4.)、である。対比の標識については同音異義と考えるべきように思える。まだわからない機能もあり、さらに調査が必要である。

#### 5.1.1. 具格（手段、材料、原因）の文例

- (1) a. *kopa kaa wagi-dou*  
stick INS 3O.hit-see  
棒でそれをつつく
- b. *kapoge kaa wunai*  
paper INS wipe.INF  
紙で拭く
- c. *mapii iyee kaa ikane tonii*  
banana leaf INS fish wrap.INF  
バナナの葉で魚を包む

- d. ani ki pinsiu kaa uga-ta  
 1SG DET.SG.M pencil INS write-IP  
 私は鉛筆で書いた
- e. owaa duba nakagi kaa wedabaa kai  
 house inside smoke INS much become  
 家の中が煙で充満している
- f. mege kaa edai  
 smoney INS buy-INF  
 お金で買う
- g. mogo kaa migi-ta owaa  
 stone INS build-IP house  
 石造りの家
- h. piya kaa keiti-ta  
 wood INS work-IP  
 木で出来ている
- i. jon ya owa-apa too ko bado kaa ko  
 John GEN.DEF house-place TER DET.SG.F foot INS DET.PL.F  
 te uwi-make  
 NEG go-able  
 ジョンの家までは足では歩いていけません
- j. ani kidaa peka kaa dou  
 1SG DEM.SG.M eye INS see  
 自分の眼で見る
- k. ani akaato pekaa kaa dou  
 1SG REFL eye INS see  
 自分の眼で見る
- l. ekina kou deno age kaa ede~ede ti-ta  
 pig DEM.SG.F fern root INS vomit~RDP do-IP  
 豚がワラビの根を吐いた

5.1.2. 具格標識 kaa と同じ形式が場所の標識（所格・離格）として使われる文例

- (2) a. wako kapuni kaa wegaa tai manaa kodo  
 lower village LOC speak do.INF language DEM.SG.F  
 ko wegai ma ko dáá  
 DET.SG.F speak.INF FOC COMP prohibition  
 平地の村で話しする言葉を話したりするのは禁止
- b. keida kaa to-ta yokaaga-ido ke  
 there.PL LOC stay-IP youth-PL DET.PL.M  
 それらの場所で留まっている若者たち
- c. buguwa kaa  
 forest DEL  
 森から
- d. tokiyo kaa  
 Tokyo DEL  
 東京から
- e. aki ya peka kaa yimuu ka-motii  
 2SG GEN.DEF eye DEL dirt 2SG.BEN<sub>2</sub>-take.INF  
 あなたの眼からごみを取る

5.1.3. 具格標識 kaa と同じ形式が対比の標識として使われる文例

- (3) a. getó kaa me-ta mee ko okai  
 yesterday FOC come-IP person DET.SG.F 3SG  
 昨日来た人は彼女だ
- b. getó kaa wega-p-e manaa make  
 yesterday LOC speak-MP-1PL.S story DEL  
 goo-yaiki-p-e manaa  
 draw-release-MP-1PL.S story  
 昨日語った話しの続きの話し



- c. ani ya kaa ekina kou wagi-ta  
 1SG GEN.DEF FOC pig DEM.SG.F 3O.kill-IP  
 (他人ではない) 私が豚を殺した
- d. ani ya ekina kaa kou wagi-ta  
 1SG GEN.DEF pig INS DEM.SG.F 3O.kill-IP  
 私が (他の動物ではない) 豚を殺した
- e. kii mee kii ya dodi kaa  
 DEM.SG.M person DEM.SG.M GEN.DEF dog FOC  
 wagi-ta kodo ko  
 3O.kill-IP DEM.SG.F DET.SG.F  
 この男が (豚ではなく) 犬を殺した奴だ
- f. dodi kou wagi-ta kaa mee kidi ki  
 dog DEM.SG.F 3O.kill-IP FOC person DEM.SG.M DET.SG.M  
 kii mee kii  
 DEM.SG.M person DEM.SG.M  
 犬を殺した人はその男だ (犬を殺した人がすぐにわからず、しばらく調べたうえで)
- cf. g. dodi kou wagi-ta mee kidi ki  
 dog DEM.SG.F 3O.kill-IP person DEM.SG.M DET.SG.M  
 kii mee kii  
 DEM.SG.M person DEM.SG.M  
 犬を殺した人はその男だ (その場で)
- h. tiyakee ito ko inii mee kaa ko mee mana  
 CNJ now DET.SG.F 1PL Mee FOC DET.SG.F Mee language  
 manaa kou wega-ate manaa  
 story DMT.F speak-PROG story  
 それで今、我々メエ人がメエ語の話しを話しているという話し
- i. okeyai wiyaa kaa ekina aa-naimi-ta  
 3DU two FOC pig DU-1SG.O.give-IP  
 あの二人が豚を私にくれた

- j. okei ya ekina kaa no-ta  
 3PL GEN.DEF pig FOC eat-IP  
 彼らの豚が食べた
- k. ibo mogoo ma miyoo mogoo ma uba-yake  
 big stone COM small stone COM search-CVM  
 ibo mogoo kaa kodo motii  
 big stone FOC DEM.SG.F take.INF  
 大きい石と小さい石を探して大きい石を探る
- l. jon kaa kidi wagi-ta mee yosua kaa kidi  
 John FOC DEM.SG.M 3O.hit-IP Q Joshua FOC DEM.SG.M  
 jon kaa kidi beu tiyake yosua kaa kidi  
 John FOC DEM.SG.M NEG CNJ Joshua FOC DEM.SG.M  
 ジョンの方を叩いたの、ヨシュアの方なの？  
 ジョンの方じゃなくて、ヨシュアの方だ
- m. méimee kaa kidi me-eg-i  
 who FOC DEM.SG.M come-RP-3SG.M.S  
 yosua kaa kidi  
 Joshua FOC DEM.SG.M  
 (知っている何人かのうち) 誰が来たの？  
 ヨシュアだ。
- n. edooga uwi-goo-ta ko miyo kaa tauwani  
 first.time go-PFV-IP DET.SG.F past FOC year  
 初めて行ったのは去年です
- cf. n'. edooga uwi-goo-ta ko miyo tauwani  
 first.time go-PFV-IP DET.SG.F past year  
 初めて行ったのは去年です
- o. kou ekina kou ko okei ya kaa  
 DEM.SG.F pig DEM.SG.F DET.SG.F 3PL GEN.DEF FOC  
 それは彼らのだ

## 5.2. 属格の標識

属格標識には所有者の定性の違いによって異なる二つの形式がある。所有者が定であるばあいには *ya* が付され、不定のばあいには *kaa* が付される。9月の研修では講師より人間には *ya* を使い、豚などには *kaa* を使うという話があった。一般に人間について語るときは特定の人間のことが多いのに、豚を語るときは不特定の豚一般についてのことが多いことを反映しているものと考えられる。

- (4) a. *kou ko méiyaa ekina*  
DEM.SG.F DET.SG.F whose pig  
それは誰の豚か？
- b. *kou ekina kou ko ani ya ekina*  
DEM.SG.F pig DEM.SG.F DET.SG.F 1SG GEN.DEF pig  
それは私の豚だ
- c. *kou ekina kou ko mee kaa ekina*  
DEM.SG.F pig DEM.SG.F DET.SG.F person GEN.INDF pig  
それは誰かの豚だ
- d. *kou ekina kou ya boo ko káiya*  
DEM.SG.F pig DEM.SG.F GEN.DEF foot DET.SG.F where  
その豚の足はどこだ？
- cf. e. *ekina boo*  
*pig animal.foot*  
豚の足 [複合名詞]

### 5.2.1. 所有者に *ya* が付される文例

- (5) a. *dance ya bado*  
Dance GEN.DEF human.foot  
ダンチェ (人名) の足
- b. *okei ya ekina ka no-ta*  
3PL GEN.DEF pig FOC eat-IP  
彼らの豚が食べた

### 5.2.2. 所有者に kaa が付される文例

- (6) a. yame kaa bado  
 man GEN.INDF foot  
 男の足
- b. mee wedabaa kaa ekina  
 person many GEN.INDF pig  
 沢山の人の豚

### 5.3. 同格の標識

先行する名詞句や文節によって後続する名詞句の属性があらわされる同格のばあいに、不定の属格標識と同じ kaa という形式が付される。

#### 5.3.1. 修飾名詞句に kaa が付される文例

- (7) a. yepaani kaa mee  
 Japan APS person  
 日本人 [複数]
- b. yepaani kaa yokaa  
 Japan APS pig  
 日本人のこども
- c. yepaani kaa ekina  
 Japan APS pig  
 日本からの豚
- d. owaa kapa-uto kaa okei ya ka togi-yaawi-ta  
 house near APS 3PL GEN.DEF FOC destine-PFV-IP  
 ida koda  
 place DEM.SG.F  
 家の近くの、彼らのはっきり決めた場所で、そこで
- e. woya kaa mee kii  
 tall APS person DEM.SG.M  
 背の高い人

f. enaa kaa iyee  
 good APS idea  
 (特定の) 良い考え

cf. f'. enaa iyee  
 good idea  
 (一般の) 良い考え

g. adekaa ibo ko kii kaa kii ke  
 price big DET.SG.F DEM.SG.M APS DEM.SG.M DET.SG.M  
 beu tiyake kou kaa kou  
 NEG CNJ DEM.SG.F APS DEM.SG.F  
 値段が高いのはこっちの方じゃなくてあっちの方だ

h. miyo kaa tauwani ewaa to-og-a  
 past APS year existence be-RP-3SG.F.S  
 去年はあった、去年は持っていた

i. okai ki pidini wadoo kaa mugee moti-yake  
 3SG DET.SG.M dish up APS meat take-CVM  
 no-ta  
 eat-IP  
 彼は皿の上の肉を取って食べた

j. peku kaa ikane  
 lake APS fish  
 湖の魚

k. ibo tekoodaa kaa kuduu  
 big school GEN.INDF teacher  
 大学の先生

l. tani ida kaa edi  
 sun LOC APS rain  
 天気雨

- m. kouda kaa ekina beu to-p-a nu máagiyoo kaa  
 there APS pig NEG be.SG.F NI.VOC what INS  
 あそこの豚いないね、どうしたの
- n. yagumo kaa e-tawa-ta  
 woman APS 3O-join-IP  
 女の分身霊（男に憑いている女性分身霊）

### 5.3.2. 修飾節に kaa が付される文例

- (8) a. getó me-ta kaa mee ki méimee  
 yesterday come-IP APS person DET.SG.M who  
 昨日来たの人はどの人か？
- b. boka-ta kaa ki kawí kaa kii  
 die-IP APS COMP which.M APS DEM.SG.M  
 （横になった人が並んでいる状況で）死んだ人（男）はどの人か？
- b'. boka-ta kaa ko kawo kaa kou  
 die-IP FOC COMP which.F APS DEM.SG.F  
 （横になった人が並んでいる状況で）死んだ人（女）はどの人か？
- cf. c. boka-ta kaa mee ki méimee  
 die-IP FOC person DET.SG.M who  
 （名簿をみて）死んだ人（男）は誰？

## 5.4. 主語の標識

主文に関して、自動詞文では主語は無標識である。一方で、他動詞文では動詞の他動性が高いと標識が付されることが多いが、動詞の他動性が低いと無標識である。分裂他動詞性の可能性がある。

関係節に関して、通常の関係節では自動詞文も他動詞文も主語に義務的に標識が付される。属格主語の標識と考えられる。

### 5.4.1. 自動詞文の主語の標識

自動詞文では、関係節を除き、主語は無標識である（ただし反例になりそうな文例(q)を参照）。動作主性が高い自動詞のばあいも主語は無標識である。

- (9) a. okei umitou te-ete  
 3PL living do-IP  
 彼らが生活している
- cf. a'. \*okei ya umitou te-ete  
 3PL GEN.DEF living do-IP  
 [非文]
- b. getó maki pigii ewaa ki-p-a  
 yesterday land shake existence become-MP-3SG.F.S  
 昨日地震があった
- c. kou uwo duba kouya ko une~unee uwo  
 DEM.SG.F water inside there DET.SG.F sleep~RDP water  
 maiya to-p-a  
 also be-MP-3SG.F.S  
 その飲み物にはアルコールも入っている
- d. ita-awe ida akagi-ta mogoo to-p-a  
 road-at LOC break-IP stone be-MP-3SG.F.S  
 道に割れた石がある
- e. kouda make ko mee wado too wado  
 there DEL DET.SG.F person up CONT up  
 ti-yake ko ti-yake  
 do-CVM COMP do-CVM  
 それから人の数がますます増えに増えて
- f. ani owa-apa maiya tekooda-apa maiya tope-ig-a  
 1SG house-place also school-place also study-HAB-1SG.S  
 私は家でも学校でも勉強した
- g. ani ki yooni-yake to-ta gaa kodo  
 1SG DET.SG.M stand-CVM be-IP time DEM.SG.F  
 okai kiyai~kiyai ti-ta  
 3SG smile~RDP do-IP  
 私が立っていた時に彼は笑っていた

- h. okai dugi no-otigoo gaa kodo otii ti-ta  
 3SG potato eat-PPROG time DEM.SG.F jump do-IP  
 彼はご飯を食べながらジャンプした
- i. dugi no-yaawi-yake okai me-ta  
 potato eat-PFV-CVM 3SG come-IP  
 ご飯を食べ終わると彼が来た
- j. inii yoko nee-me-eg-ai  
 1PL back 1PL.HON-come-RP-3PL.S  
 私たちは帰って来た (謙讓表現)
- k. inii dugi noo-me-eg-ai  
 1PL potato eat-come-RP-3PL.S  
 私たちは食事に来た (謙讓表現)
- l. ani dugi nee-noo-me-eg-ai  
 1SG potato 1PL.HON-eat-come-RP-3PL.S  
 私は食事に来た (謙讓表現)
- m. ikai aa-me beu ti-p-aa  
 2DU DU-come-INF NEG do-MP-2PL.S  
 あなたたち二人は来なかった
- n. jon owa-apa ko ká dani ti-yake uwi-ta  
 John house-ALL DET.SG.F how like do-CVM go-IP  
 ジョンは家へどうやって行ったの？
- o. koma iga uwi-ta jon ya owaa-pa too  
 vehicle LOC go-IP John GEN.DEF house-place TER  
 ko bado kaa ko te uwi-make  
 DET.SG.F foot INS DET.PL.F NEG go-able  
 バスで行った ジョンの家までは足では歩いて行けないんだ

以下の自動詞文の文例で主語に付されている kaa は、対比の標識の kaa と考えられる。



p. méimee kaa kidi ki me-eg-i  
 who FOC DEM.SG.M DET.SG.M come-RP-3SG.M.S  
 yosua kaa me-eg-i  
 Joshua FOC come-RP-3SG.M.S  
 (大勢のその中で) 誰が来たの?  
 (大勢のその中で) ヨシュアが来た

cf. p'. méimee kidi me-eg-i  
 who DEM.SG.M come-RP-3SG.M.S  
 yosua kidi me-eg-i  
 Joshua DEM.SG.M come-RP-3SG.M.S  
 (2人のうちで) 誰が来たの?  
 (2人のうちで) ヨシュアが来た

以下の自動詞文での *kaa* は具格としたが、主語の標識の可能性も否定できず、あるいは対比の標識の可能性もある。さらに確認が必要である。

q. owaa duba nakagi kaa wedabaa kai  
 house inside smoke INS much become  
 家の中が煙で充満している (家の中で煙が充満している)

q'. owaa duba nakagi wedabaa  
 house inside smoke much  
 家の中が煙で充満している (家の中で煙が充満している)

#### 5.4.1.1. 関係節での自動詞文の主語の標識

関係節の自動詞文では、定の主語には *ya* が付されなければならない。前述のように主文では付してはならない。不定の主語のばあいは他動詞文の関係節と同様に *kaa* が付されるものと考えられるが、文例がなく、さらに調査が必要である。

(10) a. okei ya umitou ti-ta manaa  
 3PL GEN.DEF living do-IP story  
 彼らが生活したこと

cf. b. \*umitou ti-ta okei ya manaa  
 living do-IP 3PL GEN.DEF story  
 [非文]

自動詞関係節の定の主語に義務的に付される *ya* にさらに対比標識の *kaa* が連続すると、結果として主語に *ya kaa* が付されることになる。

- c. okei ya kaa umitou ti-ta manaa  
 3PL GEN.DEF FOC living do-IP fact  
 彼らが生活したこと

#### 5.4.2. 他動詞文の主語の標識

他動詞文では、複他動詞などの他動性が高い動詞が使われるばあい、基本的に主語に属格標識と同じ *ya* または *kaa* が付されるが、省略されることもある。とくに感覚や非随意的動作などの他動性の低い動詞では主語は無標識となる。分裂他動詞性と思われ、どのような特性によって他動詞文の主語の標識が定まるのか、さらに調査が必要である。

##### 5.4.2.1. 他動詞文の主語が無標識の文例

- (11) a. ani ki okai wagi-p-a wega-ta  
 1SG DET.SG.M 3SG 3O.kill-MP-3SG.F.S tell-IP  
 私はその人が殺したと言った
- b. okai ki ani ya ugai-piyauto  
 3SG DET.SG.M 1SG GEN.DEF write-stick  
 na-doki-to-p-i  
 1SG.BEN<sub>2</sub>-take-CONT-MP-3SG.M.S  
 彼が私のペンを持って行った

他動詞文でも感覚・心理・非随意的の身体動作をあらわす他動詞のばあいには主語が無標識でなければならない。

- c. aki ki kou pii kou unu yumi-ta  
 2SG DET.SG.M DEM.SG.F flower DEM.SG.F scent smell-IP  
 君はその花の香りを嗅いだ
- c'. \*aki ya kou pii kou unu yumi-ta  
 2SG GEN.DEF DEM.SG.F flower DEM.SG.F scent smell-IP  
 [非文]

- d. kou ekina kou eda duba kaa dugi  
 DEM.SG.F pig DEM.SG.F fence inside APS potato  
 kou do-ote  
 DEM.SG.F see-PROG  
 あの豚は柵のなかのイモを見ている
- e. uka bedo kou ko yame bedo kaa manaa  
 female bird DEM.SG.F DET.SG.F male bird GEN.INDF voice  
 ee-yuwe-ete  
 sigh-listen-PROG  
 メス鳥がオス鳥の鳴き声をしっかり聞いている
- f. ekina ko eniya weda te gai  
 pig DET.SG.F spirit fear NEG feel.INF  
 豚は精霊を怖れない
- g. kou yoka kou ekina mugee kou  
 DEM.SG.F child DEM.SG.F pig meat DEM.SG.F  
 kibigi e-te-ete  
 envy 3O-do-PRG  
 その子は豚肉のことを羨ましがっている
- h. okai ki kou mana kou utugu  
 3SG DET.SG.M DEM.SG.F story DEM.SG.F head  
 be ga-ate  
 hate feel-PROG  
 彼はその話に怒っている
- i. okai kou yagumo kou adaku e-ti-ta  
 3SG DEM.SG.F woman DEM.SG.F forget 3O-do-IP  
 彼はその女を忘れた
- j. aki ki kou yagumo yoka kou ide  
 2SG DET.SG.M DEM.SG.F woman child DEM.SG.F like  
 e-ga-ate mee  
 3O-feel-PROG Q  
 君はあの娘が好きなのか？

- k.   ani       ki           roti   ko           ide   beu       kodeyaa  
 1SG   DET.SG.M   bread   DET.SG.F   like   NEG       CNJ  
 dugi   ko           ide  
 potato   DET.SG.F   like  
 私はパンよりイモの方が好きだ
- l.   ani   kii           yame   kii           ke           be   e-ga-ate  
 1SG   DEM.SG.M   man   DEM.SG.M   DET.SG.M   hate   3O-feel-PROG  
 私はあの男は嫌いだ
- m.   kou       dodi   kou           puga   idaiga   wigi   te-ete  
 DEM.SG.F   dog   DEM.SG.F   tail   LOC       pain   do-PROG  
 その犬は尻尾のところが痛がっている

#### 5.4.2.2. 他動詞文の主語が有標識の文例

ya または kaa が付される他動性の高い他動詞文の主語では、属格標識と平行して、主語の定性の違いによって異なる標識が付される。主語が定であるばあいは ya が付され、不定のばあいは kaa が付される。

- (12) a.   yoka   kii           ya           emo   na-duwai  
 child   DEM.SG.M   GEN.DEF   blood   1SG.BEN<sub>2</sub>-cut  
 そのこども [定] が私の血を吸う
- b.   yoka   kaa           emo   na-duwai  
 child   GEN.INDF   blood   1SG.BEN<sub>2</sub>-cut  
 こども [不定] が私の血を吸う
- c.   kou       ekina   kou           ya           dugi   no-ta  
 DEM.SG.F   pig   DEM.SG.F   GEN.DEF   potato   eat-IP  
 その豚がイモを食べた
- cf. c'.   \*kou       ekina   kou           kaa           dugi   no-ta  
 DEM.SG.F   pig   DEM.SG.F   GEN.INDF   potato   eat-IP  
 [非文]

他動詞文で主語に付す ya が使えない感覚動詞の文例がある。

- d. \*aki ya kou pii kou unu yumi-ta  
 2SG GEN.DEF DEM.SG.F flower DEM.SG.F scent smell-IP  
 [非文] (意図：君はその花の匂いを嗅いだ)

#### 5.4.2.3. 主語に ya が付される文例

- (13) a. okei ya kei bage-ido oo-tou ti-ta  
 3PL GEN.DEF DEM.PL.M people-PL 3BEN<sub>1</sub>-protect do-IP  
 彼らはその人たちを守った
- b. okai ya wage-eteg-i yuwa  
 3SG GEN.DEF 3O.kill-DP<sub>1</sub>-3SG.M.S probable  
 たぶん彼が殺した
- c. ani ya mee wagi-p-a yuwa ewo  
 1SG GEN.DEF person 3O.kill-MP-1SG.S probable ignorant  
 私は人を殺していたようだ (泥酔して知らなかったが)
- d. ani ya oka-apa aki ki meni-ta  
 1SG GEN.DEF 3SG-DAT 2SG DET.SG.M 3O.give-IP  
 私は彼 (女) にお前をあげた
- e. ani ya aki ani ya ekina kani-ta  
 1SG GEN.DEF 2SG 1SG GEN.DEF pig 2SG.O.give-IP  
 私はあなたに私の豚をあげた
- f. yame kii ya ani ekina naimi-ta  
 man DEM.SG.M GEN.DEF 1SG pig 1SG.O.give-IP  
 その人が私に豚をくれた
- g. okai ya méimee wagi-ta  
 3SG GEN.DEF who 3O.hit-IP  
 あの人には誰を叩いたの？
- h. jon ya dugi nee-yo-omeg-i  
 John GEN.DEF potato 1PL.BEN<sub>1</sub>-cook-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 ジョンがご飯を作ってくれたのでした

- i. jon ya yosua wagi-p-i manaa  
 John GEN.DEF Joshua 3O.hit-MP-3SG.M.S story  
 ジョンがヨシュアを叩いた話し
- j. akaitai ya ki menooka ka-paa-p-i  
 2SG.father GEN.DEF DET.SG.M when 2SG.O-bear-MP-3SG.M.S  
 お父さんはあなたをいつ産みましたか？
- k. ani ya ko okai ki ake-epa ko  
 1SG GEN.DEF DET.SG.F 3SG DET.SG.M 2SG-DAT DET.SG.F  
 te kani-make  
 NEG 2SG.O.give-able  
 私はあなたに彼をあげられない
- l. aki ya na maiya kou mana kou  
 2SG GEN.DEF also also DEM.SG.F story DEM.SG.F  
 ká dani goda-dou  
 how like clear-try  
 君にしてもその話をどうにか説明してみろ

以下の文例では、自動詞の uwii ではなく、ya-a-pai < ya-e-pai (産ませる) の他動性が高いために主語に ya が付されていると考えられる。

- m. dokter ya yoka ya-a-pai nee dideewa  
 doctor GEN.DEF child 3BEN<sub>2</sub>-3O-bear.INF OPT hospital  
 uwii  
 go.INF  
 医者が母親に子供を産ませようと病院へ行く

以下は道具主語の文例である。

- n. kii pute-wee kii ya ekina ko  
 DEM.SG.M iron-knife DEM.SG.M GEN.DEF pig DET.SG.F  
 te duwa-doke (duwa-make)  
 NEG cut-RES (cut-able)  
 この小さいナイフでは豚は切れない

- o. kou ekina kou ko kii pute-wee  
 DEM.SG.F pig DEM.SG.F DET.SG.F DEM.SG.M iron-knife  
 kii ya ki te duwa-make  
 DEM.SG.M GEN.DEF DET.SG.M NEG cut-able  
 この豚はその小さいナイフでは切れない

#### 5.4.2.4. 主語に kaa が付される文例

- (14) a. amaatabinee kaa emo na-duwa-p-a  
 leech GEN.INDF blood 1SG.BEN<sub>2</sub>-cut-MP-3SG.F.S  
 ヒルに血を吸われた (Lit. ヒルが私の血を吸った)

- b. ani ki amaatabinee kaa emo  
 1SG DET.SG.M leech GEN.INDF blood  
 na-duwa-ag-ai  
 1SG.BEN<sub>2</sub>-cut-RP-3PL.S  
 私はヒルどもに血を吸われた

以下の文例は道具主語の文例と考えられる。

- c. bodiya kaa nai  
 fire GEN.INDF burn.INF  
 火で焼ける (Lit. 火が焼く)

以下の文例は副詞節の主語と主文の主語とが異なる文例と考えられる。

- d. ukiya kaa na-doki-yake uwii nee ti-p-a  
 wind GEN.INDF 1SG.O-carry-CVM go.INF IRR do-MP-1SG.S  
 私は風に飛ばされそうになった

以下の文例では道具主語の文となっているが、具格を付された名詞句が主題となっていることによるものと考えられる。

- cf. e. pute-wee kaa ani ya gane duwa-doke ti-p-a  
 iron-knife INS 1SG GEN.DEF hand cut-RES do-MP-3SG.F.S  
 ナイフで私の手を切った

cf. f. *nogu pute-wee kaa ko ekina te duwa-make*  
*blunt iron-knife INS DET.SG.F pig NEG cut-able*  
 (duwa-doke)  
 (cut-RES)  
 鈍いナイフでは豚は切れない

cf. g. *kou ekina kou ko pute-wee kaa ko*  
*DEM.SG.F pig DEM.SG.F DET.SG.F iron-knife INS DET.SG.F*  
*te duwa-make*  
*NEG cut-able*  
 この豚はナイフでは切れない

以下の2文例は2重主語文のようにもみえる。主文の動詞時制接尾辞はボールと一致するようであるが、はっきりしない。従属節の目的語のボールが主文の主語としては明示されずに伏在している可能性がある。

h. *ukiya kaa kii boda kii doki-yake*  
*wind GEN.INDF DEM.SG.M ball DEM.SG.M carry-CVM*  
*uwi-p-a*  
*go-MP-3SG.F.S*  
 風でボールが持っていかれた

h'. *ukiya kaa kii boda kii doki-yake*  
*wind GEN.INDF DEM.SG.M ball DEM.SG.M carry-CVM*  
*uwi-p-i*  
*go-MP-3SG.M.S*  
 風で小さいボールが持っていかれた

構文の類似した以下の文例では、*kaa* は具格として機能している。

cf. i. *ani ki ukiya kaa apaipuu ti-daa tai*  
*1SG DET.SG.M wind INS fall.forward do-SPN do.INF*  
 私が風に吹き飛ばされる

#### 5.4.2.5. 関係節での他動詞文の主語の標識

定の主語のばあいには *ya* が付される。不定の主語のばあいは *kaa* が付される。主語に *ya* あるいは *kaa* が付されないと非文となる。



- (15) a. okei ya kaa keiti-ta tai  
 3PL GEN.DEF FOC work-IP field  
 あの人が作った畑
- a'. \*okei keiti-ta tai  
 3PL work-IP field  
 [非文]
- b. jon ya yosua wagi-p-i manaa  
 John GEN.DEF Joshua 3O.hit-MP-3SG.M.S story  
 ジョンがヨシュアを叩いた話し
- b'. \*jon yosua wagi-p-i manaa  
 John Joshua 3O.hit-MP-3SG.M.S story  
 [非文]

不定の主語の他動詞文が関係節になっている文例をみる。3 人称単数代名詞 *okai* がこの文例では不定指示詞のように使われているようにみえる。

- c. okai mee ida-ana kaa keiti-ta tai  
 3SG person CLF--one GEN.INDF work-IP field  
 ある人が作った畑
- cf. c'. kii mee kii okai ya keiti-ta tai  
 DEM.SG.M person DEM.SG.M 3SG GEN.DEF work-IP field  
 この人が作った畑
- cf. d. kii ke okai ya wagi-ta mee  
 DEM.SG.M DET.SG.M 3SG GEN.DEF 3O.kill-IP person  
 あれが彼が殺した人だ

指示詞（指示代名詞）を修飾する節も関係節と考えられる。

e. kii mee kii ya dodi kaa wagi-ta  
 DEM.SG.M person DEM.SG.M GEN.DEF dog FOC 3O.kill-IP  
 kodo ko  
 DEM.SG.F DET.SG.F  
 この男が（豚ではなく）犬を殺した奴だ

f. wane dugi no-ta kodo ko ekina ma  
 evening potato eat-IP DEM.SG.F DET.SG.F pig COM  
 夕飯に食べたのは豚肉と一緒にだった

また、補文標識に導かれる以下の副詞節も関係節の一種と考えられる。知覚動詞 *gai* の主語 *ani* に *ya* が標識されていることからそれが裏付けられる。

g. ani ya gai ko paniai uwi-p-aa naa enaa  
 1SG GEN.DEF think-INF COMP Paniai go-MP-2PL.S HYP good  
 私の思うに（君たちは）パニアイに行った方がいい

道具主語の関係節の文例をみる。

h. kii pute-wee kii ya duwa-ta ekinaa  
 DEM.SG.M iron-knife DEM.SG.M GEN.DEF cut-IP pig  
 このナイフで切った豚

h'. kii pute-wee kii ya duwai ekinaa  
 DEM.SG.M iron-knife DEM.SG.M GEN.DEF cut-INF pig  
 このナイフで切った豚

i. ani ki kii pute-wee kii ya duwai  
 1SG DET.SG.M DEM.SG.M iron-knife DEM.SG.M GEN.DEF cut-INF  
 ekinaa no-p-a  
 pig eat-MP-1SG.S  
 私はこのナイフで切った豚を食べた

他動詞文および自動詞関係節の主語に *ya kaa* が付されることがある。*kaa* は主語を他と対比する標識と考えられる。

- (16) a. okei ya kaa wagi-ta mee  
 3PL GEN.DEF FOC 3O.kill-IP person  
 あの人が殺した人
- b. \*kii ke okai ya kaa wagi-ta mee  
 DEM.SG.M DET. 3SG GEN.DEF FOC 3O.kill-IP person  
 [非文] (意図：あれが彼が殺した人だ)
- c. owaa kapauto kaa okei ya kaa togi-yaawi-ta  
 house near APS 3PL GEN.DEF FOC destine-PFV-IP  
 ida koodaa make muumai ti-yaawi-make  
 place DEM.SG.F LOC end do-PFV-able  
 家の近くの、彼らがはっきり決めた場所で、終りにしてしまいます
- d. okei ya kaa dagi-mana meni-ta ko  
 3PL GEN.DEF FOC forehead-speech 3O.give-IP COMP  
 彼らが裁決を下した人
- e. okeyai ya kaa ekina aa-naimi-ta  
 3DU GEN.DEF FOC pig DU-1SG.O.give-IP  
 彼ら二人が豚を私にくれた (私に豚をくれたのは彼ら二人だ)

## 5.5. 向格／所格と与格の標識

移動の方向や場所を示す後置詞 *epa* が与格を明示するばあいにも用いられる。与格標識を付された名詞句は焦点位置である動詞の直前におかれることが多いようである。

### 5.5.1. 向格／所格の文例

- (17) a. ani yuma-apa ko uwo to-p-a  
 1SG nose-ALL DET.SG.F water be-MP-3SG.F.S  
 私の目の前に (Lit. 鼻の方に) 水がある
- b. ane-epa ugai-piyauto ki doki-to-p-a  
 1SG-ALL write-stick DET.SG.M carry-CONT-MP-1SG.S  
 私の方へペンを持って来てある

- c. ane-epa ko woda unu yumi-daa te-ete  
 1SG-ALL DEM.SG.F phalanger smell smell-SPN do-PROG  
 私にはクスクスの匂いがしている
- d. ani ki tekoodaa make owa-apa uwi-ta  
 1SG DET.SG.M school DEL house-ALL go-IP  
 私は学校から家に帰った
- e. tika uwa kugowa-apa kouya  
 past age Kugowa-LOC there  
 昔の時代、クゴワに
- f. tokiyo tawa-apa ani dugi nai  
 Tokyo Tower-LOC 1SG potato eat-INF  
 東京タワーで私は食事する

### 5.5.2. 与格の文例

- (18) a. ibo-me-epa e-doo-wii  
 big-man-DAT 3O-see-go  
 王様に会いに行く
- b. mee ino-opa ko oo-wegaa~wegaa ko  
 person other-DAT DET.PL.F 3BEN<sub>1</sub>-speak~RDP COMP  
 te tai  
 NEG do.IMP.SG  
 他の人たちにはペラペラ話してはいけない
- c. ani ya aki ko oka-apa meni-ta  
 1SG GEN.DEF 2SG DET.SG.F 3SG-DAT 3O.give-IP  
 私はお前を彼にあげた
- c'. ani ya oka-apa aki ko meni-ta  
 1SG GEN.DEF 3SG-DAT 2SG DET.SG.F 3O.give-IP  
 私は彼にお前をあげた

- d. okai ya ani ki ake-epa kani-ta  
 3SG GEN.DEF 1SG DET.SG.M 2SG-DAT 2SG.give-IP  
 彼が私をあなたにあげた
- e. ani ki okai ya ake-epa kani-ta  
 1SG DET.SG.M 3SG GEN.DEF 2SG-DAT 2SG.give-IP  
 私を彼があなたにあげた
- f. ake-epa aa kanii  
 2SG-DAT forward 2SG.O.give.INF  
 (私が前へ動いて) あなたにあげる
- g. ani kidi-ipa yoko naimai  
 1SG DEM.SG.M-DAT backward 1SG.O.give.IMP.SG  
 私に返してください

## 5.6. 後置詞

それ以外の後置詞が使われる代表的な文例を示す。

### 5.6.1. 所格の後置詞： ida, iga

- (19) a. mee mana idaa ko  
 Mee language LOC DET.SG.F  
 メエ語では
- b. yepaani mana idaa wegai  
 Japan language LOC speak.INF  
 日本語で話す
- c. maki ena idaa mee ida-ana umitou ti-ta  
 land one LOC person CLF-one living do-IP  
 あるところに一人の人が暮らしていた
- d. mee mana ida ugai ti-ta  
 Mee language LOC write.INF do-IP  
 メエ語で物書きした

- e. tekeepoo        uti    idaa    make        miyo-goo    ti-p-a  
pandanus.fruit tree LOC DEL down-fall do-MP-3SG.F.S  
パンダヌスの実が木から下に落ちた
- f. ani    ki                pinsiu-daa    uga-ta  
1SG DET.SG.M pencil-LOC write-IP  
私は鉛筆で書いた
- g. ani    awe        ida    anigou  
1SG daylight LOC wake.up.INF  
私は明るくなった時間に起きる
- h. paniai    iga    wagii  
Paniai LOC 3O.hit.INF  
パニアイで遊ぶ
- i. ani    wuu-koma    iga        tokiyo    mei  
1SG wuu-vehicle LOC Tokyo come.INF  
私は飛行機で東京に来る
- j. ani    tamagawa    iga        buumai  
1SG Tama River LOC bathe.INF  
私は多摩川で水浴する
- k. tamagawa    kaa    uwo    uga    buumai  
Tama River APS water LOC bathe.INF  
多摩川の水で水浴する
- l. aiko        tamagawa    iga        buumai    page  
forward Tama River LOC bathe.INF NF1.1PL.S  
私たちはこれから多摩川で水浴する
- m. kiida                        kiga  
DEM.SG.M-LOC DET.SG.M-LOC  
kouda                        kuga  
DEM.SG.F-LOC DET.SG.F-LOC  
そこで、そのところで

- n. yabai wado uga uwe-ete  
 cloud upward LOC go-PROG  
 雲の上を飛んでいる

以下の文例では、iga, idaiga が副詞節を構成するようにもみえ、主語の人称代名詞がその副詞節と主文とで繰り返されている。

- o. okai ki biis koma iga okai tokiyo uwi-ta  
 3SG DET.SG.M bus vehicle LOC 3SG Tokyo go-IP  
 彼はバスに乗って東京へ行った

- p. okai ki biis koma idaiga okai tokiyo uwi-ta  
 3SG DET.SG.M bus vehicle LOC 3SG Tokyo go-IP  
 彼はバスに乗って東京へ行った

- q. jon owa-apa ko ká dani ti-yake uwi-ta  
 John house-place DET.SG.F how like do-CVM go-IP  
 koma iga uwi-ta  
 vehicle LOC go-IP  
 jon ya owa-apa too ko bado kaa ko  
 John GEN.DEF house-place TER DET.SG.F foot INS DET.PL.F  
 te uwi-make  
 NEG go-able  
 ジョンは家へどうやって行ったの？  
 バスで行った。  
 ジョンの家までは足では歩いて行けないんだ

#### 5.6.2. 離格と到格の後置詞： make と too

- (20) a. owa-apa make tekeepo-opa too ko  
 house-place DEL pandanus-place TER DET.SG.F  
 家からパンダヌス園までは
- b. paniai make tokiyo kou ko poto  
 Paniai DEL Tokyo DEM.SG.F DET.SG.F far  
 パニアイから東京は遠い

- c. ani ki tekooda-apa make owa-apa uwi-ta  
 1SG DET.SG.M school-place DEL house-place go-IP  
 私は学校から家に帰った
- d. fuchuu make tokiyo too tani ena duba uwii  
 Fuchu DEL Tokyo TER hour one within go.INF  
 府中から東京まで1時間で行く
- e. ani ki tani wiyaa make wido too topii  
 1SG DET.SG.M o'clock two DEL three TER study.INF  
 私は2時から3時まで勉強する
- f. abata make meuka didibubu too  
 morning DEL sun set TER  
 朝から日が沈むまで
- g. kou gane make kode too ko woyá  
 DEM.SG.F hand DEL shoulder TER DET.SG.F length  
 手から肩までの長さ
- h. kedi kipo make kode too ko woyá  
 nail finger DEL shoulder TER DET.SG.F length  
 手爪から肩までの長さ
- i. aki ki káiya make ka-paa-p-a  
 2SG DET.SG.M where LOC 2SG.O-bear-MP-3SG.F.S  
 あなたはどこで生まれましたか？ (所格のmake)
- j. ani saakuu duba make mege awii gidi-ta  
 1SG sack inside DEL money pouch take.out-IP  
 私は袋から財布を取り出した
- k. bodiya make adii  
 fire DEL put.out.INF  
 火から取り出す



5.6.3. 場所・位置の後置詞 : duba, wadoo, miyoo, tapa, kapaa, maida, kuduga

(21) a. owaa kugu duba mee beu to-p-ai  
 house room inside person NEG be-MP-3PL.S  
 部屋の中には誰もいない

b. edi duba uwi-ta  
 rain inside go-IP  
 雨の中を行った

c. yugiyo po duba  
 mist drip inside  
 霧滴の中

d. tani duba edi  
 sunshine inside rain  
 天気雨

e. yage wadoo  
 roof on  
 屋根の上に

f. yage miyoo  
 roof under  
 屋根の下に

g. wakaga tapa titi widii tai  
 wall onto mud smear do.INF  
 壁に泥を塗る (tapa: ~の表面に、~の上に)

h. utugu tapa pagaataapii ewaa  
 head on birthmark existence  
 額にアザがある

i. awee tapa uwi-ta  
 light in go-IP  
 明るい時に行った (tapa: ~の拡がりの中に)

- j. agoo awee tapa uwi-ta  
 moon light in go-IP  
 月の光の中を行っ
- k. bunita tapa uwi-ta  
 dark in go-IP  
 夜中、闇の中を行っ
- l. keida kaa to-ta yokaga-ido ke owaa migi-ta  
 there.PL LOC stay-IP youth-PL DET.PL.M house build-IP  
 kapaa watiya koda  
 beside side DEM.SG.F  
 それらの場所で留まっている若者たちが小屋を建てた脇隣
- m. ita maida to-p-i  
 road in.the.middle be-MP-3SG.M.S  
 道の途中にある
- n. piya maida to-p-i  
 tree in.the.middle be-MP-3SG.M.S  
 木の枝のあいだにある
- o. woda piya maida to-yake wagii  
 phalanger tree in.the.middle be-CVM 3O.kill.IMP.SG  
 クスクスが木にいるから殺せ
- p. kou goo koto kuduga ani wo-uwee  
 DEM.SG.F rattan bridge along 1SG up-go  
 ke-etigoo  
 become-PPROG  
 その籐蔓の橋に沿って私が上って行くと

#### 5.6.4. 共格の後置詞： ma

- (22) a. naitai ma oo-wegaa-yake  
 1SG.father COM 3BEN<sub>1</sub>-speak-CVM  
 父に話したところ

b. me inoo ma ko tee oo-wegai  
 person other COM DET.PL.F NEG 3BEN<sub>1</sub>-speak.IMP.SG  
 ene-emeg-i

1SG.O.tell-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S

他の人と話してはいけない、と言ってくれた

c. ani ki noukai ma ena dani  
 1SG DET.SG.M 1SG.mother COM one like

私は母に似ている

d. getó e-doo-ta mee ma ena dani  
 yesterday 3O-see-IP person COM one like

昨日見た人に似ている

以下の文例の ma は名詞に後続する対比の標識の可能性もある。

e. wane dugi no-ta kodo ko ekina ma  
 evening potato eat-IP DEM.SG.F DET.SG.F pig COM

夕飯に食べたのは豚肉と一緒にだった

f. okai ma okai ma mee ida-ana aa-wagi-ta  
 3SG COM 3SG COM person CLF-one DU-3O.kill-IP

あいつとあいつが人間一人を殺した

#### 5.6.5. 代行・供益の後置詞： maidamake

所格と離格の組み合わせだった maidamake には、「の方から」という元来の意味のほかに、「の代わりに」「~のために」という代行・共益の意味がある。

(23) a. nитай ki inii uguwoo maidamake  
 1SG.father DET.SG.M 1PL family on.behalf

tekeepo-opa nee-uwi-ta

pandanus-place 1PL.BEN<sub>1</sub>-go-IP

私の父は家族のためにパンダヌス園へ行った

b. ani maidamake na-boka-ta  
 1SG on.behalf 1SG.BEN<sub>2</sub>-die-IP

私の代わりに死んだ (キリスト)

5.6.6. 属性や所有物の存在と不在の後置詞： yago と beu

- (24) a. kou kodo okei idibi ko dimi yago  
 DEM.SG.F DEM.SG.F 3PL five DET.SG.F thought with  
 daana idibi kaa kodo ko dimi beu  
 CNJ five APS DEM.SG.F DET.SG.F thought NEG  
 そのうち5人は賢かったが、5人は愚かだった

- b. muumai yago mana  
 conclusion with speech  
 yuwo 祭宴の締めくくりの演説

5.6.7. 近似・類似を表す後置詞： dani と bukaa

- (25) a. yosua ya ekina ko egaa uwee-teig-a na  
 Joshua GEN.DEF pig DET.SG.F fast go-PFV-3SG.F.S HYP  
 ko weda dani  
 COMP fear like  
 ヨシュアの豚が走っているのは変だね

- b. eepipi tai agiyoo wiya dani  
 preparation do.INF thing two like  
 準備する物をいくつか (多くも少なくもなく)

- c. ani ki noukai ma ena dani  
 1SG DET.SG.M 1SG.mother COM one like  
 私は母に似ている

- d. dugi nai di bukaa  
 potato eat.INF OPT like  
 お腹が空いたようだ

- e. kiyai dani  
 laugh like  
 可笑しい

- f. puya manaa dani / puya manaa bukaa  
 false story like / false story like  
 ウソみたい

g. puya manaa dani manaa  
false story like story  
本当ですか？～ウソみたいな話した

h. bagume dani / bagume bukaa  
dream like / dream like  
夢みたいだ

## メエ語の文例集6. 従属節と接続詞文

キーワード：従属節，補文節，関係節，主要部内在型関係節，副詞節，副動詞，接続詞文，接続詞，順接，逆接

Keywords: subordinate clause, complement clause, relative clause, head-internal relative clause, adverbial clause, converb, conjoined sentence, conjunction, consecutive conjunction, adversative conjunction

- 6.1. 補文節の文例
- 6.2. 関係節の文例
- 6.3. 副詞節の文例
- 6.4. 接続詞文の文例

### 6.1. 補文節の文例

引用と思考内容の補文節の文例をみる。

- (1) a.   ani    ki                    weneka                   ki           kawé   dani  
          1SG   DET.SG.M       younger.sibling   DET.SG.F   how    like  
          tai           pagi                   gaa-yake  
          do.INF       NF<sub>1</sub>.3SG.M.S       think-CVM  
          私は弟がどうするだろうか考える
- b.   aki    ki                   ani    bedo   mana   kou  
          2SG   DET.SG.M       1SG   bird   voice   DEM.SG.F  
          yuwii                   nati-ta  
          listen.IMP.SG       1SG.O.tell-IP  
          あなたは私に「鳥の声を聞け」と言った
- c.   okai   ki                   kii           mee    kii  
          3SG   DET.SG.M       DEM.SG.M   person   DEM.SG.M  
          wagei                   wega-ta  
          3O.kill.IMP.PL   tell-IP  
          彼は「その男を殺せ」と言った（多数の人々に対して）

d. okai ki kii mee kii  
 3SG DET.SG.M DEM.SG.M person DEM.SG.M  
 warii wega-ta  
 3O.kill.IMP.SG tell-IP  
 彼は「その男を殺せ」と言った（1人の人に対して）

e. ani ki okai wagi-p-a wega-ta  
 1SG DET.SG.M 3SG 3O.kill-MP-SG.F speak-IP  
 私は「その女が殺した」と言った

## 6.2. 関係節の文例

### 6.2.1. 主語にかかる関係節

(2) a. e-topee tai mee  
 teach do.INF person  
 教師、教える人

b. gaaboo to-p-i mee  
 quiet be-MP-3SG.M.S person  
 黙っている人

c. didi yaki-ta dodi  
 sick catch-IP dog  
 病気になった犬

d. didi yaki-ta ani ki owa-apa yoko me-ta  
 sick catch-IP 1SG DET.SG.M house-place back come-IP  
 病気になった私は家に帰ってきた

e. ewa te duwai ko dáá bagume  
 being NEG cut.INF COMP must.not dream  
 絶対に叶う夢

f. me-eteg-ai bagee kede ke okei  
 come-DP<sub>1</sub>-3PL.S people DEM.PL.M DET.PL.M 3PL  
 idibi ti-ta  
 five do-IP  
 やって来た人たちは5人だった

### 6.2.2. 目的語にかかる関係節

- (3) a. epeepi tai agiyoo  
 preparation do.INF thing  
 準備する物
- b. doo-ta bagume ko  
 see-IP dream DET.SG.F  
 見た夢は
- c. kou ko wanee kaa nai agiyoo  
 DEM.SG.F DET.SG.F evening FOC eat.INF thing  
 koyokaa agaapi ko te nai  
 CNJ daytime DET.SG.F NEG eat.IMP.SG  
 それは夜に食べる物だから、昼間は食べるな
- d. nai ya agiyoo  
 eat.INF PMS thing  
 食べられる物
- e. te duwai ya piya  
 NEG cut.INF PMS tree  
 切ってはいけない木
- f. naitai ya yepaani mana e-tope-ete  
 1SG.father GEN.DEF japanese language 3O-teach-PROG  
 noogei ena to-p-i  
 1SG.friend one be-MP-3SG.M.S  
 私の父が日本語を教えている私の友達が1人いる
- g. nakame ya yepaani mana e-tope-ete  
 3.father GEN.DEF japanese language 3O-teach-PROG  
 noogei ena to-p-i  
 1SG.friend one be-MP-3SG.M.S  
 彼の父が日本語を教えている私の友達が1人いる



- h. dance ya akagi-p-i mogo ita-awe ida  
 Dance GEN.DEF break-MP-3SG.M.S stone road-at LOC  
 to-p-a  
 be-MP-3SG.F.S  
 ダンチェが割った石が道にある

### 6.2.3. 斜格名詞句にかかる関係節

- (4) a. tekeepoo awii agiyaa  
 pandanus fruit put.in.INF net.bag  
 パンダヌスの実を入れる網袋
- b. edaa tai-da  
 buy do.INF-place  
 買い物する所、マーケット
- c. dáá tee tai-da  
 prohibition do do.INF-place  
 禁止されている所
- d. te uwee tai-da  
 NEG go do.INF-place  
 行ってはいけない所
- e. te uwii ya ida  
 NEG go.INF PMS place  
 行ってはいけない所
- f. tokiyo tawaa to-p-a ida  
 Tokyo Tower be-MP-3SG.F.S place  
 東京タワーがあるところ
- g. teba yamo tee tai-da ko kugisten  
 palm near.low do do.INF-place DET.SG.F christianity  
 宗教 (Lit. 掌を低くして祈りをするところ) はキリスト教です
- h. edooga~medooga uwi-ta gaa kodo  
 first.time~RDP go-IP time DEM.SG.F  
 初めて行ったとき

- i. te            egaaa-doo    ti-yaa            manaa  
 NEG          inquire        do-IRR            story  
 質問してはいけない話し
- j. yoka-mee        kidi            ibo    tekoodaa    aa-e-uwi-yaawi-ta  
 child-person    DEM.SG.M      big    school      DU-3O-go-CAUS-IP  
 ukamee    nakamee    kodo        ko            ibo    dimi    aa-ga-ate  
 mother    father     DEM.PL.F    DET.SG.F    big    feel    DU-think-PROG  
 子どもを大学に行かせた父母は喜んでいる

#### 6.2.4. 補文節として後続する名詞句にかかる関係節

- (5) a. jon    ya            yosua    wagi-p-i            manaa  
 John    GEN.DEF    Joshua    3O.hit-MP-3SG.M.S    story  
 ジョンがヨシュアを叩いた話し
- b. mee    boka-p-ai        manaa    ke-ete  
 person    die-MP-3PL.S    story      become-PROG  
 訃報（人が何人か死んだ話し）がある
- c. mee    boka-yakee    manaa    ewaa      ke-ete  
 person    die-PFV        story      existence    become-PROG  
 訃報（誰かが死んだ話し）がある

#### 6.2.5. 主要部内在型関係節

メエ語は主要部内在型関係節をもつ。自動詞節の文例(a)では、節末の指示代名詞の性・数が節内で先行する主語の性・数と一致していることから、副詞節ではなく関係節と考えられる。また節末の指示詞を欠く文例(b), (c), (d), (e)も主要部内在型関係節ととらえられる可能性がある。(f), (f')では節末の限定詞の性・数が節内で先行する主語の性・数と一致している。

他動詞節の主要部内在型関係節(g), (h)も確認される。

- (6) a. getó            yame    me-ta        kidi            wagi-ta  
 yesterday    man    come-IP    DEM.SG.M      3O-hit-IP  
 昨日おとこが来たのを殴った

- b. okai uwe-etigoo e-doo-ta  
 3SG go-PPROG 3O-see-IP  
 彼が歩いているのを見た
- c. okai uga-atigoo e-doo-ta  
 3SG write-PPROG 3O-see-IP  
 彼が書いている最中に見た
- d. okai wega-atigoo e-doo-ta  
 3SG speak-PPROG 3O-see-IP  
 彼がそこで話している時に彼を見た
- e. ita-awe ida mogo akagi-ta to-p-a  
 road-at LOC stone break-IP be-IP  
 道に割れた石がある
- f. yoka tauwani enaa ki-p-i ki epi  
 child year one become-MP-3SG.M.S COMP knowing  
 男の子は1歳になると物が分かる
- f. yoka tauwani enaa ki-p-a ko epi  
 child year one become-MP-3SG.F.S COMP knowing  
 女の子は1歳になると物が分かる

以下の2文例では、関係節を指示代名詞で受ける文例(g)は是認された。それに対して指示詞で受ける文例(g')は非文とされた。

- g. okai ya yame woda ida-ana yaki-ta  
 3SG GEN.DEF male phalanger CLF-one catch-IP  
 kidi ki oki-p-i  
 DEM.SG.M DET.SG.M flee-MP-3SG.M.S  
 あの人が雄のクスクスを捕まえたのが逃げた
- cf. g'. \*okai ya yame woda ida-ana yaki-ta  
 3SG GEN.DEF male phalanger CLF-one catch-IP  
 kii ke oki-p-i  
 DEM.SG.M DET.SG.M flee-MP-3SG.M.S  
 [非文]

- h. ani ya getó ugai-piyauto eda-p-a  
 1SG GEN.DEF yesterday write-stick buy-MP-1AG  
 kidi ki iga-p-i  
 DEM.SG.M DET.SG.M get.lost-MP-3SG.M.S  
 私が昨日ペンを買ったのがなくなった

一部の修飾語（動詞～述語的名詞）後置型の名詞句も、主要部内在型関係節ととらえることもできるかもしれない。

- i. enaa mogo ibo ko doo-ta  
 good stone big DET.SG.F see-IP  
 きれいな大きい石を見た
- j. miyoo mogo enaa na ko doo-ta  
 small stone good NI.SG DET.SG.F see-IP  
 小さい石できれいそうなを見た
- k. ugeeniya ibo na ko doo-ta  
 snake big NI.SG DET.SG.F see-IP  
 大きそうな蛇を見た

### 6.3. 副詞節の文例

#### 6.3.1. 副動詞 -yake による副詞節

動詞語幹に副動詞の -yake が後続する副詞節は、事態の継起、並行、因果を表す。

##### 6.3.1.1. -yake で導かれる事態の継起の副詞節の文例

###### 6.3.1.1.1 主節と同主語の文例

- (7) a. edi duwa-yake uwii piga  
 rain cut-CVM go.INF NF<sub>1</sub>.1SG.S  
 私は雨が止んだあとで行く
- b. kou dani tiki~tiki ti-yake ko tekeepo-opa  
 DEM.SG.F like ready~RDP do-CVM COMP pandanus-place  
 uwe-ig-ai  
 go-HAB-3PL.S  
 このようにしっかり準備してパンダヌス園へ行くものなのです

- c. abata ma podomi-yake tekeepo-opa ko uwaata  
morning FOC go.out-CVM pandanus-place DET.SG.F afternoon  
tani idibi gaa kou dakii nee-te-emeg-ai  
o'clock five time DEM.SG.F arrive.INF 1PL.BEN<sub>1</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
朝には出発して、パンダヌス園には午後5時どきに到着したのです
- d. okai ki uta duwa-yake no-ta  
3SG DET.SG.M fruit cut-CVM eat-IP  
彼は実を取って食べた
- e. okai ki pidini wadoo kaa mugee moti-yake no-ta  
3SG DET.SG.M dish up LOC meat take-CVM eat-IP  
彼は皿の上から肉を取って食べた
- f. ugai-piyauto iga-yake tani ena to-yake doo-p-a  
write-stick get.lost-CVM hour one stay-CVM find-MP-1SG.S  
ペンを失くして一時間待って見つけた
- g. tani ena to-yake tokiyoo uwii  
hour one stay-CVM Tokyo go.INF  
一時間ここにおいて東京へ行く
- h. kou kodo ani gaa-to~gaa-to ti-yake nama  
DEM.SG.F DEM.SG.F 1SG think-CONT~RDP do-CVM CNJ  
それを私は考え考えして、
- i. okai ki itaagapi tokiyo uwi-yake ko  
3SG DET.SG.M today Tokyo go-CVM DET.SG.F  
aweetaa oosaka uwii tagi  
tomorrow Osaka go.INF DF.3SG.M.S  
彼は今日東京に行って、明日大阪に行く
- j. e-doo-yake kou gaa koodaa wagii  
3O-see-CVM DEM.SG.F time DEM.SG.F 3O.kill.INF  
見てすぐに殺す

k. ani owa-apa dakii ti-yake kou gaa  
 1SG house-ALL arrive.INF do-CVM DEM.SG.F time  
 kooda uwo buumai  
 DEM.SG.F water bathe.INF  
 私は家に着くとすぐにシャワーを浴びる

l. ani okai e-doo-yake aya uwi-ta  
 1SG 3SG 3O-see-CVM shadow go-IP  
 私は彼を見てびっくりした

m. tokiyo dakii ti-yake kou gaa kooda  
 Tokyo arrive.INF do-CVM DEM.SG.F time DEM.SG.F  
 gaidai uwi-ta  
 TUFs go-IP  
 東京に着くとすぐに外大に行った

#### 6.3.1.1.2 主節と異主語の文例

(8) a. okai ki tauwani idibi e-paa-yake umi-ta  
 3SG DET.SG.M year five 3O-bear-CVM live-IP  
 彼は5歳です

b. dugi no-yaawi-yake okai me-ta  
 potato eat-PFV-CVM 3SG come-IP  
 ご飯を食べ終わると彼が来た

c. tauwani enaa umi-yake pii ewaa kai  
 year one live-CVM flower being become.INF  
 1年経って花が咲く

d. kou doo-ta bagume kodo naitai ma  
 DEM.SG.F see-IP dream DEM.SG.F 1SG.father COM  
 oo-wega-yake naitai ene-ete ko  
 3BEN<sub>1</sub>-speak-CVM 1SG.father 1SG.O.tell-PROG COMP  
 その見た夢を父に話したところ、父が話した言うには…

- e. ekina podomi-yakee noogei ki didi ga-ate  
 pig go.out-CVM 1SG.friend DET.SG.M pain think-PROG  
 豚が逃げたので私の友達は心配している
- f. yegee ti-yake telefon wega-ate  
 weep do-CVM telephone speak-PROG  
 (子供たちが) 泣いているので電話で話している
- f. telefon ti-yake yokaagaa yegee  
 telephone do-CVM children weep  
 電話したら子供たちが泣く
- g. maki pigii ti-yake keitai beu ti-ta  
 earth quake do-CVM work-INF NEG do-IP  
 地震があつて仕事が休みになった
- h. awee ki-yake tani gane-ete  
 bright become-CVM sun shine-PROG  
 明るくなって太陽が照っている

### 6.3.1.2. -yake で導かれる事態の並行の副詞節の文例

- (9) a. animaki-yake buku ebate-ete  
 sit-CVM book read-PROG  
 座って本を読んでいる
- b. okai ki koma wado uwee ki-yake  
 3SG DET.SG.M vehicle upward go become-CVM  
 tokiyo uwi-ta  
 Tokyo go-IP  
 彼はバスに乗って東京へ行った
- c. boko~boko ti-yakee tekeepoo paitai  
 coil.with.vine~RDP do-CVM pandanus climb.IMF  
 幹に蔓を巻いてパンダヌス樹に上る

- d. mege takaa~bakaa ti-yake awii  
 money mix~RDP do-CVM put.in.IMP.SG  
 お金を色々取り入れてしまえ
- e. uwo kaa kii boda kii doki-yake  
 water GEN.INDF DEM.SG.M ball DEM.SG.M carry-CVM  
 uwi-p-a  
 go-MP-3SG.F.S  
 水の流りにボールが持っていかれた
- f. ukiya kaa na-doki-yake uwii nee ti-p-a  
 wind GEN.INDF 1SG.O-carry-CVM go.INF IRR do-MP-1SG.S  
 私は風に飛ばされそうになった
- g. uwi-yake no-ote  
 go-CVM eat-PROG  
 歩きながら食べている
- h. okai ki dugi no-yake buku ebatai  
 3SG DET.SG.M potato eat-CVM book read.INF  
 彼はご飯を食べながら本を読む

### 6.3.1.3. -yake で導かれる事態の因果の副詞節の文例

- (10) a. dodi kii ke didi yaki-yake boka-ta  
 dog DEM.SG.M DET.SG.M disease catch-CVM die-IP  
 犬が病気になって死んだ
- b. ani aki ka-nokogi-yake kagi-ta  
 1SG 2SG 2SG.O-stab-CVM 2SG.O.kill-IP  
 私はあなたを刺し殺した
- c. ani okai e-doo-yake aya uwi-ta  
 1SG 3SG 3O-see-CVM shadow go-IP  
 私は彼を見てびっくりした



- d. ikane edai nee dimi gaa-yake eda uwi-ta  
 fish buy.INF OPT feel think-CVM buy go-IP  
 魚を買いたくて買い物に行った
- e. mee mana epii ki-yake ebiyai  
 Mee language knowing become-CVM write.INF  
 メエ語ができるようになったので書く
- f. ukiya kaa doki-yake kii boda kii  
 wind GEN.INDF carry-CVM DEM.SG.M ball DEM.SG.M  
 uwi-p-a (uwi-p-i)  
 go-MP-3SG.F.S (go-MP-3SG.M.S)  
 風が持って行って (小さい) ボールが行ってしまった

### 6.3.2. -etigoo で導かれる事態の並行の副詞節の文例 [Paniai 方言]

- (11) a. dugi no-otigoo buku ebatai  
 potato eat-CVM book read.INF  
 ご飯を食べながら本を読む
- b. okai uga-atigoo e-doo-ta  
 3SG write-CVM 3O-see-IP  
 彼は書いている最中に人を見た
- c. gaidai uwe-etigoo mee beu  
 TUFS go-CVM person NEG  
 外大に行ったが誰もいなかった
- d. kou goo koto kuduga ani wouwe ke-etigoo  
 DEM.SG.F rattan bridge along 1SG upward become-CVM  
 wege bago uda wouwe koda a mee to-omeg-ai  
 Wege mountain LOC upward DEM.SG.F person be-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 その籐蔓の橋に沿って私が上って行くとウエゲ山の所で上の方に人がいた

- e. kou piyauto-udo yaki-yaawi-yake mana wega-atigoo  
 DEM.SG.F stick-PL catch-PFV-CVM story speak-CVM  
 ani gai beu manaa wega-daa tee te-emeg-a  
 1SG think-INF NEG story speak-SPN do do-DP2-1SG.S  
 それらの棒を掴んで話ししていると、私が訳の分からない話しを語り  
 出していた

### 6.3.3. -touyogo で導かれる継起、条件、逆接の副詞節の文例

-touyogo だけでは継起・順接の意味となる。

- (12) a. ani ki tokiyo touyogo  
 1SG DET.SG.M tokyo stay-CVM  
 私が東京にいた時
- b. kouda make aiko tekeepo-opa dakii ti-touyogo  
 there LOC first pandanus-place arrive-INF do-CVM  
 ko owaa migi-yakee ko  
 COMP house build-CVM COMP  
 そして先ずパンダヌス園へ到着したならば、小屋を建てる
- c. kou tekeepo-opa koda a dakii ti-touyogo  
 DEM.SG.F pandanus-place DEM.SG.F arrive-INF do-CVM  
 ko mee utoma okai tekeepo-opa make  
 COMP person every 3SG pandanus-place LOC  
 wega-yaa manaa kodo too wega-make  
 speak-IRR language DEM.SG.F FOC speak-able  
 パンダヌス園に到着したならば、人は皆誰もパンダヌス園で話す言葉  
 だけを話すことができる
- d. dugi no-yaawi-yake-touyogo okai me-ta  
 potato eat-PFV-CVM-CVM 3SG come-IP  
 ご飯を食べ終わると、彼が来た
- e. asako sensei uwi-touyogo dakii tai  
 Asako professor (J) go-CVM arrive-INF do-INF  
 朝子先生が帰った後に着いた

f. aweeta ko edi ti-touyogo noogei ya  
 tomorrow DET.SG.F rain do-CVM 1SG.friend GEN.DEF  
 owaa ko te uwii  
 house DET.SG.F NEG go.INF

明日雨が降ったら友達の家へは行かない (行かない気持ちが強い)

cf. f. aweeta ko edi ti-p-a maiya noogei  
 tomorrow DET.SG.F rain do-MP-3SG.F.S also 1SG.friend  
 ya owaa ko te uwii  
 GEN.DEF house DET.SG.F NEG go.INF

明日雨が降ったら友達の家へは行かない

g. okai animaki-yake ediimii-touyogoo ko  
 3SG sit-CVM beg-CVM DET.SG.F  
 mee wedabaa kaa menii  
 person plenty GEN.INDF 3O.give.INF

彼が座って物乞いしていると沢山の人がくれる

h. keiti-touyogoo ko mege e-dou  
 work-CVM DET.SG.F money 3O-see.INF

働いているとお金が得られる

i. noogei ki owa-apa make uwi-touyogo  
 1SG.friend DET.SG.M house-place DEL go-CVM

友達は家から出た

(完全な文ではなく後に何か続く感じがするとのこと)

言い差しの文例もある。

j. yeetooti ki agapee widaago anigoo-touyogoo  
 Jesus DET.SG.M day third rise.up-CVM

イエスは3日目に甦った

tou 「ある」の語感が残る用法もある。

k. koma ena tou-yogoo  
 vehicle one be-CVM  
 飛行機一機があるけれど

-touyogo maiya では逆接の意味となる。

l. uwi-touyogo maiya  
 go-CVM also  
 行っても

m. umii-tou ti-touyogo maiya  
 live-be.INF do-sCVM also  
 生きていても

n. mogo kouya to-touyogo maiya  
 stone there be-CVM also  
 石がそこにあっても

o. ani ki tokiyo ki-touyogo maiya tee  
 1SG DET.SG.M Tokyo become-CVM also NEG  
 aka-dou ti-ya yuwa  
 RECP-see.INF do-IRR probable  
 私が東京にいても多分会わないのだろう

p. wadaato mee ino buku uga-touyogo maiya  
 in.future person other book write-CVM also  
 mee mana kou towoo-dokee  
 Mee language DEM.SG.F whistle-RES  
 将来誰かが本を書いたとしても、メエ語には笛が鳴っている

q. kou pidini kou ko goo  
 DEM.SG.F dish DEM.SG.F DET.SG.F fall  
 ti-yaawi-touyogoo maiya peu tee ki-make  
 do-CAUS-CVM even bad NEG become-able  
 この皿は落としても割れない

### 6.3.4. nee (希求モード) で導かれる副詞節の文例

nee (希求モード) によって目的の副詞節が導かれる。

- (13) a.   ani     bedo   mana   ko            yuwii   nee   ubai  
 1SG   bird    voice   DET.SG.F   hear.INF   OPT   search.INF  
 私は鳥の声を聞こうと探す
- b.   ukame   yoka   ya-a-pai            nee   dideewa   uwii  
 mother   child   3BEN<sub>2</sub>-3O-bear.INF   OPT   hospital   go.INF  
 母親が子供を産もうと病院へ行く
- c.   dokter   ya            yoka   ya-a-pai            nee   dideewa   uwii  
 doctor   GEN.DEF   child   3BEN<sub>2</sub>-3O-bear.INF   OPT   hospital   go.INF  
 医者が母親に子供を産ませようと病院へ行く
- d.   ukame   ko            dokter   kaa            yoka   ya-a-pai  
 mother   DET.SG.F   doctor   GEN.INDF   child   3BEN<sub>2</sub>-3O-bear.INF  
 nee   dideewa   uwii  
 OPT   hospital   go.INF  
 母親は医師が子供を産ませてくれるように病院へ行く
- e.   ukame   ko            nawipa   dokter   ya            yoka  
 mother   DET.SG.F   Nawipa   doctor   GEN.DEF   child  
 ya-a-pai            nee   dideewa   uwii  
 3BEN<sub>2</sub>-3O-bear.INF   OPT   hospital   go.INF  
 母親はナウィパ医師が子供を産ませてくれるように病院へ行く
- f.   okai   ko            ikane   edai   nee   uwe-eg-a  
 3SG   DET.SG.F   fish   buy   OPT   go-RP-3SG.F.S  
 彼女は魚を買いに行った
- g.   yibuuda   ko            epi-doo            tai   nee   jenderaa   kou  
 outside   DET.SG.F   knowing-see   do   OPT   window   DEM.SG.F  
 keba-ta  
 open-IP  
 外がよく見えるように窓を開けた

## 6.4. 接続詞文の文例

### 6.4.1. 従属節をつくる接続詞の文例

#### 6.4.1.1. gaa で導かれる時間の従属節の文例

- (14) a. ani ki yooni-ta gaa kodo  
1SG DET.SG.M stand-IP time DEM.SG.F  
okai kiyai~kiyai na-ti-ta  
3SG smile~RDP 1SG.BEN<sub>2</sub>-do-IP  
私が立ち上がった時に彼は笑っていた
- b. ani ki yooni-yake to-ta gaa kodo  
1SG DET.SG.M stand-CVM be-IP time DEM.SG.F  
okai kiyai~kiyai na-ti-ta  
3SG smile~RDP 1SG.BEN<sub>2</sub>-do-IP  
私が立っていた時に彼は笑っていた
- c. okai dugi no-otigoo gaa otii ti-ta  
3SG potato eat-PROG time jump do-IP  
彼はご飯を食べながらジャンプした
- d. e-doo-ta gaa kooda wagii  
3O-see-IP time DEM.SG.F 3O.kill.INF  
彼を見てすぐ殺す
- e. e-doo-yake kou gaa kooda wagii  
3O-see-CVM DEM.SG.F time DEM.SG.F 3O.kill.INF  
彼を見て（その時に）すぐ殺す
- f. ani owa-apa dakii ti-yake kou gaa  
1SG house-ALL arrive.INF do-CVM DEM.SG.F time  
ko uwo buumai  
DET.SG.F water bathe.INF  
私は家に着くとすぐにシャワーを浴びる
- g. dugi no-ote gaa ko te mana wegai  
potato eat-PROG time DET.SG.F NEG speech speak.IMP.SG  
食べているあいだは話しをするな

- h. tope-ete            gaa    ko            mana    te            wegai  
 study-PROG        time    DET.SG.F    speech    NEG        speak.IMP.SG  
 gaabo    tou  
 quiet    be.IMP.SG  
 勉強しているあいだは話しをするな、だまっている

#### 6.4.1.2. beu gaa で導かれる時間の従属節の文例

- (15) a. tekeepo-opa        uwii        beu        gaa        ko  
 pandanus-place    go.INF        NEG        time        DET.SG.F  
 パンダヌス園に行く前に

#### 6.4.2. kouda make ko で導かれる時間の従属節の文例

- (16) a. dugi        no-yaawi-yake        ko            buku        ebatai        kouda  
 potato    eat-PFV-CVM        DET.SG.F    book        read.INF        there  
 make    ko            uno    umi-ta  
 LOC    DET.SG.F    sleep    live-IP  
 ご飯を食べた後、本を読んで、寝た

#### 6.4.3. nama で導かれる継起の従属節の文例

nama は事実性の保留の標識 naa と共格 ma の連続と思われるが、語彙化している。副動詞に続く -yake nama の形式で継起の副詞節を形成する。

- (17) a. shinjuku        uwi-yake        nama    ekina    nai  
 Shinjuku        go-CVM        CNJ    pig        eat.INF  
 新宿に行って豚を食べる
- b. ani    tokiyo    me-yake        kou            kodo        mee    mana  
 1SG    Tokyo    come-CVM    DEM.SG.F    DEM.SG.F    Mee    language  
 e-topa-yake    nama    okei    epii        ke-eteg-ai  
 3O-teach-CVM    CNJ        3PL    knowing    become-DP1-3PL.S  
 私が東京へ来てメエ語を教えたところ彼ら分かるようになった

c. kouda kooda make nai ti-yake inoo ko  
 there DEM.SG.F LOC eat.INF do-CVM other DET.PL.F  
 awi-yake nama ita owa-apa uwe-ete no-ug-ai  
 put.in-CVM CNJ road house-place go-PROG eat-HAB-3PL.S  
 そこで食べる、そして残った物は（袋に）入れるなりして、家へ帰る  
 道中で食べるのです

d. tiyake kou kodo ani gaa-to~gaa-to  
 CNJ DEM.SG.F DEM.SG.F 1SG think-CONT~RDP  
 ti-yake nama ito kou maiya gaa-to-p-a  
 do-CVM CNJ now DEM.SG.F also think-CONT-MP-1SG.S  
 そしてそれを私は考え考えして、今でも考えているのです

e. ani ma naitai ma inii tekeepo-opa uwi-yakee  
 1SG COM 1SG.father COM 1PL pandanus-place go-CVM  
 nama  
 CNJ  
 私と父と、私たちはパンダヌス園へ行ったのですが

#### 6.4.4. kaa で導かれる理由の従属節の文例

(18) a. yege te-ete kaa telefon te-ete  
 weep do-PROG CNJ tekephone do-PROG  
 (子供たちが) 泣いているから電話している

#### 6.4.5. koyokaa / kiyokaa で導かれる条件・理由の従属節の文例

(19) a. edi duwai neeg-a koyokaa kouda make  
 rain cut.INF NF<sub>2</sub>-3SG.F.S CNJ there LOC  
 uwii neeg-a  
 go.INF NF<sub>2</sub>-3SG.F.S  
 雨が止んだならば行く

b. edi duwai neeg-a koyokaa kouda make  
 rain cut.INF NF<sub>2</sub>-3SG.F.S CNJ there LOC  
 uwii piga  
 go.INF NF<sub>1</sub>.1SG.S  
 雨が止んだならば行く



- c. edi duwai piga koyokaa kouda make  
rain cut.INF NF1.3SG.F.S CNJ there LOC  
uwii piga  
go.INF NF1.1SG.S  
雨が止んだならば行く
- d. edi duwai piga koyokaa kouda make  
rain cut.INF NF1.3SG.F.S CNJ there LOC  
uwii neeg-a  
go.INF NF2-3SG.F.S  
雨が止んだならば行く
- e. owa-apa make tekeepo-opa too ko poto  
house-place DEL pandanus-place TER DET.SG.F distant  
koyokaa owa-apa make ko abata ma  
CNJ house-place DEL DET.SG.F morning FOC  
podomi-yake  
go.out-CVM  
家からパンダヌス園までは遠いので、家からは朝に出て
- f. ewa te duwai ko dáá koyokaa  
being NEG cut.INF COMP must.not CNJ  
adaku ko te tai  
forget DET.SG.F NEG do.IMP.SG  
必ず叶うのだから、忘れてはいけない
- g. kouda kaa naago kou ko  
there APS day DEM.SG.F DET.SG.F  
edi we-eteg-a koyokaa egaa uwe-eteg-a  
rain fall-DP1-3SG.F.S CNJ quick go-DP1-1SG.S  
その日は雨が降っていたので急いで行った
- h. debi pai koyokaa edi we-eg-a ko yuwa  
wet bear.INF CNJ rain fall-RP-3SG.F.S COMP probable  
濡れているので多分雨が降ったのだろう

- i. kou ikane kou ko adekaa ko  
 DEM.SG.F fish DEM.SG.F DET.SG.F price DET.SG.F  
 ibo koyokaa igi maiya enaa  
 big CNJ taste also good  
 その魚は値が張ったから味もいい
- j. okai ki mee mana ko epi  
 3SG DET.SG.M Mee language DET.SG.F knowing  
 kiyokaa mee mana ida wega-ig-i  
 CNJ Mee language LOC speak-HAB-3SG.M.S  
 彼はメエ語を知っていたのでメエ語で話したものだ
- k. dugi kanii piga koyokaa aki ya  
 potato 2SG.O.give.INF NF<sub>1</sub>.1SG.S CNJ 2SG GEN.DEF  
 eto naimai  
 sugar.cane 1SG.O.give.IMP.SG  
 イモをあげますからサトウキビをください
- cf. k'. dugi kanii piga kaa aki ya  
 potato 2SG.O.give.INF NF<sub>1</sub>.1SG.S CNJ 2SG GEN.DEF  
 eto niimai  
 sugar.cane 1SG.O.give.IMP.SG  
 [Tigi方言] イモをあげますからサトウキビをください
- cf. k''. dugi kanii piga yamake aki ya  
 potato 2SG.O.give.INF NF<sub>1</sub>.1SG.S CNJ 2SG GEN.DEF  
 eto niimai  
 sugar.cane 1SG.O.give.IMP.SG  
 [Tigi方言] イモをあげますからサトウキビをください
- l. edi we-ete koyokaa egaa uwii nee  
 rain fall-PROG CNJ quick go.INF OPT  
 雨が降っているから早く行きたい

以下は言い差しの文例。

- m. okai ki            getó            paniai    me-p-i            kidi  
 3SG DET.SG.M    yesterday    Paniai    come-MP-3SG.M.S    DEM.SG.M  
 kiyokaa  
 CNJ  
 彼は昨日パニアイに来たんですよね（確認）
- n. wagi ko            beu            koyokaa    egaa            uwii            nu  
 time DET.SG.F    NEG            CNJ            quick            go.IMP.SG    NI.VOC  
 時間がないから急いで行こう

6.4.6. daiga で導かれる条件・理由の従属節の文例  
 daiga は idaiga が弱化して語彙化した形と考えられる。

- (20) a. topii            daiga            epii            ki-make  
 study.INF    CNJ            knowing            become-able  
 勉強したらできる
- b. keitai            daiga            mege            doo-make  
 work.INF    CNJ            money            see-able  
 仕事したらお金が得られる
- c. telefon            daiga            uwii  
 telephone    CNJ            go.INF  
 電話があったから行こう

beu-daiga では「～しないので」という意味が表される。

- d. telefon            beu-daiga            uwii  
 telephone    NEG-CNJ            go.INF  
 電話がないから行こう
- e. topii            beu-daiga            ko            epii            tee            ki-make  
 study.INF    NEG-CNJ            COMP            knowing            NEG            become-able  
 勉強しないとできない

f. okai ki dou beu-daiga ani ya  
 3SG DET.SG.M watch.INF NEG-CNJ 1SG GEN.DEF  
 mege awii oma naa-moti-ta  
 money pouch stealth 1SG.BEN<sub>1</sub>-take-IP  
 彼が見ていなかったなので私の財布が盗まれた

g. okai ki na-dou beu-daiga ani okai  
 3SG DET.SG.M 1SG.O-see.INF NEG-CNJ 1SG 3SG  
 ya mege awii oma ya-moti-p-a  
 GEN.DEF money pouch stealth 3BEN<sub>2</sub>-take-MP-1SG.S  
 彼が見ていないと思って私は彼の財布を盗んだ

cf. h. okai ki na-dou beu gaa ani okai  
 3SG DET.SG.M 1SG.O-see.INF NEG time 1SG 3SG  
 ya mege awii oma ya-moti-p-a  
 GEN.DEF money pouch stealth 3BEN<sub>2</sub>-take-MP-1SG.S  
 彼が見ていないときに私は彼の財布を盗んだ

i. koma beu-daiga ko te uwi-make  
 vehicle NEG-CNJ COMP NEG go-able  
 車がないと行けない

beu-daiga koyokaa と理由節をはっきり示す文例もある。

j. ka-dou beu-daiga koyokaa ipa na-yaikai  
 2SG.O-see.INF NEG-CNJ CNJ pity 1SG.BEN<sub>2</sub>-release.IMP.SG  
 (ぶつかって) 見ていなかったなので、ごめんなさい

k. gai beu-daiga koyokaa ipa na-yaikai  
 think.INF NEG-CNJ CNJ compassion 1SG.BEN<sub>2</sub>-release.IMP.SG  
 考え足らずですみません

#### 6.4.7. kou maidamake で導かれる理由の従属節の文例

(21) a. peu awi-ta kou maidamake ipa na-yaikai  
 bad put.in-IP DEM.SG.F on.behalf pity 1SG.BEN<sub>2</sub>-release.IMP.SG  
 間違ってしまうですみません

#### 6.4.8. kooda で導かれる理由の従属節の文例

- (22) a. kou                      beu      ki-touyogo      ko              diyo      beebuu  
 DESG.M.F          NEG      become-CVM      COMP          rule      deviation  
 mana      ena      kooda  
 fact          one      CNJ  
 そうなっていないければ、規則からの逸脱の一つということになりますから

#### 6.4.9. 中過去 -p- ko で導かれる条件・理由の副詞節の文例

- (23) a. aweeta              ki-p-a                                      ko              epi  
 tomorrow      become-MP-3SG.F.S          COMP          knowing  
 明日になれば分かる
- b. aweeta              edi      we-p-a                                      ko              ogeuwau      ya  
 tomorrow      rain      fall-MP-3SG.F.S          COMP          friend          GEN.DEF  
 owa-apaa              ko                      te              uwii  
 house-ALL          DET.SG.F          NEG      go.INF  
 明日雨が降ったら私は友達の家へは行かないわ

中過去 -p- の時制文に maiya が後続して、条件に従属節を導く文例もある。

- cf. c. aweeta              ko                      edi      ti-p-a              maiya      noogei  
 tomorrow      DET.SG.F          rain      do-CVM          also          1SG.friend  
 ya                      owaa              ko                      te              uwii  
 GEN.DEF          house          DET.SG.F          NEG      go.INF  
 明日雨が降ったら友達の家へは行かない

以下の2文例は副詞節というより主要部内在型関係節ととらえられるが、中過去 -p- ki/ko で条件・理由が導かれている。

- cf. d. yoka      tauwani      enaa      ki-p-i                                      ki              epi  
 child      year          one      become-MP-3SG.M.S          COMP          knowing  
 男の子は1歳になると物が分かる

d'. yoka tauwani enaa ki-p-a ko epi  
 child year one become-MP-3SG.F.S COMP knowing  
 女の子は1歳になると物が分かる

#### 6.4.10. tiyake で順接あるいは逆接される文例

(24) a. naitai ki kota uwe-eg-i tiyake  
 1SG.father DET.SG.M town go-RP-3SG.M.S CNJ  
 noukai ko tai-da uwe-eg-a  
 1SG.mother DET.SG.F field-LOC go-RP-3SG.F.S  
 父は町に行って、母は畑に行った

b. jon kidi ki me-eg-i mee beu  
 John DEM.SG.M DET.SG.M come-RP-3SG.M.S Q NEG  
 jon kidi ki beu tiyake yosua  
 John DEM.SG.M DET.SG.M NEG CNJ Joshua  
 me-eg-i  
 come-RP-3SG.M.S  
 ジョンが来たの？  
 違う、ジョンじゃなくてヨシュアが来た

c. kii ke beu tiyake kou kaa  
 DEM.SG.M DET.SG.M NEG CNJ DEM.SG.F APS  
 kou adekaa ko ibo  
 DEM.SG.F price DET.SG.F big  
 これじゃなくてそっちが値段が高い

d. adekaa ibo ko kii kaa kii  
 price big DET.SG.F DEM.SG.M APS DEM.SG.M  
 beu tiyake kou kaa kou  
 NEG CNJ DEM.SG.F APS DEM.SG.F  
 値段が高いのはこっちじゃなくてそっちだ

#### 6.4.11. daana で順接される文例

daana で順接されるばあい、等位接続であり、2文の独立性が高い。

(25) a. kou kodo okei idibi ko dimi yago  
 DEM.SG.F DEM.SG.F 3PL five DET.SG.F thought with  
 daana idibi kaa kodo ko dimi beu  
 CNJ five APS DEM.SG.F DET.SG.F thought NEG  
 そのうち5人は賢かったが、5人は愚かだった

b. kidii kou ko tekeepo-opa  
 DEM.SG.M DEM.SG.F DET.SG.F pandanus-place  
 edooga~medooga uwi-yake kouda make doo-ta bagume  
 first.time~RDP go-CVM there LOC see-IP dream  
 kou umii-tou duba ewa te duwai  
 DEM.SG.F live-be.INF inside being NEG cut.INF  
 ko dáá koyokaa adaku ko te tai  
 COMP must.not CNJ forget DET.SG.F NEG do.IMP.SG  
 wegaa tai daana kou doo-ta bagume kodo  
 speak do CNJ DEM.SG.F see-IP dream DEM.SG.F  
 ko mee ino-opa ko oo-wegaa~wegaa  
 DET.SG.F person other-DAT DET.PL.F 3BEN<sub>1</sub>-speak~RDP  
 ko te tai wegaa tai  
 COMP NEG do.IMP.SG speak do.INF  
 それはパンダヌス園に初めて行き、そこで見た夢は生きてゆく中で必  
 ず叶うから忘れてはいけない、と言われていて、そしてその見た夢は、  
 他の人には話してはいけないと言われてている

#### 6.4.12. kodeya で逆接される文例

(26) a. okai ki edaa tai-da uwi-ta kodeya  
 3SG DET.SG.M buy do.INF-place go-IP CNJ  
 aki ki itaagapi ko máagiyoo ti-ta  
 2SG DET.SG.M today DET.SG.F what do-IP  
 彼は買い物に行ったけれど、あなたは今日何しましたか？

b. okai dugi no-otigoo kodeya otii ti-ta  
 3SG potato eat-PROG CNJ jump do-IP  
 彼はご飯を食べていたのにジャンプした

- c. ekina wagii beu kodeya boka-ag-a  
 pig 3O.kill.INF NEG CNJ die-RP-3SG.F.S  
 豚が、殺していないのに死んでいる
- d. bodiya you beu kodeya bodiya no-ote  
 fire light.INF NEG CNJ fire burn-PROG  
 火をつけていないのに燃えている
- e. kigibai beu kodeya kigibi-daa ti-p-a  
 tear.off.INF NEG CNJ tear.off-SPN do-MP-3SG.F.S  
 破っていないのに破れた
- f. ani ki kou dodi kou wagi-ta kodeya  
 1SG DET.SG.M DEM.SG.F dog DEM.SG.F 3O.kill-IP CNJ  
 aki ki kii dodi kii wagi-ta  
 2SG DET.SG.M DEM.SG.M dog DEM.SG.M 3O.kill-IP  
 私はその（大きい）犬を殺したが、君はあの（小さい）犬を殺した
- g. ani uwi-ta gaa kodo ko edi beu  
 1SG go-IP time DEM.SG.F DET.SG.F rain NEG  
 kodeya okai uwi-ta gaa kodo ko  
 CNJ 3SG go-IP time DEM.SG.F DET.SG.F  
 edi me-ta  
 rain come-IP  
 私が行った時は雨が降らなかったが、彼が行った時には雨が降った
- h. okai ki mee mana ko epi kodeya  
 3SG DET.SG.M Mee language DET.SG.F knowing CNJ  
 wegai ko ebe udo  
 speak.INF COMP mouth heavy  
 彼はメエ語を知っているけれども話すのがよくできない



- i. kou keite-ig-ai manaa kodo  
 DEM.SG.F work-HAB-3PL.S affair DEM.SG.F  
 ko wedabaa to-p-ai kodeya ito  
 DET.SG.F many be-MP-3PL.S CNJ now  
 kou wegai nee kaa ko tekeepoopa  
 DEM.SG.F speak-INF OPT FOC COMP pandanus-place  
 make keite-ig-ai manaa wegai nee  
 LOC work-HAB-3PL.S affair speak-INF OPT  
 その為されていることの話しは沢山あるけれど、これから話そうと思  
 うは、パンダヌス園で為されていることの話しを話そう
- j. máagiyoo kaa te na-anigoo-p-e  
 what INS NEG 1SG.O-wake.up-MP-2SG.S  
 ka-anigoo-p-a kodeya aki ki te  
 2SG.O-wake.up-MP-1SG.S CNJ 2SG DET.SG.M NEG  
 enigoo-p-e  
 wake.up-MP-2SG.S  
 どうして起こしてくれなかったの？  
 起こしたけど起きなかったんだ
- k. kou ikane kou ko adekaa ko  
 DEM.SG.F fish DEM.SG.F DET.SG.F price DET.SG.F  
 ibo kodeya igi peu  
 big CNJ taste bad  
 その魚は高かったのに全然おいしくない
- l. uwe-ete kodeya telefon na wega-ate  
 go-PROG CNJ telephone NI.SG speak-PROG  
 歩きながらも電話している
- m. okai ki dugi no-ote kodeya buku ebatai  
 3SG DET.SG.M potato eat-PROG CNJ book read-INF  
 彼はご飯を食べながらも本を読む

## メエ語の文例集7. 情報構造

キーワード：情報構造，文の主題，限定詞，文の焦点，名詞句，対比，新情報，専有の新情報，意外性，注意喚起，専一性，文節，モダリティ，事実性の保留，反実仮想，蓋然性，想像，断定，証拠性，現実相

Keywords: information structure, topic of sentence, determiner, focus of sentence, noun phrase, contrast, new information, exclusive new information, mirativity, evocation, uniqueness, clause, modality, suspended factuality, counter-factual, probability, imaginary, assertion, evidentiality, realis mood

- 7.1. 主題の位置と標識
- 7.2. 焦点の位置
- 7.3. 名詞句に係る対比と新情報などの標識
- 7.4. 文節に係る対比・新情報・モダリティの標識
- 7.5. 断定の標識 — 副詞 *maakidi*
- 7.6. 証拠性

### 7.1. 主題の位置と標識

文の主題は文頭に置かれることが多い。

- (1) a. *wagadei pii ewaa ki-p-a*  
Wagadei flower being become-MP-3SG.F.S  
ワガデイの花が咲いた
- b. *ani papua kaa mee ida-ana na kaa*  
1SG Papua APS person CLF-one NI.SG GEN.INDF  
*mee mana na-topi-p-i*  
Mee language 1SG.O-teach-MP-3SG.M.S  
私にある一人のパプアの人がメエ語を教えてくれた。
- c. *ito ko aki ya ke-eg-a*  
now DET.SG.F 2SG GEN.DEF become-RP-3SG.F.S  
今日はあなたの物になった

主題は限定詞によって標識されることが多い。

- d. ito kou ko wagi peu  
 now DEM.SG.F DET.SG.F time wrong  
 今は時間がない
- e. oka-apa ko mege ewaa  
 3SG-DAT DET.SG.F money existence  
 あの人は金持ちだ
- f. yepaani ko maki pigii ewaa maki-yoo  
 Japan DET.SG.F earth quake existence land-area  
 日本は地震がある国だ
- g. inai ke mee wiyaa aa-e-topee tai  
 1DU DET.PL.M person two DU-3O-teach do.INF  
 私たち二人は、二人の人を教える
- h. kouda kaa ekina beu to-p-a nuu  
 there GEN.INDF pig NEG be-MP-3SG.F.S NI.VOC  
 máagiyoo kaa  
 what INS  
 kou ekina kodo ko jon no-p-i  
 DEM.SG.F pig DEM.SG.F DET.SG.F John eat-MP-3SG.M.S  
 あの豚いないね、どうしたの？  
 その豚はジョンが食べちゃったよ
- i. kou ko tekeepo-opa edooga~medooga uwi-yake  
 DEM.SG.F DET.SG.F pandanus.place first.time~RDP go-CVM  
 kouda make doo-ta bagume kou ko  
 there LOC see-IP dream DEM.SG.F DET.SG.F  
 umii-tou duba ewa te duwai ko dáá  
 live-be.INF inside being NEG cut.INF COMP must.not  
 koyokaa adaku ko te tai wegaa tai  
 CNJ forget DET.SG.F NEG do.IMP.SG speak do.INF  
 それはパンダヌス園に初めて行き、そこで見た夢は生きてゆく中で必ず叶  
 うから忘れてはいけない、と言われている

j. tika ko pito beu  
 past DET.SG.F torch NEG  
 昔は電灯がなかった

k. jon ya dugi nee-yo-omeg-i  
 John GEN.DEF potato 1PL.BEN<sub>1</sub>-cook-DP<sub>2</sub>-3SG.M.S  
 awee dugi no-ta kodo ko ekina ma agape  
 morning potato eat-IP DEM.SG.F DET.SG.F pig COM daytime  
 dugi  
 potato  
 ジョンがご飯を作ってくれたのでした  
 朝ご飯に食べたのは豚と昼のご飯でした

主語に格標識や後置詞が付されたばあい、主題の標識はそれに後続する。

l. akaitai ya ko menooka ka-paa-p-i  
 2SG.father GEN.DEF DET.SG.F when 2SG.O-bear-MP-3SG.M.S  
 お父さんはあなたをいつ生みましたか

m. mee ino-opa ko oo-wegaa~wegaa ko  
 person other-DAT DET.PL.F 3BEN<sub>1</sub>-speak~RDP COMP  
 te tai  
 NEG do.IMP.SG  
 他の人たちにはペラペラ話してはいけない

n. mee inoo ma ko tee oo-wegai  
 person other COM DET.PL.F NEG 3BEN<sub>1</sub>-speak.IMP.SG  
 他の人たちとは話すな

o. okai ya ko jon ma yosua make  
 3SG GEN.DEF DET.SG.F John COM Joshua LOC  
 méimee wagita  
 whom 3O.hit  
 あの人にはジョンとヨシュアのどっちを叩いたの？

限定詞には文を補文化して名詞句化し、主題とする機能もある。

- p. dugi nee-yoo-ta ko jon  
 potato 1PL.BEN<sub>1</sub>-cook-IP COMP John  
 ごはんを作ってくれたのはジョンでした

## 7.2. 焦点の位置

文の焦点となる名詞句は動詞の直前に置かれる。

- (2) a. jon ki beu tiyake yosua wagi-ta  
 John DET.SG.M NEG CNJ Joshua 3O.hit-IP  
 ジョンじゃなくてヨシュアを叩いたんだ

文の焦点となる名詞句に、対比の標識として機能する限定詞が付されて、動詞の直前に置かれる文例もある。

- b. aki ki ani ya ki ka-doo-ta  
 2SG DET.SG.M 1SG GEN.DEF DET.SG.M 2SG.O-see-IP  
 あなたを私が見た (あなたを見たのは私だ)

- c. ani ki mee mana ko ewo  
 1SG DET.SG.M Mee language DET.SG.F ignorant  
 私はメエ語が話せない

- d. ani okai ki ake-epa ko te kani-make  
 1SG 3SG DET.SG.M 2SG-DAT DET.SG.F NEG 2SG.O.give-able  
 私はあなたには彼をあげられない

## 7.3. 名詞句に係る対比と新情報などの標識

調査のなかで確認された名詞句を対比する標識としては、1) 限定詞の ki / ko / ke / ko、2) 所格と同形式の ida、3) 具格と同形式の kaa、4) 共格と同形式の ma、日本語の副助詞「も」に相当する 5) na と 6) maiya、7) 到格と同形式の to がある。またさらに名詞句に係る標識として、8) 専有の新情報の標識 na / ni、9) 注意喚起の新情報の標識 nu / no、10) 意外性の標識 meeya、が確認された。それぞれの働きと構成について今後さらに解明されるべき点が多い。

### 7.3.1. 限定詞による名詞句の対比の文例

- (3) a. mee ino-opa ko oo-wegaa~wegaa ko  
 person other-DAT DET.PL.F 3BEN<sub>1</sub>-speak~RDP COMP  
 te tai  
 NEG do.IMP.SG  
 他の人たちにはペラペラ話してはいけない

- b. jon ya owa-apa too ko bado kaa  
 John GEN.DEF house-place TER DET.SG.F foot INS  
 ko te uwi-make  
 DET.PL.F NEG go-able  
 ジョンの家までは足では歩いていけません

### 7.3.2. 所格と同形式の ida による名詞句の対比の文例

- (4) a. okai ya ko jon ma yosua make  
 3SG GEN.DEF DET.SG.F John COM Joshua LOC  
 méimee wagi-ta  
 whom 3O.hit-IP  
 yosua ida wagi-ta  
 Joshua LOC 3O.hit-IP  
 あの人はジョンとヨシュアのどっちを叩いたの？  
 ヨシュアの方を叩いたよ

### 7.3.3. 具格と同形式の kaa による名詞句の対比の文例

他の文例は「5.1.3. 具格標識 kaa と同じ形式が対比の標識として使われる文例」を参照のこと。

- (5) a. getó kaa me-ta mee ko okai  
 yesterday FOC come-IP person DET.SG.F 3SG  
 (今日でなく) 昨日来た人は彼女だ

### 7.3.4. 共格と同形式の ma による名詞句の対比の文例

- (6) a. máagiyoo te-eg-ee  
 what do-RP-2SG.S  
 ani ki ena ma keitai beu  
 1SG DET.SG.M one FOC work.INF NEG  
 ani ki tuma-ana ma keitai beu  
 1SG DET.SG.M kind-one FOC work.INF NEG  
 (電話などで) 何をしているの?  
 私は何もしない  
 私は何のこともしていない

以下の文例では「朝とともに」という共格と思われるが、対比ともとらえられるかもしれない。

- cf. b. abata ma podomi-yake tekeepo-opa ko  
 morning COM (FOC) go out-CVM pandanus-place DET.SG.F  
 uwaataa tani idibi gaa kou dakii  
 afternoon o'clock five time DEM.SG.F arrive.INF  
 nee-te-emeg-ai  
 1PL.BEN<sub>1</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 朝には出発して、パンダヌス園には午後5時どきに到着したのです

### 7.3.5. na による名詞句の対比の文例

名詞句に後続する対比の na は日本語の副助詞「も」に類似する。名詞句に係る話者専有の新情報の標識 na/ni、あるいは事実性を保留する標識 naa とも関連があるようにもみえ、さらに解明されるべき点があるようにみえる。

- (7) a. ani naa tokiyo uwii nee  
 1SG also (NI.SG) Tokyo go.INF OPT  
 私も (聴き手とは別に) 東京へ行きます

名詞句に係る対比の na に同義の maiya が後続する文例もみられる。

- b. ani naa maiya tokiyo uwii nee  
 1SG also (NI.SG) also Tokyo go.INF OPT  
 私も (聴き手とは別に) 東京へ行きます

- c. aki ya naa maiya kou mana  
 2SG GEN.DEF also (NL.SG) also DEM.SG.F story  
 kou ká dani kou goda-dou  
 DEM.SG.F how likr DEM.SG.F explain-try.IMP.SG  
 君もその話をどうにか説明してみろ

### 7.3.6. maiya による名詞句の対比の文例

名詞句に後続する対比の maiya は上記の na と同義のようであり、日本語の副助詞「も」に類似する。na と maiya の両者が共起するばあい、na maiya の語順をとる。

- (8) a. ani kidi akaato maiya edooga~medooga uwi-ta gaa  
 1SG DEM.SG.M REFL also first.time~RDP go-IP time  
 kodo doo-ta bagume ko ena to-p-a  
 DEM.SG.F see-IP dream DET.SG.F one be-MP-3SG.F.S  
 私自身も初めて行ったときに見た夢が一つある
- b. ani owa-apa maiya tekooda-apa maiya tope-ig-a  
 1SG house-LOC also school-LOC also study-HAB-1SG.S  
 私は家でも学校でも勉強した
- c. okai kou gaa kou mee maiya ito  
 3SG DEM.SG.F time DEM.SG.F person also now  
 ko gaa maki-yake  
 DET.SG.F time set-CVM  
 かの時代の人も、今は時が過ぎて
- d. kou uwo duba kouya ko une~unee uwo  
 DEM.SG.F water inside there DET.SG.F sleep~RDP water  
 maiya to-p-a  
 also be-MP-3SG.F.S  
 その飲み物にはアルコールも入っている

### 7.3.7. 専一性の標識 to による名詞句の対比の文例

名詞句に後続する専一性の標識 to は日本語の「だけ」「ばかり」に相当する。



- (9) a. okai ki topii too te-ete  
 3SG DET.SG.M study.INF FOC do-PROG  
 彼は勉強ばかりしている
- b. mee utoma okai tekeepo-opa make wega-yaa manaa  
 person every 3SG pandanus-place LOC speak-IRR language  
 kodo too wega-make  
 DEM.SG.F FOC speak-able  
 人は皆誰も、パンダヌス園で話される言葉だけを話すことができる
- c. ito kou ani ya wegai nee ko  
 now DEM.SG.F 1SG GEN.DEF speak.INF OPT COMP  
 okai kou tekeepo-opa make wegai yaa  
 3SG DEM.SG.F pandanus-place LOC speak.INF PMS  
 manaa too wegai nee  
 language foc speak.INF OPT  
 これから私が話すのは、それ、そのパンダヌス園で話される言葉について  
 だけ話しましょう
- d. iginaa ikanee dani too ena-ida makii  
 tasty fish like FOC one-place set.INF  
 うまい魚だけを一か所に集める
- d'. iginaa ikanee dani kou ena-ida too makii  
 tasty fish like DEM.SG.F one-place FOC set.INF  
 うまい魚を一か所だけに集める

### 7.3.8. 名詞句に係る話者専有の新情報の標識 na / ni

基本的に不定の名詞句の指示対象について、話し手は知っているが聴き手は知らないばあいには、それが話者専有の新情報であることを、標識 *na / ni* を付して明示することができる。

(10) a. naitai ki beu ani muuma na ki  
 1SG.father DET.SG.M NEG 1SG grand- NLSG DET.SG.M  
 father

ma oo-wegaa-yake

COM 3BEN<sub>1</sub>-speak-CVM

父にではなく、私が（あなたの知らない）祖父に話したところ、

b. dance na ki dani  
 Dance NLSG DET.SG.M like

（私だけが知っている）ダンチェのような人

c. dance dani na ki  
 Dance like NLSG DET.SG.M

（あなたも知っている）ダンチェのような（私だけが知っている）人

d. aoyama ma kuroshima ma okeyai ni ke dani  
 Aoyama COM Kuroshima COM 3DU NLSG DET.PL.M like

（私だけが知っている）青山と黒島のような二人の人

e. ugeeniya ibo na ko doo-ta  
 snake big NLSG DET.SG.F see-IP

大きそうな蛇を見た

f. ita-awe ida mogo enaa na ko to-p-a  
 road-at LOC stone good NLSG DET.SG.F be-MP-3SG.F.S

道に美しそうな石がある

g. gekee~gekee na ko mee gaa-p-a  
 rustle~RDP NLSG DET.SG.F person think-MP-1SG.S

ガサガサ音がしていたので人かと思った

h. yame yoka na kaa emo na-duwa-p-i  
 male child NLSG GEN.INDF blood 1SG.BEN<sub>2</sub>-cut-MP-3SG.M.S

ある男の子に血を吸われた

- i. yagumo yoka na kaa emo na-duwa-p-a  
 female chilg NI.SG GEN.INDF blood 1SG.BEN<sub>2</sub>-cut-MP-3SG.F.S  
 ある女の子に血を吸われた
- j. noogei na ki amaiya ani ya  
 1SG.friend NI.SG DET.SG.M two.days.ago 1SG GEN.DEF  
 owa-apa me-ta  
 house-ALL come-IP  
 ある友達がおととい私の家へ来た
- k. ani papua kaa mee ida-ana na kaa  
 1SG Papua APS person CLF-one NI.SG GEN.INDF  
 mee mana na-topi-p-i  
 Mee language 1SG.O-teach-MP-3SG.M.S  
 私に(私だけが知っている)一人のパプアの人がメエ語を教えてくれた。
- l. ani papua kaa mee ida-wiya ni kaa  
 1SG Papua APS person CLF-two NI.PL GEN.INDF  
 mee mana na-topi-p-ai  
 Mee language 1SG.O-teach-MP-3PL.S  
 私に(私だけが知っている)二人のパプアの人がメエ語を教えてくれた。
- m. okai ki papua kaa mee ida-ana na  
 3SG DET.SG.M Papua APS person CLF-two NI.PL  
 kaa mee mana e-topi-p-i  
 GEN.INDF Mee language 3O-teach-MP-3SG.M.S  
 彼には(私だけが知っている)一人のパプアの人がメエ語を教えた。

したがって定の名詞句に na/ni を付すことはできないようであるが、さらに確認が必要である。

- cf. n. ani ki okai ya mee mana  
 1SG DET.SG.M 3SG GEN.DEF Mee language  
 na-topi-p-i  
 1SG.O-teach-MP-3SG.M.S  
 私に彼がメエ語を教えてくれた。

cf. o. \*ani ki okai na ya mee mana  
 1SG DET.SG.M 3SG NI.SG GEN.DEF Mee language  
 na-topi-p-i  
 1SG.O-teach-MP-3SG.M.S  
 [非文]

cf. p. okai ki kou papua kaa mee kou ya  
 3SG DET.SG.M DEM.SG.F Papua APS person DEM.SG.F GEN.DEF  
 mee mana e-topi-p-i  
 Mee language 3O-teach-MP-3SG.M.S  
 彼にはそのパプアの人がメエ語を教えた。

q. wido dani ni ke / gaati dani ni ke  
 three like NI.PL DET.PL.M / ten like NI.PL DET.PL.M  
 3つくらい 10くらい

### 7.3.9. 名詞句に係る注意喚起の新情報の標識 nu / no [polite]

名詞句の指示対象について、話し手は知っているが聴き手は知らないばあいには、それが新情報であることを、標識 nu (丁寧形は no) を付して明示し、聴き手の注意を喚起することができる。

(11) a. aki ya ke-eg-a ani ya nu  
 2SG GEN.DEF become-RP-3SG.F.S 1SG GEN.DEF NI.VOC  
 あなたの物か (あなたの物ではない) 、私の物だ

b. wilem songonau ya ko ekagi nu ni-ti-ta  
 Wilem Songonau GEN.DEF DET.SG.F Ekagi NI.VOC 1PL.O-do-IP  
 ウィレム・ソンゴナウが我々をなんとエカギにした

### 7.3.10. 名詞句に係る意外性の標識 meeya

日本語の「も」「までも」に類似する。名詞句の指示対象について、それが話し手にとって意外な驚きの対象であるばあいには、それが意外性の新情報であることを、標識 meeya を付して明示することができる。暫定的にひとまとまりの語としたが、文例も限られており、音形と意味が類似する maiya との関係や、疑問助詞の mee との関係など、さらなる解明のための調査が必要である。

- (12) a. mee idibi meeya me-ta  
 person five MIR come-IP  
 5人も来た (来たのは5人だった)
- b. idibi meeya ki-ta  
 five MIR become-IP  
 5人も来た (来たら5人だった)
- c. idibi meeya ki-p-ai  
 five MIR become-MP-3PL.S  
 なんと五匹も生まれた (予想していなかった)

#### 7.4. 文節に係る対比・新情報・モダリティの標識

調査のなかで確認された文節に係る標識としては、1) 名詞句に係るのと同じで日本語の副助詞「も」に類似する maiya、2) やはり名詞句に係るのと同じの注意喚起の新情報の標識 nu / no、3) 事実性を保留する標識 naa、4) 蓋然性の標識の yuwa あるいは yuwa ewo、がある。それぞれの働きについて今後さらに解明されるべき点が多い。

##### 7.4.1. 具格と同形式の kaa による文節の対比の文例

文節に後続する対比の kaa は、名詞句に後続する対比の kaa に準じて、文で言われる事態を他と対比する。

- (13) a. taka beu ti-yake kaa ee duwa  
 stamina NEG do-CVM FOC breath cut.IMP.SG  
 疲れたあ 休もう
- b. edi we-ete kaa koyokaa egaa uwi-ta  
 rain fall-PROG FOC CNJ quick go-IP  
 雨が降っていたので急いで行った
- c. ito kou wegai nee kaa ko tekeepo-opa  
 now DEM.SG.F speak-INF OPT FOC COMP pandanus-place  
 make keite-ig-ai manaa wegai nee  
 LOC work-HAB-3PL.S story speak-INF OPT  
 これから話すのは、パンダヌス園で為されていることの話しを話そう

#### 7.4.2. 文節に係る注意喚起の新情報などの標識 nu / no [polite]

文の内容について、話し手は知っているが聴き手は知らないばあいには、それが新情報であることを、標識 nu（丁寧形は no）を付して明示し、聴き手の注意を喚起することができる。

- (14) a. mewei            egaa        nai            nu  
           come.IMP.PL    quick      eat.IMP.PL    NI.VOC  
           早く食べよう
- b. mewei            egaa    uwi        no  
           come.IMP.PL    quick    go.IMP    NI.VOC.POL  
           さあ早く行こう
- c. ani    ki            ewo        nu  
           1SG    DET.SG.M    ignorant    NI.VOC  
           私は知らないぞ
- d. ani    ki            káiya    ewo        nu  
           1SG    DET.SG.M    where    ignorant    NI.VOC  
           私はどこなのか知らないぞ
- e. ani    ki            káiya    yuwa        ewo        nu  
           1SG    DET.SG.M    where    probable    ignorant    NI.VOC  
           どこにいるらしいのか私は知らないんだ
- f. kouda    kaa    ekina    beu    to-p-a            nu            máagiyoo    kaa  
           there    APS    pig      NEG    be-MP-3SG.F.S    NI.VOC      what        INS  
           あの豚いないね、どうしたの
- g. kouda    kaa    ani        ya            ekina    kodo        beu  
           there    APS    1SG    GEN.DEF    pig        DEM.SG.F    NEG  
           to-p-a                            nu  
           be-MP-3SG.F.S        NI.VOC  
           あそこの私の豚がないぞ

### 7.4.3. 共格と同形式の ma による文節の対比の文例

名詞句の対比の ma と平行して、文節の対比にも ma が用いられる。対比される文節は動詞不定形の文節となる。

- (15) a.   nai       ma       ko       dáá  
           eat.INF FOC       COMP   prohibition  
           食べてはいけない
- b.   uwii     ma       ko       dáá       ti-ta  
           go.INF FOC       COMP   prohibition do-IP  
           行ってはいけなかった
- c.   wako     kapuni   kaa     wegaa   tai       manaa   kodo     ko  
           lower   village   LOC   speak   do.HAB   language DEM.SG.F DET.SG.F  
           wegai     ma       ko       dáá  
           speak.INF FOC       COMP   prohibition  
           平地の村で話しする言葉を話したりするのは禁止

### 7.4.4. maiya による文節の対比の文例

文節に後続する対比の maiya は、名詞句に後続する対比の maiya に準じて、日本語の助詞「も」に類似する働きをする。文節に後続する maiya は、名詞句に後続する対比の na maiya に準じて、文節の対比として使われる。中過去時制文 [-p-naa maiya] の [-p-naa] は事実性を保留する標識（次項）と考えられる。maiya はまた補文標識としても機能している。

- (16) a.   aki     ki                   paniai   te       uwi-p-e       maiya   enaa  
           2SG   DET.SG.M       Paniai   NEG   go-MP-2SG.S   also   good  
           お前はパニアイに行かなくてもよい
- b.   aki     ki                   paniai   te       uwi-p-e       naa     maiya  
           2SG   DET.SG.M       Paniai   NEG   go-MP-2SG.S   HYP   also  
           enaa  
           good  
           お前はパニアイに行かなくてもよい

- c. ani ya gai ko paniai uwi-p-aa  
 1SG GEN.DEF think.INF COMP Paniai go-MP-2PL.S  
 maiya enaa  
 also good

私の思うに（君たちは）パニアイに行ってもいい

- d. keida kaa to-ta yokaaga-ido ke owaa migi-ta  
 there.PL LOC stay-IP youth-PL DET.PL.M house build-IP  
 kapaa watiya koodaa ki-touyo naa maiya  
 near side DEM.SG.F become-CVM HYP also  
 poto yato ki-touyo naa maiya  
 far place become-CVM HYP also

それらの場所で留まっている若者たちが小屋を建てた隣脇になっている  
 こともあり、（そこから）遠くになっていることもあり、

- e. poto yato ki-touyogo naa maiya okai ma  
 far place become-CVM HYP also 3SG COM  
 okai ma tou  
 3SG COM stay.INF

遠い所へ行くとしても彼と一緒に

#### 7.4.5. 事実性を保留する標識 (-p-) naa

時制文の内容について、その事実性が保留されるばあいには、中過去時制 -p-  
 が使われて標識 naa が付される。naa は事実性の保留と補文標識の機能を同時に  
 果たしている。

- (17) a. aki ki paniai uwi-p-e naa enaa  
 2SG DET.SG.M Paniai go-MP-2SG.S HYP good

お前はパニアイに行ってもよい

- b. aki ki paniai te uwi-p-e naa enaa  
 2SG DET.SG.M Paniai NEG go-MP-2SG.S HYP good

お前はパニアイに行かなくてもよい



c. ikii ke paniai uwi-p-aa naa enaa  
 2PL DET.PL.M Paniai go-MP-2PL.S NYP good  
 君たちはパニアイに行った方がいい (アドバイス)

d. ani ya gai ko paniai uwi-p-aa  
 1SG GEN.DEF think.INF COMP Paniai go-MP-2PL.S  
 naa enaa  
 HYP good  
 私の思うに (君たちは) パニアイに行った方がいい

反実仮定の条件節を導く形式 [-p- naa ko] は、事実性を保留する標識 [-p-naa ] に副詞節を導く補文標識 ko が付された形式と考えられる。

e. ani ki yagumo naa ko  
 1SG DET.SG.M woman HYP COMP  
 私が女ならば

f. ani tokiyo to-p-a naa ko  
 1SG Tokyo stay-MP-1SG.S HYP COMP  
 私が東京にいたら

以下の文例では、文に後続する naa ko と名詞句に後続する naa ko がみられるが、同音異義ととらえるべきものと考えられる。

g. aki egaa anigoo-p-e naa ko koma ena  
 2SG early wake.up-MP-2SG.S HYP COMP vehicle one  
 ida naa ko ki-to-yaa kodeya  
 LOC NI.SG DET.SG.F become-CONT-CVM CNJ  
 お前が早く起きていたならば、(お前の知らない) バスに間に合ったの  
 に [言い差し]

中過去時制 [-p-] ではない時制の文に naa が付され、やはり事実性が保留される文例もある。

- h. yosua ya ekina ko egaa uwee-teig-a  
 Joshua GEN.DEF pig DET.SG.F quick go-PFV-3SG.F.S  
 naa ko weda dani  
 HYP COMP fear like  
 ヨシュアの豚が走っているのは変だね

#### 7.4.6. 蓋然性の標識 *yuwa* あるいは *yuwa ewo*

時制のある文の内容について、その蓋然性が述べられるばあいには、時制文に標識 *yuwa* あるいは *yuwa ewo* が付される。*yuwa* は *yuwii* [hear] と語根が同一と思われ、伝聞の意味合いももつ可能性がある。さらに確認が必要である。

- (18) a. okai ki paniai to-p-i yuwa  
 3SG DET.SG.M Paniai stay-MP-3SG.M.S probable  
 彼はパニアイにいるかもしれない (現在)
- b. okai ki paniai beu to-p-i yuwa  
 3SG DET.SG.M Paniai NEG stay-MP-3SG.M.S probable  
 彼はパニアイにいないかもしれない (現在)
- c. okai ki paniai uwii pagi yuwa  
 3SG DET.SG.M Paniai go.INF NF<sub>1</sub>.3SG.M.S probable  
 彼はパニアイに行くかもしれない (確実近未来)
- d. okai ki paniai uwi-ta yuwa  
 3SG DET.SG.M Paniai go-IP probable  
 彼はパニアイに行ったかもしれない (不定過去)
- e. aweetaa tokiyo uwii ta yuwa ewo  
 tomorrow Tokyo go.INF DF.1SG.S probable ignorant  
 明日東京に行くかも知れない (遠未来)

*yuwa ewo* と組み合わせさって中過去時制 *-p-* が不確実な事態を表す文例がある。

- f. dance ki tokiyo uwi-p-i yuwa ewo  
 Dance DET.SG.M Tokyo go-MP-3SG.M.S probable ignorant  
 ダンチェは東京へ行ったかもしれない (中過去)

#### 7.4.7. 想像の標識 gaa

非現実相の *nee* で導かれる文に中過去の *ki-p-* が付され、さらに *gaa* が付された [*nee ki-p-V gaa*] 文により、話者の想像を表す。

- (19) a. okai ki bokai nee ki-p-i gaa  
 3SG DET.SG.M die.INF IRR become-MP-3SG.M.S imagine  
 あの人は死ぬかもしれないなあ

- b. inai wiyaa ke tee aa-bokai nee ki-p-e  
 1DU two DET.PL.M NEG DU-die.INF IRR become-MP-1PL.S  
*gaa*  
 imagine  
 僕ら二人は死なないかもしれないなあ

#### 7.4.8. 新情報を表す動詞の時制接辞 -emeg- [DP<sub>2</sub>]

遠過去 [DP] の時制接辞には、新情報を表す -emeg- [DP<sub>2</sub>] と、単なる遠過去の -eteg- [DP<sub>1</sub>] がある。過去の事態について話し手は知っているが聴き手は知らないばあいには、それが新情報であることを、動词语幹に時制接辞 -emeg- [DP<sub>2</sub>] を付して明示し、聴き手の注意を喚起することができる。

- (20) a. inii no-omeg-e  
 1PL eat-DP<sub>2</sub>-1PL.S  
 私たちは食べたのです
- b. tekeepo-opa uwii beu gaa ko eepipi tai  
 pandanus-place go.INF NEG time DET.SG.F preparation do.INF  
 agiyoo wiya dani eepipi nee-te-emeg-ai  
 thing two like preparation 1PL.BEN<sub>1</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 パンダヌス園へ行く前に準備するものをいくつか準備したのです
- c. kou agiyu-udo kou eepipi nee-te-emeg-ai  
 DEM.SG.F thing-PL DEM.SG.F preparation 1PL.BEN<sub>1</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 私たちはそれらのものを準備したのです

- d. tekeepo-opa ko uwaata tani idibi gaa  
 pandanus-place DET.SG.F afternoon o'clock five time  
 ko dakii nee-te-emeg-ai  
 DET.SG.F arrive.INF 1PL.BEN<sub>1</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 パンダヌス園には午後の5時ごろに着いたのです
- e. kouda make ko naitai ma nauwai maa  
 there LOC DET.SG.F 1SG.father COM 1SG.elder.brother PL  
 kede owaa nee-mige-emeg-ai  
 DEM.PL.M house 1PL.BEN<sub>1</sub>-build-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 それから父と兄たちは家（小屋）を作ったのです
- f. kouda make ko tekeepo-opa ko uno wii  
 there LOC DET.SG.F pandanus-place DET.SG.F sleep four  
 nee-umi-yake idibaago naago ko owa-apa  
 1PL.BEN<sub>1</sub>-live-CVM fifth day DET.SG.F house-ALL  
 yoko nee-me-emeg-ai  
 back 1PL.BEN<sub>1</sub>-come-DP<sub>2</sub>-3PL.S  
 それからパンダヌス園では四泊して五日目には家に戻ってきたのです

## 7.5. 断定の標識 — 副詞 maakidi

事実の断定は副詞（あるいは副詞的名詞） *maakidi* で表される。

- (21) a. okai ki ito kii maakidi paniai  
 3SG DET.SG.M now DEM.SG.M certainly Paniai  
 to-p-i  
 stay-MP-3SG.M.S  
 彼は今パニアイにいるにちがいない
- b. okai ki ito kii maakidi paniai beu  
 3SG DET.SG.M now DEM.SG.M certainly Paniai NEG  
 to-p-i  
 stay-MP-3SG.M.S  
 彼は今パニアイにいないにちがいない

## 7.6. 証拠性

### 7.6.1. 人称代名詞の双数形に後続する wiyaa の証拠性

調査の初頭では自立形の人称代名詞双数に wiyaa をつけないばあい(a)では証拠性がなく、wiyaa をつけるばあい(a')では直接経験の証拠性がある、とされた。さらに確認が必要と思われる。

(22) a. okeyai aa-boka-ta  
3DU DU-die-IP  
彼ら二人が死んだ (私は見なかった)

a'. okeyai wiyaa aa-boka-ta  
3DU two DU-die-IP  
彼ら二人が死んだ (私は見た)

b. aki ki inai wiyaa nigita  
2SG DET.SG.M 1DU two 1PL.O.hit-IP  
あなたは私たち二人を殴った

cf. c. aweetaa ko inai ke tee aa-meitage  
tomorrow DET.SG.F 1DU DET.PL.M NEG DU-come DF.1PL.S  
明日は私たち二人は来ません

### 7.6.2. 中過去 -p- の証拠性

以下の文例(a)でみるように、中過去 -p- は遠過去と対比して直接経験の証拠性があるとされた。事実性を保留する文で中過去時制が使われること(3.4.2.、6.4.9.、7.4.4.~7.4.7.)との関連を考慮すると、-p- は証拠性の現実相の標識としてとらえることもできるとと思われる。今後さらに調査と確認が必要と思われる。

(23) a. okai ki mee wagi-p-i  
3SG DET.SG.M person 3O.kill-MP-3SG.M.S  
彼は人を殺した (話者は見ていた~よく知っている)

cf. a'. okai ki mee wagi-ta  
3SG DET.SG.M person 3O.kill-IP  
彼は人を殺した (とされている)

b. ani ya mee wagi-p-a yuwa ewo  
 1SG GEN.DEF person 3O.kill-MP-1SG.S probable ignorant  
 私は人を殺していたようだ (泥酔して知らなかったが)

c. boka-yaawi-p-ai  
 die-PFV-MP-3PL.S  
 すごい! (人々が1日で畑仕事を終わったときに自分の目で見て)

cf. c'. boka-yaawe-eg-ai  
 die-PFV-RP-3PL.S  
 すごい! (人々が1日で畑仕事を終わったときに)

以下の文例も直接経験の証拠性の現実相の例と思われる。

d. ani yuma-apa ko uwo to-p-a  
 1SG nose-ALL DET.SG.F water be-MP-3SG.F.S  
 私の目の前に (Lit. 鼻の方に) 水がある

### 7.6.3. 確実近未来 -pig- / pag- の証拠性

以下の文例(a)でみるように、不確実近未来 neeg- と対比して確実近未来 pig- / pag- は話者の確実な想定という証拠性があるものと思われる。

(24) a. mei page mee beu  
 come NF<sub>1</sub>.2SG.S Q NEG  
 mei beu tai neeg-a  
 come.INF NEG do.INF NF<sub>2</sub>-1SG.S  
 mei beu tai pig-a  
 come.INF NEG do.INF NF<sub>1</sub>.1SG.S  
 来ますか?  
 来ないでしょう  
 来ません

b. mei pig-a  
 come- NF<sub>1</sub>.1SG.S  
 行ってきます (Lit. 私は確かに帰ってきます)

## 略語一覽

1: first person (1人称)	INS: instrumental case (具格)
2: second person (2人称)	IP: indefinite past (不定過去)
3: third person (3人称)	IRR: irrealis mood (非現実相)
ALL: allative case (向格)	LOC: locative case (所格)
APS: appositive case (同格)	M: masculine (男性)
BEN: benefactive case (受益者格)	MIR: mirative (驚愕)
CAUS: causative (使役化)	MP: middle past (中過去)
CLF: classifier (類別詞)	NEG: negation particle (否定詞)
CNJ: conjunction (接続詞)	NF <sub>1</sub> : near future I (確実近未来)
COM: comitative case (共格)	NF <sub>2</sub> : near future II (不確実近未来)
COMP: complementizer (補文標識)	NI: new-information (新情報)
CONT: continuous aspect (持続アスペクト)	O: object (目的語)
CVM: converb marker (副動詞標識)	OPT: optative mood (希求モード)
DAT: dative case (与格)	PFV: perfective aspect (完了アスペクト)
DEL: delative case (離格)	PL: plural (複数)
DEF: definite (定)	PMS: permissive mood (許可モード)
DEM: demonstrative (指示詞)	POL: polite mood (丁寧モード)
DET: determiner (限定詞)	PPROG: past progressive (過去進行)
DF: distant future (遠未来)	PROG: present progressive (現在進行)
DP <sub>1</sub> : distant past I (遠過去I)	Q: question particle (疑問助詞)
DP <sub>2</sub> : distant past II (遠過去II)	RECP: reciprocal prefix (相互形動詞接頭辞)
DU: dual (双数)	RDP: reduplication (反復)
F: feminine (女性)	REFL: reflexive pronoun (再帰形代名詞)
FOC: focus marker (焦点・とりたて)	RES: resultative aspect (結果アスペクト)
GEN: genitive case (属格)	RP: recent past (近過去)
HAB: habitual (習慣)	S: subject (主語)
HON: honorific (敬語)	SG: singular (単数)
HYP: hypothesis (仮想)	SPN: spontaneous (自発)
IMP: imperative mood (命令モード)	TER: terminative case (到格)
INC: inchoative aspect (始動アスペクト)	TRM: terminative aspect (終結アスペクト)
INDF: indefinite (不定)	VOC: vocative suffix (呼びかけ)
INF: infinitive (動詞不定形)	

## 第7章

### メエ語テキスト：パンダヌス園にまつわる三つの話

塩原朝子・Nawipa Dance

Nawipa講師が研修で語った三つの話を書き起こし、英語グロス、日本語訳、英語訳、インドネシア語訳、をつけた。いずれもメエ人が住むパニアイの人々にとって重要な意味を持つ場所「パンダヌス園」に関する話である。

キーワード：メエ語テキスト、パニアイ、パンダヌス

Keywords: Mee language text, Paniai, Pandanus

1. イントロダクション
2. パンダヌス園で最初にみる夢
3. パンダヌス園に行ったとき
4. パンダヌス園でのしきたり

#### 1. イントロダクション<sup>1</sup>

この章ではNawipa講師が語ったいくつかの物語のうち「パンダヌス園」に関する話を収録した。テキスト1と2は研修中に語られた話、テキスト3は研修後の調査で語られた話である。

テキスト1ではパンダヌス園でみた夢の話、テキスト2ではNawipa講師が子どものころ父や兄弟とパンダヌス園に行ったときの話、テキスト3ではパニアイの人々がパンダヌス園に行く際のしきたりが語られている。以下に内容の概略を示す（テキストに語られていない背景情報も含む）。

パニアイの人々にとってパンダヌスの実は貴重な食糧である。人々は時々家族、または親類・友人のグループでパニアイの近くの山にあるパンダヌス園に実を取りに行く。子どもだったNawipa講師が父親や兄弟と出かけたときは、パンダヌス園は村から遠いため、早朝に出発し、四泊五日ほどの日程で出かけた。現地では、

<sup>1</sup> テキスト1,2の書き起こし、形態素分析、訳は研修中に講師と受講生全員で行った。テキスト3については、講師二人が最初に作業を行った後、「研修フォローアップミーティング」(2019.02.05-08)などで参加者のコメントを受け修正した。とはいえ、記述中の誤りはすべて第一著者に帰するものである。



仮の小屋を組み立てて滞在した（テキスト 2 より）。パンダヌス園はパニアイの人々にとって特別な場所とされており、そこに初めて行った時にみた夢は必ずかなう、と言われている（テキスト 1 より）。また、パンダヌス園に行く際は村にいる時とは異なる特別なことばを使うなど、様々なしきたりに従うことになっている（テキスト 3 より）。

Nawipa 講師がそれぞれの物語を語った際に撮影したビデオは動画共有サービス YouTube を通して公開中である。それぞれのアドレスを以下に示す。

テキスト1: <https://www.youtube.com/watch?v=L3WL-ubwqTQ>

テキスト2: <https://www.youtube.com/watch?v=ywGdeB6Qdwk>

テキスト3: [https://www.youtube.com/watch?v=is-QA0t\\_oFk](https://www.youtube.com/watch?v=is-QA0t_oFk)

テキストの提示方法は以下の通りである。一行目は発話をそのまま書き取ったもの、二行目はそれに形態素分析を施したもの、三行目はグロスである。その後文ごとに日本語、英語、インドネシア語の訳をこの順に付した。<sup>2</sup>

## 2. テキスト 1: パンダヌス園で最初にみる夢

(1)

<i>ewa</i>	<i>teduwai</i>	<i>ko</i>	<i>daa</i>	<i>bagumee</i>
ewa	te-duwai	ko	daa	bagume
being	NEG-cut.INF	DET.SG.F	must.not	dream

「絶対になかなう夢（叶わないことがありえない夢）」

‘A dream that must come true.’

‘Mimpi yang pasti akan terjadi.’

(2)

<i>Paniai</i>	<i>ko</i>	<i>tika</i>	<i>kodaa</i>	<i>make</i>
Paniai	ko	tika	kodaa	make
Paniai	DET.SG.F	long.time.ago	DEM.SG.F	from

<i>miyo</i>	<i>wegaiwegaieteetai</i>	<i>manaa</i>	<i>ena</i>	<i>topa</i>
miyo	wegai~wegai-tee-tai	mana	ena	to-p-a
down	tell~RDP-do-customary	story	one	exist-MP-3SG.F.S

<sup>2</sup> インドネシア語訳はNawipa講師がつけた逐語訳を物語風のインドネシア語に改変したものである。改変にあたってはインドネシア科学院 (LIPI) のKatubi博士の協力を得た。

「パニアイでは昔から言い伝えられている話の一つある。」

‘There is a story in Paniai that has been handed down since a long time ago.’

‘Di Paniai ada suatu ceritera turun temurun.’

(3)

<i>kou</i>	<i>ko</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>edoogamedooga</i>	<i>uwiyake</i>
kou	ko	tekeepoo-epa	edooga-medooga	uwi-yake
DEM.SG.F	DET.SG.F	tekeepoo-place	first	go-CVM

<i>kouda</i>	<i>make</i>	<i>doota</i>	<i>bagume</i>	<i>kou</i>	<i>ko</i>
kouda	make	doo-ta	bagume	kou	ko
DEM.SG.F	from	see-IP	dream	DEM.SG.F	DET.SG.F

<i>umiitou</i>	<i>duba</i>	<i>ewa</i>	<i>teduwai</i>	<i>ko</i>	<i>daa</i>	<i>koyokaa</i>
umiitou	duba	ewa	te-duwai	ko	daa	koyokaa
life	in	being	NEG-cut.INF	DET.SG.F	must.not	because

<i>adaku</i>	<i>ko</i>	<i>te-tai</i>	<i>wegaatai</i>
adaku	ko	te-tai	wegaa-tai <sup>3</sup>
forget	DET.SG.F	NEG-do.INF	tell-customary

「それはパンダヌス園に初めて行き、そこで見た夢はくらしの中で必ずかなう（断ち切れないのが確かだ）から忘れることのないように、と言われている。」

‘The story tells about the dream you have when you go to the pandanus orchard for the first time. It is said that the dream must come true in your life, so you should never forget it.’

‘Yaitu, mimpi yang kami lihat waktu kita pergi ke kebun pandan pertama kali tidak boleh dilupakan karena itu pasti akan terjadi di dalam kehidupan sehari-hari, menurut ceritera itu.’

(4)

<i>daana</i>	<i>kou</i>	<i>doota</i>	<i>bagume</i>	<i>kodoko</i>	<i>mee</i>	<i>inoopa</i>	<i>ko</i>
daana	kou	doo-ta	bagume	kodoko	mee	ino-epa	ko
and	DEM.SG.F	see-IP	dream	DEM.SG.F	people	some-place	DET.SG.F

<sup>3</sup> 動詞（ここでは動詞wegai「言う、話す」）の語幹II+軽動詞tai‘do’は習慣を示す。ここでは「言われている」と訳した。（別の例 etopee-tai‘教える+tai’習慣として教えている（教師である）」

<i>oowegaawegaa</i>	<i>ko</i>	<i>tetai</i>	<i>wegaatai</i>
oo-wegaa~wegaa	ko	te-tai	wegaa-tai
3.BEN <sub>2</sub> -tell~RDP	DET.SG.F	NEG-do.INF	tell-customary

「そしてその見た夢は、他の人には話してはいけないと言われている。」  
 ‘It is said that you must not tell other people the dream you have there.’  
 ‘Menurut ceritera itu, Minpi itu tidak boleh berceritera dengan orang lain.’

(5)

<i>ani</i>	<i>kidi</i>	<i>akaato</i>	<i>maiya</i>	<i>edoogamedooga</i>
ani	kidi	akaato	maiya	edooga-medooga
1SG	DEM.SG.M	oneself	also	first

<i>uwita</i>	<i>gaa</i>	<i>kodo</i>
uwi-ta	gaa	kodo
go-IP	time	DEM.SG.F

<i>doota</i>	<i>bagumee</i>	<i>ko</i>	<i>ena</i>	<i>topa</i>
doo-ta	bagume	ko	ena	to-p-a
see-IP	dream	DET.SG.F	one	exist-MP-3SG.F.S

「私自身も初めて行ったときに見た夢が一つある。」  
 ‘I myself had a dream when I went there for the first time.’  
 ‘Saya juga melihat mimpi waktu pertama kali ke sana.’

(6)

<i>kou</i>	<i>doota</i>	<i>bagumee</i>	<i>kodo</i>	<i>naitai</i>	<i>ma</i>	<i>oowegayake</i>
kou	doo-ta	bagume	kodo	naitai	ma	oo-wega-yake
DEM.SG.F	see-IP	dream	DEM.SG.F	1SG.father	with	3.BEN <sub>2</sub> -tell-CVM

<i>naitai</i>	<i>eneete</i>	<i>ko</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>make</i>
naitai	eni-ete	ko	tekeepoo-epa	make
1SG.father	1SG.O.say-PROG	DET.SG.F	tekeepoo-place	from

<i>doota</i>	<i>bagumee</i>	<i>ko</i>
doo-ta	bagume	ko
see-IP	dream	DET.SG.F

<i>ewa</i>	<i>teduwai</i>	<i>ko</i>	<i>daa</i>	<i>wegaigai</i>	<i>koyokaa</i>
ewa	te-duwai	ko	daa	wega-ig-ai	koyokaa
being	NEG-cut.INF	DET.SG.F	must.not	tell-HAB-3PL.S	because

<i>mee</i>	<i>inoo</i>	<i>ma</i>	<i>ko</i>	<i>teeoowegai</i>	<i>eneemegi</i>
mee	ino	ma	ko	tee-oo-wegai	ene-emeg-i
people	some	with	DET.SG.F	NEG-3.BEN <sub>2</sub> -tell.INF	1SG.O.tell-DP <sub>2</sub> -3SG.M.S

「その見た夢を父に話したところ、父が話していたのは ... パンダヌス園で見た夢は必ず叶うと言われているから他の人には話さないように、と言ってくれた。」  
 ‘When I told my father about the dream that I saw, he told me that the dream you have in the pandanus orchard must come true, and you must not tell it to other people.’  
 ‘Saya bercerita dengan bapak. Bapak beritahu kepada saya bahwa mimpi yang lihat di kebun pandanus itu, orang bilang pasti akan terjadi, sehingga jangan bicara kepada orang lain.’

(7)

<i>okai</i>	<i>kii</i>	<i>ya</i>	<i>to</i>	<i>nagaayaaweegaa</i>
okai	kii	ya	to	naa-gaa-yaawe-eg-aa
3SG	DEM.SG.M	GEN	till	1SG.BEN <sub>2</sub> -consider-ACCOMP-RP-2PL.S

「話はここまで、ありがとう(=あなたたちは私のことをよく考え(てくれ)た。)」  
 ‘That’s it (lit. it is until this). Thank you. (lit. You really cared for me.)’  
 ‘Sekian, terima kasih.’

### 3. テキスト2: パンダヌス園にいったとき

(1)

*tekeepoo*  
 tekeepoo  
 pandanus

「パンダヌス」  
 ‘Pandanus’  
 ‘Tekeepoo (pandan).’

(2)

*tekeepoopa*  
tekeepoo-epa  
pandanus-place

「パンダヌス園」

‘A pandanus orchard’

‘Kebun Pandan.’

(3)

<i>ani</i>	<i>yokaida</i>	<i>naitai</i>	<i>ma</i>	<i>nauwai</i>	<i>maa</i>
ani	yoka-ida	naitai	ma	nauwai	maa
1SG	child-time	1SG.father	with	1SG.brother	PL

<i>ma</i>	<i>inii</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>uwii</i>
ma	inii	tekeepoo-epa	uwii
with	1PL	pandanus-place	go.INF

「わたしは子どものころ、父と兄たちと（私たちは）パンダヌス園へ行った。」

‘When I was a child, I went to the pandanus orchard with my father and brother.’

‘Waktu saya kecil, saya pergi ke kebun Pandan dengan bapak saya dan kakak saya.’

(4)

<i>tekeepoopa</i>	<i>uwii</i>	<i>beu</i>	<i>gaa</i>	<i>ko</i>	<i>eepi</i>	<i>tai</i>
tekeepoo-epa	uwii	beu	gaa	ko	eepi	tai
pandanus-place	go.INF	not	time	DET.SG.F	preparation	do.INF

<i>agiyo</i>	<i>wiyadani</i>	<i>eepi</i>	<i>neeteemegai</i>
agiyo	wiya-dani	eepi	nee-te-emeg-ai
things	two-like (a.few)	prepare	1PL.BEN <sub>2</sub> -do-DP <sub>2</sub> -3PL.S

「パンダヌス園へ行く前に、彼らは準備しなければならないものを（私たちのために）いくつか準備した。」

‘Before going to the pandanus orchard, they prepared several things that were to be prepared for us.’

‘Sebelum pergi ke kebun pandan, mereka menyiapkan barang-barang yang perlu untuk kami.’

(5)

*edooga tekeepoo awii agiya, wiyagoo ko mawai,*  
edooga tekeepoo awii agiya, wiyagoo ko mawai,  
first pandanus put.in.INF net.bag second DET.SG.F sickle

*koudamake ko yika, dugi daana eba,*  
kouda-make ko yika, dugi daana eba,  
then DET.SG.F axe potato and cover

*kou agiyoudo kou epeepii neeteemegai*  
kou agiyo-udo kou epeepii nee-te-emeg-ai  
DEM.SG.F things-like DEM.SG.F preparation 1PL.BEN<sub>2</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S

「まずはパンダヌスの実を入れるもの（網袋）、二番目は鎌、そして斧、芋、それから笠、（彼らは）それらのものを準備していた。」

‘First, a net bag to put pandanus fruits in, second, a sickle, then an axe, a potato, and a cover. They prepared those things for us.’

‘Pertama, tas untuk memasukkan buah pandan, kedua, arit, kappak, dan tikar hujan. Mereka menyiapkan barang-barang itu.’

(6)

*owaapa make tekeepoopa too ko poto koyokaa*  
owaa-epa make tekeepoo-epa too ko poto koyokaa  
house-place from tekeepoo-place till DET.SG.F far because

*owaapa make ko abata ma podomiyake*  
owaa-epa make ko abata ma podomi-yake  
house from DET.SG.F morning with go.out-CVM

*tekeepoopa ko uwaata tani*  
*tekeepoo-epa ko uwaata tani*  
pandanus-place DET.SG.F afternoon o'clock

*idibi gaa ko dakii neeteemegai*  
idibi gaa ko dakii nee-te-emeg-ai  
five time DET.SG.F arrive 1PL.BEN<sub>2</sub>-do-DP<sub>2</sub>-3PL.S

「家からパンダヌス園までは遠いので、（私たちは）朝に家を出て、パンダヌス園には午後の5時ごろに着いていた。」

‘Because the pandanus orchard was far from our house, we departed from the house in the morning. We arrived (lit. they arrived for us) at the pandanus orchard at five o’clock in the afternoon.’

‘Kebun pandan itu jauh dari rumah, kami berangkat pagi-pagi, dan sampai ke kebun pandan sampai jam 5 sore.’

(7)

<i>koudamake</i>	<i>ko</i>	<i>naitai</i>	<i>ma</i>
koudamake	ko	naitai	ma
then	DET.SG.F	1SG.father	with

<i>nauwai</i>	<i>maa</i>	<i>kede</i>	<i>owaa</i>	<i>neemigeemegai</i>
nauwai	maa	kede	owaa	nee-mige-emeg-ai
1SG.brother	PL	DEM.PL.M	house	1PL.BEN <sub>1</sub> -make-DP <sub>2</sub> -3PL.S

「それから父と兄たちは私たちのために家（小屋）を作った。」

‘Then my father and brothers made a house for us.’

‘Sesudah itu, bapak saya dan kakak saya membangun pondok untuk kami.’

(8)

<i>koudamake</i>	<i>ko</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>ko</i>
koudamake	ko	tekeepoo-epa	ko
then	DET.SG.F	pandanus-place	DET.SG.F

<i>uno</i>	<i>wii</i>	<i>neeumiyake</i>
uno	wii	nee-umi-yake
sleep	four	1PL.BEN <sub>2</sub> -stay-CVM

<i>idibaagonaagoo</i>	<i>ko</i>	<i>owaapa</i>	<i>yoko</i>	<i>neemeemegai</i>
idibi-ago-naago	ko	owa-epa	yoko	nee-me-emeg-ai
fifth.day	DET.SG.F	house-place	front	1PL.BEN <sub>2</sub> -come-DP <sub>2</sub> -3PL.S

「それからTekeepoopaでは四晩泊まって、五日目には（私たちのために）家に戻ってきた。」

‘Then having stayed (lit. for us) for four nights in the pandanus orchard, we came back (lit. they came back for us) on the fifth day.’

‘Sesudah itu, kami nginep empat malam, dan kelima hari, kami pulang ke rumah.’

(9)

<i>okai</i>	<i>kou</i>	<i>ya</i>	<i>to</i>
okai	kou	ya	to
3SG	DEM.SG.M	GEN	until

「話はここまで」

‘That’s it. (lit. it is until this.)’

‘Sekian’

(10)

*nagaayaweehao*

*naa-gaa-yawe-eg-aa-oo*

1SG.BEN<sub>2</sub>-consider-ACCOMP-RP-2PL.S-INTERJ

「ありがとうございました。」

‘Thank you. (lit. You really cared for me.)’

‘Terima kasih.’

#### 4. テキスト3: パンダヌス園でのしきたり

(1)

<i>itokou</i>	<i>aniya</i>	<i>wegainee</i>	<i>ko</i>	<i>Paniai</i>	<i>make</i>
ito-kou	ani-ya	wegai-nee	ko	Paniai	make
now	1SG-GEN	tell-OPT	DET.SG.F	Paniai	at

<i>keiteigai</i>	<i>mana</i> <sup>4</sup>
keite-ig-ai	mana
do-HAB-3PL.S	things

「今から私が話すのは、パニアイの習慣（パニアイで人々がしていることです。）」

‘Now I will talk about what we are doing in Paniai.’

‘Hal yang saya mau bicara adalah hal yang dilakukan di Paniai.’

<sup>4</sup> 名詞manaは「ことば」「話」を表す場合もあるが（例 Mee mana 「メエ語」）、ここでは日本語の「こと」に近い意味を表す。グロスはthingsとした。



(2)

<i>kou</i>	<i>keiteigai</i>	<i>mana</i>	<i>kodoko</i>	<i>wedaba</i>	<i>topai</i>
kou	keite-ig-ai	mana	kodoko	wedaba	to-p-ai
DEM.SG.F	do-HAB-3PL.S	things	DEM.SG.F	many	exist-MP-3PL.S

<i>kodoya itokou</i>	<i>wegai</i>	<i>nee</i>	<i>kaa</i> <sup>5</sup>	<i>ko</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>make</i>
kodoya itokou	wegai	nee	kaa	ko	tekeepoo-epa	make
though now	tell	OPT	CT	DET.SG.F	pandanus-place	at

<i>keiteigai</i>	<i>mana</i>	<i>wegai</i>	<i>ne</i>
keite-ig-ai	mana	wegai	ne
do-HAB-3PL.S	story	tell.INF	OPT

「彼らの習慣はたくさんありますが、これから話したいのは、パンダヌス園で人々が習慣的にしていること（を話したい）です。」

‘Actually there are many things they are doing there, but now I will talk about the things that are being done in the pandanus orchard.’

‘Hal-hal yang dilakukan sebenarnya ada banyak, namun (tetapi), sekarang (saya) mau bicarakan hal yang dilakukan di kebun pandan (di tempat ada buah pandan).’

(3)

<i>edoogamedooga</i>	<i>ko</i>	<i>Paniai</i>	<i>bage</i>	<i>Tekeepoopa</i>	<i>uwii</i>	<i>beu</i>	<i>gaa</i>
edooga-medooga	ko	Paniai	bage	tekeepoo-epa	uwii	beu	gaa
first	DET.SG.F	Paniai	people	pandanus-at	go.INF	NEG	time

<i>aiko</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>make</i>	<i>keitainee</i>
aiko	tekeepoo-epa	make	keитай-nee
there.in.the east	pandanus-place	at	do-OPT

<i>agiyo</i>	<i>epeepi</i>	<i>teigai</i>
agiyo	epeepi	te-ig-ai
things	prepare	do-HAB-3PL.S

「初めてパニアイの人たちがパンダヌス園へ行く前には、行く前にパンダヌス園で使う品物を準備するものです。」

<sup>5</sup> Nawipa講師によると、たくさんの習慣の中で今日はパンダヌス園での習慣を話すという対比を示すために、小辞*kaa*を用いているとのことである。グロスはcontrastive topic(CT)とつけた。ここで*kaa*がない文も文法的には容認される。

‘First, before the Paniai people go to there, to the pandanus orchard, they prepare (necessary) things.’

‘Pertama-tama itu orang Paniai sebelum pergi ke kebun pandan (sana) mereka menyiapkan barang-barang yang dilakukan disana (kebun pandan).’

(4)

<i>kouko</i>	<i>dugi</i>	<i>ma</i>	<i>yika</i>	<i>koudamake</i>	<i>tekeepo</i>	<i>awiine</i>	<i>agiyaa</i>
kouko	dugi	ma	yika	kouda-make	tekeepo	awii-ne	agiyaa
DEM.PL.F	potato	with	axe	then	tekeepoo	put.in-OPT	net.bag

<i>dana</i>	<i>eba</i>	<i>koudani</i>	<i>tikitiki</i>	<i>timakiyake</i> <sup>6</sup>
dana	eba	kou-dani	tiki-tiki	ti-makiyake
and	cover	DEM.SG.F-like	prepare	do-after

<i>ko</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>uweigai</i>
ko	tekeepoo-epa	uwe-ig-ai
DET.SG.F	pandanus-place	go-HAB-3PL.S

「それらは、食糧（サツマイモ）と斧、それにパンダヌスの実を入れる袋、そして笠、それらを全部準備してパンダヌス園へ行きます。」

‘Potatoes, an axe, a net bag to put pandanus fruits in, and a cover. After having prepared those things, they go to the pandanus orchard.’

‘Itu adalah ubi dan kampak kemudian noken untuk mengisi buah pandan kemudian koba; menyiapkan barang-barang itu lalu (kemudian) pergi.’

(5)

<i>koudamake</i>	<i>aiko</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>dakii</i>	<i>titouyogoo</i>
kouda-make	aiko	tekeepoo-pa	dakii	ti-touyogoo
then	there.in.the west	pandanus-place	arrive	do-if

<i>ko</i>	<i>owaa</i>	<i>migi-yakee</i>	<i>ko</i> <sup>7</sup>
ko	owaa	migi-yakee	ko
DET.SG.F	house	build-CVM	DET.SG.F

<sup>6</sup> この要素maki-yakeは動詞makii 「置く」に副動詞語尾-yakeのついた形であるが、「～のあとで」という意味を表すため、ここでは接続詞として‘after’とグロスをつけた。

<sup>7</sup> 最後に現れているのは副動詞語尾のついた動詞形だが、語り手Nawipa講師によると「ここでこの文は終わり」とのこと。なお、このkoがない文も許容されるとのことであった。

「それからパンダヌス園へ到着したならば、小屋を建てます。」

‘Then, when (they) arrive there, at the pandanus orchard, (they) build a house.’

‘Kemudian setelah mereka tiba di kebun pandan, (mereka) membuat/ bangun rumah.’

(6)

<i>Tekeepoopa</i>	<i>make</i>	<i>keitiyaa</i>	<i>iyeeiyee</i>
tekeepoo-epa	make	keiti-yaa	iyee-iyee
Pandanus-place	at	work-be.supposed.to	ways/ methods

<i>mana</i>	<i>kou</i>	<i>dani</i>	<i>wiyadani</i>	<i>topai</i>
mana	kou	dani	wiya-dani	to-p-ai
things	DEM.SG.F	like	two-things	exist-MP-3PL.S

「パンダヌス園でものごとを行うことになっている方法がいくつかあります。」

‘There are several things and methods that are supposed to be done in the pandanus orchard.’

‘Ada beberapa hal yang dilakukan di kebun pandan, itu ada beberapa hal.’

(7)

<i>itokou</i>	<i>ani</i>	<i>ya</i>	<i>wegainee</i>	<i>ko</i>	<i>okai</i> <sup>8</sup>	<i>kou</i>
itokou	ani	ya	wegai-nee	ko	okai	kou
now	1SG	GEN	tell-OPT	DET.SG.F	3SG	DEM.SG.F

<i>tekeepoopa</i>	<i>make</i>	<i>wegayaa</i>	<i>mana</i>	<i>too</i>	<i>wegainee</i>
tekeepoo-epa	make	wega-yaa	mana	too	wegai-nee
pandanus-place	at	tell-supposed.to	words	only	tell-OPT

「(上記のいくつかのうちの)、これから私は(私が話すのは)、それ、そのパンダヌス園で話すことになっていることばについてだけ話しましょう。」

‘I will only tell the language that is supposed to be spoken in the pandanus orchard.’

‘Sekarang yang mau saya ceritakan adalah, hanya Bahasa yang digunakan di kebun pandan.’

<sup>8</sup> この3人称代名詞は、その直後に同格で現れる ‘kou tekeepoopa make wegayaa mana’ 「パンダヌス園で話すことになっていることば」を指すとのこと。

(8)

<i>kou</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>kodaa</i>	<i>dakii</i>	<i>titouyogo</i>	<i>ko</i>
kou	tekeepoo-epa	kodaa	dakii	ti-touyogo	ko
DEM.SG.F	pandanus-place	DEM.SG.F	arrive	do-if	DET.SG.F

<i>mee</i>	<i>utoma</i>	<i>okai</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>make</i>
mee	utoma	okai	tekeepoo-epa	make
people	all	3SG	pandanus-place	at

<i>wegayaa</i>	<i>manaa</i>	<i>kodo</i>	<i>too</i>	<i>wegamake</i>
wega-yaa	manaa	kodo	too	wega-make
tell-be.supposed.to	languages	DEM.SG.F	only	tell-possible

「パンダヌス園に到着したら、人はみんな、パンダヌス園で話すことになっている言葉だけを話すことができます。」

‘After (lit. if) having arrived at the pandanus place, people can speak only the languages that are supposed to be spoken in the pandanus orchard.’

‘Kalau (sudah) tiba di kebun pandan, semua orang harus berbicara dalam Bahasa yang sudah ditetapkan.’

(9)

<i>wako</i>	<i>kapuni</i>	<i>kaa</i>	<i>wegaatai</i>	<i>manaa</i>
wako	kapuni	kaa	wegaa-tai	manaa
over.there	village	CT	tell-do.INF	languages

<i>kodoko</i>	<i>wegai</i>	<i>ma</i>	<i>ko</i>	<i>daa</i>
kodoko	wegai	ma	ko	daa
DEM.SG.F	tell.INF	with	DET.SG.F	prohibited

「向こう（低い方）の村で話すことばを話すのは禁止です。」

‘It is prohibited to speak a language there that is spoken in the village.’

‘Bahasa yang digunakan di kampung tidak diperbolehkan.’

(10)

<i>tiyake</i>	<i>kou</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>make</i>	<i>wegayaa</i>	<i>gaa</i>
tiyake	kou	tekeepoo-epa	make	wega-yaa	gaa
then	DEM.SG.F	pandanus-place	at	tell-be.supposed.to	time

<i>kodo</i>	<i>wegayaa</i>	<i>ko</i>	<i>uwo</i>	<i>kouko</i>	<i>dobauga</i>	<i>teigai</i>
kodo	wega-yaa	ko	uwo	kouko	doba-uga	te-ig-ai
DEM.SG.F	tell-be.supposed.to	DET.SG.F	water	DEM.SG.F	valley-at	do-HAB-3PL.S

「だから、パンダヌス園で話すとき、話すことになっているのは、「水」[uwo]なら「谷（堀）のところ」[doba-uga]です。」

‘So, in the pandanus orchard, when you say something, what you talk about “water”, you use the word *doba-uga*, that is, the valley.’

‘Lalu waktu mau berbicara di kebun pandan itu, bahasa yang digunakan sementara di kebun pandan adalah: air adalah *dobauga*.’

(11)

<i>koudamake</i>	<i>ko</i>	<i>edi</i>	<i>kouko</i>	<i>mogoodiyo</i>
koudamake	ko	edi	kouko	mogo-odiyo
then	DET.SG.F	rain	DEM.SG.F	stone-drop

<i>koudamake</i>	<i>dugi</i>	<i>kouko</i>	<i>upeiyee</i>	<i>gekee</i>
koudamake	dugi	kouko	upe-iyee	gekee
then	potato	DEM.SG.F	mat-leaf	sound

<i>daana</i>	<i>obe</i>	<i>kouko</i>	<i>age</i>	<i>ena</i>	<i>kigikigi</i>
daana	obe	kouko	age	ena	kigi-kigi
and	tool.to.bring.fire	DEM.SG.F	sitting.place	one	scatter

「そして、雨は石の雫、<sup>9</sup> それから、芋は敷物の草の音。<sup>10</sup> そして、オベ（火の中から芋を挟み取る道具）は、「座から座に行ったりきたりする（もの）」<sup>11</sup>（という。）」

‘Then, the rain is a drop from a stone, the potato is a noise that a grass mat makes, the obe (a kind of fire tongs) is things that go back and forth among the sitting places.’

‘Kemudian hujan adalah mogoodiyoo, kemudian ubi adalah ‘upeiyegeke’, lalu, obe (alat untuk angkat ubi dari dalam api) disebut ‘ageena kigi-kigi.’

<sup>9</sup> パンダヌス園では崖の石の間から水が落ちてくることから。

<sup>10</sup> パンダヌス園で過ごすための小屋では、敷物の下に芋を置いておき、食べるときはそこから芋を取り出すのだが、その際、敷物が音を立てることから。（小屋ではネズミに取られないように、床（地面）に穴を掘って芋をしまい、その上に敷物を敷いて座る。）

<sup>11</sup> 食事中は火を挟んで人々が座を占めるが、オベ（芋を挟む道具）はその向かい合った座の両側で行ったり来たりすることから。

(12)

<i>kou</i>	<i>manaa</i>	<i>kouko</i>	<i>mee</i>	<i>utoma</i>
kou	manaa	kouko	mee	utoma
DEM.SG.F	languages	DEM.SG.F	people	all

<i>okai</i> <sup>12</sup>	<i>kouko</i>	<i>ebatai</i>	<i>ma</i>	<i>wegai</i>	<i>ma</i>	<i>tai</i>	<i>gai</i>	<i>peu</i> <sup>13</sup>
okai	kouko	ebatai	ma	wegai	ma	tai	gai	peu
3SG	DEM.SG.F	read	and	tell.INF	and	do.INF	think.INF	NEG

「皆、絶対にそのことばを読んだり話したりしなければなりません。」

‘All the people must read and speak the language.’

‘Bahasa dan kata-kata itu, semua orang harus baca dan berbicara.’

(13)

<i>kou</i>	<i>beu</i>	<i>kitouyogo</i>	<i>ko</i>	<i>diyo</i>	<i>beebuu</i>
kou	beu	ki-touyogo	ko	diyo	beebuu
DEM.SG.F	NEG	become-if	DET.SG.F	rule	deviation

<i>mana</i>	<i>ena</i>	<i>kodaa</i> <sup>14</sup>
mana	ena	kodaa
thing	one	because

「そうになっていなければ、規則からの逸脱の一つということになりますから。」

‘Because, if they do not, that is a deviation from the rule.’

‘Kalau tidak, demikian maka melanggar aturan (bersama).’

(14)

<i>koudamake</i>	<i>ko</i>	<i>wako</i>	<i>owaapa</i>	<i>eyaikidokita</i>
kouda-make	ko	wako	owaa-epa	eyaiki-doki-ta
then	DET.SG.F	below	house-place	leave-carry-IP

<sup>12</sup> この代名詞*okai*は文 (8) 中の*tekeepoopa make wegayaa manaa* 「パンダヌス園で話すことになっていることば」を指すとのこと。

<sup>13</sup> 動詞*gai*「考える」の不定形と否定辞*peu*の連続は‘must’「絶対にしなければならない」と言う意味を表す。

<sup>14</sup> 日本語訳に反映させたようにここでは理由を表す接続詞「～ですから」で文が終わっている。Nawipa講師によるとこれは理由を強調する場合に用いる表現だとのことである。

<i>bagee</i>	<i>kou</i>	<i>ekaa</i>	<i>ko</i>	<i>ba</i>	<i>daganota</i>	<i>bagee</i>	<i>eteigai</i>
bagee	kou	eka	ko	ba	daga-nota	bagee	ete-ig-ai
people	DEM.SG.F	name	DET.SG.F	feces	PFT-eat.INF	people	tell-HAB-3PL.S

「それから、家に残してきた人たちについては、その呼び名を「糞を食べてしまった人たち」と言います。」

‘Then, the people left at home are called people who eat feces.’

‘Kemudian, mereka yang ditinggal dirumah (kampun lalamar) (mereka) menyebut ba daganota bagee.’

(15)

<i>tiyake</i>	<i>tekeepoopa</i>	<i>koda</i>	<i>uno</i>	<i>wii</i>	<i>umimakiyake</i>	<i>ko</i>
tiyake	tekeepoo-epa	koda	uno	wii	umi-makiyake	ko
then	pandanus-place	there	night	four	stay-put-CVM	DET.SG.F.

<i>uno</i>	<i>widaago</i>	<i>woo</i>	<i>kitouyogo</i>	<i>ko</i>
uno	widaago	woo	ki-touyogo	ko
night	third	there	become-if	DET.SG.F

<i>keida</i>	<i>kaa</i>	<i>tota</i>	<i>yokaagaido</i>	<i>ke</i>
keida	kaa	to-ta	yoka-gaa-ido	ke
there	GEN	stay-IP	child-time-people	DET.PL.M

<i>owaa</i>	<i>migita</i>	<i>kapaa</i>	<i>watiya</i>	<i>kodaa</i>	<i>kitouyonaa</i>	<i>maiya</i>
owaa	migi-ta	kapaa	watiya	kodaa	ki-touyonaa	maiya
house	build-IP	near	side	DEM.SG.F	become-it.may	too

<i>poto</i>	<i>yato</i>	<i>kitouyonaa</i>	<i>maiya</i>
poto	yato	ki-touyonaa	maiya
far	really.far.away	become-it.may	too

<i>kedei</i>	<i>boke</i>	<i>maineigai</i>
kedei	boke	maine-ig-ai
wild.rat	trap	put-HAB-3PL.S

「それで、パンダヌス園では4晩泊まりますので、3晩目になると、その場所に泊まっていた若者たちが、小屋（を建てた）の近く（の側になっていることもあり）

だったり、(そこから) 遠くだったりに(遠くになっていることもありますが)、野生のネズミの(を獲る)罠を仕掛けるのです。」

‘Then, as they stay four nights at the pandanus orchard, on the third evening, young people put out a trap for the wild rats at the point that is either near or far from the house. ‘Lalu mereka bermalam selama empat malam kemudian kalua sudah malam ketiga, anak-anak muda yang ada di situ di dekat rumah ataupun jauh dari rumah, mereka buat (balob) jerat tikus hujan.’

(16)

*imoo*  
imoo  
trail

「(野生のネズミの) 通り道に。」  
‘in the trail (of the wild rats).’  
‘di jejak.’

(17)

<i>koudakodaa</i>	<i>mainiyakee</i>	<i>ko</i>	<i>kou</i>	<i>bokadaatita</i>
koudakodaa	maini-yakee	ko	kou	boka-daa-ti-ta
there	make-CVM	DET.SG.F	DEM.SG.F	die-SPN-do-IP

<i>kedeidoo</i>	<i>kodo</i>	<i>okei</i>	<i>enaimo</i>	<i>duwa</i>	<i>gapiyake</i>
kedei-ido	kodo	okei	enaimo	duwa	gapi-yake
wild.rat-PL	DEM.SG.F	3PL	together	cut.INF	grill.with.stones-CVM

<i>ko</i>	<i>aweetaa</i>	<i>naago</i>	<i>kou</i>	<i>kodo</i>
ko	aweetaa	naago	kou	kodo
DET.SG.F	next.day	day	DEM.SG.F	DEM.SG.F

<i>owaapa</i>	<i>make</i>	<i>nayou</i>
owaa-epa	make	nai-cook <sup>15</sup>
house-place	at	eat-make.INF

<sup>15</sup> 動詞*you*は料理をするという意味だが、ネズミは前の日に焼いてあるので、実際にはこの時点では食べるだけだとのこと。



「そこでは、罠を仕掛けて、死んでしまったネズミたちを、彼らが一緒に石焼きにして、翌日に小屋で焼いて食べる。」

‘There, those (the traps) having been put out, they cut up and grill the killed wild rats and eat them at the house on the next day.’

‘Mereka buat jerat, semua yang mati di situ (kedei) semua kedei mereka Bersama lakukan barapen (bakar-batu), keesokan harinya mereka makan di pondok (di kebun pandan).’

(18)

<i>koudakodaa</i>	<i>make</i>	<i>nai.</i>
koudakodaa	make	nai
there	at	eat.INF

「そこで食べる。」

‘Then they eat them there.’

‘Mereka makan disitu.’

(19)

<i>inoo</i>	<i>ko</i>	<i>awiyakee</i>	<i>nama</i>
inoo	ko	awi-yakee	nama
some	DEM.SG.F	put-CVM	leave

<i>ita</i>	<i>owaapa</i>	<i>uweete</i>	<i>nougai</i>
ita	owaa-epa	uwee-ete	no-ig-ai
way	house-place	go-PROG	eat-HAB-3PL.S

「いづらか (残った物) は (袋に) 入れておいて、家への道を帰りつつ食べる。」

‘Putting the leftovers (in the bag) to eat on the way to home.’

‘Yang lain (sisah) mereka isi (dalam tas), mereka makan dalam perjalanan pulang.’

(20)

<i>kodeya</i>	<i>kou</i>	<i>kodo</i>	<i>noyake</i>	<i>awitaido</i>	<i>kodoko</i>
kodeya	kou	kodo	no-yake	awi-ta-ido	kodoko
but	DEM.SG.F	DEM.SG.F	eat-CVM	put-IP-things	DEM.SG.F

<i>wako</i>	<i>owaapa</i>	<i>make</i>	<i>ko</i>
wako	owaa-epa	make	ko
below	house-place	at	DET.SG.F

<i>dokeuwii</i>	<i>ko</i>	<i>daa</i>
doke-uwii	ko	daa
bring-go.INF	DET.SG.F	must.not

「しかしその食べて、袋に入れた物を、平地の家に持って行くことは禁止です。」  
 ‘But it is prohibited to bring half-eaten things home.’  
 ‘Namun, semua yang mereka isi dalam tas, tidak boleh membawah sampai di/ ke rumah.’

(21)

<i>owaa</i>	<i>kapauto</i>	<i>kaa</i>	<i>okeiyaka</i>	<i>togiyaawitaida</i>
owaa	kapa-uto	kaa	okei <sup>16</sup> -ya-ka	togi-yaawi <sup>17</sup> -ta-ida
house	close-all	CT	3PL-GEN-GEN	promise-ACCOMP-IP-place

<i>kodaa</i>	<i>make</i>	<i>muumai</i>	<i>tiyaawimake</i>
kodaa	make	muumai	ti-yaawi-make
there	at	finish	do-ACCOMP-CVM

「家の近くの、彼らがはっきり決めた場所で、そこで、食べてしまいます。」  
 ‘They never fail to finish it at a particular place that is close to home.’  
 ‘Mereka (harus) habiskan di deat rumah, yaitu, tempat yang sudah disepakati Bersama.’

(22)

<i>okai</i>	<i>kou</i>	<i>ya</i>	<i>to</i>
okai	kou	ya	to
3SG	DEM.SG.F	GEN	till

「話はそこまで。」  
 ‘That’s it. (lit. it is until there.)’  
 ‘Selasai. (Sampai di situ.)’

<sup>16</sup> この *okei* はパンダヌス園に行った人たちを指す。

<sup>17</sup> Nawipa 講師によると、ここでは達成相 *yaawi* を用いることに、固く決めたというニュアンスを示しているのだとのこと。

## 略 語 一 覧

1, 2, 3	1人称, 2人称, 3人称	M	masculine (男性)
ACCOMP	accomplishment (達成相)	MP	middle past (中過去),
BEN <sub>1</sub>	beneficiary I (受益者接辞I)	NEG	否定
BEN <sub>2</sub>	beneficiary II (受益者接辞II)	NF <sub>1</sub>	near future I (近未来I)
CVM	converb maker (副動詞語尾)	NF <sub>2</sub>	near future II (不確実近未来)
DET	determiner (決定詞)	O	object (目的接辞)
DEM	demonstrative (指示詞)	OPT	optative (希求法),
DF	distant future	PL	plural (複数),
DP <sub>1</sub>	distant past I (遠過去I)	PROG	progressive (進行アスペクト)
DP <sub>2</sub>	遠過去II (-emeg)	RED	reduplication (重複)
F	feminine (女性)	RP	recent past (近過去),
GEN	genitive 属格,	SG	singular (単数)
HAB	habitual 習慣,	SPN	spontaneous (自発),
INF	infinitive 不定,	-	接辞境界 (接語に関しては 本稿では分析していない)
IP	indefinite past (不定過去),		

---

2018 年度アジア・アフリカ言語文化研究所言語研修  
フィールドメソッドメエ語(エカリ語)成果報告書

Working paper based on 2018 ILCAA Intensive Language Course:  
Field methods course on Mee (Ekari)

---

2019(令和元)年 12 月 15 日

編 者 塩原朝子  
Nawipa Dance

発 行 東京外国語大学



アジア・アフリカ言語文化研究所

〒 183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

TEL. 042-330-5600

<https://publication.aa-ken.jp/>

---

© 2019 SHIOHARA Asako, Nawipa Dance & Individual Contributors

ISBN 978-4-86337-304-4

この作品は PDF フォーマットによる電子出版物として刊行されました。  
この作品はクリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンスの下に提供  
されています。



<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>